

令和 2 年度

主要施策の成果に関する報告書

射 水 市

令和2年度における主要施策の成果に関する報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、令和2年度一般会計及び特別会計における主要施策の成果に関する報告書を次のとおり提出します。

令和3年 9月 2日

射水市長 夏野元志

目 次

1 令和2年度決算の概要

(1) 会計別決算収支の状況	1
(2) 財政収支(一般会計)及び財政健全化指標等の推移	2
(3) 会計別決算の概要(対予算比、対前年度比)	3

2 主要事業の執行状況

(1) 一般会計	5
歳入	5
歳出	10
議会費	15
総務費	16
民生費	61
衛生費	93
労働費	122
農林水産業費	124
商工費	138
土木費	148
消防費	177
教育費	183
公債費	226
予備費	227

(2) 国民健康保険事業特別会計	229
(3) 後期高齢者医療事業特別会計	243
(4) 介護保険事業特別会計	248

3 財産の状況	271
---------------	-----

4 市債の状況	273
---------------	-----

参考 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策に係る 市の取組一覧(一般会計)	275
---	-----

1 令和2年度決算の概要

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

1 令和2年度決算の概要

(1) 会計別決算収支の状況

(単位：千円)

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 (形式収支額) C (A - B)	翌年度へ 繰り越すべき財源 D	実質収支額 (C - D)
一般会計	57,784,306	56,156,061	1,628,245	297,593	1,330,652
特別会計	19,360,404	19,289,443	70,961	0	70,961
国民健康保険事業	7,869,263	7,846,395	22,868	0	22,868
後期高齢者医療事業	2,349,113	2,344,066	5,047	0	5,047
介護保険事業	9,142,028	9,098,982	43,046	0	43,046
合 計	77,144,710	75,445,504	1,699,206	297,593	1,401,613

翌年度へ繰り越すべき財源は、継続費遞次繰越及び繰越明許費繰越に係る財源である。

一般会計決算収支の状況

歳入総額57,784,306千円に対し、歳出総額は56,156,061千円である。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支額は1,628,245千円であり、この額から令和3年度に繰り越すべき財源297,593千円を差し引いた実質収支額は、1,330,652千円の黒字となった。

特別会計決算収支の状況

(ア) 国民健康保険事業

歳入総額は7,869,263千円、歳出総額は7,846,395千円であり、実質収支額は、22,868千円の黒字となった。

(イ) 後期高齢者医療事業

歳入総額は2,349,113千円、歳出総額は2,344,066千円であり、実質収支額は、5,047千円の黒字となった。

(ウ) 介護保険事業

歳入総額は9,142,028千円、歳出総額は9,098,982千円であり、実質収支額は、43,046千円の黒字となった。

翌年度へ繰り越すべき財源（一般会計：297,593千円）の内訳

・継続費通次繰越

クリーンピア射水整備事業費 25,852千円

・繰越明許費繰越（合計271,741千円）

財産管理費	62,113千円	電算管理費	440千円	コミュニティセンター整備事業費	25,316千円
万葉線対策費	19,945千円	社会福祉団体等対策事務費	20,000千円	高齢者福祉施設費	7,200千円
新型コロナウイルスワクチン接種費	11,263千円	斎場管理費	14,366千円	クリーンピア射水管理費	3,017千円
土地改良事業推進対策費	889千円	新湊漁港建設費	4,935千円	道の駅維持管理費	4,768千円
道路橋梁総務費	1,023千円	市道新設改良費	827千円	地方道路交付金事業費	3,661千円
道路橋梁維持費	7,637千円	橋梁長寿命化・耐震化対策事業費	2,745千円	消雪施設維持管理費	10,857千円
土砂災害対策費	30千円	河川管理費	522千円	まちづくり交付金事業費	1,969千円
公園維持管理費	18,342千円	小杉南中学校整備費	16,727千円	大門中学校整備費	25,982千円
フットボールセンター整備事業費	7,169千円				

(2) 財政収支（一般会計）及び財政健全化指標等の推移

（単位：千円）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
形式収支 （歳入総額 - 歳出総額）	1,412,818	1,751,567	1,151,654	1,557,533	1,628,245
実質収支 （形式収支 - 翌年度に繰り越すべき財源）	982,885	1,640,319	942,033	1,163,102	1,330,652
単年度収支 （当該年度実質収支額 - 前年度実質収支額）	174,050	657,434	698,286	221,069	167,550
実質単年度収支 （単年度収支 + 財調積立金 + 市債繰上償還額 - 財調取崩額）	263,161	866,854	212,435	748,264	765,902
（財調積立額）	8,452	8,311	612,990	13,629	788,352
（市債繰上償還額）	628,759	747,109	297,731	513,566	0
（財調取崩額）	200,000	546,000	0	0	190,000

〔参考〕

減債基金積立額	196	195	156	161	428
---------	-----	-----	-----	-----	-----

〔財政健全化指標等〕

実質公債費比率（%）	10.7	10.3	9.8	9.2	8.8
将来負担比率（%）	102.6	98.5	90.2	89.7	88.8
財政力指数	0.64	0.64	0.64	0.65	0.66

(3) 会計別決算の概要 (対予算比、対前年度比)

歳入

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
一般会計	62,689,555	76.1	57,784,306	74.9	4,905,249	92.2
特別会計	19,720,502	23.9	19,360,404	25.1	360,098	98.2
国民健康保険事業	8,125,709	9.9	7,869,263	10.2	256,446	96.8
後期高齢者医療事業	2,353,219	2.9	2,349,113	3.0	4,106	99.8
介護保険事業	9,241,574	11.2	9,142,028	11.9	99,546	98.9
合 計	82,410,057	100.0	77,144,710	100.0	5,265,347	93.6

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
42,723,014	15,061,292
19,705,233	344,829
8,320,225	450,961
2,184,871	164,242
9,200,138	58,109
62,428,247	14,716,463

歳出

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
一般会計	62,689,555	76.1	56,156,061	74.4	6,533,494	89.6
特別会計	19,720,502	23.9	19,289,443	25.6	431,059	97.8
国民健康保険事業	8,125,709	9.9	7,846,395	10.4	279,314	96.6
後期高齢者医療事業	2,353,219	2.9	2,344,066	3.1	9,153	99.6
介護保険事業	9,241,574	11.2	9,098,982	12.1	142,592	98.5
合 計	82,410,057	100.0	75,445,504	100.0	6,964,553	91.5

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
41,165,481	14,990,580
19,627,210	337,767
8,297,691	451,296
2,182,878	161,188
9,146,641	47,659
60,792,691	14,652,813

2 主要事業の執行状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

【主な事業内容及び成果の記載に当たって】

「指標項目」は、射水市総合計画実施計画において、成果指標として挙げている主な項目を用いている。

【評価と今後の方向性（担当課意見）の記載に当たって】

各事業の今後の方向性については、担当課意見を下記の6段階で記載している。

完了：令和2年度をもって事業が完了した場合

拡充：事業、制度の対象範囲等を令和2年度と比較して拡充することを検討している場合

継続：令和2年度とほぼ同じ内容で実施する場合

見直し：現段階で方向性は示せないが、今後効果を高めるためなど取組方法の見直しを検討する場合

縮小：事業、制度の対象範囲等を令和2年度と比較して縮小することを検討している場合

廃止：令和2年度をもって事業、制度を廃止・中止した場合

2 主要事業の執行状況
 (1) 一般会計決算の概要
 歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
1 市税	14,927,724	23.8	15,374,546	26.6	446,822	103.0	15,555,849	181,303
2 地方譲与税	347,500	0.6	375,255	0.6	27,755	108.0	374,405	850
3 利子割交付金	12,000	0.0	12,847	0.0	847	107.1	13,567	720
4 配当割交付金	56,000	0.1	54,765	0.1	1,235	97.8	61,471	6,706
5 株式等譲渡所得割交付金	66,000	0.1	61,585	0.1	4,415	93.3	34,035	27,550
6 法人事業税交付金	100,000	0.2	102,432	0.2	2,432	102.4	0	102,432
7 地方消費税交付金	2,050,000	3.3	2,078,544	3.6	28,544	101.4	1,699,780	378,764
8 ゴルフ場利用税交付金	39,000	0.1	44,347	0.1	5,347	113.7	48,083	3,736
9 環境性能割交付金	27,000	0.0	27,304	0.0	304	101.1	14,191	13,113
10 地方特例交付金	98,330	0.2	98,330	0.2	0	100.0	287,518	189,188
11 地方交付税	7,912,086	12.6	8,177,732	14.2	265,646	103.4	8,051,685	126,047
12 交通安全対策特別交付金	11,000	0.0	12,301	0.0	1,301	111.8	11,610	691
小 計	25,646,640	40.9	26,419,988	45.7	773,348	103.0	26,152,195	267,793
13 分担金及び負担金	195,624	0.3	197,371	0.3	1,746	100.9	372,627	175,256
14 使用料及び手数料	549,310	0.9	548,681	0.9	629	99.9	535,624	13,057
15 国庫支出金	17,564,716	28.0	15,119,327	26.2	2,445,388	86.1	4,397,349	10,721,978
16 県支出金	2,662,659	4.2	2,517,371	4.4	145,288	94.5	2,434,463	82,908
17 財産収入	106,365	0.2	35,578	0.1	70,787	33.4	141,002	105,425
18 寄附金	270,102	0.4	286,105	0.5	16,003	105.9	291,208	5,102
19 繰入金	1,210,900	1.9	818,900	1.4	392,000	67.6	281,900	537,000
20 繰越金	1,557,533	2.5	1,557,533	2.7	0	100.0	1,151,654	405,879
21 諸収入	1,969,506	3.1	1,878,053	3.3	91,453	95.4	1,357,183	520,869
22 市債	10,956,200	17.5	8,405,400	14.5	2,550,800	76.7	5,559,400	2,846,000
(自動車取得税交付金)	-	-	-	-	-	-	48,409	48,409
合 計	62,689,555	100.0	57,784,306	100.0	4,905,249	92.2	42,723,014	15,061,292

継続費通次繰越及び繰越明許に係る翌年度繰越額(未収入特定財源：4,669,825千円)の内訳

国庫支出金	2,315,866千円	広報広聴費、財産管理費、移住・定住促進事業費、新型コロナウイルスワクチン接種費、 商工業振興費、道の駅維持管理費、地方道路交付金事業費、道路橋梁維持費、 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費、消雪施設維持管理費、まちづくり交付金事業費、 公園維持管理費、健康管理費(小)、スクールバス運行費(小)、健康管理費(中)、 小杉南中学校整備費、大門中学校整備費、スポーツ施設維持管理費、 フットボールセンター整備事業費
県支出金	40,259千円	社会福祉団体等対策事務費、土砂災害対策費、公園維持管理費
諸収入	108,000千円	フットボールセンター整備事業費
市債	2,205,700千円	コミュニティセンター整備事業費、万葉線対策費、斎場管理費、クリーンピア射水管理費、 クリーンピア射水整備事業費、土地改良事業推進対策費、新湊漁港建設費、 市道新設改良費、地方道路交付金事業費、道路橋梁維持費、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費、 土砂災害対策費、河川管理費、まちづくり交付金事業費、公園維持管理費、 小杉南中学校整備費、大門中学校整備費、フットボールセンター整備事業費

市税収入の状況

(単位:千円、%)

区 分	予算額 A	調定額	収入済額 B	不納 欠損額	還 付 未済額	収 入 未済額	対調定 収入率	対予算比較 (B - A)	対予算 収入率	前年度収入 済額 C	前年度比 (B - C)
1款 市税	14,927,724	15,758,999	15,374,546	20,874	362	363,940	97.6	446,822	103.0	15,555,849	181,303
1項 市民税	5,575,900	5,961,848	5,793,941	10,516	270	157,661	97.2	218,041	103.9	5,875,296	81,355
1目 個人	4,615,000	4,985,840	4,826,434	9,179	206	150,434	96.8	211,434	104.6	4,779,639	46,795
現年課税分	4,585,000	4,829,690	4,797,679	98	197	32,110	99.3	212,679	104.6	4,746,358	51,321
滞納繰越分	30,000	156,150	28,755	9,081	9	118,324	18.4	1,245	95.8	33,281	4,526
2目 法人	960,900	976,008	967,507	1,338	64	7,228	99.1	6,607	100.7	1,095,657	128,150
現年課税分	960,000	968,474	965,573	46	64	2,920	99.7	5,573	100.6	1,094,317	128,744
滞納繰越分	900	7,534	1,935	1,292	0	4,307	25.7	1,035	214.9	1,340	594
2項 固定資産税	8,527,324	8,909,417	8,702,211	9,792	75	197,489	97.7	174,887	102.1	8,833,013	130,802
1目 固定資産税	8,474,000	8,856,093	8,648,886	9,792	75	197,489	97.7	174,886	102.1	8,777,916	129,030
現年課税分	8,440,000	8,663,605	8,615,698	0	47	47,953	99.4	175,698	102.1	8,739,821	124,124
滞納繰越分	34,000	192,488	33,189	9,792	28	149,536	17.2	811	97.6	38,095	4,906
2目 国有資産等所在市町村 交付金	53,324	53,324	53,324	0	0	0	100.0	0	100.0	55,097	1,772
現年課税分	53,324	53,324	53,324	0	0	0	100.0	0	100.0	55,097	1,772
3項 軽自動車税	292,500	307,054	297,715	566	17	8,790	97.0	5,215	101.8	281,024	16,691
1目 環境性能割	9,300	9,820	9,820	0	0	0	100.0	520	105.6	3,258	6,562
2目 種別割	283,200	297,234	287,895	566	17	8,790	96.9	4,695	101.7	277,766	10,129
現年課税分	281,000	288,412	285,755	0	17	2,675	99.1	4,755	101.7	275,476	10,278
滞納繰越分	2,200	8,822	2,140	566	0	6,115	24.3	60	97.3	2,289	149
4項 市たばこ税	509,000	564,518	564,518	0	0	0	100.0	55,518	110.9	543,929	20,589
1目 市たばこ税	509,000	564,518	564,518	0	0	0	100.0	55,518	110.9	543,929	20,589
現年課税分	509,000	564,518	564,518	0	0	0	100.0	55,518	110.9	543,929	20,589
5項 入湯税	23,000	16,161	16,161	0	0	0	100.0	6,839	70.3	22,589	6,427
1目 入湯税	23,000	16,161	16,161	0	0	0	100.0	6,839	70.3	22,589	6,427
現年課税分	23,000	16,161	16,161	0	0	0	100.0	6,839	70.3	22,589	6,427

市税以外の収入状況（主なもの）

（単位：千円、％）

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
2款 地方譲与税	347,500	375,255	27,755	108.0	374,405	850	
1項 地方揮発油譲与税	85,000	84,432	568	99.3	86,096	1,664	
2項 自動車重量譲与税	224,000	245,650	21,650	109.7	247,947	2,297	
3項 特別とん譲与税	30,000	36,659	6,659	122.2	36,356	303	
4項 森林環境譲与税	8,500	8,514	14	100.2	4,006	4,508	
3款 利子割交付金	12,000	12,847	847	107.1	13,567	720	
4款 配当割交付金	56,000	54,765	1,235	97.8	61,471	6,706	
5款 株式等譲渡所得割交付金	66,000	61,585	4,415	93.3	34,035	27,550	
6款 法人事業税交付金	100,000	102,432	2,432	102.4	-	-	
7款 地方消費税交付金	2,050,000	2,078,544	28,544	101.4	1,699,780	378,764	
8款 ゴルフ場利用税交付金	39,000	44,347	5,347	113.7	48,083	3,736	
9款 環境性能割交付金	27,000	27,304	304	101.1	14,191	13,113	
10款 地方特例交付金	98,330	98,330	0	100.0	287,518	189,188	
11款 地方交付税	7,912,086	8,177,732	265,646	103.4	8,051,685	126,047	
普通交付税	6,712,086	6,712,086	0	100.0	6,856,084	143,998	
特別交付税	1,200,000	1,465,646	265,646	122.1	1,195,601	270,045	
12款 交通安全対策特別交付金	11,000	12,301	1,301	111.8	11,610	691	
13款 分担金及び負担金	195,624	197,371	1,747	100.9	372,627	175,256	
1項 分担金	1,609	1,886	277	117.2	6,736	4,850	市土地改良事業費分担金748 等
2項 負担金	194,015	195,485	1,470	100.8	365,891	170,406	老人保護措置費負担金4,037、保育園保育料187,605 等
14款 使用料及び手数料	549,310	548,681	629	99.9	535,624	13,057	
1項 使用料	243,842	235,468	8,374	96.6	215,053	20,415	墓地使用料9,506、道路占用料48,645、公営住宅使用料80,939 等
2項 手数料	305,468	313,213	7,745	102.5	320,571	7,358	戸籍住民基本台帳費手数料31,217 清掃費手数料（ごみ処理、収集指定袋等）268,313 等
15款 国庫支出金	17,564,716	15,119,327	2,445,389	86.1	4,397,349	10,721,978	
1項 国庫負担金	3,713,294	3,215,588	497,706	86.6	3,027,064	188,524	障害者自立支援給付費負担金920,508 子どものための教育・保育給付費負担金909,319 児童手当等国庫負担金972,964、生活保護費負担金177,528 等
2項 国庫補助金	13,840,172	11,892,693	1,947,479	85.9	1,342,745	10,549,948	地方創生推進交付金27,632、地方創生拠点整備交付金31,500 特別定額給付金給付事業費補助金9,246,500 特別定額給付金給付事務費補助金52,371 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金754,064 等
3項 国庫委託金	11,250	11,046	204	98.2	27,540	16,494	国民年金事務費委託金9,262 等

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
16款 県 支 出 金	2,662,659	2,517,371	145,288	94.5	2,434,463	82,908	
1項 県 負 担 金	1,527,078	1,488,155	38,923	97.5	1,399,413	88,742	介護給付費負担金457,564、国民健康保険基盤安定負担金197,278 後期高齢者医療基盤安定負担金161,018 子どものための教育・保育給付費負担金426,171、児童手当等県負担金212,951 等
2項 県 補 助 金	875,306	775,941	99,365	88.6	791,010	15,069	重度心身障害者等医療費補助金103,931 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業費補助金41,154 ひとり親世帯生活支援給付金事業費補助金16,887 多面的機能支払交付金95,394、企業立地助成金91,460 等
3項 県 委 託 金	260,275	253,275	7,000	97.3	244,040	9,235	県税徴収事務費委託金155,362、民生委員費委託金13,473 等
17款 財 産 収 入	106,365	35,578	70,787	33.4	141,002	105,424	
1項 財 産 運 用 収 入	27,563	32,963	5,400	119.6	34,370	1,407	
1目 財 産 貸 付 収 入	9,671	13,641	3,970	141.1	15,527	1,886	
2目 利 子 及 び 配 当 金	17,892	19,322	1,430	108.0	18,844	478	
2項 財 産 売 払 収 入	78,802	2,615	76,187	3.3	106,632	104,017	
1目 不 動 産 売 払 収 入	78,801	2,367	76,434	3.0	102,773	100,406	
2目 物 品 売 払 収 入	1	248	247	24,800.0	3,859	3,611	
18款 寄 附 金	270,102	286,105	16,003	105.9	291,208	5,103	一般寄附金244,030（うち、ふるさと射水応援寄附金205,030） 民生費寄附金10、教育費寄附金600、衛生費寄附金2,000 総務費寄附金39,465
19款 繰 入 金	1,210,900	818,900	392,000	67.6	281,900	537,000	
1項 基 金 繰 入 金	1,210,900	818,900	392,000	67.6	281,900	537,000	
1目 小杉インターパーク管理 基金繰入金	900	900	0	100.0	900	0	
2目 合併地域振興基金繰入金	448,000	448,000	0	100.0	147,000	301,000	
3目 ふるさと射水応援 基金繰入金	180,000	180,000	0	100.0	134,000	46,000	
5目 財政調整基金繰入金	582,000	190,000	392,000	32.6	0	190,000	
公共施設建設等 基金繰入金	0	0	0		0	0	
奨学基金繰入金	0	0	0		0	0	
教育施設振興基金繰入金	0	0	0		0	0	
芸術文化振興基金繰入金	0	0	0		0	0	
スポーツ振興基金繰入金	0	0	0		0	0	
農村環境創造基金繰入金	0	0	0		0	0	
20款 繰 越 金	1,557,533	1,557,533	0	100.0	1,151,654	405,879	前年度繰越金1,163,102、遞次繰越繰越金75,595 繰越明許費繰越金313,836、事故繰越し5,000

区分・内容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
21款 諸 収 入	1,969,506	1,878,053	91,453	95.4	1,357,183	520,870	
1項 延滞金・加算金及び過料	12,000	13,120	1,120	109.3	13,850	730	
2項 市 預 金 利 子	314	73	241	23.2	609	536	
3項 貸付金元利収入	644,953	645,773	820	100.1	663,981	18,208	
4項 受託事業収入	3,062	7,077	4,015	231.1	10,931	3,854	
5項 雑 入	1,309,177	1,212,010	97,167	92.6	667,813	544,197	
22款 市 債	10,956,200	8,405,400	2,550,800	76.7	5,559,400	2,846,000	
1項 市 債	10,956,200	8,405,400	2,550,800	76.7	5,559,400	2,846,000	
1目 総 務 債	99,000	92,200	6,800	93.1	86,800	5,400	総務管理施設整備事業債12,000、コミュニティセンター整備事業債24,000、万葉線設備整備事業債56,200
2目 民 生 債	50,400	47,000	3,400	93.3	61,100	14,100	福祉施設整備事業債3,400、児童福祉施設整備事業債43,600
3目 衛 生 債	1,043,500	947,100	96,400	90.8	340,300	606,800	一般廃棄物処理事業債947,100
4目 農 業 水 産 業 債	33,000	16,400	16,600	49.7	33,000	16,600	農業農村整備事業債16,400
5目 土 木 債	357,000	179,100	177,900	50.2	227,200	48,100	道路整備事業債112,000、河川整備事業債5,900、都市計画街路整備事業債17,600 公園整備事業債17,400、重点密集市街地整備事業債2,200、港湾整備事業債24,000
6目 消 防 債	103,300	95,700	7,600	92.6	80,200	15,500	消防施設整備事業債95,700
7目 教 育 債	1,878,700	971,600	907,100	51.7	1,391,100	419,500	歌の森小学校整備事業債 214,900、小学校整備事業債60,200、 大門中学校整備事業債349,900、中学校整備事業債27,000 保健体育施設整備事業債 319,600
8目 合 併 特 例 事 業 債	6,133,000	4,908,100	1,224,900	80.0	2,261,300	2,646,800	総務管理事業整備1,150,400、社会福祉事業整備37,000、斎場事業整備2,831,700、 清掃事業整備20,100、農業事業整備22,500、水産事業整備22,000、 道路橋梁事業整備294,700、都市計画事業整備177,600、消防事業整備134,000、 小学校事業整備57,800、中学校事業整備160,300
9目 臨 時 財 政 対 策 債	1,074,300	1,074,300	0	100.0	1,078,400	4,100	
12目 減 収 補 て ん 債	184,000	73,900	110,100	40.2	0	73,900	
(自動車取得税交付金)	-	-	-	-	48,409	48,409	
市 税 以 外 の 収 入 合 計	47,761,831	42,409,761	5,352,070	88.8	27,167,164	15,242,597	

歳出の状況（目的別）

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)	前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
1 議会費	255,043	0.4	243,413	0.4	11,630	95.4	254,696	11,283
2 総務費	16,645,538	26.6	15,836,285	28.2	809,253	95.1	4,457,538	11,378,747
3 民生費	13,487,273	21.5	13,001,718	23.2	485,555	96.4	13,266,489	264,772
4 衛生費	9,245,337	14.7	8,075,433	14.4	1,169,904	87.3	4,150,626	3,924,807
5 労働費	89,220	0.1	87,353	0.2	1,867	97.9	87,161	192
6 農林水産業費	877,211	1.4	795,325	1.4	81,886	90.7	768,855	26,470
7 商工費	2,096,442	3.3	1,382,021	2.5	714,421	65.9	1,202,395	179,626
8 土木費	6,635,530	10.6	5,866,625	10.4	768,905	88.4	5,045,302	821,323
9 消防費	1,280,158	2.0	1,235,995	2.2	44,163	96.6	1,198,416	37,579
10 教育費	6,864,466	10.9	4,497,533	8.0	2,366,933	65.5	4,887,789	390,256
11 災害復旧費	2	0.0	0	0.0	2	0.0	0	0
12 公債費	5,136,491	8.2	5,134,360	9.1	2,131	100.0	5,846,214	711,854
13 予備費	76,844	0.1	0	0.0	76,844	0.0	0	0
合 計	62,689,555	100.0	56,156,061	100.0	6,533,494	89.6	41,165,481	14,990,580

継続費通次繰越及び繰越明許に係る翌年度繰越額（計4,967,418千円）の内訳

総務費	531,872千円	広報広聴費、財産管理費、移住・定住促進事業費、電算管理費、コミュニティセンター整備事業費、万葉線対策費
民生費	47,200千円	社会福祉団体等対策事務費、高齢者福祉施設費
衛生費	1,092,592千円	新型コロナウイルスワクチン接種費、斎場管理費、クリーンピア射水管理費、クリーンピア射水整備事業費
農林水産業費	40,424千円	土地改良事業推進対策費、新湊漁港建設費
商工費	608,663千円	商工業振興費、道の駅維持管理費
土木費	517,851千円	道路橋梁総務費、市道新設改良費、地方道路交付金事業費、道路橋梁維持費、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費、消雪施設維持管理費、土砂災害対策費、河川管理費、まちづくり交付金事業費、公園維持管理費
教育費	2,128,817千円	健康管理費（小）、スクールバス運行費（小）、健康管理費（中）、小杉南中学校整備費、大門中学校整備費、スポーツ施設維持管理費、フットボールセンター整備事業費

歳出の主な内訳（目的別）

（単位：千円）

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A - B)	決算額の主な内訳
1 議会費	243,413	254,696	11,283	議員報酬172,354、議会運営費20,321 等
2 総務費	15,836,285	4,457,538	11,378,747	
総務管理費	15,006,214	3,751,071	11,255,144	財政対策積立金788,780、その他目的基金積立金257,988、財産管理費82,648 電算管理費286,054、協働のまちづくり推進費130,502 コミュニティセンター管理運営費162,486、コミュニティセンター整備事業費1,044,438 コミュニティバス運行費292,967、特別定額給付金給付費9,298,871 等
徴税費	458,194	391,606	66,588	賦課事務費222,023、徴収事務費14,052 等
戸籍住民基本台帳費	268,127	219,641	48,485	戸籍住民基本台帳費97,186 等
3 民生費	13,001,718	13,266,489	264,772	
社会福祉費	6,235,130	6,751,156	516,026	高齢者福祉施設費243,626、介護保険事業特別会計繰出金1,436,468、 後期高齢者医療事業特別会計繰出金1,326,038、国民健康保険事業特別会計繰出金494,698 重度心身障害者等医療費助成費271,886、自立支援給付費1,809,909 等
児童福祉費	6,473,329	6,238,104	235,225	放課後児童健全育成事業費140,808、子育て支援センター運営費66,326 児童手当等給付費1,401,759、ひとり親家庭等福祉費121,969 児童扶養手当給付費224,543、ひとり親家庭等医療助成費40,954 子ども及び妊産婦医療助成費310,915、保育園等管理運営費532,714 保育園等運営委託等事業費2,242,811 子育て世帯への臨時特別給付金等給付費279,436 等
生活保護費	292,529	277,230	15,300	生活保護扶助費241,523 等
4 衛生費	8,075,433	4,150,626	3,924,807	
保健衛生費	3,882,544	1,255,674	2,626,870	母子保健推進費84,740、がん対策推進費92,806、予防接種費291,864、斎場管理費551,494 斎場整備事業費2,467,513 等
清掃費	3,446,473	2,200,469	1,246,004	収集指定袋取扱費47,021、塵芥収集費294,440、クリーンピア射水管理費741,140 クリーンピア射水整備事業費1,960,484、粗大ごみ処理施設管理費86,891 処理棟管理費47,271、野手埋立処分所管理費99,196、衛生センター管理費72,307 等
病院費	745,152	673,696	71,456	病院事業会計繰出金745,152
上水道費	1,264	20,787	19,523	水道事業会計繰出金1,264

(単位：千円)

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A - B)	決算額の主な内訳
5 労働費	87,353	87,161	192	勤労者福祉推進費83,847、雇用対策費3,506
6 農林水産業費	795,325	768,855	26,470	
農業費	656,602	669,037	12,435	農業振興推進費36,899、水田利活用推進対策費50,294、6次産業化推進費15,576 ふるさと特産品推進費95,091、土地改良事業推進対策費210,357、農地管理費110,858 等
水産業費	105,421	71,606	33,815	海面漁業振興費35,234、新湊漁港建設費27,873 等
7 商工費	1,382,021	1,202,395	179,626	商工業振興費218,716、企業誘致対策費322,686、中小企業振興対策費558,890 中小企業等上下水道料金支援費28,877、観光事業費24,799、観光推進費72,352 等
8 土木費	5,866,625	5,045,302	821,323	
道路橋梁費	2,196,163	1,540,587	655,576	市道新設改良費96,369、地方道路交付金事業費184,568 地方特定道路整備費18,994、道路橋梁維持費331,217 交通安全施設整備費22,620、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費168,525 除雪対策費839,330、消雪施設維持管理費196,644 等
港湾費	133,855	149,730	15,875	海王丸パーク活用推進費70,612 等
都市計画費	585,025	553,910	31,116	街路事業費21,415、まちづくり交付金事業費272,062、公園維持管理費208,984 等
下水道費	2,303,275	2,313,902	10,627	下水道事業会計繰出金2,303,275
住宅費	579,457	417,004	162,453	市営住宅維持管理費79,356、住まい・まちづくり費57,608 重点密集市街地整備費295,903 等
9 消防費	1,235,995	1,198,416	37,579	常備消防費55,555、消防団運営費60,434、消防車両整備事業費165,503 消防団拠点施設整備事業費52,485 等

(単位：千円)

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A - B)	決算額の主な内訳
10 教育費	4,497,533	4,887,789	390,256	
教育総務費	435,644	391,009	44,636	教育委員会事務局費101,112、学校給食センター管理費129,245 等
小学校費	1,429,465	1,651,498	222,032	学校管理費(小)276,923、学校給食費(小)122,197、健康管理費(小)52,023 スクールバス運行費(小)59,575、教育振興運営費(小)468,707 歌の森小学校整備費405,708 等
中学校費	1,237,347	1,631,913	394,566	学校管理費(中)128,369、学校給食費(中)49,341、教育振興運営費(中)229,606 小杉南・大門各中学校整備費775,870 等
幼稚園費	30,199	138,967	108,768	幼稚園管理費8,555 等
社会教育費	643,628	741,311	97,684	図書館管理運営費72,032、新湊中央文化会館管理運営費92,484 小杉文化ホール管理運営費82,540、大島絵本館管理運営費81,175 等
保健体育費	721,250	333,091	388,159	スポーツ施設維持管理費162,097、海竜スポーツランド維持管理費388,341 フットボールセンター整備事業費63,113 等
11 災害復旧費	0	0	0	
12 公債費	5,134,360	5,846,214	711,854	公債費元金償還費4,813,788、公債費利子償還費320,573
合 計	56,156,061	41,165,481	14,990,580	

歳出の状況（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	決 算 額	構 成 比	前年度決算額	構 成 比	前年度比		主な変動要因分析
					増 減 額	増減率	
1 人件費	5,184,702	9.2	4,866,840	11.8	317,862	6.5	会計年度任用職員制度の施行に伴う増
うち職員給	3,286,079	5.9	3,354,293	8.1	68,214	2.0	
2 扶助費	7,246,036	12.9	6,809,244	16.5	436,792	6.4	子育て世帯への臨時特別給付金事業、ひとり親世帯臨時特別給付金事業による増
3 公債費	5,134,360	9.1	5,825,855	14.2	691,495	11.9	
義務的経費(1～3)	17,565,098	31.3	17,501,939	42.5	63,159	0.4	
4 普通建設事業費	10,911,999	19.4	7,582,610	18.4	3,329,389	43.9	
うち補助事業費	4,058,508	7.2	3,590,175	8.7	468,333	13.0	クリーンピア射水整備事業費、大門中学校長寿命化改良工事の増
うち単独事業費	6,725,825	12.0	3,816,279	9.3	2,909,546	76.2	コミュニティセンター整備事業費、斎場整備事業費の増
うち県営事業負担金等	127,666	0.2	176,156	0.4	48,490	27.5	土地改良事業推進対策費、港湾建設促進費の減
5 災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
投資的経費(4～5)	10,911,999	19.4	7,582,610	18.4	3,329,389	43.9	
6 物件費	5,989,400	10.7	5,650,534	13.7	338,866	6.0	新湊複合交流施設管理運営費、教育振興運営費（児童生徒用タブレット端末購入）の増
7 維持補修費	1,408,416	2.5	693,590	1.7	714,826	103.1	除排雪費の増
8 補助費等	14,491,501	25.8	4,740,007	11.5	9,751,494	205.7	特別定額給付金給付事業、中小企業等事業向上補助事業による増
9 積立金	1,046,767	1.9	427,517	1.0	619,250	144.8	財政調整基金への積立額の増
10 投資及び出資金	843,765	1.5	779,199	1.9	64,566	8.3	病院事業会計及び下水道事業会計への出資金の増
11 貸付金	647,129	1.2	665,002	1.6	17,873	2.7	各種制度融資（小口事業資金等）に係る金融機関への預託金の減
12 繰出金	3,251,986	5.8	3,125,083	7.6	126,903	4.1	介護保険事業特別会計及び後期高齢者医療事業特別会計繰出金の増
その他の経費(6～12)	27,678,964	49.3	16,080,932	39.1	11,598,032	72.1	
合 計	56,156,061	100.0	41,165,481	100.0	14,990,580	36.4	

1 款 議 会 費

事業名	議会運営費		(1款 議会費		1項 議会費		1目 議会費		決算書	59 ページ	担当部課	議会事務局議事調査課
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
			32,527 【37,706】	29,523 【37,891】	20,321 【31,167】	【34,872】						
財 源 内 訳	一般財源		32,527	29,523	20,321	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業が中止となったことに伴う旅費等の減少による。						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 市議会開催状況 一般質問を「一括質問・一括答弁方式」、「一問一答方式」及び「分割質問・分割答弁方式」で行い、市民に分かりやすい運営を行った。 ・ 5月臨時会 1日 ・ 6月定例会 17日 ・ 7月臨時会 1日 ・ 9月定例会 18日 ・ 11月臨時会 1日 ・ 12月定例会 18日 ・ 2月臨時会 1日 ・ 3月定例会 19日</p>												
<p>2 委員会開催状況 ・ 議会運営委員会 34日 ・ 総務文教常任委員会 7日 ・ 民生病院常任委員会 6日 ・ 産業建設常任委員会 6日 ・ 予算特別委員会 16日 ・ 決算特別委員会 5日 ・ 港湾振興特別委員会 3日 ・ 議会改革特別委員会 5日 ・ 議会改革特別委員会専門部会 13日 ・ 広報委員会 13日</p>												
<p>3 付議事件の審議結果等 ・ 市長提案 164件（可決、承認等 153件 議決事項でないもの 11件） ・ 議員提案 3件 ・ 推薦、選挙 3件 ・ 請願 0件</p>												
<p>4 議会だよりの発行 市民に分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努め、議会からの情報発信を行った。 ・ 発行回数 年4回（定例会の翌々月の1日発行） ・ 発行部数 約32,700部/回（全世帯へ配布）</p>												
<p>5 議会映像の録画配信 見たい時にいつでも気軽に見ることができるインターネットの利点を生かし、本会議及び予算特別委員会の録画映像配信を行った。</p>												
<p>6 議会報告会の開催（令和2年10月31日） 議会をより身近なものに感じてもらえるよう、議会情報を議員が直接市民に報告・説明するとともに、市民の声を市政に反映するため、市内3会場に各常任委員会が分かれて同時開催した。</p>												
<p>7 タブレット端末及び会議システムの導入（令和元年9月定例会から導入） これらを活用した会議の進行や議会スケジュールの共有化を図ることで、議会運営の効率化及び活性化を図った。 また、令和2年9月定例会から、紙媒体との併用を廃止し、ペーパーレス化の推進を図った。</p>												

2 款 総 務 費

事業名		職員表彰・研修費				(2款 総務費		1項 総務管理費		2目 人事管理費		決算書	60 ページ	担当部課	企画管理部人事課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）										
		2,852	【3,274】	3,794	【5,201】	2,554	【5,128】									
財源内訳	諸収入	247		178		79		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による職員研修の中止が多く、研修に係る経費（旅費、負担金等）が減ったことによる。								
	一般財源	2,605		3,616		2,475										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 階層別研修及び専門研修の実施 新任職員研修や幹部職員研修等の階層別研修のほか、職務遂行に必要な知識や技能を習得する専門研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 階層別研修 169人（令和元年度 184人） ・ 専門研修 379人（令和元年度 486人） 													継続	研修の実施により、職員の職務遂行能力の向上を図ることができた。今後はオンライン研修の積極的な活用等、職員が研修を受講しやすい環境づくりを整えつつ、職場や職員のニーズを踏まえた研修を企画する。		
2 派遣研修の実施 課題発見・解決能力や政策形成能力を養成するため、中央省庁（内閣府）、富山県及び自治大学校等への派遣研修を実施した。 また、呉西圏域人事交流事業として、砺波市と職員1人（行政職）の人事交流を行った。														継続	職員の幅広い視野と高度な知識の習得に寄与した。中堅幹部職員の養成及び圏域の交流・連携を更に深めるため、引き続き派遣研修を実施する。	

事業名	広報広聴費		(2款 総務費		1項 総務管理費		3目 文書広報費		決算書	61 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課						
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）											
			35,901 【37,518】	58,536 【60,151】	44,024 【56,326】	【42,830】	令和元年度は、市ホームページのリニューアル業務、バーチャルチューバー開発業務を実施したことによる。											
財 源 内 訳	国庫補助金		0	66	4,898													
	繰入金（基金）		0	0	1,000													
	諸収入		2,020	1,935	1,357													
	一般財源		33,881	56,535	36,769													
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）							
<p>1 広報事業</p> <p>ウィズコロナ、アフターコロナ時代の新たな日常に対応するため、これまでの広報媒体に加え、新たに「プッシュ通知」が可能となる情報発信環境を構築するなど、多様な広報媒体による情報発信力の強化に努めた。</p> <p>広報いみずの発行</p> <p>新型コロナウイルス感染症の情報をはじめ、市政情報をあらゆる年齢層の市民に分かりやすく、見やすく情報を伝えるため、内容やレイアウトの工夫に努めた。</p> <p>市ホームページの運用・管理</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する情報などは、最新情報の更新に努めるとともに、市民が容易に必要な情報にアクセスできるよう運用・管理を行った。</p> <p>感染症対策広報事業業務委託（新型コロナ対策3- 1）【交付金】</p> <p>市民が「新しい生活様式」の理解を深め、実践・定着を促進するため、Vチューバーを活用した啓発動画を制作し、広報を行った。</p> <p>委託先 (同)アルパクロウ</p> <p>委託期間 令和2年6月24日～6月30日</p> <p>委託料 1,100千円</p> <p>市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業（新型コロナ対策3- 2）【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症情報、災害・防災情報、市政情報等、市民に必要な情報を迅速かつ的確に発信するため、LINEを活用した情報発信システムの構築を行った。</p> <p>委託先 トランス・コスモス株</p> <p>委託期間 令和3年2月1日～3月26日</p> <p>委託料 3,619千円</p> <p>Vチューバーを活用した動画配信</p> <p>市長インタビューや職員募集、観光大使や市のキャラクター「ムズムズくん」とコラボした企画など、市の魅力発信につながる動画配信を行った。</p> <p>ケーブルテレビ行政番組放送</p> <p>「テレビ広報いみず」では、担当課職員が出演し、業務や事業などを分かりやすく説明した。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止を図るため、市長メッセージを放送し、市民へ感染防止対策の徹底を呼び掛けた。</p>											<p>継続</p> <p>市民へ必要な情報を迅速かつ的確に提供するため、多様な広報媒体を効果的に活用し、情報発信力の強化に努めていく。</p>							

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>F M放送番組企画制作 エフエムいみずで行政情報番組「射水市情報ポケット」を週3日放送し、新型コロナウイルス感染症情報をはじめ、市政情報や火災の注意喚起など、生活情報を提供した。 市政出前講座 担当者が地域へ出向いて事業を詳しく説明することで、市民に市の現況や考え方への理解を深めてもらい、お互いの情報共有を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政出前講座開催回数</td> <td>161件</td> <td>120件</td> <td>200件</td> </tr> </tbody> </table>		指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	市政出前講座開催回数	161件	120件	200件	継続	<p>市民へ必要な情報を迅速かつ的確に提供するため、多様な広報媒体を効果的に活用し、情報発信力の強化に努めていく。</p>
指標項目	基準		実績	目標										
	平成25年度	令和2年度	令和5年度											
市政出前講座開催回数	161件	120件	200件											
<p>2 広聴事業 みえる・わかる・わかり合えるミーティングを実施し、市民と行政とのわかり合いを推進するとともに、市民からの提案を市政に生かす取組を行うことで、市民と行政との協働のまちづくりを推進する効果があった。 みえる・わかる・わかり合えるミーティングの実施 市長と市民が直接対話する場を設けることで、市民と行政との情報の共有化を図り、市民と行政のわかり合いを推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>メニュー名</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長とのコーヒートーク</td> <td>2回</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table> <p>市長への手紙、市へのメール 市民からの意見・提案に市の考え方を分かりやすく回答することで、市民と行政との信頼関係を構築した。 ・ 市長への手紙受付件数 29件 ・ 市へのメール受付件数 104件</p>		メニュー名	開催回数	参加人数	市長とのコーヒートーク	2回	33人	継続	<p>ウィズコロナ、アフターコロナ時代における、市民とのわかり合いを推進するための広聴事業の在り方を検討していく。</p>					
メニュー名	開催回数	参加人数												
市長とのコーヒートーク	2回	33人												
<p>(繰越明許費 11,381 千円) ・ 事業名 クーポン等配信システム改進黨業（新型コロナ対策3- 2） ・ 予算執行率 79.5% ・ 完了時期 令和4年3月</p>														

事業名	人権擁護費				(2款 総務費 1項 総務管理費 3目 文書広報費)			決算書	61 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		388	【406】	489	【555】	767	【857】	【394】			
財 源 内 訳	県委託金	100		210		486					
	一般財源	288		279		281					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 特設人権相談</p> <p>市内5か所において特設人権相談所を開設し、様々な人権問題の相談に対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新湊地区 新湊交流会館 毎月第2木曜日開催 ・ 小杉地区 救急薬品市民交流プラザ 毎月第1水曜日開催 ・ 大門地区 大門総合会館 毎月第3水曜日開催 ・ 大島地区 市庁舎 毎月第4火曜日開催 ・ 下地区 下村コミュニティセンター 隔月第1木曜日(奇数月)開催 										継続	人権問題に関わる様々な相談を受け、人権侵害の防止に寄与することができた。今後も、人権擁護委員を中心に人権擁護意識の向上に努める。
<p>2 人権のつどい(5年ごとに開催)【県】</p> <p>人権思想の普及高揚や多文化共生の推進のため、人権啓発講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和3年2月12日 午後1時30分～ ・ 場 所 アイザック小杉文化ホールラポール(まどかホール) ・ 演 題 「ダイアンから見た日本」 講師：バイリンガル落語家 ダイアン吉日 										完了	人権意識向上と多文化共生の重要性を周知することができた。次回開催時は、多くの市民に人権意識の向上が、広く浸透するよう講演会の内容について検討していく。

事業名		男女共同参画推進費				(2款 総務費 1項 総務管理費 3目 文書広報費)			決算書	61 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
		1,274	【1,403】	1,310	【1,399】	2,849	【3,068】	【1,453】				
財源内訳	一般財源	1,274		1,310		2,849		第2次射水市男女共同参画基本計画見直しに係る市民意識調査集計等業務委託をしたことによる。				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 男女共同参画推進事業</p> <p>男女共同参画推進委員会活動補助</p> <p>ア 男女共同参画啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回講座の開催(市内6か所) ・「あったか家族のひなまつり親子でおひなさま作り」の開催 日時:令和3年2月28日 場所:櫛田コミュニティセンター ・オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性をみんなで応援～ 日時:令和3年3月6日～7日 場所:クロスベイ新湊 <p>イ 推進委員研修会の開催</p> <p>ウ 広報誌「いみずのに拓く」の発刊</p> <p>小杉駅北広告塔への啓発看板設置(令和2年11月2日～11月25日)</p> <p>男女共同参画推進委員会委員報償費(34人)</p> <p>男女共同参画審議会の開催(日時:令和3年2月25日 場所:市庁舎)</p> <p>第2次射水市男女共同参画基本計画見直しに係る市民意識調査集計等業務委託先 (株)新日本コンサルタント 射水営業所</p> <p>委託期間 令和2年7月9日～11月30日</p> <p>委託料 1,529千円</p>											継続	男女共同参画意識の向上や、男女が共に地域活動等に参画する機運の醸成に努めた。今後も男女共同参画への理解を深める取組を継続し、性別にかかわらず一人ひとりが共に個性と能力を發揮できる社会の形成を目指していく。
<p>2 女性のための無料相談</p> <p>年間18回(奇数月は2回、偶数月は1回)、女性無料相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談人数 延べ75人 											継続	配偶者暴力等、様々な問題を抱えている女性を対象とした無料相談を実施し、問題解決に向けた支援を行った。今後もDV予防の啓発と併せて、継続して相談事業を実施していく。

事業名	財政対策積立金		(2款 総務費		1項 総務管理費		4目 財政管理費) 決算書	61 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		613,146 【613,147】	13,790 【13,790】	788,780 【788,780】		【16,640】						
財 源 内 訳	財産運用収入	613,146	13,790	14,180								
	一般財源	0	0	774,600								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
・ 財政調整基金積立金		788,352千円								継 続	災害や社会経済情勢の変化等に対応していくため、基金の適切な確保に努めていく。	
・ 減債基金積立金		428千円										

事業名	その他目的基金		(2款 総務費		1項 総務管理費		4目 財政管理費) 決算書	62 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		782,575 【782,578】	413,728 【413,729】	257,988 【257,988】		【10,587】						
財 源 内 訳	財産運用収入	3,525	3,728	3,815								
	寄附金	134,050	280,000	240,466								
	一般財源	645,000	130,000	13,707								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
・ 公共施設建設等基金積立金		21,327千円		・ 合併地域振興基金積立金		2,150千円				継 続	各基金の設置目的に応じ、適切な管理・運用に努めていく。	
・ 小林與三次基金積立金		46千円		・ ふるさと射水応援基金積立金		200,181千円						
・ 福祉振興基金積立金		7千円		・ 森林環境保全基金積立金		8,524千円						
・ 小杉インターパーク管理基金積立金		100千円		・ 新型コロナウイルス感染症対策基金積立金		25,652千円						

事業名		会計管理費				(2款 総務費 1項 総務管理費 5目 会計管理費)				決算書	62 ページ	担当部課	会計管理者会計課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		13,293 【13,774】		12,120 【12,942】		11,944 【12,960】		【12,721】					
財 源 内 訳	諸収入		120		120		120						
	一般財源		13,173		12,000		11,824						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 出納事務</p> <p>公金の出納に係る伝票審査の徹底と公金取扱状況検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現金出納員等 12か所実施（令和元年度 12か所） ・ 収納消込データ作成業務委託料 5,205千円（令和元年度 5,167千円） <p>歳計・歳計外現金及び基金の安全かつ効率的な運用を行った。</p>										<p>継続</p> <p>公金の支出命令審査を厳正かつ迅速に行い、適正で確実な支払事務の執行に努めた。公金等の取扱状況検査を継続して実施し、適正な会計事務と公金の取扱いに対する職員の意識向上を図る。</p>			

事業名	検査費				(2款 総務費 1項 総務管理費 5目 会計管理費)				決算書	62 ページ	担当部課	財務管理部検査監																																			
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																									
		8,537	【9,166】	8,838	【10,147】	9,203	【9,782】	【9,890】																																							
財 源 内 訳	一般財源	8,537		8,838		9,203		積算システムのバージョンアップによる県内市町村共同利用負担金が増加したことによる。																																							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																					
<p>1 検査指導業務</p> <p>市発注の工事や業務委託の品質の確保、施工技術水準の向上などを目的に完成検査や工事現場安全パトロールを実施した。</p> <p>完成検査</p> <p>設計図書に基づき検査を実施し、安全管理及び品質管理を中心とした確認を行うとともに、適時指導・助言を行うなど積極的な対応に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区分</th> <th>工事</th> <th>業務委託</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和元年度</td> <td>件数</td> <td>188件</td> <td>57件</td> <td>245件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>6,830,256千円</td> <td>297,366千円</td> <td>7,127,622千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和2年度</td> <td>件数</td> <td>200件</td> <td>52件</td> <td>252件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>8,241,146千円</td> <td>518,458千円</td> <td>8,759,604千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>検査対象：工事1,300千円以上、委託500千円以上(随意契約・維持修繕工事を除く)</p> <p>工事監察、工事現場安全パトロール</p> <p>工事の施工途中の現場について施工体制や安全対策の確認や指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>工事監察</th> <th>工事現場パトロール</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>4件</td> <td>38件</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3件</td> <td>28件</td> <td>31件</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事監察：低入札調査基準価格を下回る価格で落札した工事等</p>										年度	区分	工事	業務委託	計	令和元年度	件数	188件	57件	245件	金額	6,830,256千円	297,366千円	7,127,622千円	令和2年度	件数	200件	52件	252件	金額	8,241,146千円	518,458千円	8,759,604千円	年度	工事監察	工事現場パトロール	計	令和元年度	4件	38件	42件	令和2年度	3件	28件	31件	<p>継続</p> <p>法令等に違反する重大な過失及び労働災害の発生もなく、適正な成果物の引渡しを受けることができた。今後も、継続して工事等の品質確保に努めていく。</p>		
年度	区分	工事	業務委託	計																																											
令和元年度	件数	188件	57件	245件																																											
	金額	6,830,256千円	297,366千円	7,127,622千円																																											
令和2年度	件数	200件	52件	252件																																											
	金額	8,241,146千円	518,458千円	8,759,604千円																																											
年度	工事監察	工事現場パトロール	計																																												
令和元年度	4件	38件	42件																																												
令和2年度	3件	28件	31件																																												

事業名	財産管理費				(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)				決算書	62 ページ	担当部課	財務管理部資産経営課																
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																				
		491,505 【496,720】	40,481 【45,675】	82,648 【199,149】		【39,820】		新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設の自動給水栓化事業を実施したこと等による。																				
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	55,610																								
	財産売払収入	3,642	13,693	2,367																								
	一般財源	487,863	26,788	24,671																								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																		
<p>1 普通財産の管理及び処分 土地建物を維持管理するとともに、未利用財産の貸付けを行った。 また、未利用市有地の売却を促進するため、分筆登記や不動産鑑定評価委託をするなど売却条件を整備した。 売却条件整備等 ・ 分筆登記業務委託、不動産鑑定委託ほか 2,368千円 土地売払収入 ・ 法定外公共物売払 10件 2,367千円 土地貸付収入 ・ 法定外公共物使用料 55件 1,075千円 ・ 普通財産貸付収入 87件 7,003千円</p>										継 続	<p>市有地(普通財産)を適正に管理するとともに、貸付けを行った。また、未利用市有地の売却に向けて分筆登記などの必要な準備を進めた。引き続き、売却条件の整備に努めるとともに、未利用市有地の活用に向けた庁内連携を強化し、積極的な情報発信により売却促進に努める。</p>																	
<p>2 入札、契約事務の適正な執行 低入札価格調査制度 ・ 低入札価格調査制度の状況 工事入札 2件(工事入札全体184件のうち1.1%) 総合評価方式(試行) ・ 総合評価方式制度の状況 25件(工事入札全体184件のうち13.6%) 一般競争入札 工事入札状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入札工事全体</td> <td>207件</td> <td>11,855,798,700円</td> <td>184件</td> <td>5,024,466,810円</td> </tr> <tr> <td>うち一般競争入札</td> <td>113件</td> <td>11,340,862,900円</td> <td>85件</td> <td>4,414,608,000円</td> </tr> </tbody> </table>											項目	令和元年度		令和2年度		入札工事全体	207件	11,855,798,700円	184件	5,024,466,810円	うち一般競争入札	113件	11,340,862,900円	85件	4,414,608,000円	継 続	<p>透明かつ公平・公正な制度の運用に努め、適正な入札契約事務を執行した。 「低入札価格調査制度」や「総合評価方式」の運用について、必要に応じ適切な見直しを図っていく。</p>	
項目	令和元年度		令和2年度																									
入札工事全体	207件	11,855,798,700円	184件	5,024,466,810円																								
うち一般競争入札	113件	11,340,862,900円	85件	4,414,608,000円																								

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>3 市公共施設衛生環境向上化事業（自動給水栓化）（新型コロナ対策3- 3）【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の一環として、市公共施設の給水栓について接触感染の防止を図ることを目的とした自動給水栓化工事に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置予定数 81施設 ・ 令和2年度執行額（前払金） 55,610千円 	継続	<p>接触感染防止を図り、利用者の感染機会の低減につなげるため、引き続き市公共施設の自動給水栓化に取り組む。</p>	
<p>（繰越明許費 107,390 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 市公共施設衛生環境向上化事業（自動給水栓化）（新型コロナ対策3- 3） ・ 予算執行率 43.5% ・ 完了時期 令和3年8月 			

事業名		庁舎管理費				（ 2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費 ）				決算書	62 ページ	担当部課	財務管理部資産経営課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
		146,658 【167,620】	138,258 【141,422】	131,694 【140,151】	【136,065】								
財 源 内 訳	使用料	747	815	856									
	国庫補助金	0	0	2,647									
	諸収入	9,392	9,600	10,236									
	一般財源	136,519	127,843	117,955									
主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）											
<p>1 市庁舎等管理業務（市庁舎、大島分庁舎、小杉地区センター）</p> <p>清掃業務や警備業務のほか、電気、空調、衛生、消防等の各種設備の保守点検業務等を実施し、市庁舎等の運営及び維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務委託料 51,316千円 		<p>継続</p> <p>市庁舎は供用開始から4年が経過し、設備機器の修繕等が出始めている。行政サービスの拠点として機能が発揮できるよう、今後とも適時適切な維持管理を行う。</p>											
<p>2 共用飛沫感染防止用アクリル製衝立整備事業（新型コロナ対策3- 4）【交付金】</p> <p>公共施設における新型コロナウイルス感染症対策の一環として、庁舎等窓口カウンターへの固定式アクリル衝立の設置及び会議室等への貸出しが可能な共用衝立を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備台数 175台（市庁舎、大島分庁舎、地区センター、消防署、保健センター） ・ 事業費 3,449千円 		<p>完了</p> <p>透明度が高く、自立可能なアクリル衝立を窓口等に設置し、来庁者とのコミュニケーションを阻害せず、飛沫防止効果を高め、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を図ることができた。</p>											

事業名		布目庁舎費				(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)			決算書	62 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課		
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		5,411	【5,439】	5,121	【5,432】	7,475	【7,877】	【60,023】		経年劣化による設備更新を行ったことによる。				
財 源 内 訳	市債		0		0		1,400							
	一般財源		5,411		5,121		6,075							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)				
1 布目分庁舎別館空調設備更新工事実施設計業務委託 経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新を行うため、実施設計の業務委託を行った。										完了	令和3年度の空調設備更新工事実施に向け、実施設計を行った。			
委託請負業者		履行期間			契約額									
(株)大代設計		令和2年7月8日～11月10日			1,595千円									
2 布目分庁舎別館高圧引込ケーブル更新工事 経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新を行い、安全性の確保を図った。										完了	更新工事を実施したことにより、老朽化を解消し、建物の安全性を確保できた。			
工事請負業者		工 期			契約額									
(一財)北陸電気保安協会		令和2年6月23日～9月30日			988千円									

決算額【予算額】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)
	78,883 【83,400】	65,912 【67,309】	134,055 【148,443】	【66,061】	
財源内訳					令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の4事業を実施したことによる。
国庫補助金	0	0	69,127		
繰入金(基金)	0	3,000	0		
一般財源	78,883	62,912	64,928		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性(担当課意見)

1 市重点事業要望

本市の重点事業を推進するため、国・県に対し要望することにより、事業の進捗に寄与した。

<令和2年度実施(令和3年度分要望)>

区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	合計
要望件数	5件	27件	8件	0件	40件
区分	採択	一部採択	未採択		合計
措置結果	21件	11件	8件		40件

<令和元年度実施(令和2年度分要望)>

区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	合計
要望件数	4件	25件	7件	0件	36件
区分	採択	一部採択	未採択		合計
措置結果	17件	11件	8件		36件

継続

40件の要望に対し、フットボールセンターの整備や「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」の国重要無形民俗文化財指定など21件が採択され、一部採択が11件となるなど、本市の重点事業の推進に効果があった。引き続き国・県に対し要望を実施する。

2 学生が参画するまちづくりの推進

学生のまちづくり推進会議の開催

本市に所在する高等教育機関の学生で組織し、市の魅力を発信するための取組を企画・実施した。

- ・ 委員 11人(富山県立大学、富山福祉短期大学、富山高等専門学校、富山情報ビジネス専門学校)
- ・ いみず学生委員YouTubeチャンネルを開設
- ・ 地域との交流や魅力発見(若い世代が魅力を感じるスポットを提案し合い、現地での撮影や関係者への取材)
- ・ 商店街のPR動画制作(小杉駅北側の旧北陸道)

いみず学生アイデアコンテストの実施

学生の意見を生かした市政を推進するため、射水市の地域課題の解決に向けて学生から提案を募集し、担当課を交えた提案発表を行い、今後の施策の参考とした。

- ・ 提案総数 3点(全てオンライン発表)

指標項目	基準	実績	目標
	平成24年度	令和2年度	令和5年度
市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	19.9%	-	70.0%

継続

学生の目線による本市の魅力発信や地域課題の解決に学生のアイデアを生かすなど、学生との連携によるまちづくりを推進した。引き続き、学生の意見をまちづくりに反映させる。

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）												
<p>3 とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進 とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき、呉西6市で連携を図りながら事業を推進した。 また、第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョン（令和3年度～令和7年度）を令和3年2月に策定した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき行う事業数</td> <td>事業</td> <td>33事業</td> <td>33事業</td> </tr> </tbody> </table>				指標項目	基準	実績	目標	平成27年度	令和2年度	令和5年度	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき行う事業数	事業	33事業	33事業	継続	引き続き、呉西6市との連携を深めながら第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進を図る。
指標項目	基準	実績	目標													
	平成27年度	令和2年度	令和5年度													
とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき行う事業数	事業	33事業	33事業													
<p>4 射水市小杉駅周辺地区まちづくり基本構想策定支援業務委託 令和元年度に実施した基本構想検討業務の成果を踏まえ、小杉駅周辺地区のまちづくりに係る各種計画との整合を図り、小杉駅周辺地区が目指すべきまちづくりの方向性等を明確化するための基本構想を策定した。</p> <p>委託先 (株)新日本コンサルタント 射水営業所 委託期間 令和2年6月10日～令和3年3月19日 委託料 3,850千円</p>				継続	都市計画マスタープラン等各種計画の基本的な考え方を踏まえながら、まちづくりの方向性や整備の在り方を明確にするため、基本構想を策定した。今後は、地区内の歴史的資産や伝統工芸等の文化を積極的に活用するとともに、小杉まちづくり協議会や市内高等教育機関・高等学校、民間事業者とも連携しながら、基本構想に掲げるまちづくり方針の具現化を図り、小杉駅を中心としたにぎわいの創出による地域活性化を推進する。											
<p>5 ふるさと射水学生支援事業（新型コロナ対策1- 1）【交付金】 家計の急変やアルバイトの収入減により経済的に困窮している学生等を支援するため、市内に住所を有し市内の高等教育機関に在学する学生及び本市出身で保護者が市内に在住している学生に対し、市の特産品等を支援物資として送付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 送付対象者 2,312人 事業費 14,673千円（支援物資 12,023千円 送料 2,650千円） 				完了	市内の高等教育機関から1,811件、市外の大学に通う本市出身学生から501件の申請があり、コロナ禍における学生を経済的に支援した。											
<p>6 いみず高校生世代応援事業（新型コロナ対策1- 2）【交付金】 臨時休校等により影響を受けた高校生世代に対し、学業や専門知識の取得を支援するため、射水市在住の高校生世代及び市内高等学校・高等専門学校に在籍する市外在住の生徒に対し、市長メッセージとともに図書カード5千円分を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 贈呈対象者 3,718人 事業費 19,246千円（図書カード 18,590千円 その他費用（送料等） 656千円） 				完了	学習や専門知識の習得のため、市内の高校生世代を支援することにより、知識習得につながった。											
<p>7 指定管理者制度導入施設アフターコロナ対策支援補助金事業（新型コロナ対策2- 1）【交付金】 公共施設利用者の安全確保・利用促進に向け、指定管理者の柔軟な発想を生かした意欲的な取組を迅速に支援した。 （地元インストラクターによるオンラインレッスン、コロナに負けない身体づくり、地元演奏家等による演奏会等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23施設（190千円～1,945千円） 補助金 10,000千円 				完了	コロナ禍で活動が制限されてきたが、新たな事業を実施することにより、外出機会の創出や新たな利用者の掘り起こしにつながった。											

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
8 指定管理者支援金（新型コロナ対策2- 2）【交付金】 臨時休館や外出控えによる指定管理施設の利用の減少に伴う利用料金の減収に対して指定管理者への支援を行った。 ・ 市内公共施設の指定管理者（12施設） ・ 支援金 25,208千円	完了 臨時休館や外出控えによって利用料金収入が減少するなど、施設の運営に支障を来していた指定管理者の支援を通じ、安定的な施設の運営につながった。

事業名	交流推進費				（ 2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費 ）		決算書	63 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
		7,140	【7,558】	9,639	【9,828】	9,602	【11,914】				
財源内訳	諸収入	0		479		487		令和元年度から地域おこし協力隊（国際交流コーディネーター）として任用したことによる。			
	一般財源	7,140		9,160		9,115					

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）											
1 国際交流業務委託 国際交流員により市内小学校での国際理解授業、英会話講座の開催、ケーブルテレビでの国際理解の紹介、翻訳業務を行った。 委 託 先 (株)インタラック関東北 委 託 期 間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委 託 料 5,217千円	継続 市民の国際理解の推進が図られており、今後も事業を継続実施するとともに、事業内容を工夫する。											
2 射水市民国際交流協会補助 語学講座や国際理解講座等の開催 ア 語学講座の開催（英語初級11人、中国語6人、英語中級18人、こども英会話8人、イングリッシュ・チャット19人） イ 日本文化体験交流会の開催（外国人11人、日本人4人） ウ 国際理解講座（台湾編）の開催 80人 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際理解に関する講座に参加した人数</td> <td>39人</td> <td>80人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> （公財）とやま国際センターや富山情報ビジネス専門学校など関係団体との連携 太閤山日本語教室「ワイワイにほんごたいこうやま」への助成	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	国際理解に関する講座に参加した人数	39人	80人	60人	拡充 市民の国際理解の推進が図られており、今後は日本人の国際感覚醸成を図るだけではなく、日本語教室や外国人相談会といった外国人向けの交流イベントの開催など新たな事業を検討する。
指標項目		基準	実績	目標								
	平成25年度	令和2年度	令和5年度									
国際理解に関する講座に参加した人数	39人	80人	60人									
3 台北市土林区との友好協定締結 関連事業費 2,544千円 ・ 富山高等専門学校射水キャンパスと土林区にある東呉大学とのオンライン交流（令和2年12月22日）	継続 今後は、小中学校間の交流や市民による文化交流などの交流を推進していく。											

事業名		移住・定住促進事業費				(2款 総務費 1項 総務管理費 7目 企画費)			決算書	63 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課					
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)											
		19,949 【20,809】	11,131 【14,719】	22,305 【38,781】	【18,404】	地域おこし協力隊(移住コーディネーター)への報酬等及び新型コロナウイルス感染症感染拡大による景気後退、地方移住への機運に対応するための「きららか射水移住・活性化支援事業」を実施したことによる。											
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	14,000													
	県補助金	5,308	1,095	1,157													
	繰入金(基金)	1,350	2,200	2,000													
	一般財源	13,291	7,836	5,148													
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)						
<p>1 移住定住促進事業</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等によりオンラインで開催された移住セミナー等に参加し、移住者等による人口増に向けたPR活動を行った。</p> <p>移住者数 102人(うち県外移住者 31人)</p> <p>移住交流促進事業補助金</p> <p>移住交流施設の管理・運営を行うNPO法人に対して助成した。</p> <p><施設名> 北部地区2施設(ほうじょうづ、さんのう)</p> <p><施設利用者数> (令和2年4月1日～令和3年3月31日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>宿泊日数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2施設</td> <td>137日</td> <td>93人</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。</p> <p>セミナー等の開催</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等によりオンラインで開催されたセミナーに参加し、移住・交流者を招き入れるためのPR活動を行った。</p> <p><参加セミナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とやま暮らしセミナー(第1回～第5回) ・ とやま移住・転職フェア(第1回～第3回) ・ ふるさと回帰フェア2020 ・ 長野・新潟・富山・石川四県合同移住フェア ・ JOIN移住・交流地域おこしフェア2021 <p>県西部6市連携による事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住サポートステーション事業(移住フェアへの参加、オンライン座談会の開催) ・ 地域おこし協力隊ネットワーク形成事業(移住フェアへの参加) ・ 空き家情報バンク共同運営事業(全国版空き家バンクへの登録) 											区分	宿泊日数	利用者数	2施設	137日	93人	<p>新型コロナウイルス感染症の影響等で地方移住への機運が高まってきたが、首都圏や関西圏などへ出向いての移住・定住セミナーは行えず、オンラインでの開催になった。各種施策の実施については、移住窓口だけでなくホームページやSNS等でも積極的に情報発信を行い、移住・定住施策を促進した。今後も、新型コロナウイルス感染症による影響はあると思われるが、更なる定住・定住の促進を図るため、継続的かつ事業を工夫していく。</p> <p>継続</p>
区分	宿泊日数	利用者数															
2施設	137日	93人															

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）									
<p>その他移住・定住支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちの未来創造モデル事業補助金（海老江地区）【県4/10】、（足洗地区）【県5/10】 ・ うちかわ移住者受入モデル地域実行委員会への補助金【県1/2】 ・ 明日の射水を担う若者定住助成金（8件） ・ 全国版空き家バンクへの登録（アットホーム、LIFULL） ・ 住宅金融支援機構と協定 ・ 固定資産税納税通知書に空き家利活用チラシを同封 ・ 空き家対策小冊子を官民連携で作成 ・ きららか射水移住・活性化支援事業（令和2年度）（新型コロナ対策2- 3）【交付金】 <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う景気後退に対応し、住宅用地の購入費並びに市内の空き家を活用した移住者向けの住宅や事務所、店舗等の購入費及び改修費を補助することで、地方移住の促進を図った。</p> <p>土地購入型事業における補助（上限1,000千円）</p> <p>事務所等活用型事業における補助（上限購入4,000千円、賃貸1,000千円）</p> <p><補助実績></p> <table border="1" data-bbox="203 627 909 727"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>補助累計額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地購入型事業</td> <td>6件</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>事務所等活用型事業</td> <td>2件</td> <td>8,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	件数	補助累計額	土地購入型事業	6件	6,000千円	事務所等活用型事業	2件	8,000千円	<p style="text-align: center;">継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等で地方移住への機運が高まってきたが、首都圏や関西圏などへ出向いての移住・定住セミナーは行えず、オンラインでの開催になった。各種施策の実施については、移住窓口だけでなくホームページやSNS等でも積極的に情報発信を行い、移住・定住施策を促進した。今後も、新型コロナウイルス感染症による影響はあると思われるが、更なる定住・定住の促進を図るため、継続的かつ事業を工夫していく。</p>
項目	件数	補助累計額								
土地購入型事業	6件	6,000千円								
事務所等活用型事業	2件	8,000千円								
<p>（繰越明許費 8,000 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 きららか射水移住・活性化支援事業（新型コロナ対策2- 3） ・ 予算執行率 73.6% ・ 完了時期 令和4年3月31日 										

事業名		公共施設跡地利活用事業費（繰越明許）					（ 2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		決算書	63 ページ	担当部課	産業経済部港湾・観光課																				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																										
						342,100【342,373】																														
財 源 内 訳	国庫補助金					103,200																														
	市債					226,100																														
	一般財源					12,800																														
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）																							
<p>1 旧新湊庁舎跡地利活用事業</p> <p>新湊地区のにぎわい創出や地域活性化に向けたまちづくりを推進するため、複合交流施設「クロスベイ新湊」の整備に係る付帯工事（展望階段・展望パーゴラ整備、駐車場整備、大通り整備、防火水槽整備、バスシェルター整備、消雪設備整備等）を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>業者名</th> <th>工事期間</th> <th>契約額</th> <th>特定財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>複合交流施設建築付帯工事</td> <td>大和リース(株) 富山営業所</td> <td>令和元年11月29日～令和2年5月29日</td> <td>107,030千円</td> <td>国2/5</td> </tr> <tr> <td>複合交流施設外構整備工事</td> <td>大和リース(株)</td> <td>令和2年1月15日～6月30日</td> <td>96,800千円</td> <td>国2/5</td> </tr> <tr> <td>公共交通広場外工作物工事</td> <td>大和リース(株) 富山営業所</td> <td>令和2年2月12日～7月17日</td> <td>134,509千円</td> <td>国2/5</td> </tr> </tbody> </table>																	工事名	業者名	工事期間	契約額	特定財源	複合交流施設建築付帯工事	大和リース(株) 富山営業所	令和元年11月29日～令和2年5月29日	107,030千円	国2/5	複合交流施設外構整備工事	大和リース(株)	令和2年1月15日～6月30日	96,800千円	国2/5	公共交通広場外工作物工事	大和リース(株) 富山営業所	令和2年2月12日～7月17日	134,509千円	国2/5
工事名	業者名	工事期間	契約額	特定財源																																
複合交流施設建築付帯工事	大和リース(株) 富山営業所	令和元年11月29日～令和2年5月29日	107,030千円	国2/5																																
複合交流施設外構整備工事	大和リース(株)	令和2年1月15日～6月30日	96,800千円	国2/5																																
公共交通広場外工作物工事	大和リース(株) 富山営業所	令和2年2月12日～7月17日	134,509千円	国2/5																																
													完了	<p>令和2年8月のオープンに向け、関係者と協議を進め、計画的にクロスベイ新湊の整備に係る付帯工事を行った。今後は、施設及び付帯設備等の適切な維持管理に努める。</p>																						

決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)
		178,268【210,700】		497【342,973】		283,759【296,481】				
財 源 内 訳	使用料	一般財源	0	8,168	0	97	8,619	173,339		令和2年度に公共交通広場整備工事等を実施したことによる。
	国庫補助金		0		0		41,516			
	繰入金(基金)		10,000		0		1,000			
	諸収入		0		0		385			
	市債		160,100		400		58,900			

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性(担当課意見)

1 旧新湊庁舎跡地利活用事業

複合交流施設「クロスベイ新湊」及び公共交通広場の整備工事のほか、施設運営に必要な備品等を整備し、令和2年8月1日に竣工式を執り行いオープンした。本施設を拠点としたeスポーツ大会等各種事業を行い、新湊地区のにぎわい創出や地域活性化に資した。

・ 工事費

工事名	業者名	工事期間	契約額	特定財源
公共交通広場整備工事	大和リース(株) 富山営業所	令和2年4月17日～7月17日	103,400千円	国2/5
公共交通広場扉設置工事	大和リース(株) 富山営業所	令和2年6月9日～26日	1,298千円	国2/5
公共交通広場整備付帯工事	大和リース(株)	令和2年9月14日～10月30日	2,970千円	国2/5
公共交通広場区画線設置工事	富山県標識保全(株)	令和3年1月19日～3月12日	1,032千円	国2/5

- ・ 建物賃借料(令和2年5月～令和3年3月) 75,577千円
- ・ 備品購入費 68,220千円
- ・ クロスベイ新湊管理組合負担金 14,232千円

完了

旧新湊庁舎跡地利活用事業については、公共交通広場整備工事等を行い、令和2年8月1日にクロスベイ新湊をオープンすることができた。今後は、施設及び付帯設備等の適切な維持管理に努めるとともに、引き続き、施設を拠点とした地域のにぎわい創出や地域活性化を図っていく。

事業名		連携中枢事業費（広域型大学連携研究事業）				（ 2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		決算書	63 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		1,683 【2,520】		2,224 【2,520】		2,435 【2,520】		【2,520】		広域型大学連携研究事業補助金の申請額及び交付件数の推移による。 平成30年度：4件 令和元年度：5件 令和2年度：5件					
財 源 内 訳	諸収入	1,623		1,844		2,053									
	一般財源	60		380		382									
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 広域型大学連携研究事業 とやま呉西圏域調査研究事業補助金により、大学等が行う地域課題解決に向けた調査研究（5件）に対して支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・ライド・サークルシステム実証実験における利用者データ分析とその横展開可能性の検討 ・ デジタルファブリケーション体験親子教室によるものづくり教育への意識調査 ・ 呉西地区出身者のUターン意識形成メカニズムの解明 ・ 山ぶどうワインの6次産業化を目的とするワインバー開設による地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> - 地域の人々と協働する休耕田と空家の有効利用 - ・ とやま呉西圏域におけるソーシャルデザインの構築に向けたデザイン・ドリブン・イノベーションの実践的調査研究 													継 続		
													呉西圏域内の地域課題の共有と解決に向けた調査研究が行われた。事業完了後、呉西6市の事業担当者を対象とした補助事業報告会を開催し、各市の課題解決への活用や新たな政策立案等の参考とした。今後も事業を継続し、呉西6市の課題解決に取り組むとともに、高等教育機関との連携を更に深める。		

事業名	地方創生推進費		(2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		決算書	63 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				33,860 【47,300】	51,929 【89,267】		【72,759】		地方創生推進交付金事業（高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業）の実施計画に基づく事業の進捗による。			
財 源 内 訳	国庫補助金			16,930	25,726							
	一般財源			16,930	26,203							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業【国1/2】</p> <p>周遊バス運行事業</p> <p>北陸新幹線新高岡駅から新湊地区、そして、あいの風とやま鉄道小杉駅を結ぶ周遊バスを運行し、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を図るため、利用者アンケートを実施するなど情報発信等の効果を検証し、次年度の運行計画策定等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 周遊バス運行业務効果検証及びPR業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)JTBコミュニケーションデザイン 北陸営業局 委託期間 令和2年6月24日～令和3年3月31日 委託料 1,925千円 周遊バス運行业務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 海王交通(株) 委託期間 令和2年6月22日～令和3年3月31日 委託料 10,379千円 <p>商店復興及び活性化事業</p> <p>新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ移動手段として、電気三輪自動車を購入し、ルートや車両の仕様等について検討した。また、新たな商品開発や新規出店を促すため、キッチンカーを購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気三輪自動車購入 <ul style="list-style-type: none"> 購入先 アールアンドスポーツディベロップメント(株) 購入額 9,983千円 電気三輪自動車実証運行検証業務 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 海王交通(株) 委託期間 令和2年7月7日～令和3年3月18日 委託料 7,500千円 キッチンカーの購入 <ul style="list-style-type: none"> 購入先 (株)CANTEEN STATION 購入額 13,970千円 										<p>継続</p> <p>地方創生推進交付金を活用した5か年（令和元年度～令和5年度）事業の2年度目として、新高岡駅からクロスベイ新湊、あいの風とやま鉄道小杉駅等を結ぶ周遊バスの実証運行のほか、電気三輪自動車（べいぐるん）2台の導入、キッチンカーの購入等と合わせて地域のにぎわい創出に向けた取組を実施した。引き続き、クロスベイ新湊を中心とした地域のにぎわい創出や活性化を図る取組を推進する。</p>		

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>観光案内拠点整備事業 クロスベイ新湊を拠点にレンタサイクルを設置するため、サイクルステーション等設置工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> サイクルステーション等設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 富山県標識保全(株) 工事期間 令和2年12月25日～令和3年2月26日 契約額 1,287千円 	継続	引き続き、クロスベイ新湊を中心とした地域のにぎわい創出や活性化を図る取組を推進する。	

事業名	電算管理費（繰越明許）				（ 2款 総務費 1項 総務管理費 8目 行政情報推進費 ）				決算書	64 ページ	担当部課	財務管理部総務課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）						
財源内訳	国庫補助金			2,096 【2,096】								
	一般財源			927								
				1,169								

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 令和2年6月データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修【国2/3】 社会保障・税番号制度の運用に伴い、他自治体や行政機関と情報連携を行うため必要な情報が格納された副本のデータ標準レイアウトが、法改正等により改版されるのに伴い、母子保健システム及び統合宛名システムを改修した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年6月データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修業務（母子保健システム） <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)インテック 委託期間 令和元年12月27日～令和2年7月31日 委託料 1,392千円 令和2年6月データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修業務（統合宛名システム） <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)インテック 委託期間 令和2年1月30日～7月31日 委託料 704千円 	完了	データ標準レイアウトの改版は、毎年予定されており、今後も改版が示されれば対応する。	

事業名	電算管理費		(2款 総務費		1項 総務管理費		8目 行政情報推進費		決算書	63 ページ	担当部課	財務管理部総務課												
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
			221,879 【229,422】	230,291 【237,516】	283,958 【288,877】	【247,502】		国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、庁舎のWi-Fi環境の構築、テレワーク環境及びテレビ会議システムを導入し、密を避ける職場環境の構築を図ったことによる。																
財 源 内 訳	国庫補助金		0	2,456	33,973																			
	国庫委託金		0	17,278	0																			
	県補助金		0	2,391	3,267																			
	一般財源		221,879	208,166	246,718																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）														
1 RPA利活用事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 自治体行政スマートプロジェクト（総務省事業）5業務、市単独 5業務 令和2年度 市単独 3業務 										拡 充	RPAの活用により、13業務で年間2,791時間（59.7%）の業務時間の削減が見込まれる結果となった。今後もRPA対象業務を拡充し、業務効率化に取り組む。													
2 自治体クラウドの推進 <ul style="list-style-type: none"> 基幹業務系クラウド：住民票、税、福祉など27業務（平成27年7月導入） 内部業務系クラウド：財務会計、契約管理など7業務（平成28年4月導入） 情報セキュリティクラウド（平成29年4月導入） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治体クラウド導入システム数</td> <td>0業務</td> <td>35業務</td> <td>36業務</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	自治体クラウド導入システム数	0業務	35業務	36業務	拡 充	自治体クラウドの導入により、経費の削減と高度なセキュリティ対策を行った。今後も自治体クラウドシステム数の拡大に取り組む。	
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
自治体クラウド導入システム数	0業務	35業務	36業務																					
3 ICカードの多目的利用 <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度 コンビニ交付サービス 平成29年度 子育てワンストップサービス、図書館利用カードの統合 平成30年度 自治体ポイントサービス（令和2年9月終了） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICカードの多目的利用業務数</td> <td>0業務</td> <td>3業務</td> <td>10業務</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	ICカードの多目的利用業務数	0業務	3業務	10業務	拡 充	マイナポイント事業や健康保険証としての活用により、個人番号カード所有者の増加が見込まれることから、引き続き市民生活の利便性向上を図るため、サービスの充実に取り組む。		
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
ICカードの多目的利用業務数	0業務	3業務	10業務																					

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>4 テレワーク、テレビ会議システム等導入（新型コロナ対策3- 5）【交付金】</p> <p>職員における3密を避けたワーキングスペースを確保するため、市庁舎及び市出先施設にWi-Fi環境、テレワーク環境、テレビ会議システム等を整備した。</p> <p>庁内Wi-Fi整備</p> <p>市庁舎及び大島分庁舎、布目分庁舎、市民病院、射水消防署、新湊消防署、保健センターの7施設にWi-Fi環境を整備</p> <p>委託先 西日本電信電話(株) 富山支店</p> <p>委託期間 令和2年8月3日～9月30日</p> <p>委託料 13,178千円</p> <p>テレビ会議システム</p> <p>市庁舎、大島分庁舎、布目分庁舎、射水消防署、市民病院の5拠点を結ぶテレビ会議システム及び同時30台をつなぐWeb会議システム並びに周辺機器整備</p> <p>委託先 西日本電信電話(株) 富山支店</p> <p>委託期間 令和2年9月9日～10月2日</p> <p>委託料 5,648千円</p> <p>タブレット端末整備</p> <p>ペーパーレス会議及びテレビ会議システムに対応したパソコン90台を整備</p> <p>備品購入費 13,860千円</p> <p>テレワーク環境整備、分散勤務等LAN整備</p> <p>テレワーク用ソフトライセンス及び分散勤務室のLAN配線経費</p> <p>消耗品等 1,287千円</p>	<p>完了</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、密にならない職場環境を構築できた。今後も新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、必要があれば対応する。</p>
<p>（繰越明許費 440千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名 令和3年6月データ標準レイアウト改版に伴う統合宛名システムの改修 ・予算執行率 99.8% ・完了時期 令和3年6月 	

事業名	行財政改革等推進費		(2款 総務費		1項 総務管理費		9目 行財政改革等推進費		決算書	64 ページ	担当部課	企画管理部人事課																					
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																								
			7,903 【10,335】	3,988 【4,324】	2,251 【2,376】		【2,530】		令和元年度はR P Aの実証実験を実施したことによる。																								
財 源 内 訳	繰入金(基金)		7,000	0	0																												
	一般財源		903	3,988	2,251																												
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																							
<p>1 公共施設個別施設計画の策定</p> <p>地域振興会連合会理事会での概要説明や市民説明会を開催するなど、市民との情報共有を図りながら、公共施設の今後13年間の方向性等を取りまとめた「射水市公共施設個別施設計画」を令和3年3月に策定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域振興会連合会理事会での概要説明 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>場 所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年1月22日 午後3時30分～</td> <td>救急薬品市民交流プラザ</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 市民向け説明会 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日 時</th> <th>場所等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年2月6日 午前10時～</td> <td>クロスベイ新湊</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月6日 午後2時～</td> <td>オンライン会議方式</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月7日 午前10時～</td> <td>救急薬品市民交流プラザ</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>										日 時	場 所	参加者数	令和3年1月22日 午後3時30分～	救急薬品市民交流プラザ	25人	日 時	場所等	参加者数	令和3年2月6日 午前10時～	クロスベイ新湊	70人	令和3年2月6日 午後2時～	オンライン会議方式	25人	令和3年2月7日 午前10時～	救急薬品市民交流プラザ	40人	完了			<p>各施設の方向性の実施時期や選択肢等をより具体的に示すことができた。</p> <p>今後は個別施設計画の進捗管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画の見直しを行う。</p>		
日 時	場 所	参加者数																															
令和3年1月22日 午後3時30分～	救急薬品市民交流プラザ	25人																															
日 時	場所等	参加者数																															
令和3年2月6日 午前10時～	クロスベイ新湊	70人																															
令和3年2月6日 午後2時～	オンライン会議方式	25人																															
令和3年2月7日 午前10時～	救急薬品市民交流プラザ	40人																															

事業名		地域振興費				(2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費)				決算書	64 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課												
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)															
		6,855 【7,099】		11,476 【11,702】		18,930 【19,988】		【17,471】		公民館建設等補助金の交付件数の推移による。															
財源内訳	諸収入	0		0		15,100																			
	一般財源	6,855		11,476		3,830																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)															
<p>1 射水市地域振興会連合会補助金 射水市地域振興会連合会の運営に対して補助を行い、富山県自治会連合会及び各地域振興会との連絡調整の円滑化、活力ある地域づくりの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市地域振興会連合会総会 開催日：令和2年5月22日(書面表決) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会加入率</td> <td>85.0%</td> <td>79.6%</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	自治会加入率	85.0%	79.6%	90.0%	継続	射水市地域振興会連合会の活動を通じて、地域振興会相互の連携及び関係諸団体との連絡協力を強化し、活力ある地域活動の推進に寄与することができた。今後も地域の発展及び活力ある地域社会の実現に取り組んでいく。			
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																						
自治会加入率	85.0%	79.6%	90.0%																						
<p>2 公民館建設等補助金 自治会等が社会教育及び地域活動の振興を図るため、その拠点となる集会施設の建設等に要する経費に対して補助を行い、自治会活動の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築 0件 (令和元年度 新築 3件) 増改築 0件 (令和元年度 増改築 0件) 修繕 5件 (令和元年度 修繕 2件) <p>一般社団法人自治総合センターからの助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築 1件 備品整備 1件 										継続	集会施設の建設等に対して補助を行うことで自治会活動の拠点整備を支援することができた。今後も支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。														
<p>3 自治会掲示板設置等補助金 自治会が地域住民へ各種周知広報を行うため、掲示板の設置への補助を行い、円滑な自治会活動の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1件当たり1/3補助 限度額4万円 2件 (令和元年度 2件) 										継続	掲示板設置への補助を行うことで地域住民への広報が円滑になり、自治会活動の推進に寄与することができた。今後も支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。														

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		129,151 【129,746】	130,349 【131,205】	130,502 【133,972】	【132,386】	
財 源 内 訳	繰入金（基金）	88,000	78,500	118,000		
	一般財源	41,151	51,849	12,502		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

<p>1 地域型市民協働事業交付金 27地区の地域振興会に交付金を交付し、地域の課題解決に向けた各種事業の取組を推進した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域型市民協働事業の取組事業数</td> <td>31件</td> <td>37件</td> <td>40件</td> </tr> </tbody> </table>	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	地域型市民協働事業の取組事業数	31件	37件	40件	継続	<p>各種事業を推進し、地域の実情に合った協働事業を実施することができた。今後も協働事業の更なる活性化に取り組んでいく。</p>							
指標項目		基準	実績	目標																
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																	
地域型市民協働事業の取組事業数	31件	37件	40件																	
<p>2 地域提案型市民協働事業補助金 地域による自主的なまちづくりを支援するため、地域振興会の自由な発想を生かした事業を採択し、協働のまちづくりを推進した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>団体名</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童・地域住民で作る多目的芝生広場</td> <td>堀岡地域振興会</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦</td> <td>戸破地域振興会</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>黒河地区竹林環境整備事業</td> <td>黒河地域振興会</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>振り返る未来研究会</td> <td>放生津地域振興会</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>次世代に残そう！地域の祭囃子</td> <td>大門地域振興会</td> <td>新規</td> </tr> </tbody> </table> <p>放生津地域振興会提案事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により取下げ 大門地域振興会提案事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により休止。令和3年度取下げ</p>	事業名	団体名	区分	児童・地域住民で作る多目的芝生広場	堀岡地域振興会	継続	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	戸破地域振興会	継続	黒河地区竹林環境整備事業	黒河地域振興会	継続	振り返る未来研究会	放生津地域振興会	新規	次世代に残そう！地域の祭囃子	大門地域振興会	新規	継続	<p>地域が抱える問題やテーマを解決し、地域に合ったまちづくりを推進できる協働事業を実施することができた。今後も、地域の自主性を尊重した協働のまちづくりを推進していく。</p>
事業名	団体名	区分																		
児童・地域住民で作る多目的芝生広場	堀岡地域振興会	継続																		
小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	戸破地域振興会	継続																		
黒河地区竹林環境整備事業	黒河地域振興会	継続																		
振り返る未来研究会	放生津地域振興会	新規																		
次世代に残そう！地域の祭囃子	大門地域振興会	新規																		
<p>3 公募提案型市民協働事業補助金 各種団体の専門性・先駆性などの特性を生かした提案を採択し、協働のまちづくりを推進した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵（里山）魅力発信～</td> <td>一般社団法人 金山里山の会</td> </tr> <tr> <td>FUKUTAN健康寿命延伸プロジェクト</td> <td>富山福祉短期大学</td> </tr> </tbody> </table> <p>富山福祉短期大学提案事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により取下げ</p>	事業名	団体名	若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵（里山）魅力発信～	一般社団法人 金山里山の会	FUKUTAN健康寿命延伸プロジェクト	富山福祉短期大学	継続	<p>提案団体の特性を生かした、地方創生につながる協働事業を実施することができた。今後もより効果的な事業の実施方法について検討しながら、協働事業の活性化に取り組む。</p>												
事業名	団体名																			
若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵（里山）魅力発信～	一般社団法人 金山里山の会																			
FUKUTAN健康寿命延伸プロジェクト	富山福祉短期大学																			

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>4 協働のまちづくりを担う人材の育成</p> <p>射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～ まちづくりへの関心を高める事業を実施し、担い手となる人材の発掘・育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 3回、参加者数 延べ75人 <p>射水まちづくりセミナー まちづくりに役立つスキル等を学ぶ機会を提供し、まちづくり実践者のスキルアップやネットワーク形成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 3回、参加者数 延べ40人 <p>NPO法人等連携強化事業 多様な主体による市民協働のまちづくりを推進し、射水市内で活動するNPO法人及びまちづくり関係団体を対象として連携の強化を図った。</p> <p>ア まちづくり関係団体連絡会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施回数 2回、参加者数 延べ44人（参加者団体 延べ40団体） <p>イ 射水まちづくり関係団体活動展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日：令和3年3月6日～3月25日 ・ 出展団体 15団体 	<p>継続</p> <p>まちづくりについて考え、参画するきっかけを参加者に提供することができた。今後も、多様な担い手による協働のまちづくりを推進するため、まちづくり実践者のネットワーク形成にも取り組んでいく。</p>

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		165,758 【166,648】	158,178 【161,841】	162,486 【164,971】	【165,006】	
財 源 内 訳	使用料	662	669	657		
	寄附金	300	0	0		
	繰入金（基金）	0	0	120,000		
	諸収入	551	90	108		
	一般財源	164,245	157,419	41,721		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

1 コミュニティセンターの指定管理

27施設のうち24施設について、指定管理者制度を導入し（改修等で直営に一旦戻した施設を含む。）、各地域振興会が地域の実情に合わせ、効果的、効率的に施設の管理運営を行っている。令和2年度末で指定管理期間終了となる3施設について更新を行い、併せて新規となる1施設についても協議を行った。

<指定管理者導入施設>

導入年度	施設名（コミュニティセンター）
平成23年度	新湊、本江、三ヶ、南太閤山
平成24年度	放生津、戸破、橋下条、金山、大江、池多、浅井、櫛田、大島、下村
平成25年度	海老江、七美、黒河、中太閤山
平成26年度	塚原
平成27年度	二口
平成28年度	庄西、太閤山
平成30年度	水戸田、片口

継続

指定管理者である各地域振興会と協議しながら、円滑な施設の管理運営を行うことができた。
また、令和3年度から新たに1施設を指定管理とすることとしている。
今後も施設の新築、改修等により直営となっている施設について、指定管理者制度を導入していく。

事業名		コミュニティセンター整備事業費（繰越明許）（ 2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費 ）					決算書	65 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課																										
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																													
財 源 内 訳	市債			426,106 【426,586】																																
	一般財源			392,100																																
				34,006																																
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																												
<p>1 本江コミュニティセンターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造：鉄骨造 平屋建 延床面積：867.70m² <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th colspan="2">契約額 (うち令和2年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>北海工業・米田木材JV</td> <td>令和元年6月27日～令和2年6月30日</td> <td colspan="2">370,590千円 (167,170千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>(株)小杉光電社</td> <td>令和元年5月15日～令和2年6月30日</td> <td colspan="2">35,189千円 (14,349千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>(株)北野テック</td> <td>令和元年5月15日～令和2年6月30日</td> <td colspan="2">29,260千円 (17,770千円)</td> </tr> <tr> <td>改築工事監理</td> <td>北野建築設計事務所</td> <td>令和元年5月20日～令和2年7月15日</td> <td colspan="2">9,735千円 (9,735千円)</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)		建築主体	北海工業・米田木材JV	令和元年6月27日～令和2年6月30日	370,590千円 (167,170千円)		電気設備	(株)小杉光電社	令和元年5月15日～令和2年6月30日	35,189千円 (14,349千円)		機械設備	(株)北野テック	令和元年5月15日～令和2年6月30日	29,260千円 (17,770千円)		改築工事監理	北野建築設計事務所	令和元年5月20日～令和2年7月15日	9,735千円 (9,735千円)		完了	本江コミュニティセンターの整備を行った。		
業者名		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)																																	
建築主体	北海工業・米田木材JV	令和元年6月27日～令和2年6月30日	370,590千円 (167,170千円)																																	
電気設備	(株)小杉光電社	令和元年5月15日～令和2年6月30日	35,189千円 (14,349千円)																																	
機械設備	(株)北野テック	令和元年5月15日～令和2年6月30日	29,260千円 (17,770千円)																																	
改築工事監理	北野建築設計事務所	令和元年5月20日～令和2年7月15日	9,735千円 (9,735千円)																																	
<p>2 下村コミュニティセンターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造：鉄骨造 平屋建 延床面積：779.68m² <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th colspan="2">契約額 (うち令和2年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>くみあい建設・永森建設工業JV</td> <td>令和元年6月27日～令和2年3月25日</td> <td colspan="2">233,200千円 (94,980千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>(有)松井電機工業所</td> <td>令和元年5月21日～令和2年3月25日</td> <td colspan="2">28,710千円 (28,710千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>(株)織田</td> <td>令和元年5月21日～令和2年3月25日</td> <td colspan="2">39,270千円 (23,850千円)</td> </tr> <tr> <td>改築工事監理</td> <td>一級建築士事務所 林博アトリエ</td> <td>令和元年6月11日～令和2年3月30日</td> <td colspan="2">9,108千円 (9,108千円)</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)		建築主体	くみあい建設・永森建設工業JV	令和元年6月27日～令和2年3月25日	233,200千円 (94,980千円)		電気設備	(有)松井電機工業所	令和元年5月21日～令和2年3月25日	28,710千円 (28,710千円)		機械設備	(株)織田	令和元年5月21日～令和2年3月25日	39,270千円 (23,850千円)		改築工事監理	一級建築士事務所 林博アトリエ	令和元年6月11日～令和2年3月30日	9,108千円 (9,108千円)		完了	下村コミュニティセンターの整備を行った。		
業者名		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)																																	
建築主体	くみあい建設・永森建設工業JV	令和元年6月27日～令和2年3月25日	233,200千円 (94,980千円)																																	
電気設備	(有)松井電機工業所	令和元年5月21日～令和2年3月25日	28,710千円 (28,710千円)																																	
機械設備	(株)織田	令和元年5月21日～令和2年3月25日	39,270千円 (23,850千円)																																	
改築工事監理	一級建築士事務所 林博アトリエ	令和元年6月11日～令和2年3月30日	9,108千円 (9,108千円)																																	

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）		
3 七美コミュニティセンターの整備 ・ 構造：鉄骨造 2階建 ・ 延床面積：929.49㎡			完了	七美コミュニティセンターの設計及び敷地造成を行った。	
業者名		工期			契約額 (うち令和2年度支出額)
基本・実施設計	北野建築設計事務所	令和元年8月23日～令和2年6月25日			23,948千円 (23,948千円)
敷地造成		(株)タケウチ工業	令和元年12月9日～令和2年4月30日	20,640千円 (20,640千円)	
4 大島コミュニティセンターの整備 ・ 構造：鉄筋コンクリート造 4階建 ・ 延床面積：2,168.90㎡			完了	大島コミュニティセンターの設計を行った。	
業者名		工期			契約額 (うち令和2年度支出額)
実施設計	(株)大代設計	令和元年7月31日～令和2年6月15日			9,460千円 (9,460千円)

事業名		コミュニティセンター整備事業費 (2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費)				決算書	65 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課																					
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																								
		40,694 【40,695】	460,222 【899,342】	618,332 【999,686】	【0】	七美・大島・下村コミュニティセンター整備工事費を執行したことによる。																								
財 源 内 訳	寄附金	0	0	20,000																										
	市債	26,900	429,200	566,800																										
	一般財源	13,794	31,022	31,532																										
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																						
<p>1 七美コミュニティセンターの整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造：鉄骨造 2階建 延床面積：929.49m² <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th>契約額 (うち令和2年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>北海工業・米田木材JV</td> <td>令和2年12月24日～令和3年10月29日</td> <td>314,600千円 (125,840千円)</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>(株)フジノ電設工業</td> <td>令和2年10月28日～令和3年10月29日</td> <td>45,650千円 (18,260千円)</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>織田・丸芳工業JV</td> <td>令和2年11月13日～令和3年10月29日</td> <td>53,020千円 (21,200千円)</td> </tr> <tr> <td>新築工事監理</td> <td>北野建築設計事務所</td> <td>令和2年12月15日～令和3年11月15日</td> <td>10,340千円 (0千円)</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)	建築主体	北海工業・米田木材JV	令和2年12月24日～令和3年10月29日	314,600千円 (125,840千円)	電気設備	(株)フジノ電設工業	令和2年10月28日～令和3年10月29日	45,650千円 (18,260千円)	機械設備	織田・丸芳工業JV	令和2年11月13日～令和3年10月29日	53,020千円 (21,200千円)	新築工事監理	北野建築設計事務所	令和2年12月15日～令和3年11月15日	10,340千円 (0千円)	継続		七美コミュニティセンターの整備を行った。令和3年11月の完成を見込む。
業者名		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)																											
建築主体	北海工業・米田木材JV	令和2年12月24日～令和3年10月29日	314,600千円 (125,840千円)																											
電気設備	(株)フジノ電設工業	令和2年10月28日～令和3年10月29日	45,650千円 (18,260千円)																											
機械設備	織田・丸芳工業JV	令和2年11月13日～令和3年10月29日	53,020千円 (21,200千円)																											
新築工事監理	北野建築設計事務所	令和2年12月15日～令和3年11月15日	10,340千円 (0千円)																											
<p>2 大島コミュニティセンターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造：鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積：2,168.90m² <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th>契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築主体</td> <td>くみあい建設・永森建設工業JV</td> <td>令和2年6月24日～令和3年3月31日</td> <td>247,500千円</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>萬葉電気工事(有)</td> <td>令和2年8月6日～令和3年3月31日</td> <td>38,294千円</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>システムホリタ・丸芳工業JV</td> <td>令和2年8月24日～令和3年3月31日</td> <td>73,531千円</td> </tr> <tr> <td>改修工事監理</td> <td>(株)大代設計</td> <td>令和2年6月16日～令和3年3月31日</td> <td>7,700千円</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額	建築主体	くみあい建設・永森建設工業JV	令和2年6月24日～令和3年3月31日	247,500千円	電気設備	萬葉電気工事(有)	令和2年8月6日～令和3年3月31日	38,294千円	機械設備	システムホリタ・丸芳工業JV	令和2年8月24日～令和3年3月31日	73,531千円	改修工事監理	(株)大代設計	令和2年6月16日～令和3年3月31日	7,700千円	継続		大島コミュニティセンターの整備を行った。令和3年度に既存コミュニティセンターの解体と外構工事等を行う。
業者名		工期	契約額																											
建築主体	くみあい建設・永森建設工業JV	令和2年6月24日～令和3年3月31日	247,500千円																											
電気設備	萬葉電気工事(有)	令和2年8月6日～令和3年3月31日	38,294千円																											
機械設備	システムホリタ・丸芳工業JV	令和2年8月24日～令和3年3月31日	73,531千円																											
改修工事監理	(株)大代設計	令和2年6月16日～令和3年3月31日	7,700千円																											
<p>3 下村コミュニティセンターの外構工事等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">業者名</th> <th>工期</th> <th>契約額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外構工事</td> <td>分家工業(株)</td> <td>令和2年9月16日～令和3年3月17日</td> <td>33,487千円</td> </tr> <tr> <td>旧下庁舎解体</td> <td>竹沢建設(株)</td> <td>令和2年7月13日～11月10日</td> <td>26,730千円</td> </tr> </tbody> </table>								業者名		工期	契約額	外構工事	分家工業(株)	令和2年9月16日～令和3年3月17日	33,487千円	旧下庁舎解体	竹沢建設(株)	令和2年7月13日～11月10日	26,730千円	完了		下村コミュニティセンターの外構工事等を行った。								
業者名		工期	契約額																											
外構工事	分家工業(株)	令和2年9月16日～令和3年3月17日	33,487千円																											
旧下庁舎解体	竹沢建設(株)	令和2年7月13日～11月10日	26,730千円																											

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（繰越明許費 381,316 千円） ・ 事業名 七美コミュニティセンターの整備（事業費 284,301千円） 大島コミュニティセンターの整備（事業費 97,015千円） ・ 予算執行率 61.9% ・ 完了時期 令和3年11月 令和4年3月	

事業名	交通安全対策費	（ 2款 総務費 1項 総務管理費 12目 交通安全対策費 ）				決算書	65 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
		7,718 【7,995】	7,759 【8,364】	7,743 【8,591】	【7,660】				
財源内訳	県補助金	502	365	470					
	一般財源	7,216	7,394	7,273					

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）
1 交通安全教室の開催【県】 広く市民を対象とした交通安全教室を64回開催し、交通安全知識の普及及び交通安全意識の高揚を図った。					継続 人身事故の件数は目標値を達成できなかったが、死者数の件数に関しては目標値を達成することができた。今後も交通事故の減少を目指し、各種交通安全対策を継続していく。新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全教室受講者数が例年と比較して大幅な減少となった。
指標項目		基準	実績	目標	
		平成25年度	令和2年度	令和5年度	
交通事故件数（人身事故） / 死者数		405件 7人	237件 2人	200件以内 2人以内	
指標項目		基準	実績	目標	
		平成25年度	令和2年度	令和5年度	
交通安全教室受講者数		4,366人	1,660人	10,000人	

事業名	地域交通対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		13目 地域交通対策費		決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課		
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			35,286 【37,227】		32,282 【32,746】		38,183 【40,006】		【46,604】		新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策等の支援を行ったことによる。			
財 源 内 訳	使用料	一般財源	169	32,908	165	28,804	167	36,290						
	手数料		623		568		0							
	国庫補助金		0		2,014		0							
	県補助金		1,485		611		1,622							
	諸収入		101		120		104							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 小杉駅南口駅舎管理運営事業 鉄道利用者の利便を図るため、小杉駅南口駅舎の管理運営を行った。												継続	令和元年度から、改札業務をあいの風とやま鉄道(株)に移管した。今後も待合室やエレベーター、トイレ等の管理を継続し、利用者の利便性を確保する。	
2 コミュニティバス等再編プラン策定業務【県1/3】 射水市地域公共交通網形成計画の重点実施プロジェクトに位置づけた、コミュニティバス及びデマンドタクシーの路線再編に向け、「射水市コミュニティバス等再編プラン」を策定した。 委託先 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所 委託期間 令和2年6月17日～令和3年3月31日 委託料 3,611千円												完了	現状の分析や課題の整理を踏まえ、効率的で利便性の高い持続可能な公共交通網の構築につながる再編プランが策定できた。 令和3年度以降、策定したプランを着実に実施していくとともに、出前講座等を通じて再編後の路線の利用促進に取り組んでいく。	
3 経営安定基金 並行在来線の第三セクター会社（あいの風とやま鉄道(株)）に係る開業後の安全対策等への投資や運賃値上げの抑制等、利用者の利便性の確保を図るための拠出を行った。												継続	今後も並行在来線の利用者の利便性の確保と運営会社の経営安定化に資するため、負担金を拠出する。	
4 公共交通感染防止運行協力支援事業（新型コロナ対策2- 4）【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、市内を運行する路線バス事業者（3社）に対して、平日ラッシュ時の本数を維持し、3密を避けるための費用を支援した。 ・ 事業費 1,313千円												完了	減便を行わず通常の本数を維持したことで、通学・通勤時間帯における車内の密が緩和され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が図られた。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>5 タクシー事業者支援事業（新型コロナ対策2- 5）【交付金】 市内を運行するタクシー事業者（4社）の事業継続のため、車両の維持に係る経費を支援した。 ・ 事業費 2,050千円</p>	完了	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により経営に大きな影響が生じたタクシー事業者に対して、車両の維持費を支援したことで、事業継続の一助となった。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。</p>
<p>6 地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業（新型コロナ対策2- 6）【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、市内を運行する路線バス事業者（3社）に対して、車内の密度を上げないよう配慮した実証運行に係る費用を補助した。 ・ 事業費 1,218千円</p>	完了	<p>感染症対策を行った上で、車内の密度を上げないよう配慮した実証運行に要する費用を支援したことで、感染拡大防止が図られた。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。</p>

事業名		コミュニティバス運行費				(2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費)			決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課								
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)														
		273,071【284,597】	280,526【298,540】	292,967【298,251】	【284,730】	コミュニティバス運行事業者を対象に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る支援を行ったことによる。														
財源内訳	国庫補助金	0	357	393																
	県補助金	26,002	23,933	26,246																
	繰入金(基金)	209,548	100,000	248,000																
	諸収入	1,207	1,160	1,735																
一般財源		36,314	155,076	16,593																
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)									
1 コミュニティバス及びデマンドタクシー運行事業【県】 コミュニティバス19路線(うち冬期のみ4路線)の運行とデマンドタクシーの運行(大門・大島地区)を実施した。											見直し	令和2年4月1日にダイヤ改正を行い、鉄道との接続を改善するなど利便性の向上を図った。また、令和2年度に策定したコミュニティバス等再編プランに基づき、路線の再編とダイヤ改正、デマンドタクシーの運行エリアの見直し等を行う。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティバス等乗車人数</td> <td>395,608人</td> <td>337,376人</td> <td>450,000人</td> </tr> </tbody> </table>				指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度			コミュニティバス等乗車人数	395,608人	337,376人	450,000人				
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																	
コミュニティバス等乗車人数	395,608人	337,376人	450,000人																	
2 公共交通感染防止運行協力支援事業(新型コロナ対策2-7)【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、コミュニティバス運行事業者(3社)に対して、平日ラッシュ時の運行本数を維持し3密を避けるための費用を支援した。 ・ 事業費 2,960千円											完了	減便を行わず通常の本数を維持したことで、通学・通勤時間帯における車内の密が緩和され、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が図られた。 今後については、感染状況等により、支援の実施を検討する。								
3 地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業(新型コロナ対策2-8)【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、コミュニティバス運行事業者(3社)に対して、抗菌・抗ウイルス効果のある光触媒の車内コーティングに要する経費を補助した。 ・ 事業費 1,068千円											完了	利用者の不安を緩和しコミュニティバスの利用促進と新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が図られた。								

事業名		万葉線対策費(繰越明許)				(2款 総務費 1項 総務管理費 13目 地域交通対策費)			決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
				33,333【35,053】								
財源内訳	市債			33,300								
	一般財源			33								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 万葉線維持対策補助金交付事業 万葉線(株)に対して、庄川・内川橋梁補修の補助を行い、運行の安全性の向上を図った。 ・ 鉄道施設総合安全対策事業費補助金											継続	万葉線運行の安全性の向上が図られた。今後も引き続き、施設整備等の支援を行っていく。

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)
		97,087【97,302】	89,984【125,044】	82,727【106,670】	【95,675】	
財 源 内 訳	市債	34,800	27,000	22,900		
	一般財源	62,287	62,984	59,827		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性(担当課意見)

1 万葉線維持対策補助金交付事業

万葉線(株)に対して、施設整備や運行費用の補助を行い、万葉線の利便性の向上及び利用促進を図った。

鉄道施設総合安全対策事業費補助金

- ・ 線路設備〔重軌条化〕(中新湊 - 東新湊間)
- ・ 輸送設備〔ゲージタイ設置〕(越ノ潟 - 海王丸間、能町口-米島口間)
- ・ 無線設備〔列車無線設備の更新〕(本社基地局、車両移動局)

車両保存費補助金

- ・ 動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置等、重要な装置の定期検査

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業対象外補助金

- ・ 1000形車両車輪交換、高岡駅電子連動装置部品交換

万葉線運行費補助金

- ・ 万葉線事業者の負担を軽減し、万葉線の運営安定化を図った。

ICカード整備事業費補助金

- ・ ICカードの導入検討、車両冷房化に併せて交流電源装置を設置

万葉線安全運行対策補助金

- ・ 不良枕木交換、内川橋梁鉄塔塗装、踏切設備交換ほか

年度別利用者数

区分	年間乗車人数	対前年比
平成28年度	1,155,508人	97.5%
平成29年度	1,194,668人	103.4%
平成30年度	1,192,041人	99.8%
令和元年度	1,135,583人	95.3%
令和2年度	804,244人	70.8%

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。

継続

施設整備や運行費用の補助により、万葉線の安全運行や利便性向上、運営会社の経営安定化が図られた。今後も引き続き支援していく。

事業名		防犯対策費				(2款 総務費 1項 総務管理費 14目 防犯対策費)				決算書	66 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課																	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																				
		5,838	【5,912】	6,186	【6,273】	8,668	【9,019】	【8,520】		グリーンパークだいもん等に防犯カメラ設置工事を実施したことによる。																				
財 源 内 訳	手数料	0		0		601																								
	一般財源	5,838		6,186		8,067																								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																				
<p>1 防犯対策事業</p> <p>広く市民を対象とした防犯意識の普及啓発活動に加え、青色回転灯装着車によるパトロールの実施・支援や自主防犯組織の育成・支援を行うなど、地域が主体となった防犯活動を支援し、犯罪のない安心で安全なまちづくりを推進した。</p> <p>また、グリーンパークだいもん等、市内の6か所（7台）に防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止及び体感治安の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 青色回転灯防犯パトロール活動団体 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>車両台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度末</td> <td>22団体</td> <td>23台</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>犯罪発生件数（刑法犯認知件数）</td> <td>517件</td> <td>275件</td> <td>400件以内</td> </tr> </tbody> </table>											団体数	車両台数	令和2年度末	22団体	23台	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	517件	275件	400件以内	<p>継続</p> <p>継続した防犯活動により、犯罪発生件数は目標値を達成することができた。今後も体感治安の向上に向け、関係諸団体と連携し、犯罪の未然防止に配慮した防犯対策を継続していく。</p>			
	団体数	車両台数																												
令和2年度末	22団体	23台																												
指標項目	基準	実績	目標																											
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																											
犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	517件	275件	400件以内																											

事業名		防災対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		15目 防災対策費		決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部総務課						
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				44,982 【46,245】		31,825 【34,334】		60,620 【62,790】		【31,783】		新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設のための備蓄品、資機材等の購入による。							
財 源 内 訳	使用料	一般財源	2	42,980	2	29,880	2	35,776											
	国庫補助金		0		0		22,842												
	県負担金		0		843		0												
	諸収入		0		1,100		2,000												
	市債		2,000		0		0												
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）								
<p>1 自主防災組織の育成 地域防災力を高め災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織及び未組織の自治会に対し研修会等への参加を依頼し防災意識の高揚を行った。 また、地域の防災リーダーとして活動していただく防災士の養成を県と連携して行った。 ・ 防災士養成事業 5地域振興会において5人養成</p>											継続	<p>自主防災組織の育成・強化を図るとともに、防災士の養成を推進することにより地域防災力の向上を推進した。今後も引き続き、地域の防災力向上に資する取組を推進していく。</p>							
<p>2 災害用備蓄品等整備、避難所環境改善事業 防災対策のため、市指定避難所に配備する災害用備蓄品の補充整備を行った。 ・ 食料（ビスケット等）、簡易トイレ、敷きマット、毛布等 ・ 事業費 5,080千円 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設のための備蓄品、搬送車等の整備を行った。（新型コロナ対策3- 6~8）【交付金】 ・ マスク、フェイスシールド、段ボール間仕切り、A Iサーマルカメラ、資機材搬送用大型バン等 ・ 事業費 22,842千円</p>											継続	<p>通常の災害用備蓄品に加え、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設のための備蓄品、資機材等の整備を推進することができた。今後も引き続き、災害発生に備えた備蓄品の整備を推進していく。</p>							
<p>3 防災に関する市民啓発 地域防災力の向上及び市民の防災意識の高揚を目的に市政出前講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害に備えて</td> <td>17回</td> <td>575人</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、防災講演会は中止</p>											区分	回数	参加人数	災害に備えて	17回	575人	継続	<p>市内各地区で市政出前講座を開催し、市民の防災意識の向上を推進した。今後も引き続き、市民の防災意識向上に資する取組を推進していく。</p>	
区分	回数	参加人数																	
災害に備えて	17回	575人																	
<p>4 防災行政無線の運用管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 同報系無線設備 屋外拡声子局113局、戸別受信機250台 移動系無線設備 携帯型無線機150台、車載型無線機26台 防災情報システム 災害時にエリアメール、ホームページ、ケーブルテレビ等、複数の情報媒体を活用できる情報伝達システムを運用し、市民の安全安心の確保に努めた。 											継続	<p>災害時における重要な情報伝達手段である防災行政無線（同報系、移動系）の点検整備を行い、災害時における確実な運用の確保を図った。今後も引き続き情報伝達手段の確実な運用の確保を図っていく。</p>							

事業名		[新]特別定額給付金給付費				(2款 総務費 1項 総務管理費 16目 特別定額給付金給付費)		決算書	68 ページ	担当部課	市民生活部市民課								
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)													
				9,298,871	【9,356,305】														
財 源 内 訳	国庫補助金			9,298,871															
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)									
<p>1 特別定額給付金給付事業(新型コロナ対策1- 3)【国10/10】 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づき、1人100,000円の特別定額給付金を給付し、市民の家計への支援を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>給付対象世帯数</td> <td>35,844世帯</td> <td>給付済世帯数</td> <td>35,727世帯(99.7%)</td> </tr> <tr> <td>給付予定金額</td> <td>9,264,000千円</td> <td>給付金額</td> <td>9,247,000千円(99.8%)</td> </tr> </table>										給付対象世帯数	35,844世帯	給付済世帯数	35,727世帯(99.7%)	給付予定金額	9,264,000千円	給付金額	9,247,000千円(99.8%)	完了	特別定額給付金事業本部を設置し、迅速な給付を行えた。
給付対象世帯数	35,844世帯	給付済世帯数	35,727世帯(99.7%)																
給付予定金額	9,264,000千円	給付金額	9,247,000千円(99.8%)																

事業名		賦課事務費		(2款 総務費		2項 徴税費		2目 賦課徴収費		決算書		68 ページ		担当部課		財務管理部課税課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
		100,180 【113,121】		141,605 【150,903】		222,023 【229,874】		【113,513】		法人市民税等の償還金が多額だったこと及び新型コロナウイルス感染症対策事業を実施したことなどによる。							
財 源 内 訳	手数料	6,426		5,189		4,544											
	国庫補助金	0		0		6,736											
	諸収入	218		92		90											
	一般財源	93,536		136,324		210,653											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 市税の賦課</p> <p>個人市民税、固定資産税、軽自動車税について、賦課決定し納税通知書を交付した。</p> <p>納税通知書等送達 126,193件（令和元年度 126,207件）</p> <p><内訳> 市県民税 49,235件（令和元年度 49,954件）</p> <p>固定資産税 38,910件（令和元年度 38,286件）</p> <p>軽自動車税 38,048件（令和元年度 37,967件）</p> <p>所得税・住民税の申告相談会の実施</p> <p>適正申告推進のため、令和3年2月16日から3月15日までの間、相談会を開催した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として、いみずe-予約システムを用いた予約専用会場を設け、申告相談の促進に努めた。</p> <p>固定資産税賦課のための調査、資料収集</p> <p>翌年度賦課に向けての調査、資料収集、地番・家屋図修正や次回評価替えの準備等を実施した。</p> <p>ア 新增築家屋の調査及び評価（対象：1月2日から翌年1月1日までの間に完成した家屋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新增築家屋 470棟（令和元年度 472棟） <p>イ 土地の時点修正（令和2年7月1日時点）</p> <p>令和3年度賦課に向けて、不動産鑑定士に鑑定依頼し、価格が下落した箇所の評価を修正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下落修正地点 88地点（令和元年度 110地点） <p>ウ 令和3基準年度評価替えに向けての土地評価見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地評価業務委託事業 <p>3か年業務の3年目は、路線価の算定・検証や、固定資産税（土地）評価事務取扱要領の修正・検証等を行った。</p> <p>委託先 朝日航洋(株) 富山支店</p> <p>委託期間 平成30年6月8日～令和3年3月19日</p> <p>委託料 9,330千円（3か年総額27,000千円）</p>														<p>継続</p> <p>適正課税のため、資料収集・整理、調査等を実施した。軽自動車税賦課業務に関しては、RPA（業務プロセスの自動化）を運用し業務の効率化を図った。今後も引き続き公平公正な賦課、最新技術を活用した業務の効率化に努める。</p>			

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>2 確定申告書入力業務委託事業（新型コロナ対策3- 9）【交付金】 申告業務における職員の3密を回避するため、申告書入力業務を外部委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 確定申告書入力委託件数 3,047件 委託先 (株)インテック 委託期間 令和2年12月25日～令和3年3月31日 委託料 3,304千円 	継続	<p>本事業により職員の業務負担及び感染リスクの低減が図られた。 今後も引き続き実施し、業務の効率化及び感染リスクの低減に努めていく。</p>
<p>3 申告相談会予約システム構築業務（新型コロナ対策3- 10）【交付金】 申告相談会での3密を避けるため、事前予約システムを構築し、市ホームページで運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前予約システム利用者数 524人 委託先 西日本電信電話(株) 富山支店 委託期間 令和2年12月28日～令和3年3月15日 委託料 3,432千円 	完了	<p>システムを活用し、予約者専用の相談会場を設けることにより申告者の感染機会の低減が図られた。 今後は予約システムの周知や相談会の運用について更に検討していく。</p>

事業名		徴収事務費				(2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費)				決算書	69 ページ	担当部課	財務管理部収納対策課											
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)														
		18,444 【19,877】		19,341 【20,484】		14,052 【16,348】		【15,544】		コールセンター事業について、事業内容の見直しを行い、委託料が減額となったことによる。														
財 源 内 訳	手数料	1,821		1,728		1,525																		
	諸収入	33		33		33																		
	一般財源	16,590		17,580		12,494																		
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 コンビニ・スマートフォン・クレジットカード納付事業</p> <p>多様な納付環境を整備し、啓発と納税者の利便性向上を図ったことにより、スマートフォン納付の件数及び取扱金額が増加し、徴収の成果があった。</p> <p>コンビニ納付</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間取扱件数 62,598件 (令和元年度 63,860件) 年間取扱金額 907,562千円 (令和元年度 944,023千円) <p>スマートフォン納付</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間取扱件数 5,469件 (令和元年度 169件) 年間取扱金額 97,882千円 (令和元年度 3,912千円) <p>クレジットカード納付</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間取扱件数 3,387件 (令和元年度 3,285件) 年間取扱金額 55,913千円 (令和元年度 52,856千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主納付のコンビニ・クレジットカード納付利用率</td> <td>37.5%</td> <td>54.7%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	自主納付のコンビニ・クレジットカード納付利用率	37.5%	54.7%	50.0%	<p>継続</p> <p>令和2年度から電子マネーによるスマートフォン決済を導入し、利便性の向上を図った。利用者は予想以上に多く、自主納付者に占めるコンビニ・電子納付の利用率は目標値に達成したが、市役所・銀行等での窓口納付件数が多い状況であり、引き続き、口座振替も含め、納付方法のPRに努める。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
自主納付のコンビニ・クレジットカード納付利用率	37.5%	54.7%	50.0%																					
<p>2 コールセンター事業</p> <p>市税等未納者への電話による早期納付勧奨を行ったことにより、徴収につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間コール済件数 1,579件 委託先 (株)NTTマーケティングアクト 委託期間 令和2年6月1日～令和3年3月31日 委託料 3,300千円 											<p>継続</p> <p>電話による早期納付勧奨は、納付忘れや納付漏れとなっている市民に対して、一定の効果が得られた。また、普段から滞納しがちな方々にも催告の効果があることから、今後も引き続き実施し、収納率の向上に努める。</p>													
<p>3 口座振替受付サービス(モバイル端末による口座振替登録)</p> <p>市庁舎・地区センター窓口でキャッシュカードのみで口座振込の登録手続きができることにより、納税者の利便性の向上及び口座振替の登録件数の増加に成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同サービスによる登録件数 646件 (令和元年度 690件) 											<p>継続</p> <p>登録件数は増加傾向にあり、引き続きモバイル端末による口座振替登録を推進していく。令和2年4月からJAいみず野もサービス開始となり、市内の主な金融機関全てで対応可能となった。</p>													

事業名		戸籍住民基本台帳費		(2款 総務費		3項 戸籍住民基本台帳費		1目 戸籍住民基本台帳費)		決算書	69 ページ	担当部課	市民生活部市民課																																		
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																				
			50,527 【53,579】		55,801 【68,544】		97,186 【121,225】		【92,146】		マイナンバーカード交付数の増加に伴い、事務費が増加したことによる。																																				
財 源 内 訳	使用料	諸収入	13	223	14	228	14	214																																							
	手数料	一般財源	34,061	2,101	33,254	7,839	31,216	8,830																																							
	国庫補助金		14,028		14,368		56,812																																								
	国庫委託金		3		2		4																																								
	県委託金		98		96		96																																								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																																				
<p>1 戸籍住民基本台帳事務事業</p> <p>戸籍・住民票・印鑑証明・諸証明の交付、転入・転出等住民異動届、印鑑登録関係届、戸籍関係届の受理及び異動処理等を行い、適正かつ迅速な事務処理に努めた。</p> <p>異動処理件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸籍届出関係</td> <td>3,959件</td> <td>3,940件</td> </tr> <tr> <td>住民異動関係</td> <td>9,586件</td> <td>9,508件</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録関係</td> <td>3,861件</td> <td>3,702件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,406件</td> <td>17,150件</td> </tr> </tbody> </table> <p>マイナンバーカードの交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付件数 13,709件 (令和元年度 2,571件) ・ 更新件数 4,475件 (令和元年度 819件) <p>証明書の窓口交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸籍関係</td> <td>25,528件</td> <td>23,484件</td> </tr> <tr> <td>住民票関係</td> <td>37,591件</td> <td>33,787件</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録関係</td> <td>20,895件</td> <td>19,879件</td> </tr> <tr> <td>その他証明</td> <td>1,748件</td> <td>1,392件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>85,762件</td> <td>78,542件</td> </tr> </tbody> </table> <p>証明書のコンビニ交付サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付件数 6,046件 (令和元年度 2,514件) ・ 交付件数 (委託分) 1,128件 (令和元年度 1,347件) ・ 交付件数 (受託分) 1,340件 (令和元年度 1,482件) <p>とやま広域窓口サービス</p>														区分	令和元年度	令和2年度	戸籍届出関係	3,959件	3,940件	住民異動関係	9,586件	9,508件	印鑑登録関係	3,861件	3,702件	合計	17,406件	17,150件	区分	令和元年度	令和2年度	戸籍関係	25,528件	23,484件	住民票関係	37,591件	33,787件	印鑑登録関係	20,895件	19,879件	その他証明	1,748件	1,392件	合計	85,762件	78,542件	<p>継続</p> <p>マイナンバーカードの交付件数増加に伴い、コンビニ交付サービス件数も増加しており、市民サービスの向上につながった。 引き続き、マイナンバーカードの普及及び窓口サービスの適正かつ迅速な事務処理に努める。</p>
区分	令和元年度	令和2年度																																													
戸籍届出関係	3,959件	3,940件																																													
住民異動関係	9,586件	9,508件																																													
印鑑登録関係	3,861件	3,702件																																													
合計	17,406件	17,150件																																													
区分	令和元年度	令和2年度																																													
戸籍関係	25,528件	23,484件																																													
住民票関係	37,591件	33,787件																																													
印鑑登録関係	20,895件	19,879件																																													
その他証明	1,748件	1,392件																																													
合計	85,762件	78,542件																																													

事業名		監査委員費				(2款 総務費 6項 監査委員費 1目 監査委員費)				決算書	72 ページ	担当部課	監査委員事務局														
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																	
		3,344 【3,419】		3,337 【3,444】		3,021 【3,407】		【3,415】																			
財源内訳	一般財源	3,344		3,337		3,021																					
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																
<p>1 事務費</p> <p>公正で合理的かつ能率的な行財政運営を実現するため、下記の監査を実施し、指導等を行った。</p> <p>定例監査 本庁、出先機関等50か所、令和2年5月～令和3年2月 (令和元年度 50か所)</p> <p>例月出納検査 一般会計・特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計 毎月1回 計12回 (令和元年度 12回)</p> <p>財政援助団体等監査 出資団体、指定管理者等 4団体 8施設 (令和元年度 7団体 13施設)</p> <table border="1" data-bbox="163 699 1270 802"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出資団体及び指定管理者の監査実施率</td> <td>25.7%</td> <td>45.0%</td> <td>41.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>決算審査 ・ 一般会計、特別会計 令和2年7月16日～8月14日 ・ 水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計 令和2年6月12日～8月14日</p> <p>健全化判断比率等審査 (決算審査と同期間) 住民監査請求に基づく監査 0件 (令和元年度 0件)</p>														指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	出資団体及び指定管理者の監査実施率	25.7%	45.0%	41.3%	<p>継続</p> <p>公正で合理的かつ能率的な行財政運営を実現するため、監査を実施し、指導等ができた。 今後も、監査基準に基づき、年間監査計画を定め、監査業務の計画的執行及び質的向上に努める。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																								
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																								
出資団体及び指定管理者の監査実施率	25.7%	45.0%	41.3%																								

3 款 民 生 費

事業名		民生児童委員活動費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)		決算書	72 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
		16,763 【16,850】	16,784 【16,885】	17,060 【17,074】	【17,100】	民生委員協議会活動費補助金及び民生委員・児童委員費用弁償交付金の増額による。					
財 源 内 訳	県負担金	0	23	0							
	県補助金	1,692	1,696	2,008							
	県委託金	12,972	13,021	13,473							
	一般財源	2,099	2,044	1,579							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 民生委員・児童委員関係費【県】</p> <p>民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援し、地域福祉の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員・児童委員 221人（うち主任児童委員 19人） 任期 令和元年12月1日～令和4年11月30日 ・ 民生委員児童委員協議会 15地区 										継 続	大雪時の高齢者の安否確認など連携して対応することができた。
											引き続き、民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援する。

事業名		社会福祉団体等対策事務費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)		決算書	72 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課																											
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																
		71,576 【73,081】	72,480 【73,733】	67,539 【110,929】	【67,243】	市社会福祉協議会の事務所移転に伴い、補助金を見直したことによる。																																
財源内訳	県補助金	0	0	118																																		
	一般財源	71,576	72,480	67,421																																		
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																												
<p>1 社会福祉協議会補助・委託関係費 地域福祉活動推進事業 要支援者の見守り等を行う「ケアネット活動」に係る経費を助成し、地域において要支援者が安心して生活できるまちづくりを進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム員数</th> <th>利用者数</th> <th>活動延べ回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>353人</td> <td>221人</td> <td>54,865回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>367人</td> <td>218人</td> <td>53,701回</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボランティア活動推進事業 社会福祉協議会が設置するボランティアセンターに係る経費を助成し、ボランティア活動の活性化に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉ボランティア団体数</td> <td>93団体</td> <td>103団体</td> <td>105団体</td> </tr> <tr> <td>福祉ボランティア団体所属人数</td> <td>1,789人</td> <td>2,150人</td> <td>2,500人</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域支え合い事業 要支援者の見守り及び緊急時、災害時等の情報提供に活用するため、「いのちのバトン」や「避難行動要支援者登録台帳」を整備した。</p> <p>委託先 (福)射水市社会福祉協議会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 2,960千円</p> <ul style="list-style-type: none"> いのちのバトン配備数 2,221本 (令和元年度末 2,183本) 避難行動要支援者登録者数 1,382人 (令和元年度末 1,393人) 										区分	チーム員数	利用者数	活動延べ回数	令和元年度	353人	221人	54,865回	令和2年度	367人	218人	53,701回	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	福祉ボランティア団体数	93団体	103団体	105団体	福祉ボランティア団体所属人数	1,789人	2,150人	2,500人	<p>継続</p> <p>市社会福祉協議会と連携しながら各種事業を展開した。引き続き、福祉の増進を図るため、事業を実施していく。</p>	
区分	チーム員数	利用者数	活動延べ回数																																			
令和元年度	353人	221人	54,865回																																			
令和2年度	367人	218人	53,701回																																			
指標項目	基準	実績	目標																																			
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																			
福祉ボランティア団体数	93団体	103団体	105団体																																			
福祉ボランティア団体所属人数	1,789人	2,150人	2,500人																																			
<p>2 射水 まち×福祉 共創ラボ 事業 市内の福祉事業者が全国の成功事例を学び、若者に働き先として選ばれる福祉事業者となるためのきっかけを提供するセミナー事業を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会 2回 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月16日 慶應義塾大学経済学部 井手教授 約70人参加 令和3年2月1日 (福)福祉楽団 飯田理事長 約70人参加 										<p>継続</p> <p>先駆的経営を行っている福祉事業者の事例や専門家の知見を学び、今後の事業や取組につなげていく意識の共有を図った。引き続き、専門家の知見等を学び、今後の事業や取組につなげていく。</p>																												

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定事業 第2次射水市地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画を策定した。 委託先 (株)ぎょうせい 東海支社 委託期間 令和2年4月17日～令和3年3月31日 委託料 3,795千円		完了	市社会福祉協議会とともに「いみず地域共生プラン」を策定した。今後、地域共生社会の実現を目指し、各種施策に取り組んでいく。
（繰越明許費 40,000 千円） ・事業名 まちの未来創造モデル事業費補助金（ハード事業） ・予算執行率 62.8% ・完了時期 令和4年3月			

事業名	【新】ひきこもり支援対策費				（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費 ）				決算書	73 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）						
				1,602 【1,971】	【1,907】							
財源内訳	国庫補助金			759								
	一般財源			843								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 ひきこもり支援推進事業【国1/2】 ひきこもり支援に携わる人材の養成、相談窓口の設置等のサポート事業を実施した。 委託先 (福)射水市社会福祉協議会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 1,520千円										継続	ひきこもり支援対策事業により、当事者や家族の相談支援、地域の理解促進を図った。支援体制の充実や、相談窓口の周知等を継続して実施する。	

事業名		新湊交流会館管理費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 2目 社会福祉施設費)				決算書	73 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
		8,385	【8,390】	24,784	【26,089】	16,402	【16,686】	【17,928】		工事請負費の減額による。							
財 源 内 訳	使用料	0		365		364								工事請負費の減額による。			
	市債	0		0		3,400											
	一般財源	8,385		24,419		12,638											
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）						
<p>1 新湊交流会館管理費</p> <p>市民活動の活性化及び市民相互の交流促進のため、施設の適切な管理運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数 9,284人 （令和元年度 12,926人） ・ 空調設備更新工事（1階事務室系統） <ul style="list-style-type: none"> 業 者 名 (株)コスモ 工 期 令和2年9月18日～令和3年2月26日 契 約 額 3,817千円 											継 続	<p>緊急事態宣言に伴う休館措置等の影響により、利用者数は減少した。引き続き、新湊地区における福祉活動の場としての役割を担っていくとともに、地域の活性化及び市民相互の交流促進を図り、市民生活の向上及び住み良い地域社会づくりを推進していく。</p>					

事業名		市民交流プラザ管理費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		2目 社会福祉施設費) 決算書	73 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
		21,569 【22,279】		57,383 【65,232】		57,317 【61,049】		【19,312】					
財 源 内 訳	使用料	一般財源	0	21,369	1,686	39,865	13,423	6,198					施設供用開始に伴う維持管理費の増額による。
	国庫補助金		0		1,300		0						
	財産売払収入		200		14,420		0						
	諸収入		0		112		696						
	市債		0		0		37,000						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 いみず市民交流プラザ運営費</p> <p>地域福祉の拠点としての機能や生涯学習及び市民交流の推進のため、施設の適切な管理運営に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 36,104人(令和元年度[令和2年2月12日~3月31日] 3,714人) 旧小杉幼稚園を解体し、駐車場の整備工事を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 旧小杉幼稚園解体工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (株)小西商事 工期 令和2年5月20日~8月21日 契約額 12,100千円 駐車場整備工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 昭和建設(株) 射水支店 工期 令和2年10月28日~令和3年3月19日 契約額 26,401千円 											<p>継続</p> <p>緊急事態宣言に伴う休館措置等があったものの多くの方に利用していただいた。 引き続き、施設利用者数の増加に努めるとともに、更なる市民生活の向上及び地域の活性化に向け、地域福祉、生涯学習等の分野において市民が交流できる場としての活用を推進する。</p>		

事業名	在宅福祉対策費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費)				決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課											
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																	
		42,169 【44,451】	42,123 【47,245】	42,213 【44,483】	【43,517】																		
財 源 内 訳	県補助金	6,765	6,560	6,626																			
	諸収入	1	4	0																			
	一般財源	35,403	35,559	35,587																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 外出支援サービス事業 移送サービス事業 公共交通機関等を利用することが著しく困難な高齢者等を対象に、医療機関への移送サービスを実施した。 ・利用者数 延べ1,045人 (令和元年度 延べ1,054人) 高齢者等車いす対応タクシー券交付事業 在宅要介護高齢者等の外出及び社会参加を促進するため、日常的に車いすを利用されている方に、タクシー利用券を交付した。 ・利用者数 272人 (令和元年度 255人)</p>										継続	引き続き、要介護者やひとり暮らし高齢者の在宅における生活を支援するとともに、介護者の負担軽減を図っていく。												
<p>2 高齢福祉推進事業 【県1/2】 ひとり暮らし高齢者等が、地域で安心して生活できるよう、声掛けや見守り、安否確認等を行う高齢福祉推進員を委嘱した。 ・高齢福祉推進員 623人 (令和元年度 639人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢福祉推進員設置の割合</td> <td>93.7%</td> <td>92.2%</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	高齢福祉推進員設置の割合	93.7%	92.2%	98.0%	継続	引き続き、要介護者やひとり暮らし高齢者が地域で安心して生活できるよう、推進員を配置する。	
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																				
高齢福祉推進員設置の割合	93.7%	92.2%	98.0%																				
<p>3 在宅福祉介護手当支給事業 要介護4、5に認定された高齢者を在宅で介護している方に介護手当を支給し、介護者の福祉の増進を図った。 ・支給者数 389人 (令和元年度 361人)</p>										見直し	他自治体の状況などを参考に見直しについて検討する。												
<p>4 在宅要介護高齢者福祉金支給事業【県1/2】 要介護4、5に認定された在宅の高齢者に福祉金を支給し、要介護高齢者の福祉の増進を図った。 ・支給者数 378人 (令和元年度 379人)</p>										見直し	他自治体の状況などを参考に見直しについて検討する。												
<p>5 緊急通報装置設置事業 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与し、24時間体制での見守り、安否確認等を行った。 ・設置者数 125人 (令和元年度 132人)</p>										継続	引き続き、ひとり暮らし高齢者等が在宅において安心して生活できるよう見守り体制を継続する。												

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
6 呉西地区成年後見センター運営事業 呉西6市連携事業として、平成31年4月に設置した呉西地区成年後見センターにて成年後見制度に係る業務を行った。 ・ 個別相談 92件（令和元年度 57件） ・ 市民後見人養成講座の開催（受講者：実務研修1人）（令和元年度 受講者：基礎研修7人、実務研修3人） ・ フォローアップ研修会の開催（受講者：11人） ・ 市民後見人バンク登録 1人（累計14人）	継続	呉西地区成年後見センターにおいて、成年後見制度事業の専門的、専従的な取組を行い、相談から後見まで一貫した支援を行うため、呉西6市の連携を図っていく。	

事業名	高齢者福祉施設費（繰越明許）				（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費 ）				決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
財源内訳	国庫補助金					46,767	【46,767】					
	県補助金					5,616						
						41,151						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金【国10/10】 非常用自家発電設備の整備を行った法人に対し、その経費を助成した。 法人名 (有)リアン 施設名 グループホーム北高木 補助金額 5,616千円											完了	令和2年11月に設置工事が完了し、災害等による停電への備えができた。
2 地域密着型介護基盤整備事業費補助金【県10/10】 看護小規模多機能型居宅介護の整備を行った法人に対し、その建設費及び開設準備（備品）経費を助成した。 法人名 医療法人 真生会 施設名 看護小規模多機能型居宅介護事業所 ころの家 補助金額 41,151千円（内訳：施設整備 33,600千円、開設準備（備品）経費 7,551千円）											完了	令和3年3月1日からサービスを開始し、市内において、29人の定員枠を拡充した。

事業名	高齢者福祉施設費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		3目 老人福祉費) 決算書	74 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部介護保険課		
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			124,433 【124,859】		220,329 【268,512】		196,859 【209,189】		【118,937】		足洗老人福祉センター跡地及び温泉資源活用事業に係る工事負担金（損害賠償金）を執行したことによる。			
財 源 内 訳	使用料	諸収入	506	73	99	0	26	0						
	国庫補助金	市債	0	0	177	61,100	20,425	0						
	県補助金	一般財源	0	123,854	48,702	80,562	0	176,408						
	財産売払収入		0		28,689		0							
	寄附金		0		1,000		0							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 足洗老人福祉センター跡地及び温泉資源活用事業 足洗老人福祉センター跡地及び温泉資源活用事業において売却した市有地から、通常想定される規模を超える地中埋設物が発見されたことから、当該地中埋設物の撤去等に要した費用を負担した。 相手方（福）喜寿会 損害賠償額 82,856千円</p>											完了	地中埋設物の撤去後、売却の相手方による温泉施設建設工事が再開した。		
<p>2 小杉ふれあいセンター運営費 市民の福祉の増進及び健康保持に資するため、レクリエーション、趣味等の場を提供した。 ・年間利用者数 8,407人（令和元年度 12,374人） 小杉ふれあいセンター跡地利活用事業に係る事業者公募を行った結果、社会福祉法人小杉福祉会を優先交渉権者として決定し、基本協定を締結した。 令和3年度の敷地売却に向け、令和3年3月31日をもって閉館した。</p>											廃止	施設跡地において持続的に事業を展開することができる民間事業者を公募の上、優先交渉権者を決定し、基本協定を締結することができた。		
<p>3 いきいき長寿館運営費 指定管理者制度を導入し、高齢者が気軽に集い、活動できる介護予防の場を提供した。 ・年間利用者数 4,248人（令和元年度 5,130人）</p>											継続	引き続き、高齢者が気軽に集い、活動できる場を提供することにより、介護予防の推進並びに健康及び福祉の増進を図る。		
<p>4 老人福祉施設整備事業 特別養護老人ホーム等の整備を行った社会福祉法人に対し、その建設に要した事業費について、市の補助相当分に係る借入金の元金及び利子を債務負担行為に基づき助成した。 ・社会福祉法人 8件（令和元年度 9件）</p>											継続	令和2年において2施設の助成が完了した。		
<p>5 介護保険入所施設等感染症対策備蓄品購入事業（新型コロナ対策2- 11、12）【交付金】 感染者が発生した施設等が介護サービスを継続するために必要な衛生物品等を市で備蓄した。 また、感染者が発生した在宅の高齢者に対し、訪問サービスを提供するために必要な衛生物品を市で備蓄した。 （防護服、手指消毒、グローブ、折り畳みベッド、非接触体温計、使い捨て食器、感染対策用診察スタンド等） ・3施設（2週間分）、訪問介護サービス等従事者30人（2週間分） ・事業費 4,563千円</p>											継続	入所施設や訪問サービス事業所が事業を継続するために必要な感染対策物品等を確保できた。今後は、在庫管理を行うとともに、支給状況に応じた物品の確保を検討していく。		

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>6 介護保険入所施設遠隔面会用タブレット等設置費補助金（新型コロナ対策2- 13）【交付金】</p> <p>市内の介護保険入所施設に対し、遠隔面会用のWi-Fiの設備やタブレット等の設置に必要な経費を助成(上限200千円)した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設数 35施設 ・ 補助金額 5,662千円 	完了	<p>感染予防の徹底が図られる中、入所者と家族のオンライン面会等が可能となった。入所者や家族が安心して過ごすための体制が整えられた。</p>
<p>7 介護サービス事業所支援金交付事業（新型コロナ対策2- 14）【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を継続的に行い、サービス提供体制を確保するため、市内に介護サービス事業所がある法人に対し感染症対策の支援金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 100,000円×55法人（介護指定番号数ごとに50,000円を加算） ・ 支給金額 10,200千円 	完了	<p>市内で介護サービス事業所等を運営する法人に対して、感染症予防対策のための資機材購入を支援し、サービス提供体制の確保を図ることができた。</p>
<p>（繰越明許費 7,200 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 旧小杉ふれあいセンター用地測量業務委託 ・ 予算執行率 96.5% ・ 完了時期 令和3年9月 		

事業名		障害者福祉総務費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)				決算書	75 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
		5,275	【5,427】	12,273	【12,529】	6,184	【6,491】						
財 源 内 訳	国庫補助金	652		4,345		1,057		令和2年度は、富山型デイサービス施設支援事業費補助金及び障害者自立支援給付支払システム改修業務委託料の執行額が減額したことによる。					
	県補助金	0		1,370		113							
	寄附金	100		100		10							
	一般財源	4,523		6,458		5,004							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 障害者自立支援給付審査支払等システム事業【国1/2】 障害者総合支援法の改正（令和3年度障害福祉サービス等報酬改定）に伴い、システム改修を行った。 委 託 先 (株)インテック 委 託 期 間 令和3年2月15日～3月31日 委 託 料 2,113千円											完了	施行日までに、適正な成果物の引渡しを受けることができた。	
2 富山型デイサービス施設支援事業【県1/3】 富山型デイサービス事業所の機能向上のために必要となる改修費用の補助を実施した。 住宅活用施設整備事業（機能向上（環境改善備品等）） NPO法人ふらっと 空調増設工事 226千円											継続	県の補助事業を活用した富山型デイサービスの整備及び充実に推進するための事業であり、効果検証しながら継続して実施する。	
3 障害福祉計画策定に係るアンケート集計・分析等業務 障害福祉計画策定の基礎資料とするため、障がい者手帳所持者に対するアンケートの集計・分析等を実施し、「第6期射水市障害福祉計画」を令和3年3月に策定した。 委 託 先 (株)ラックス 委 託 期 間 令和2年6月23日～12月18日 委 託 料 567千円											継続	第6期射水市障害福祉計画・第2期障がい児福祉計画（令和3～5年度）を策定した。計画に基づき施策を推進する。	

事業名		福祉金等給付費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書		75 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
		51,744 【53,677】		51,323 【52,180】		50,967 【52,661】		【53,343】									
財 源 内 訳	一般財源	51,744		51,323		50,967											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 福祉金等給付事業 心身障がい者又は自宅で重度心身障がい者を介護している介護者に対し、福祉金等を給付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心身障がい者（児）福祉金 2,464人（令和元年度 2,495人） ・ 重度心身障がい者等介護手当 98人（令和元年度 101人） 												継続 福祉金等を給付したことにより、福祉の増進を図った。 心身障がい者や在宅介護者を支援するため今後も支給していく。					

事業名		障害者福祉対策費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書		75 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
		5,953 【8,787】		6,479 【9,085】		5,964 【8,249】		【7,708】									
財 源 内 訳	県補助金	1,565		1,843		1,752											
	県委託金	3		4		4											
	一般財源	4,385		4,632		4,208											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 福祉タクシー等実施事業 重度の障がい者にタクシー券又はガソリン券を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交付者数 312人（令和元年度 320人） 												継続 タクシー券等を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。重度障がい者を支援するため、継続して実施する。					
2 住宅改善費助成事業【県1/2】 在宅重度障がい者の居宅改造費の一部を補助することにより、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成者数 5人（令和元年度 4人） 												継続 居宅改造費を補助し、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。重度障がい者の在宅での日常生活を容易にするため、継続して実施する。					

事業名		障害者福祉施設支援費 (3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)
		301	【384】	79	【79】	7,150	【7,200】			
財源内訳	国庫補助金		0		0		5,150			グループホーム整備事業補助金交付事業、障がい福祉事業所支援金交付金事業を実施したことによる
	一般財源		301		79		2,000			
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 グループホーム整備事業等補助金 障がい者グループホーム新設のために必要となる費用の補助を実施した。 (福)射水福社会 2,000千円</p>									完了	障がい者が地域で安心して居住できる場が整備された。
<p>2 障がい福祉事業所支援金交付事業(新型コロナ対策2-15)【交付金】 新型コロナウイルス感染症対策を継続的に行い、サービス提供体制を確保するため、市内に障害福祉サービス事業所がある法人に対し、感染症対策の支援金を交付した。 ・ 100,000円×37法人(指定番号数ごとに50,000円を加算) ・ 支給金額 5,150千円</p>									完了	市内で障害福祉サービス事業所等を運営する法人に対して、感染症予防対策のための資機材購入を支援し、サービス提供体制の確保を図ることができた。

事業名		重度心身障害者等医療費助成費 (3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)
		283,844	【293,036】	280,136	【284,171】	271,886	【275,203】	【287,523】		
財源内訳	県補助金		105,604		105,756		104,371			
	諸収入		49,065		43,953		38,194			
	一般財源		129,175		130,427		129,321			
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 重度心身障害者等医療費助成事業【県1/2】 医療費を助成することにより、重度心身障がい者等の健康維持と経済的負担の軽減を図った。 ・ 重度心身障がい者等医療費助成 21,503件 (令和元年度 22,786件)</p>									継続	令和2年10月1日から65歳未満の精神障害者保健福祉手帳1級所持者を新たに医療費助成の対象とした。

事業名	地域生活支援費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
			89,116 【92,962】	88,573 【91,331】	83,308 【88,929】	【91,460】						
財 源 内 訳	国庫補助金		19,877	19,023	18,053							
	県補助金		9,938	9,511	8,981							
	一般財源		59,301	60,039	56,193							
	諸収入				81							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 地域活動支援センター委託事業（市内4か所） 障がい者施設に事業を委託し、障がい者の相談援助を行うことで、障がい者の日常生活及び社会生活の自立を図った。 委 託 先 （福）射水福祉会、（特非）ふらっと、（特非）ワークホーム悠々、（特非）むげん 委 託 期 間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委 託 料 30,000千円</p>											継続	<p>障害者総合支援法に基づく必須事業であり、障がい者等の相談支援のほか、社会との交流等地域生活支援の促進を図るため、継続して実施する。</p>
<p>2 移動支援事業【国1/2 県1/4】 屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出の支援を行うことにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。 ・ 利用回数 116回（令和元年度 131回）</p>											継続	<p>障害者総合支援法に基づく必須事業であり、外出支援により、障がい者の自立生活及び社会参加の促進を図るため、継続して実施する。</p>
<p>3 日常生活用具給付事業【国1/2 県1/4】 障がい者に対し、日常生活を便利で快適にする用具を給付し、日常生活の自立を図った。 ・ 延べ利用件数 2,205件（令和元年度 2,265件）</p>											継続	<p>障害者総合支援法に基づく必須事業であり、日常生活用具の給付により、障がい者の日常生活の便宜を図るため、継続して実施する。</p>
<p>4 意思疎通支援体制強化事業（新型コロナ対策3- 11）【国1/2 県1/4 交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として手話奉仕員派遣に必要なフェイスシールドを支給した。 ・ 対象者 30人 ・ 事業費 35千円</p>											完了	<p>感染防止対策を図り、障がい者の日常生活に不可欠なサービスを継続して提供できる体制を整備した。</p>
<p>5 地域活動支援センター等感染症対策事業（新型コロナ対策3- 12）【国1/2 県1/4 交付金】 地域活動支援センター、日中一時支援事業所の施設に対し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に係る保健衛生用品等の購入費を助成した。 ・ 助成対象施設 3施設 ・ 事業費 246千円</p>											完了	<p>感染防止対策等を図り、障がい者のサービス支援が継続して提供できる体制を整備した。</p>

事業名		自立支援給付費				(3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費)				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		1,648,542 【1,724,261】		1,728,960 【1,793,536】		1,809,909 【1,860,031】		【1,883,737】		自立支援給付においては就労継続支援、障害児通所支援においては放課後等デイサービスの増加による。				
財 源 内 訳	国庫負担金	813,515		861,825		920,508								
	県負担金	410,379		430,836		457,564								
	一般財源	424,648		436,299		431,837								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 自立支援給付費【国1/2 県1/4】 障害者総合支援法に基づき、障がい者福祉サービスの給付に必要な支援を行った。 ・ 居宅介護等 延べ662人 (令和元年度 延べ633人) ・ 上記以外の介護給付費等 延べ9,291人 (令和元年度 延べ9,381人)											継続	障害者総合支援法に基づく制度であり、適正な支給決定のもと必要なサービスの給付を継続して実施する。		

事業名		子ども・子育て支援推進費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課						
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)											
		17,804 【20,427】		22,532 【23,740】		64,091 【76,634】		【35,100】		新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する市独自の取組として、国の特別定額給付金の支給対象とならなかった新生児に対して、給付金を支給したことによる。											
財 源 内 訳	負担金	0		1		30															
	国庫補助金	125		48		53,735															
	県補助金	10,254		14,224		8,405															
	諸収入	225		8		8															
	一般財源	7,200		8,251		1,913															
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性(担当課意見)								
<p>1 子育て情報の提供 子どもを生み育てやすい環境を作るため、子育て世帯に対し、子育て情報の提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てガイドの発行(7,000部) ・ 子育てメールマガジンの配信(月1回) ・ ケーブルテレビを活用した「ちゃいる.comテレビ」の放映 ・ 子育て情報誌の発行(令和2年10月 2,500部、令和3年3月 2,500部) ・ 子育て支援アプリ「ちゃいる.com」の普及(アプリインストール累計数 1,157件) 													継続	子育て世帯に向けた射水市の子育て情報を幅広く提供できた。今後も、子育て世帯等の意見を踏まえ、より身近で分かりやすい情報提供を行う。							
<p>2 子育て支援隊事業 地域ぐるみの子育て支援活動を後押しするため、子育て支援ボランティア「子育て支援隊」の登録者に子どもに関わる施設への橋渡しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者数 23団体、10個人 (令和元年度 23団体、11個人) 													継続	地域全体で子育てを支援するため、引き続き子育て支援隊への加入促進及び子どもに関わる施設への情報提供を行う。							
<p>3 新生児育児支援給付金支給事業(新型コロナ対策1- 4)【交付金】 7月に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に基づく国の「特別定額給付金」の支給対象とならなかった子ども(令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児)を対象に、本市独自の給付金として児童一人当たり5万円を支給した。 また、12月には感染リスクに伴う精神的・経済的な負担の軽減を更に図るため、5万円を増額した10万円の給付金とし、既に支給済の保護者に対しては、差額5万円を追加支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支給実績 給対象者530人 支給対象児童536人 給付金53,450千円(差額分の支給時点で児童3人減) ・ 事業費 53,630千円 													完了	対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。							

事業名		子ども条例推進費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		9,806 【10,658】	7,793 【7,954】	7,846 【8,022】	【7,934】																				
財 源 内 訳	一般財源	9,806	7,793	7,846																					
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 子どもの悩み総合相談室運営事業 子どもに関する悩みの相談窓口を開設し、4人の相談員が相談者に対する助言・指導のほか、必要があれば専門機関を紹介するなど、問題解決に向けて取り組んだ。 ・ 相談件数 延べ386件 (令和元年度 延べ266件) ・ チラシの発行(年2回)</p>											継続	<p>電話、メール、来所等を通して、18歳未満の子どもに関する相談に対応した。また、相談室のチラシを学校等に配布することで、周知を図った。 今後も相談者が相談しやすい対応と環境整備に努める。</p>													
<p>2 射水市子どもの権利支援センター運営事業 悩みを抱える子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所を提供し、傷ついた心の回復を図った。 ・ 延べ利用人数 1,104人 (令和元年度 1,561人) 委 託 先 (特非)子どもの権利支援センターぱれっと 委 託 期 間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委 託 料 3,581千円</p>												継続	<p>18歳未満の子どもが安心して過ごせる居場所の提供や、子どもに関する保護者の悩み相談に対応した。 今後も関係機関と連携し利用しやすい環境整備に努める。</p>												
<p>3 子ども条例普及啓発事業 射水市子どもに関する施策推進計画に示す施策の充実を図るため、市内の小学5年生及び中学2年生を対象にアンケート調査を実施した。 (調査結果は市のホームページで公開)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもが、家族や周りの大人から「自分 は大切にされている」と回答する割合</td> <td>96.0%</td> <td>97.8%</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目		基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	子どもが、家族や周りの大人から「自分 は大切にされている」と回答する割合	96.0%	97.8%	98.0%	継続	<p>射水市子ども条例の普及啓発を図り、子どもの権利に関する意識を醸成し、子どもの幸せと健やかな成長を図る社会の実現を目指す。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																						
子どもが、家族や周りの大人から「自分 は大切にされている」と回答する割合	96.0%	97.8%	98.0%																						

事業名	幼児ことばの教室運営費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		452	【472】	2,128	【4,558】	205	【2,295】	【2,375】		令和元年度は、臨時職員1人を雇用したことによる。																
財 源 内 訳	一般財源	452		2,128		205																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)															
<p>1 幼児ことばの教室 就学前の幼児への遊びを通じて言語・社会性を促す指導の実施と保護者支援を実施した。また、言語聴覚士の採用により、構音訓練の通級指導の資質が向上した。</p> <p>通級・相談状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通級指導(延べ)</td> <td>766人</td> <td>768人</td> </tr> <tr> <td>電話相談(延べ)</td> <td>76人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>来所相談(延べ)</td> <td>229人</td> <td>145人</td> </tr> </tbody> </table>											区分	令和元年度	令和2年度	通級指導(延べ)	766人	768人	電話相談(延べ)	76人	80人	来所相談(延べ)	229人	145人	<p>令和2年度は言語聴覚士が正規採用となり、よりタイムリーな相談業務を実施することができた。また、個別通級指導担当者の専門性や資質向上につながった。</p> <p>令和3年度は、社会性に困難さを感じるといった相談内容の増加に伴い、コミュニケーション能力向上を目的として、グループ指導と、保護者支援勉強会を令和2年度より多く計画した。また、より多くの方が出席しやすいようにグループ指導と勉強会を同時で実施するなど、運営方法を工夫していく。</p>			
区分	令和元年度	令和2年度																								
通級指導(延べ)	766人	768人																								
電話相談(延べ)	76人	80人																								
来所相談(延べ)	229人	145人																								
											継続															

事業名		放課後児童健全育成事業費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		決算書	76 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課											
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																
		96,068 【98,662】		132,527 【132,835】		140,808 【147,540】		【125,553】		新型コロナウイルス感染症対策の事業を執行したことによる。																
財 源 内 訳	国庫補助金	30,627		43,765		49,649																				
	県補助金	31,153		42,697		50,523																				
	市債	0		9,900		0																				
	一般財源	34,288		36,165		40,636																				
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 放課後児童クラブの運営事業 【国1/3 県1/3】 労働等により昼間に保護者が不在となる家庭の児童に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級数 22学級 (令和元年度 21学級) ・ 利用児童数 864人 (令和元年度 902人) 委 託 先 こばと学級保護者会 外14団体 委 託 期 間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委 託 料 130,197千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後児童クラブ設置小学校区数</td> <td>12校区</td> <td>13校区</td> <td>15校区</td> </tr> </tbody> </table> <p>放課後児童クラブ利用料減免事業(新型コロナ対策1- 5)【国1/3 県1/3】 利用を自粛した日割りの学級費について、学級が保護者へ返還等した場合の経費を支援した。 利用料減免期間 令和2年4月～令和3年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 6,714千円 <p>放課後児童クラブ支援員処遇改善事業(新型コロナ対策2- 16)【国1/3 県1/3】 小学校の臨時休業期間中(4、5月)に開級し、子ども達の居場所作りに尽力する支援員に対し処遇改善費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 1,207千円 <p>放課後児童クラブ臨時休業時特別開所支援事業(新型コロナ対策2- 17)【国1/3 県1/3】 小学校臨時休業期間中に、平日の午前中から開設するための経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 110千円(1学級) <p>放課後児童クラブ臨時休業時特別開所人材確保支援事業(新型コロナ対策2- 18)【国1/3 県1/3】 小学校臨時休業期間中に、平日の午前中から開設するため人材確保に要する経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 210千円(1学級) <p>放課後児童クラブ感染症対策保健衛生用品購入事業(新型コロナ対策3- 13)【国10/10 県(国)10/10】 感染拡大防止のため、マスク、消毒液、備品等を整備するための経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 18,189千円(22学級) 													指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	放課後児童クラブ設置小学校区数	12校区	13校区	15校区	<p>継続</p> <p>13校区の児童に遊びや生活の場を提供し、保護者の育児と仕事の両立を支援し、児童の健全育成を図った。 残り2校区については、児童館及び児童室で学童的対応を実施し、放課後の児童の健全育成を図っている。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																							
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																							
放課後児童クラブ設置小学校区数	12校区	13校区	15校区																							

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>2 とやまっ子さんさん広場推進事業【県1/2】 地域の子ども達が交流できる居場所作りとしてコミュニティセンター等の施設を活用の上、広場を開設し、放課後の居場所を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施箇所数 新湊地域振興会外7か所 とやまっ子さんさん広場感染症対策保健衛生用品購入事業（新型コロナ対策3- 14）【県1/2、交付金】 感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品・備品を整備するための経費を支援した。 事業費 1,550千円（8施設） 	継続

事業名 **子育て支援センター運営費** (3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費) 決算書 76 ページ 担当部課 **福祉保健部子育て支援課**

決算額【予算額】		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		71,124 【72,557】	75,307 【77,259】	66,326 【86,108】	【84,007】
財 源 内 訳	国庫補助金	24,905	25,562	27,385	
	県補助金	24,361	25,532	25,506	
	一般財源	21,858	24,213	13,435	
	(うち給与重複額)	13,864	15,691	16,092	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）											
<p>1 子育て支援センター等の運営事業【国1/3 県1/3】 地域子育て支援の拠点施設として子育て支援センター等を9か所運営し、子育てに関する不安や悩みの相談、子育てサークルの育成支援、地域の子育て情報の提供等を図った。（一般型8か所、連携型1か所）</p> <p>委 託 先 （福）射水万葉会、（福）浦山学園福祉会、（学）鷹寺学園、（福）鷹寺福祉会、 （特非）新湊くらし応援団、（特非）ふらっと</p> <p>委 託 期 間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>委 託 料 54,554千円</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援センターの年間利用者数</td> <td>5.1万人</td> <td>2.3万人</td> <td>5.5万人</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。</p>	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	子育て支援センターの年間利用者数	5.1万人	2.3万人	5.5万人	継続
指標項目		基準	実績	目標								
	平成25年度	令和2年度	令和5年度									
子育て支援センターの年間利用者数	5.1万人	2.3万人	5.5万人									
<p>2 子育て支援センター備品整備（新型コロナ対策3- 15）【国10/10 県（国）10/10】 子育て支援センター等9施設に空気清浄機等の保健衛生備品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 5,269千円 	継続											

事業名		ファミリーサポートセンター運営費 (3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)				決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課																				
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																							
		1,816 【2,992】	2,833 【2,896】	2,808 【2,896】	【3,983】																								
財 源 内 訳	国庫補助金	933	933	933																									
	県補助金	605	933	937																									
	一般財源	278	967	938																									
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																					
<p>1 ファミリーサポート事業【国1/3 県1/3】 ファミリーサポート制度を市民等に広く周知し、子育てのサポートを行いたい方(協力会員)やサポートを受けたい方(依頼会員)等の会員登録を促進し、子育てと仕事の両立、相互援助活動を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>協力会員</th> <th>依頼会員</th> <th>両方会員</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>144人</td> <td>468人</td> <td>19人</td> <td>830件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>158人</td> <td>458人</td> <td>16人</td> <td>980件</td> </tr> <tr> <td>対前年度比較</td> <td>14人</td> <td>10人</td> <td>3人</td> <td>150件</td> </tr> </tbody> </table> <p>委託先 (福)射水市社会福祉協議会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 2,800千円</p>								区分	協力会員	依頼会員	両方会員	利用件数	令和元年度	144人	468人	19人	830件	令和2年度	158人	458人	16人	980件	対前年度比較	14人	10人	3人	150件	継続	引き続き、制度の周知を図るとともに、国・県・委託事業者と連携し、事業を継続する。
区分	協力会員	依頼会員	両方会員	利用件数																									
令和元年度	144人	468人	19人	830件																									
令和2年度	158人	458人	16人	980件																									
対前年度比較	14人	10人	3人	150件																									

事業名	家庭児童福祉費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)		決算書	76 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		2,808	【2,912】	5,482	【5,696】	5,529	【5,737】	【6,067】			令和元年度から家庭児童相談員を1人増員したことによる。
財 源 内 訳	国庫補助金	14		15		15					
	県補助金	11		11		0					
	一般財源	2,783		5,456		5,514					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 家庭児童相談事業		家庭児童相談員2人体制で、家庭及び児童に関する相談並びに児童虐待防止対策に努めた。									
		令和元年度		令和2年度							
		相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数						
		368件	123人	368件	124人						
2 要保護児童対策協議会の開催【国1/3 県1/3】		要保護児童の早期発見及び適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、当該協議会を設置し、関係機関と連携を図った。									
		会議種別	令和元年度	令和2年度							
		代表者会議	1回	0回							
		実務者会議	2回	2回							
		個別ケース検討会議	11回	9回							
		<p>継続</p> <p>家庭児童相談員2人で児童虐待防止対策に努めた。 今後も現行体制を維持するとともに、相談業務を統括する専門職の配置について検討する(子ども家庭総合支援拠点の整備について検討する)。</p> <p>継続</p> <p>要保護児童等に関して関係機関と情報共有を図ることができた。 今後も、当該協議会の調整機関として、関係機関との連携を更に強化していく必要がある。</p>									

事業名	ひとり親家庭等福祉費				(3款 民生費	2項 児童福祉費	3目 母子福祉費)	決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課																															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																																					
		12,302 【13,133】	15,881 【18,458】	121,969 【145,313】	【20,596】	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯に対して、各種支援事業を行ったことによる。																																					
財源内訳	国庫補助金	3,667	6,656	93,132																																							
	県補助金	835	778	21,488																																							
	諸収入	330	320	240																																							
	一般財源	7,470	8,127	7,109																																							
計																																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																	
<p>1 母子・父子自立支援事業 母子・父子自立支援員2人を配置し、ひとり親家庭等の生活の安定及び向上並びに自立を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">相談種別</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>相談件数（延べ）</th> <th>相談者実人数</th> <th>相談件数（延べ）</th> <th>相談者実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子家庭</td> <td>1,034件</td> <td>268人</td> <td>1,277件</td> <td>343人</td> </tr> <tr> <td>父子家庭</td> <td>37件</td> <td>14人</td> <td>32件</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>614件</td> <td>151人</td> <td>688件</td> <td>173人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,685件</td> <td>433人</td> <td>1,997件</td> <td>536人</td> </tr> </tbody> </table> <p>1,997件のうち、DV相談 341件（相談者実人数 63人）</p>													相談種別	令和元年度		令和2年度		相談件数（延べ）	相談者実人数	相談件数（延べ）	相談者実人数	母子家庭	1,034件	268人	1,277件	343人	父子家庭	37件	14人	32件	20人	その他	614件	151人	688件	173人	計	1,685件	433人	1,997件	536人	継続	母子・父子自立支援員2人により、ひとり親家庭等の生活の安定及び自立の促進に努めた。 今後も現行体制を維持するとともに、相談業務を統括する専門職の配置について検討する。
相談種別	令和元年度		令和2年度																																								
	相談件数（延べ）	相談者実人数	相談件数（延べ）	相談者実人数																																							
母子家庭	1,034件	268人	1,277件	343人																																							
父子家庭	37件	14人	32件	20人																																							
その他	614件	151人	688件	173人																																							
計	1,685件	433人	1,997件	536人																																							
<p>2 母子家庭等自立支援給付事業【国3/4】 ひとり親家庭の母又は父が就業につながる資格を取得するための支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高等職業訓練促進給付金</td> <td>6人</td> <td>7,932千円</td> <td>5人</td> <td>5,880千円</td> </tr> <tr> <td>高等職業訓練修了支援給付金</td> <td>2人</td> <td>50千円</td> <td>1人</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金</td> <td>2人</td> <td>56千円</td> <td>2人</td> <td>101千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10人</td> <td>8,038千円</td> <td>8人</td> <td>6,031千円</td> </tr> </tbody> </table>													区分	令和元年度		令和2年度		人数	金額	人数	金額	高等職業訓練促進給付金	6人	7,932千円	5人	5,880千円	高等職業訓練修了支援給付金	2人	50千円	1人	50千円	自立支援教育訓練給付金	2人	56千円	2人	101千円	計	10人	8,038千円	8人	6,031千円	継続	学業修業期間中の支援を行うことで、令和2年度の修了者全員が資格を取得し、当該資格を生かした就業につながった。 今後もひとり親家庭の生活の安定及び自立の促進に資する当該事業を継続的に実施する。
区分	令和元年度		令和2年度																																								
	人数	金額	人数	金額																																							
高等職業訓練促進給付金	6人	7,932千円	5人	5,880千円																																							
高等職業訓練修了支援給付金	2人	50千円	1人	50千円																																							
自立支援教育訓練給付金	2人	56千円	2人	101千円																																							
計	10人	8,038千円	8人	6,031千円																																							
<p>3 ひとり親家庭等学習支援ボランティア事業【県3/4】 子どもたちが生まれ育った環境に左右されず、世代を超えて貧困が連鎖してしまうことのないよう、ひとり親家庭等の子どもに対して、学習の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度登録者数 12人（うち小学生 3人、中学生 9人） 委託先 射水市母子寡婦福祉連合会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 799千円 													継続	学習支援を行うことで、学習習慣の定着や学業向上に寄与することができた。 今後もひとり親家庭等の子どもの生活の向上を図るため、当該事業を継続的に実施する。																													

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>4 ひとり親家庭応援事業（新型コロナ対策1- 6）【県 交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的負担を大きく受けるひとり親家庭を支援するため、児童扶養手当受給者に対し、お米券を1世帯につき20枚（1万円分）送付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支給実績 465世帯（人） お米券4,650千円 ・ 事業費 4,932千円 	完了	対象者に滞りなくお米券を支給することができ、ひとり親家庭の経済的負担等の緩和を図ることができた。
<p>5 ひとり親世帯臨時特別給付金事業（新型コロナ対策1- 7）【国10/10】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、子育て負担の増加や収入減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給した。</p> <p>給付額：1世帯につき5万円、第2子以降一人につき3万円加算、さらに収入が大きく減少した世帯への給付（追加給付）5万円 再支給額：1世帯につき5万円、第2子以降一人につき3万円加算。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支給実績 558世帯（人） 支給対象児童839人 給付金72,660千円（再支給含む） 追加給付13,450千円 ・ 事業費 86,815千円 	完了	対象者に滞りなく給付金を支給することができ、ひとり親世帯の経済的負担等の緩和を図ることができた。
<p>6 ひとり親世帯生活支援給付金事業（新型コロナ対策1- 8）【県10/10】</p> <p>長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的・精神的負担を大きく受けるひとり親家庭を支援するため、県独自の給付金として1世帯につき3万円を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支給実績 558世帯（人） 給付金16,740千円 ・ 事業費 16,887千円 	完了	対象者に滞りなく給付金を支給することができ、ひとり親家庭の経済的負担等の緩和を図ることができた。

事業名	児童扶養手当給付費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 3目 母子福祉費)				決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
		234,709 【243,448】	287,511 【301,032】	224,543 【239,022】	【236,121】	令和元年度は、制度改正に伴う支払回数の見直しにより、15か月分の手当額を支給したことによる。						
財源内訳	国庫負担金	77,872	95,090	73,968								
	諸収入	438	401	653								
	一般財源	156,399	192,020	149,922								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 児童扶養手当給付事業【国1/3】 母又は父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭(ひとり親家庭等)の生活の安定と自立の促進を図った。 支給額 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全部支給 43,160円/月 ・ 一部支給 10,180~43,150円/月 児童2人以上の加算額 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人目 5,100~10,190円/月 ・ 3人目以降1人につき 3,060~6,110円/月 支給実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度児童扶養手当支給総額 223,556千円 (令和元年度 286,479千円) 支給延べ人数5,737人(母5,477人、父252人、養育者8人) 											継続	今後もひとり親家庭等の生活の安定及び自立の促進に向けて、児童扶養手当の適正な支給を行う。

事業名	ひとり親家庭等医療助成費				(3款 民生費 2項 児童福祉費 3目 母子福祉費)				決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
		56,177 【61,287】	47,207 【51,206】	40,954 【50,152】	【48,050】							
財源内訳	県補助金	27,303	22,837	19,937								
	諸収入	1,118	1,530	1,079								
	一般財源	27,756	22,840	19,938								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 ひとり親家庭等医療費助成事業【県1/2】 ひとり親家庭等の入院及び通院に係る医療費(保険診療の自己負担分)を助成することにより、経済的な負担を軽減し、ひとり親家庭等の保健の向上及び福祉の増進を図った。											継続	ひとり親家庭等の医療費を助成することにより、保健の向上と福祉の増進を図ることができた。 今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減に資するため、引き続き助成を行う。
		令和元年度		令和2年度								
		助成件数	助成金額	助成件数	助成金額							
		17,108件	46,153千円	14,509件	40,084千円							

事業名		子ども及び妊産婦医療助成費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		3目 母子福祉費) 決算書	77 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
		378,782 【392,495】		372,948 【378,815】		310,915 【335,688】		【324,346】								
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	2,342	308,594	1,888	275,848	1,305	213,808			令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染リスクを避けるため、受診控えが多かったことによる。					
	県負担金		1,171		932		1,094									
	県補助金		40,152		40,709		33,963									
	繰入金（基金）		16,830		47,000		52,000									
	諸収入		9,693		6,571		8,745									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 子ども医療費助成事業【県】 乳幼児から中学3年生までの子どもの入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、子どもの健康管理と適正な医療の確保を図り、子どもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 ・ 助成実績 142,533件、290,970千円（令和元年度 187,231件、350,403千円）												継続	子どもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減につながった。 引き続き事業を実施するとともに、県助成対象年齢の拡充について県へ要望する。			
2 妊産婦医療費助成事業【県1/2】 医師の診断により必要と認められた妊産婦の医療費の一部を助成し、その疾病の早期発見と適正な医療を確保することにより、母子の健康の保持及び増進を図った。 ・ 助成実績 470件、6,636千円（令和元年度 472件、7,437千円）												継続	母子の健康の保持及び増進に資する事業であり、引き続き事業を推進する。			
3 未熟児養育医療費助成【国1/2 県1/4】 未熟児を対象として指定する医療機関において、入院治療を受ける場合の医療費を助成することにより、適正な医療の確保と福祉の増進、また、乳児の健康管理と保健の向上を図った。 ・ 助成実績 52件、3,949千円（令和元年度 37件、2,900千円）												継続	乳児の健康管理と保健の向上に資する事業であり、引き続き事業を推進する。			

事業名		保育園等管理運営費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		4目 保育園費		決算書	78 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
		498,287 【507,218】		497,579 【513,307】		532,714 【581,320】		【634,504】		大門わかば幼稚園が認定こども園に移行し、当該幼稚園に係る予算が幼稚園管理費から保育園等管理運営費に振り替えたことによる。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止のため、保育園等に保健衛生備品を整備したことによる。				
財 源 内 訳	負担金	繰入金（基金）	36,492	0	25,719	500	15,758	0						
	使用料	諸収入	19	26,599	19	39,646	0	47,742						
	国庫補助金	一般財源	3,565	405,083	16,657	400,571	11,591	439,108						
	県補助金		23,779		14,107		18,515							
	寄附金		2,750		360		0							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 市立保育園及び認定こども園管理運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設数 12園（令和元年度 13園） ・ 定員 1,363人（令和元年度 1,300人） ・ 園児数 延べ13,418人（令和元年度 延べ14,607人） 											継 続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上・効率化に努めた。今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努める。		
2 保育園・認定こども園備品整備（新型コロナ対策3- 16）【国10/10 県（国）10/10】 保育園・認定こども園12施設に空気清浄機等の保健衛生備品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 13,477千円 												継 続	引き続き、安全な保育環境を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。	

決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)
		1,956,100 【1,991,785】		2,113,517 【2,163,169】		2,242,811 【2,343,988】		【2,367,979】		
財 源 内 訳	負担金	諸収入	339,493	12,657	206,887	11,131	102,412	5,698		令和元年10月1日から開始した幼児教育・保育の無償化による施設型給付費の増額による。新湊うみいるこども園の開園に伴う施設型給付費等の増額による。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止のため、保育園等に保健衛生備品を整備したことによる。
	国庫負担金	一般財源	568,975	678,676	758,098	688,822	919,828	673,495		
	国庫補助金		27,693		30,066		43,192			
	県負担金		275,314		367,800		431,269			
	県補助金		53,292		50,713		66,917			

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性(担当課意見)

<p>1 保育事業委託【国】【県】</p> <p>市内民間保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設数 10園 (令和元年度 10園) ・ 定員 1,500人 (令和元年度 1,490人) ・ 園児数 延べ16,155人 (令和元年度 延べ16,628人) <p>市外への広域入所(私立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設数 12園 (令和元年度 8園) ・ 園児数 延べ147人 (令和元年度 延べ140人) 		継続	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努める。</p>
<p>2 施設型給付、地域型保育給付【国】【県】</p> <p>認定こども園、幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1号 市内 6園(延べ2,015人) (令和元年度 市内 5園(延べ2,175人)) 市外 12園(延べ768人) (令和元年度 市外 14園(延べ768人)) ・ 2,3号 市内 6園(延べ6,189人) (令和元年度 市内 5園(延べ5,557人)) 市外 20園(延べ577人) (令和元年度 市外 22園(延べ430人)) <p>市外への広域入所(公立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設数 14園 (令和元年度 12園) ・ 園児数 延べ143人 (令和元年度 延べ179人) <p>事業所内保育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内 2施設(延べ208人) (令和元年度 1施設(延べ209人)) 市外 2施設(延べ53人) (令和元年度 1施設(延べ13人)) 			継続

主な事業内容・成果						評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 市内民間保育園等14園の特別保育事業助成等【国1/3 県1/3】							
	延長保育	休日保育	一時預かり （保育）	障害児保育	病児・病後児保育		
					病児対応型	体調不良児対応型	
令和2年度	14園	8園	6園	8園	1園	12園	継続 子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた提供体制を国・県・民間施設と連携して整備することができた。今後も継続して整備を行い、より一層の子育て支援の充実に努める。
令和元年度	13園	9園	6園	8園	1園	11園	
指標項目		基準 平成25年度	実績 令和2年度	目標 令和5年度			
休日保育実施保育園数		7園	8園	10園			
4 保育園・認定こども園備品整備（新型コロナ対策3- 16）【国10/10 県（国）10/10】 民間の保育園・認定こども園18施設に対し、空気清浄機等の保健衛生備品の整備に係る経費を補助することにより、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。 ・ 事業費 27,913千円							
						継続	引き続き、安全な保育環境を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。

事業名	保育園等整備事業費				（ 3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費 ）		決算書	78 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
		72,539 【114,084】	281,114 【287,408】	53,668 【57,434】	【82,872】	令和元年度は、新湊うみいる園創設工事に係る補助金交付を行ったことによる。					
財 源 内 訳	国庫補助金	18,519	92,005	220							
	県補助金	20,745	48,617	0							
	市債	1,200	107,100	43,600							
	一般財源	32,075	33,392	9,848							
主な事業内容・成果						評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 民間保育園整備事業（施設整備補助）【国1/2】 ・ （福）浦山学園福祉会 新湊作道保育園非常通報装置設置工事 330千円						継続	保育環境を継続して提供するための施設整備を実施することができた。今後も国・県と連携し適正に施設整備を実施する。				
2 公立保育園整備事業 ・ 大門きらら保育園外壁等改修工事 48,507千円 ・ 非常通報装置設置工事 4,831千円						継続	保育環境を継続して提供するための施設整備を実施することができた。今後も各施設の状況を確認し適正な施設整備を継続して実施する。				

事業名		児童館管理運営費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		5目 児童館費) 決算書		79 ページ		担当部課		福祉保健部子育て支援課								
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)												
				58,741 【60,334】		28,373 【35,524】		33,660 【39,038】		【43,901】		次世代育成支援対策施設整備交付金及び富山県児童館整備事業補助金を活用し、非常通報装置の設置工事を実施したことによる。												
財 源 内 訳	使用料	一般財源	3	28,638	3	27,870	3	31,864																
	国庫補助金		0		0		608																	
	県補助金		0		0		598																	
	諸収入		500		500		587																	
	市債		29,600		0		0																	
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性(担当課意見)												
<p>1 児童館等管理運営</p> <p>児童館等を適正に管理運営し、児童健全育成の推進を図った。</p> <p>また、児童室については、平成23年度から地域型市民協働事業として地域振興会が地域に密着した運営を行っている。</p> <p>施設数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館 7館(市運営5館、社会福祉法人運営2館) ・ 児童室 3室(コミュニティセンター内に設置) <p>年間延べ利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館 35,737人 (令和元年度 55,963人) ・ 児童室 9,439人 (令和元年度 19,254人) 												<p>継続</p> <p>未就学児(親子)から18歳未満まで多くの子どもが利用し、遊びの提供等を通じて、児童の健全育成に寄与できた。</p> <p>市児童館の今後の在り方については、個別施設計画に基づき、大規模修繕による長寿命化や維持、統合、廃止等について検討を行っていく。</p>												
<p>2 非常通報装置設置工事【国1/3 県1/3】</p> <p>利用者等の安全確保を目的とした非常通報装置を設置し、有事の際に警察や消防の迅速な対応を受けることができる環境を整備した。</p> <p>設置費 1,804千円</p>												<p>完了</p> <p>施設利用者等の安全確保を図り、防犯対策の強化につながった。</p>												

事業名		【新】子育て世帯への臨時特別給付金等給付費 (3款 民生費		2項 児童福祉費		6目 子育て世帯への臨時特別給付金等給付費)		決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
				279,436 【282,981】							
財 源 内 訳	国庫補助金			190,534							
	一般財源			88,902							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 子育て世帯への臨時特別給付金(新型コロナ対策1- 9)【国10/10】 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯への支援策として、児童手当を受給する世帯(0歳~中学生のいる世帯)に対し、児童一人当たり1万円を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給実績 受給者7,128人(一般6,438人 公務員690人)、児童11,938人(一般10,745人 公務員1,193人) 給付金119,380千円 事業費 121,906千円 										完了	対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。
<p>2 子育て世帯応援臨時給付金(児童手当受給者分)(新型コロナ対策1- 10)【交付金】 子育て世帯の経済的負担が大きくなっていることに鑑み、国の給付金に上乘せし、児童一人当たり1万円を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給実績 受給者7,128人(一般6,438人 公務員690人)、児童11,938人(一般10,745人 公務員1,193人) 給付金119,380千円 事業費 119,380千円 										完了	対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。
<p>3 子育て世帯応援臨時給付金(児童扶養手当受給者等分)(新型コロナ対策1- 11) 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯を支援する市独自の取組として、児童扶養手当受給者 公的年金の受給により児童扶養手当の支給を受けていない者(児童扶養手当に係る所得制限限度額を下回る者)に対し、児童一人当たり5万円の給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給実績 受給者509人(466人 43人)、児童763人(696人 67人) 給付金 38,150千円 事業費 38,150千円 										完了	対象者へ滞りなく当該給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担等の緩和を図ることができた。

事業名	セーフティネット支援対策費				(3款 民生費 3項 生活保護費 1目 生活保護総務費)		決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)				
		16,843 【17,272】	16,404 【17,100】	21,768 【26,440】	【24,150】	新たに自立相談支援事業における就労支援員を配置し、相談・訪問業務の強化を図るとともに、就労準備支援事業、家計改善支援事業を実施したことによる。				
財 源 内 訳	国庫負担金	7,762	9,968	13,524						
	国庫補助金	2,375	1,006	3,927						
	一般財源	6,706	5,430	4,317						
主な事業内容・成果						評価と今後の方向性(担当課意見)				
<p>1 生活困窮者住居確保給付金(支給対象拡大)(新型コロナ対策1-12)【国3/4】 離職や廃業等で住居を喪失するおそれがあり、賃貸住宅家賃相当分を受給する対象者に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方を追加し、支援体制の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 123件 (令和元年度 2件) 決定件数 11件 (令和元年度 1件) 事業費 1,071千円 						継続	自立相談支援機関と連携し、制度の周知・利用を促進した。引き続き、必要な方への周知及び利用の促進を図る。			
<p>2 生活保護適正実施推進事業 生活保護の実施要領に基づき調査業務等を行い、制度の適正な実施に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 扶養義務調査充実事業【国3/4】 医療扶助適正化事業【国3/4】 業務効率化事業【国1/2】 						継続	扶養義務者に対する支援の要請、レセプトの点検及び後発医薬品使用の徹底等により、制度の適正な実施に努める。			
<p>3 生活困窮者自立相談支援事業【国3/4】 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を実施し、支援対象者の自立を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規相談受付 174件 (令和元年度 55件) 支援プラン作成 19件 (令和元年度 19件) 委託先 (福)射水市社会福祉協議会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 12,973千円 						拡充	自立相談支援機関の人員増、新規事業の実施等により、第2のセーフティネット体制の基盤強化を図った。引き続き、生活困窮者への切れ目のない支援に努める。			
<p>4 被保護者就労支援事業【国3/4】 就労支援員を配置し、被保護者に対する就労の支援を行い、当該対象者の就労による自立を助長した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労による保護廃止 3人 (令和元年度 2人) 						継続	就労支援員の配置を継続し、必要な相談や助言により被保護者の就労による自立の促進を図る。			

事業名		生活保護扶助費				(3款 民生費 3項 生活保護費 2目 扶助費)				決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
		222,182 【236,094】		230,644 【240,517】		241,523 【248,000】		【240,000】		医療扶助費の増額による。			
財 源 内 訳	国庫負担金	164,080		166,432		177,528							
	県負担金	1,981		2,694		2,704							
	諸収入	4,331		3,380		3,652							
	一般財源	51,790		58,138		57,639							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 生活保護費支給【国3/4 県1/4(県1/4は、県費対象者分のみ)】</p> <p>生存権の理念に基づき、生活に困窮する全ての国民に健康で文化的な最低生活を保障するための制度であり、適正な運用に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 被保護世帯数 133世帯 (令和元年度 134世帯) ・ 被保護人員 154人 (令和元年度 160人) 											継 続	<p>制度に沿った適切な支援が実施できた。なお、高齢化により医療扶助費や介護扶助費が増加傾向にあることから、引き続き被保護者の健康管理支援に努める。</p>	

4 款 衛 生 費

事業名		子ども子育て総合支援センター管理費 (4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		13,495 【13,811】	10,896 【11,388】	10,712 【10,904】	【11,026】				
財源内訳	使用料	47	62	60					
	繰入金(基金)	0	0	5,000					
	一般財源	13,448	10,834	5,652					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 子ども子育て総合支援センター維持管理 子ども子育て総合支援センター(キッズポートいみず)の維持管理を行った。								継続	今後も適正な維持管理を行いながら、子育て総合支援施設としての機能を検討していく。

事業名		救急医療対策費 (4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター		
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		8,000 【8,046】	8,067 【8,111】	8,131 【8,132】	【8,132】						
財源内訳	県補助金	85	85	85							
	一般財源	7,915	7,982	8,046							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 救急医療体制の確保のための事業 初期救急医療体制を構築し、休日における地域住民の救急医療体制の確保を図った。 <救急医療体制の状況>								継続	休日における地域住民の救急医療体制を確保することができた。今後も救急医療体制の充実を図る。		
項目		令和元年度	令和2年度								
在宅当番医制(射水市医師会)	医療機関数	39か所	39か所								
病院群輪番制(射水市民病院)【県1/2】	当番医日数	24日	24日								
	受診数	101人	103人								
指標項目		基準	実績	目標							
		平成25年度	令和2年度	令和5年度							
初期(第一次)救急医療体制の確保		73日	78日	73日							

事業名		不妊治療等助成費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																			
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																										
		30,662 【34,673】	30,929 【32,400】	27,850 【31,286】	【30,000】	不妊治療費助成の申請者が減少したことによる。																										
財 源 内 訳	県補助金	146	80	193																												
	一般財源	30,516	30,849	27,657																												
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																					
<p>1 不妊治療等助成事業</p> <p>不妊治療又は不育症治療を受けている夫婦に対して、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減するとともに、少子化対策の充実を図った。</p> <p><助成実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実：198件</th> <th>延べ：265件</th> <th>実：189件</th> <th>延べ：228件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不妊治療</td> <td>実：198件</td> <td>延べ：265件</td> <td>実：189件</td> <td>延べ：228件</td> </tr> <tr> <td>不育症治療【県1/2】</td> <td>実：4件</td> <td>延べ：4件</td> <td>実：7件</td> <td>延べ：7件</td> </tr> </tbody> </table>														項目	令和元年度		令和2年度		実：198件	延べ：265件	実：189件	延べ：228件	不妊治療	実：198件	延べ：265件	実：189件	延べ：228件	不育症治療【県1/2】	実：4件	延べ：4件	実：7件	延べ：7件
項目	令和元年度		令和2年度																													
	実：198件	延べ：265件	実：189件	延べ：228件																												
不妊治療	実：198件	延べ：265件	実：189件	延べ：228件																												
不育症治療【県1/2】	実：4件	延べ：4件	実：7件	延べ：7件																												
											見直し	<p>令和元年度不妊治療助成により、81人(40.91%)が妊娠し、うち59人が出産するなど少子化対策に一定の効果があった。また、令和2年度には、69人(36.51%)が妊娠に至っている。</p> <p>令和4年4月から不妊治療の保険適用が予定されており、県・他市の動向も踏まえ、引き続き、少子化対策が充実できるよう助成制度の在り方について検討する。</p>																				

事業名	母子保健推進費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		2目 母子保健衛生費) 決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																																			
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																																																							
		81,490【87,569】	81,998【95,519】	84,740【95,310】		【91,426】		新型コロナウイルス感染症予防対策として、消毒液、マスク、ガウン、衝立等保健衛生用品を整備したことによる。																																																																							
財 源 内 訳	国庫補助金	2,238	4,745	5,060																																																																											
	県補助金	1,178	857	1,971																																																																											
	諸収入	44	39	34																																																																											
	一般財源	78,030	76,357	77,675																																																																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																																																					
<p>1 母子保健事業【国、県】</p> <p>妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図るとともに母性、乳幼児の健康の保持増進を目的に健康診査、教室、相談、訪問等を実施した。令和2年度は、母体の負担の軽減や産後うつ予防として、産後家事サポート事業を実施した。また、言語聴覚士を正規職員として採用し、相談等にタイムリーに対応できるよう相談体制を整えた。</p> <p>健康診査状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦一般健康診査(14回)</td> <td>延べ7,077人</td> <td>延べ6,912人</td> </tr> <tr> <td>産婦健康診査(2回)</td> <td>延べ1,163人</td> <td>延べ1,079人</td> </tr> <tr> <td>乳児一般健康診査(2回)</td> <td>延べ1,117人</td> <td>延べ1,084人</td> </tr> <tr> <td>3~4か月児健康診査</td> <td>628人</td> <td>554人</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児健康診査</td> <td>661人</td> <td>635人</td> </tr> <tr> <td>3歳6か月児健康診査</td> <td>748人</td> <td>683人</td> </tr> </tbody> </table> <p>教室・相談状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">参加人数(延べ)</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両親教室</td> <td>265人</td> <td>221人</td> </tr> <tr> <td>育児相談、母乳相談、栄養相談</td> <td>1,445人</td> <td>1,146人</td> </tr> <tr> <td>要観察児相談会・教室</td> <td>650人</td> <td>443人</td> </tr> <tr> <td>個別発達相談件数(電話・来所)</td> <td>396件</td> <td>454件</td> </tr> <tr> <td>(再掲)スマイル相談会</td> <td></td> <td>20組</td> </tr> <tr> <td>母子保健推進員活動</td> <td>1,246人</td> <td>1,004人</td> </tr> <tr> <td>産後家事サポート事業</td> <td></td> <td>20回</td> </tr> </tbody> </table> <p>訪問指導状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">訪問人数(延べ)</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児訪問指導</td> <td>367人</td> <td>294人</td> </tr> <tr> <td>未熟児訪問指導</td> <td>76人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>乳幼児訪問指導</td> <td>96人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>産前・産後サポート事業(妊婦・乳児訪問活動)</td> <td>(実)724人</td> <td>(実)615人</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年10月から実施</p>												項目	受診人数		令和元年度	令和2年度	妊婦一般健康診査(14回)	延べ7,077人	延べ6,912人	産婦健康診査(2回)	延べ1,163人	延べ1,079人	乳児一般健康診査(2回)	延べ1,117人	延べ1,084人	3~4か月児健康診査	628人	554人	1歳6か月児健康診査	661人	635人	3歳6か月児健康診査	748人	683人	項目	参加人数(延べ)		令和元年度	令和2年度	両親教室	265人	221人	育児相談、母乳相談、栄養相談	1,445人	1,146人	要観察児相談会・教室	650人	443人	個別発達相談件数(電話・来所)	396件	454件	(再掲)スマイル相談会		20組	母子保健推進員活動	1,246人	1,004人	産後家事サポート事業		20回	項目	訪問人数(延べ)		令和元年度	令和2年度	新生児訪問指導	367人	294人	未熟児訪問指導	76人	72人	乳幼児訪問指導	96人	98人	産前・産後サポート事業(妊婦・乳児訪問活動)	(実)724人	(実)615人	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、4、5月は、健康診査の延期や育児相談・教室、訪問活動の中止などにより、電話での対応が増えた時期もあったが、感染症予防対策を徹底し、7月以降は健診、相談、教室、訪問活動を再開し実施した。1回当たりの参加人数を制限し実施しているが、実施回数を増やしたり、個別に対応しながら妊婦・母親の不安軽減に努めた。</p> <p>今後も引き続き妊娠から子育て期にわたる切れ目ない相談支援体制として、産後ケア事業等体制を整えていく。</p>	
項目	受診人数																																																																														
	令和元年度	令和2年度																																																																													
妊婦一般健康診査(14回)	延べ7,077人	延べ6,912人																																																																													
産婦健康診査(2回)	延べ1,163人	延べ1,079人																																																																													
乳児一般健康診査(2回)	延べ1,117人	延べ1,084人																																																																													
3~4か月児健康診査	628人	554人																																																																													
1歳6か月児健康診査	661人	635人																																																																													
3歳6か月児健康診査	748人	683人																																																																													
項目	参加人数(延べ)																																																																														
	令和元年度	令和2年度																																																																													
両親教室	265人	221人																																																																													
育児相談、母乳相談、栄養相談	1,445人	1,146人																																																																													
要観察児相談会・教室	650人	443人																																																																													
個別発達相談件数(電話・来所)	396件	454件																																																																													
(再掲)スマイル相談会		20組																																																																													
母子保健推進員活動	1,246人	1,004人																																																																													
産後家事サポート事業		20回																																																																													
項目	訪問人数(延べ)																																																																														
	令和元年度	令和2年度																																																																													
新生児訪問指導	367人	294人																																																																													
未熟児訪問指導	76人	72人																																																																													
乳幼児訪問指導	96人	98人																																																																													
産前・産後サポート事業(妊婦・乳児訪問活動)	(実)724人	(実)615人																																																																													

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 産後ケア施設感染拡大防止対策事業（新型コロナ対策3- 17）【国10/10】 新型コロナウイルス感染症対策のため、産後ケア事業を行う施設3か所に対して、消毒液やフェイスガード等の保健衛生用品を配布し、利用者との接触時に活用することで、感染予防が図られた。 ・ 事業費 126千円	完了	今後も感染症対策を徹底しつつ事業を継続していく。	
3 母子総合相談室、乳幼児家庭全戸訪問事業における感染症対策事業（新型コロナ対策3- 18）【県（国）10/10】 新型コロナウイルス感染症対策のため、母子保健推進員等89人に対して、保健衛生用品（マスク、消毒液等）を配布し、感染予防を図った。 また、母子相談室利用者の感染対策のため、施設に感染対策備品（衝立等）を設置した。これにより、利用者が安心して利用できる環境を整えた。 ・ 事業費 998千円	完了	今後も感染症対策を徹底しつつ事業を継続していく。	

事業名	歯科保健対策推進費	(4款 衛生費	1項 保健衛生費	2目 母子保健衛生費) 決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
-----	-----------	----------	----------	------------	-------	--------	------	-------------

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
		5,573 【5,772】	5,480 【5,705】	5,466 【5,712】	【6,461】				
財源内訳	県補助金	799	834	940					
	諸収入	496	496	151					
	一般財源	4,278	4,150	4,375					

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）																																																						
1 歯科保健事業【県1/3】 妊娠期、乳幼児・学童期まで継続したむし歯・歯周疾患予防事業を実施した。 <健診・教室等実施状況>	継続			令和2年度の保育園親子歯みがき教室は、新型コロナウイルス感染症予防として、希望する保護者のみとしたことから、参加人数が減少した。また、小学校親子歯みがき教室も児童のみを対象とし実施したことから、参加人数が減少した。 3歳6か月児のむし歯有病率は令和2年度14.1%（令和元年度10.0%）、12歳児永久歯の1人平均むし歯数は令和2年度0.57本（令和元年度0.61本）であることから、第2次健康増進プランに掲げた取組について、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら事業を実施していく。																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦歯科健診</td> <td>-</td> <td>259人</td> <td>-</td> <td>234人</td> </tr> <tr> <td>乳歯むし歯予防教室</td> <td>84回</td> <td>延べ2,238人</td> <td>90回</td> <td>延べ2,045人</td> </tr> <tr> <td>保育園親子歯みがき教室</td> <td>29回</td> <td>1,318人</td> <td>29回</td> <td>324人</td> </tr> <tr> <td>小学校親子歯みがき教室</td> <td>15回</td> <td>1,437人</td> <td>15回</td> <td>761人</td> </tr> <tr> <td>小学校歯周疾患予防教室</td> <td>5回</td> <td>316人</td> <td>5回</td> <td>329人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>施設数</th> <th>人数</th> <th>施設数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園フッ素洗口（4.5歳児）</td> <td>29</td> <td>1,326人</td> <td>28</td> <td>1,263人</td> </tr> <tr> <td>小学校フッ素洗口（全学年）</td> <td>15</td> <td>4,670人</td> <td>15</td> <td>4,587人</td> </tr> </tbody> </table> <保育園・小学校フッ素洗口実施状況>	項目	令和元年度		令和2年度		回数	人数	回数	人数	妊婦歯科健診	-	259人	-	234人	乳歯むし歯予防教室	84回	延べ2,238人	90回	延べ2,045人	保育園親子歯みがき教室	29回	1,318人	29回	324人	小学校親子歯みがき教室	15回	1,437人	15回	761人	小学校歯周疾患予防教室	5回	316人	5回	329人	項目	令和元年度		令和2年度		施設数	人数	施設数	人数	保育園フッ素洗口（4.5歳児）	29	1,326人	28	1,263人	小学校フッ素洗口（全学年）	15	4,670人	15	4,587人			
項目		令和元年度		令和2年度																																																				
	回数	人数	回数	人数																																																				
妊婦歯科健診	-	259人	-	234人																																																				
乳歯むし歯予防教室	84回	延べ2,238人	90回	延べ2,045人																																																				
保育園親子歯みがき教室	29回	1,318人	29回	324人																																																				
小学校親子歯みがき教室	15回	1,437人	15回	761人																																																				
小学校歯周疾患予防教室	5回	316人	5回	329人																																																				
項目	令和元年度		令和2年度																																																					
	施設数	人数	施設数	人数																																																				
保育園フッ素洗口（4.5歳児）	29	1,326人	28	1,263人																																																				
小学校フッ素洗口（全学年）	15	4,670人	15	4,587人																																																				

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		7,137 【7,836】	6,838 【7,657】	6,348 【7,841】	【7,772】	
財 源 内 訳	県補助金	4,252	4,030	4,145		
	諸収入	212	225	270		
	一般財源	2,673	2,583	1,933		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

1 健康増進事業【県2/3】

健康増進法に基づき、一般健康診査や健康教育、健康相談を行い、生活習慣病の予防啓発を図った。

また、異常の早期発見や予防・健康づくりの意識を高めるため、肝炎ウイルス検診や節目年齢を対象とした歯周病検診や骨粗しょう症検診を行った。

<検診状況>

項目	受診人数	
	令和元年度	令和2年度
一般健康診査（40歳以上）	19人	27人
肝炎ウイルス検診	263人	187人
歯周疾患検診	421人	387人
骨粗しょう症検診	446人	521人

<教室・相談状況>

項目	参加人数（延べ）	
	令和元年度	令和2年度
健康教育	2,900人	105人
健康相談	121人	620人

<訪問指導状況>

項目	訪問人数（延べ）	
	令和元年度	令和2年度
訪問指導	17人	16人

継続

令和2年度はコロナ禍での受診控え等により検診受診人数が減少したが、骨粗しょう症検診はWeb予約を導入したこともあり、受診人数が増加した。

健康教育に関しても集団で集まる機会が減少したことにより実績が大幅に減少したが、個別の健康相談の機会を増やし対応した。

令和3年度は、引き続き検診受診勧奨を行い、感染症対策を行いながら検診や教室、相談、訪問等を実施する。

事業名		がん対策推進費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		3目 成人・老人保健対策費		決算書		83 ページ		担当部課		福祉保健部保健センター																																																																	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																																							
		146,808 【151,800】		146,798 【151,603】		92,806 【94,190】		【111,648】		胃内視鏡検査、子宮、乳がん検診の受診者数の減少による。																																																																							
財 源 内 訳	県補助金	4,220		4,414		2,973																																																																											
	繰入金（基金）	2,250		3,600		3,000																																																																											
	諸収入	7,223		6,948		2,743																																																																											
	一般財源	133,115		131,836		84,090																																																																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																																																							
<p>1 がん対策事業【県1/2】</p> <p>健康増進法に基づくがん検診を行い、早期発見、早期治療を勧め、がん予防の普及啓発を実施した。令和2年度から国の指針に併せて、胃内視鏡検査、子宮・乳がん検診を2年に1回の受診間隔とした。また、受診希望者が24時間いつでも集団がん検診の予約が可能となるWeb予約の導入、夕方検診や日曜検診の実施、協会けんぽや国保と連携し特定健診とがん検診の同時開催等を実施し、受診率向上対策として働き盛り世代が受診しやすい体制を強化した。</p> <p><がん検診></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>8,916人</td> <td>8,265人</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>5,543人</td> <td>2,397人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>7,399人</td> <td>6,144人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>6,417人</td> <td>3,173人</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>5,464人</td> <td>2,250人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん検診</td> <td>860人</td> <td>834人</td> </tr> <tr> <td>ヘリカルCT肺がん検診</td> <td>179人</td> <td>159人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん検診受診率</td> <td>33.2%</td> <td>26.4%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診受診率</td> <td>19.7%</td> <td>24.9%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診受診率</td> <td>28.6%</td> <td>34.6%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診受診率</td> <td>31.6%</td> <td>42.2%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診受診率</td> <td>30.2%</td> <td>33.6%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3大生活習慣病による死亡率（10万人当たり）がん</td> <td>326.7人</td> <td>323.1人</td> <td>283.2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考：令和元年度実績 県 340.4人、国 304.2人</p>										項目	受診人数		令和元年度	令和2年度	肺がん検診	8,916人	8,265人	胃がん検診	5,543人	2,397人	大腸がん検診	7,399人	6,144人	子宮がん検診	6,417人	3,173人	乳がん検診	5,464人	2,250人	前立腺がん検診	860人	834人	ヘリカルCT肺がん検診	179人	159人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	肺がん検診受診率	33.2%	26.4%	50.0%	胃がん検診受診率	19.7%	24.9%	50.0%	大腸がん検診受診率	28.6%	34.6%	50.0%	子宮がん検診受診率	31.6%	42.2%	50.0%	乳がん検診受診率	30.2%	33.6%	50.0%	指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和元年度	令和5年度	3大生活習慣病による死亡率（10万人当たり）がん	326.7人	323.1人	283.2人	<p>がんの死亡率の減少を目指し、がん検診受診率向上対策として、夕方検診や日曜検診の実施、特定健診との同時開催等を実施し、受診率の向上を図った。</p> <p>令和2年度から国の指針に沿い、受診間隔を一部、2年に1回に変更し定期的な受診を勧めていく。</p> <p>コロナ禍で検診開始時期を遅らせたことや受診控えもあり、受診人数は減少した。対象者の見直しにより、受診率は前年度と比較が難しいが、目標にはまだ到達できていない。受診率向上対策としてWeb予約の推進、ヘルスポランティアのがん検診受診勧奨、働き盛り世代が受診しやすい体制の整備を強化していく。</p> <p>また、がん予防の普及啓発として、図書館展示を実施し、正しいがんの知識・がん検診の意義・必要性を住民に理解してもらおう取組を実施する。</p>							
項目	受診人数																																																																																
	令和元年度	令和2年度																																																																															
肺がん検診	8,916人	8,265人																																																																															
胃がん検診	5,543人	2,397人																																																																															
大腸がん検診	7,399人	6,144人																																																																															
子宮がん検診	6,417人	3,173人																																																																															
乳がん検診	5,464人	2,250人																																																																															
前立腺がん検診	860人	834人																																																																															
ヘリカルCT肺がん検診	179人	159人																																																																															
指標項目	基準	実績	目標																																																																														
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																																																														
肺がん検診受診率	33.2%	26.4%	50.0%																																																																														
胃がん検診受診率	19.7%	24.9%	50.0%																																																																														
大腸がん検診受診率	28.6%	34.6%	50.0%																																																																														
子宮がん検診受診率	31.6%	42.2%	50.0%																																																																														
乳がん検診受診率	30.2%	33.6%	50.0%																																																																														
指標項目	基準	実績	目標																																																																														
	平成24年度	令和元年度	令和5年度																																																																														
3大生活習慣病による死亡率（10万人当たり）がん	326.7人	323.1人	283.2人																																																																														
令和2年度は翌年度報告																																																																																	

事業名		健康づくり推進費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		3目 成人・老人保健対策費)		決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
		2,204 【2,273】		5,134 【5,278】		2,414 【2,679】		【2,241】		令和元年度は、第2次射水市健康増進プラン策定費を執行したことによる。			
財 源 内 訳	一般財源	2,204		5,134		2,414							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 健康づくり推進事業 市民の自主的な健康づくり活動を支援するため、地域での健康教育、健康づくりボランティア活動等による普及啓発を行い、健康づくりの推進を図った。 ・健康づくり推進協議会(年1回)の開催 ・ヘルスポランティア活動 令和2年度会員370人、活動延べ人数 20,572人 ・食生活改善推進員活動 令和2年度会員314人、活動延べ人数 2,034人 ・ぱくぱくクッキング ケーブルテレビ 年4回放映											拡 充	健康づくりボランティアと協働し、一人ひとりが健康づくりを实践するための行動目標(Let'sトライ! IMIZUSHI健康8)を推進するため、ケーブルテレビやホームページ等での普及活動や地域での健康づくり活動を引き続き実施していく。	
2 第3次射水市食育推進計画の策定業務 市民が生涯にわたって人間性を育み、健康で豊かな生活を送ることができるよう、市民アンケート調査や関係機関との意見交換を行い、「第3次射水市食育推進計画」を令和3年3月に策定した。 食育推進会議 3回開催 食育推進会議幹事会 3回開催 計画書印刷 200冊 概要版印刷 2,000枚												完 了	今後は、第3次射水市食育推進計画に基づき、ライフステージに応じた食育実践のポイントを推進し、多様な関係者と連携、協働しながら、社会全体が一体となって健全な食育生活を推進することを目指していく。

事業名		心の健康づくり推進費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 3目 成人・老人保健対策費)				決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		579	【628】	414	【420】	498	【505】		【536】				
財 源 内 訳	県補助金	322		206		242							
	一般財源	257		208		256							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 心の健康づくり事業【県1/2】</p> <p>地域における自殺対策の更なる強化を図ることを目的として、対面相談事業、人材養成事業（ゲートキーパー）、普及啓発事業を実施した。</p> <p>対面相談事業</p> <p>こころの健康相談（公認心理師及び保健師による個別相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公認心理師：年間27回、延べ39人 ・ 保健師：随時 <p>人材養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲートキーパー養成講座：精神科医による講義、公認心理師による講義とロールプレイを実施 年2回、57人 （健康づくりボランティア養成講座12人、地域包括支援センター職員6人、市職員39人） ・ ゲートキーパースキルアップ研修：臨床心理士の講義やロールプレイを実施 年1回、26人 （健康づくりボランティア等過去にゲートキーパー養成講座を受講した者） <p>普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自殺対策強化月間に合わせて図書館での普及啓発イベント開催 ・ 健診や窓口で市民へ普及啓発物品やパンフレットの配布 ・ 広報やケーブルテレビ等でのこころの健康づくりに関する広報活動 ・ こころの健康づくりに関する市民向け講演会 ・ 相談窓口に従事する市職員等向けの自殺予防対応ガイドブック（受け手・支え手支援ガイド）の作成及び配布 <p>計画策定実態調査事業</p> <p>自殺対策推進協議会を1回開催し、計画の進捗について検討、評価した。</p>											<p>こころの健康相談は、日程が決まっている公認心理師との対面相談だけでなく電話やメールでの随時相談が増えた。</p> <p>人材養成事業は、対象者を拡大し、今後も自殺対策に関わる人材を養成していく。令和3年度は介護支援専門員や理美容師等にゲートキーパー養成講座を実施する。</p> <p>普及啓発事業は、自殺予防対応ガイドブックを作成、配布し早期支援につなげることができるようにした。今後もSNS等も含め啓発普及を進めていく。</p>		

拡
充

事業名	予防接種費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費)		決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																		
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																																						
		211,057【227,487】	219,895【232,266】	291,864【302,649】	【227,643】																																																							
財 源 内 訳	国庫補助金	0	6,815	51,687		令和2年10月からロタウイルスワクチンの定期接種化による。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、射水市インフルエンザ予防接種助成事業を実施したことによる。																																																						
	県補助金	0	0	22																																																								
	繰入金(基金)	0	0	10,000																																																								
	一般財源	211,057	213,080	230,155																																																								
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																																																				
<p>1 乳幼児・児童生徒・高齢者予防接種 定期的な予防接種により感染症の発生及びまん延の予防を図った。 <定期接種状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロタウイルスワクチン</td> <td></td> <td>530人</td> </tr> <tr> <td>B C G</td> <td>645人</td> <td>593人</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td>2,453人</td> <td>2,451人</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td>2,490人</td> <td>2,412人</td> </tr> <tr> <td>ポリオ(不活化ワクチン)</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>4種混合</td> <td>2,583人</td> <td>2,469人</td> </tr> <tr> <td>ジフテリア・百日せき・破傷風(DPT)</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td>1,860人</td> <td>1,757人</td> </tr> <tr> <td>麻しん・風しん(MR)</td> <td>1,364人</td> <td>1,311人</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>1,221人</td> <td>1,275人</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>3,182人</td> <td>3,418人</td> </tr> <tr> <td>ジフテリア・破傷風(DT)</td> <td>709人</td> <td>831人</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん予防</td> <td>30人</td> <td>277人</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td>18,239人</td> <td>21,359人</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td>1,169人</td> <td>1,044人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(長期療養の対応で接種した者を含む。)</p>								項目	受診人数		令和元年度	令和2年度	ロタウイルスワクチン		530人	B C G	645人	593人	ヒブ	2,453人	2,451人	小児用肺炎球菌	2,490人	2,412人	ポリオ(不活化ワクチン)	1人	1人	4種混合	2,583人	2,469人	ジフテリア・百日せき・破傷風(DPT)	3人	1人	B型肝炎	1,860人	1,757人	麻しん・風しん(MR)	1,364人	1,311人	水痘	1,221人	1,275人	日本脳炎	3,182人	3,418人	ジフテリア・破傷風(DT)	709人	831人	子宮頸がん予防	30人	277人	高齢者インフルエンザ	18,239人	21,359人	高齢者肺炎球菌	1,169人	1,044人	<p>令和2年10月から実施</p> <p>令和2年度からロタウイルスワクチンの定期予防接種化による実施や骨髄移植者等への定期予防接種ワクチン再接種費用助成事業を実施した。また、個別通知及び乳幼児健診や未接種者への接種勧奨を行い接種率の維持向上を図った。</p>		
項目	受診人数																																																											
	令和元年度	令和2年度																																																										
ロタウイルスワクチン		530人																																																										
B C G	645人	593人																																																										
ヒブ	2,453人	2,451人																																																										
小児用肺炎球菌	2,490人	2,412人																																																										
ポリオ(不活化ワクチン)	1人	1人																																																										
4種混合	2,583人	2,469人																																																										
ジフテリア・百日せき・破傷風(DPT)	3人	1人																																																										
B型肝炎	1,860人	1,757人																																																										
麻しん・風しん(MR)	1,364人	1,311人																																																										
水痘	1,221人	1,275人																																																										
日本脳炎	3,182人	3,418人																																																										
ジフテリア・破傷風(DT)	709人	831人																																																										
子宮頸がん予防	30人	277人																																																										
高齢者インフルエンザ	18,239人	21,359人																																																										
高齢者肺炎球菌	1,169人	1,044人																																																										
<p>2 大人の風しん追加的対策等事業【国1/2】 公的に予防接種を受ける機会のなかった男性に対し、令和元年度から3年間の時限措置として風しんの追加的対策を実施した。 抗体検査・予防接種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">受診人数</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抗体検査</td> <td>1,405人</td> <td>2,424人</td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>363人</td> <td>540人</td> </tr> </tbody> </table>								項目	受診人数		令和元年度	令和2年度	抗体検査	1,405人	2,424人	予防接種	363人	540人	<p>令和2年度は、令和元年度の未受診者に受診勧奨を行い、受診人数が増加した。 令和3年度は、これまでの未受診者に対して受診勧奨を行い、風しんの発生及びまん延を防いでいく。</p>																																									
項目	受診人数																																																											
	令和元年度	令和2年度																																																										
抗体検査	1,405人	2,424人																																																										
予防接種	363人	540人																																																										

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>3 インフルエンザ予防接種助成事業（新型コロナ対策1- 13）【交付金】 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防止し、医療機関の負担軽減を図るため、中高校生、妊婦、高齢者等に対し、インフルエンザ予防接種費用を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接種者 高齢者21,359人、中高校生3,059人、妊婦247人 ・ 事業費 42,585千円（助成額 41,909千円 その他送料等 676千円） 	<p>完了</p> <p>助成対象者の接種率は、高齢者75%、中高生56%、妊婦42%であった。また、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底により、今冬はインフルエンザの流行を防ぐことができた。</p>

事業名	感染症予防費				（ 4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費 ）				決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		656	【725】	83	【88】	14,203	【16,029】			新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、手指消毒剤等を公共施設に設置するなど各種感染症対策事業に取り組んだことによる。		
財源内訳	国庫補助金	0		0		14,111						
	一般財源	656		83		92						

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>1 公共施設における安全・安心確保事業（新型コロナ対策3- 19）【交付金】 公共施設における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ため、手指消毒剤等保健衛生用品を整備し、新規感染者及びクラスターの発生を抑制した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 6,202千円 	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、引き続き消毒剤等を設置する。</p>
<p>2 医療機関支援事業補助金（新型コロナ対策2- 19）【交付金】 病院内での新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止し、地域で求められる医療や各種検診の体制が確保できるよう、市内医療機関79施設に対し、医療用感染資機材に係る経費等を支援（1施設当たり上限10万円）した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 7,910千円（支援金 7,900千円 その他費用（郵便料） 10千円） 	<p>完了</p> <p>市内病院内で感染拡大防止体制を確保することができた。</p>
<p>3 高齢者PCR検査助成事業（新型コロナ対策3- 20） 新型コロナウイルス感染症の流行下において、高齢者や基礎疾患を有する者が本人の希望により検査を受ける場合に、一部助成（助成額1万円）する制度を創設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 0千円 	<p>完了</p> <p>症状等がある場合の検査体制が整ったこと等により、検査についての問合せはあったが、検査実施までには至らず実績はなかった。</p>

事業名		【新】新型コロナウイルスワクチン接種費 (4款 衛生費 1項 保健衛生費 4目 予防費)				決算書	83 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
				2,866 【626,523】					
財 源 内 訳	国庫補助金			2,866					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 新型コロナウイルスワクチン接種事業(新型コロナ対策3- 21)【国10/10】 新型コロナウイルスワクチン接種を希望する市民が、安全かつ迅速に接種できるよう、ワクチンの輸送時に使用する保冷剤を保管する低温保存庫を整備するなど必要な接種体制を整えとともに、ワクチン接種に関するチラシを作成し、周知を図った。							継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、希望する市民に対してワクチン接種を実施する。	
(繰越明許費 623,657 千円) ・事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業(新型コロナ対策3- 21) ・予算執行率 0.5% ・完了時期 令和4年2月									

事業名		環境衛生対策費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 環境衛生費)				決算書	84 ページ	担当部課	市民生活部環境課																				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																							
		6,751	【6,910】	5,732	【6,548】	6,259	【6,734】	【6,296】		公衆浴場衛生設備改善事業補助金の件数及び金額が増加したことによる。																							
財 源 内 訳	寄附金	0		0		2,000																											
	一般財源	6,751		5,732		4,259																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																							
<p>1 環境衛生対策事業</p> <p>自治会等で実施する害虫防除及びごみ集積ボックス設置等に対する助成の実施や、空き地等の適正管理の指導を通じ、快適で衛生的な地域環境の整備に努めた。</p> <p>害虫防除補助 119件、交付額 2,162千円 (令和元年度 124件、2,352千円)</p> <p>衛生害虫防除薬剤散布 委託料 1,177千円 (令和元年度 1,156千円)</p> <p>港湾地区の防疫のため、庄西地区、新湊地区、放生津地区、堀岡地区及び海老江地区で実施</p> <p>ごみ集積ボックス等設置費補助</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ごみ集積場設置</td> <td>3件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>ごみボックス設置</td> <td>24件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>ごみボックス補修</td> <td>2件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>防鳥ネット</td> <td>8件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,184千円</td> <td>938千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>公衆浴場衛生設備改善事業補助金 2件 交付額 937千円 (令和元年度 1件、59千円)</p>										内容	数量		令和元年度	令和2年度	大型ごみ集積場設置	3件	0件	ごみボックス設置	24件	24件	ごみボックス補修	2件	4件	防鳥ネット	8件	29件	補助金額	1,184千円	938千円	<p>継続</p> <p>自治会等に対する害虫防除やごみ集積ボックス設置等の補助を継続して実施し環境保全に努めた。引き続き、衛生的な地域環境の保全に努める。</p>			
内容	数量																																
	令和元年度	令和2年度																															
大型ごみ集積場設置	3件	0件																															
ごみボックス設置	24件	24件																															
ごみボックス補修	2件	4件																															
防鳥ネット	8件	29件																															
補助金額	1,184千円	938千円																															

事業名	美化対策費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 5目 環境衛生費)				決算書	84 ページ	担当部課	市民生活部環境課																			
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																									
		2,753 【3,136】	2,784 【3,203】	2,917 【3,109】	【3,218】																										
財 源 内 訳	県補助金	134	131	188																											
	一般財源	2,619	2,653	2,729																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																					
<p>1 美化対策事業</p> <p>廃棄物不法投棄監視員の委嘱や不法投棄監視パトロール臨時職員の雇用により廃棄物不法投棄の未然防止と早期発見に努めた。また、アダプト・プログラム参加団体への支援により地域の美化活動を推進した。</p> <p>廃棄物不法投棄監視員設置 25人 不法投棄監視パトロール臨時職員雇用(令和2年4月~11月 2人) アダプト・プログラム事業 57団体、1,667人 (令和元年度 57団体、1,674人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アダプト・プログラム参加団体数</td> <td>56団体</td> <td>57団体</td> <td>70団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボランティア保険(不法投棄監視員 25人、アダプト 779人) 側溝清掃用消石灰配布 クリーン作戦</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みんなできれいにせんまいけ大作戦</td> <td>令和2年7月5日</td> </tr> <tr> <td>小杉地区クリーン作戦</td> <td>令和2年7月26日</td> </tr> <tr> <td>射水市一斉クリーン大作戦</td> <td>令和2年10月18日</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	アダプト・プログラム参加団体数	56団体	57団体	70団体	内容	実施時期	みんなできれいにせんまいけ大作戦	令和2年7月5日	小杉地区クリーン作戦	令和2年7月26日	射水市一斉クリーン大作戦	令和2年10月18日	<p>継続</p> <p>不法投棄監視員等の活動は、廃棄物の不法投棄の未然防止や早期発見に有効であり、引き続き業務を継続する。また、アダプト・プログラム事業を推進し、市民と市が一体となった地域清掃活動に努めた。これらの事業を継続し、地域の環境美化を推進する。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																												
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																												
アダプト・プログラム参加団体数	56団体	57団体	70団体																												
内容	実施時期																														
みんなできれいにせんまいけ大作戦	令和2年7月5日																														
小杉地区クリーン作戦	令和2年7月26日																														
射水市一斉クリーン大作戦	令和2年10月18日																														

事業名		齋場管理費（繰越明許）				（ 4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 齋場費 ）		決算書	85 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				222,005 【222,189】							
財 源 内 訳	市債			210,900							
	一般財源			11,105							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 新齋場周辺整備事業</p> <p>新齋場の緩衝緑地として「フラワーパーク沖塚原」を整備するとともに、周辺環境の向上を図るため、道路拡幅や消雪施設の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フラワーパーク沖塚原整備 <ul style="list-style-type: none"> 公園面積：約2.7ha 主な施設：パークゴルフコース（3コース、27ホール） 園路 約630m 管理棟 1棟（事務室、休息室、車庫・倉庫） トイレ 1棟（男・女・多目的） 駐車場 67台（うち車いす使用者用駐車施設2台） ・ 市道塚原156号線拡幅改良整備（新齋場、フラワーパーク沖塚原南側に接する市道） <ul style="list-style-type: none"> 整備延長 800m、幅員 8.5m（片側歩道） 事業用地購入 1,682㎡ ・ 市道塚原154号線拡幅改良整備（新齋場整備に伴う付替え道路） <ul style="list-style-type: none"> 整備延長 210m、幅員 6.5m 事業用地購入 340㎡ ・ 沖塚原地内消雪施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 施設数3か所、散水延長 4,120m 								<p>継続</p> <p>射水市齋場の緩衝緑地としての役割を担うとともに、地域住民のコミュニティ形成や、幅広い世代の交流・健康に資する公園の整備を進めた（令和3年7月供用開始）。</p>			

事業名	斎場管理費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 斎場費)				決算書	85 ページ	担当部課	市民生活部環境課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																		
		35,613 【36,843】	214,529 【442,385】	329,489 【621,633】	【154,935】	令和元年度から新斎場周辺整備事業を「斎場整備事業費」から「斎場管理費」に振り替え、執行したことによる。																		
財 源 内 訳	使用料	9,082	7,359	7,672																				
	手数料	14	19	14																				
	諸収入	5	2	3																				
	市債	0	104,600	278,700																				
一般財源		26,512	102,549	43,100																				
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 斎場管理 適切な火葬業務を行うため、各機器の定期保守及び修繕工事等を行った。 (火葬状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12歳以上</td> <td>1,129件</td> <td>1,159件</td> </tr> <tr> <td>12歳未満</td> <td>8件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,137件</td> <td>1,172件</td> </tr> </tbody> </table>										区分	令和元年度	令和2年度	12歳以上	1,129件	1,159件	12歳未満	8件	13件	計	1,137件	1,172件	継 続	<p>旧斎場については、令和3年度からの新斎場の供用開始を見据えた維持管理に努めた。 新斎場の運用・保守については、長期包括業務として適正化と合理化を図る。</p>	
区分	令和元年度	令和2年度																						
12歳以上	1,129件	1,159件																						
12歳未満	8件	13件																						
計	1,137件	1,172件																						
<p>2 新斎場周辺整備事業 新斎場の緩衝緑地として「フラワーパーク沖塚原」を整備するとともに、周辺環境の向上を図るため、道路拡幅や消雪施設の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> フラワーパーク沖塚原整備 公園面積：約2.7ha 主な施設：パークゴルフコース(3コース、27ホール) 園路 約630m 管理棟 1棟(事務室、休息室、車庫・倉庫) トイレ 1棟(男・女・多目的) 駐車場 67台(うち車いす使用者用駐車施設2台) 市道塚原156号線拡幅改良整備(新斎場、フラワーパーク沖塚原南側に接する市道) 整備延長 800m、幅員 8.5m(片側歩道) 事業用地購入 1,682㎡ 市道塚原154号線拡幅改良整備(新斎場整備に伴う付替え道路) 整備延長 210m、幅員 6.5m 事業用地購入 340㎡ 沖塚原地内消雪施設整備 施設数3か所、散水延長 4,120m 										継 続	<p>射水市斎場の緩衝緑地としての役割を担うとともに、地域住民のコミュニティ形成や、幅広い世代の交流・健康に資する公園の整備を進めた(令和3年7月供用開始)。</p>													
<p>(繰越明許費 286,666 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 新斎場周辺整備事業 予算執行率 53.5% 完了時期 令和4年3月 																								

事業名		齋場整備事業費（逓次繰越）				（ 4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 齋場費 ）		決算書	85 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	市債			1,213,290 【1,213,290】							
	一般財源			60,690							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 新齋場整備事業</p> <p>射水市齋場の整備が完了し、令和3年4月1日から供用を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市齋場新築（建築主体）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 佐藤工業・牧田組・四方組射水市齋場新築（建築主体）工事JV 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 1,779,800千円（継続費：令和元年度 200,000千円、令和2年度 1,579,800千円） 射水市齋場新築（電気設備）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 クリシマ・東和電設射水市齋場新築（電気設備）工事JV 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 225,344千円（継続費：令和元年度 39,330千円、令和2年度 186,014千円） 射水市齋場新築（機械設備）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 菱機工業・丸芳工業射水市齋場新築（機械設備）工事JV 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 303,600千円（継続費：令和元年度 0千円、令和2年度 303,600千円） 射水市齋場新築（火葬炉設備）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (株)宮本工業所 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 307,230千円（継続費：令和元年度 0千円、令和2年度 307,230千円） 射水市齋場新築工事監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)三四五建築研究所 委託期間 令和元年6月24日～令和3年1月22日 委託料 46,200千円（継続費：令和元年度 0千円、令和2年度 46,200千円） 								<p>完了</p> <p>お別れ室（告別、収骨室）を火葬炉と同数の6室備えるとともに、待合室6室を含む待合棟を設け、利用者の心情に寄り添う配慮とやすらぎを提供できる施設とした。 また、供用開始に当たり、使用料の見直しを行い、受益と負担の適正化を図った。</p>			

事業名	斎場整備事業費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 6目 斎場費)				決算書	85 ページ	担当部課	市民生活部環境課			
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
		788,622 【814,991】	239,330 【1,452,620】	1,254,223 【1,256,058】				平成30年度に用地取得及び敷地造成工事等を完了し、令和元年度から2年度にかけ、斎場整備（建築工事等）に着手したことによる。							
財 源 内 訳	繰入金（基金）	30,000	0	0											
	市債	719,400	227,300	1,189,500											
	一般財源	39,222	12,030	64,723											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）					
<p>1 新斎場整備事業</p> <p>射水市斎場の整備が完了し、令和3年4月1日から供用を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 射水市斎場新築（建築主体）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 佐藤工業・牧田組・四方組射水市斎場新築（建築主体）工事JV 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 1,779,800千円（継続費：令和元年度 200,000千円、令和2年度 1,579,800千円） 射水市斎場新築（電気設備）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 クリシマ・東和電設射水市斎場新築（電気設備）工事JV 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 225,344千円（継続費：令和元年度 39,330千円、令和2年度 186,014千円） 射水市斎場新築（機械設備）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 菱機工業・丸芳工業射水市斎場新築（機械設備）工事JV 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 303,600千円（継続費：令和元年度 0千円、令和2年度 303,600千円） 射水市斎場新築（火葬炉設備）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (株)宮本工業所 工期 令和元年6月27日～令和3年1月7日 契約額 307,230千円（継続費：令和元年度 0千円、令和2年度 307,230千円） 射水市斎場新築工事監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)三四五建築研究所 委託期間 令和元年6月24日～令和3年1月22日 委託料 46,200千円（継続費：令和元年度 0千円、令和2年度 46,200千円） 										完了			<p>お別れ室（告別、収骨室）を火葬炉と同数の6室備えるとともに、待合室6室を含む待合棟を設け、利用者の心情に寄り添う配慮とやすらぎを提供できる施設とした。</p> <p>また、供用開始に当たり、使用料の見直しを行い、受益と負担の適正化を図った。</p>		

事業名		公害対策費				(4款 衛生費 1項 保健衛生費 7目 環境保全費)			決算書	85 ページ	担当部課	市民生活部環境課																																																		
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																																								
		6,896	【7,381】	9,568	【9,639】	51,582	【54,195】																																																							
財 源 内 訳	国庫補助金	294		264		0						ポリ塩化ビフェニル(PCB) 廃棄物の処分を実施したことによる。																																																		
	県補助金	264		481		0																																																								
	県委託金	39		105		121																																																								
	一般財源	6,299		8,718		51,461																																																								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																																																			
<p>1 公害対策事業</p> <p>環境調査事業</p> <p>射水市内の環境の現状を把握することを目的として、各種調査等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> <th>測定地点等</th> <th>測定回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">大気関係</td> <td>大気汚染常時観測局保守管理</td> <td>1地点</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類大気環境調査</td> <td>1地点</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水質関係</td> <td rowspan="2">下条川水域等に係る水質環境調査</td> <td>河川</td> <td>10地点 2回</td> </tr> <tr> <td>海域</td> <td>2地点 2回</td> </tr> <tr> <td>和田川水域等に係る水質環境調査</td> <td>9地点 2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ため池等に係る水質環境調査</td> <td rowspan="2">ため池</td> <td>6地点 1回</td> </tr> <tr> <td>3地点 2回</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物処分場</td> <td>1地点 4回</td> </tr> <tr> <td>地下水観測井保守管理</td> <td>4地点 常時</td> </tr> <tr> <td>工場排水調査</td> <td>7地点 2回</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査</td> <td>5地点 4回</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査</td> <td>5地点 2回</td> </tr> <tr> <td>工場影響地下水調査(飲料水細菌・理化学検査)</td> <td>1地点 2回</td> </tr> <tr> <td>土壌関係</td> <td>産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査</td> <td>4地点 各1回</td> </tr> <tr> <td>悪臭関係</td> <td>臭気調査に係る分析等</td> <td>2地点 1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">騒音関係</td> <td>自動車騒音常時監視面の評価</td> <td>1路線 1回</td> </tr> <tr> <td>環境騒音調査(昼・夜)</td> <td>10地点 各1回</td> </tr> <tr> <td>交通騒音調査(昼・夜)</td> <td>9路線 各1回</td> </tr> <tr> <td>工場騒音調査(夜)</td> <td>11地点 1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>ポリ塩化ビフェニル廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理委託 公共施設で使用後、衛生センターで保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物(高濃度)(541個、1,508kg(ドラム缶重量含む))を適正に処分した。 委託先 中間貯蔵・環境安全事業(株) 北海道PCB処理事業所 委託期間 令和2年6月23日～令和3年3月31日 委託料 42,134千円 公募提案型市民協働事業補助金(特非)自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会 667千円</p>												内容		測定地点等	測定回数	大気関係	大気汚染常時観測局保守管理	1地点	常時	ダイオキシン類大気環境調査	1地点	2回	水質関係	下条川水域等に係る水質環境調査	河川	10地点 2回	海域	2地点 2回	和田川水域等に係る水質環境調査	9地点 2回	ため池等に係る水質環境調査	ため池	6地点 1回	3地点 2回	産業廃棄物処分場	1地点 4回	地下水観測井保守管理	4地点 常時	工場排水調査	7地点 2回	産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査	5地点 4回	ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査	5地点 2回	工場影響地下水調査(飲料水細菌・理化学検査)	1地点 2回	土壌関係	産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査	4地点 各1回	悪臭関係	臭気調査に係る分析等	2地点 1回	騒音関係	自動車騒音常時監視面の評価	1路線 1回	環境騒音調査(昼・夜)	10地点 各1回	交通騒音調査(昼・夜)	9路線 各1回	工場騒音調査(夜)	11地点 1回	<p>継続</p> <p>各種調査を実施し環境状況を把握した。引き続き、市内の環境概要の把握のために調査を実施していく。</p>
内容		測定地点等	測定回数																																																											
大気関係	大気汚染常時観測局保守管理	1地点	常時																																																											
	ダイオキシン類大気環境調査	1地点	2回																																																											
水質関係	下条川水域等に係る水質環境調査	河川	10地点 2回																																																											
		海域	2地点 2回																																																											
	和田川水域等に係る水質環境調査	9地点 2回																																																												
	ため池等に係る水質環境調査	ため池	6地点 1回																																																											
			3地点 2回																																																											
		産業廃棄物処分場	1地点 4回																																																											
	地下水観測井保守管理	4地点 常時																																																												
	工場排水調査	7地点 2回																																																												
	産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査	5地点 4回																																																												
	ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査	5地点 2回																																																												
工場影響地下水調査(飲料水細菌・理化学検査)	1地点 2回																																																													
土壌関係	産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査	4地点 各1回																																																												
悪臭関係	臭気調査に係る分析等	2地点 1回																																																												
騒音関係	自動車騒音常時監視面の評価	1路線 1回																																																												
	環境騒音調査(昼・夜)	10地点 各1回																																																												
	交通騒音調査(昼・夜)	9路線 各1回																																																												
	工場騒音調査(夜)	11地点 1回																																																												

事業名	地球温暖化対策推進費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		7目 環境保全費		決算書	85 ページ	担当部課	市民生活部環境課	
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			1,228	【1,250】	532	【570】	2,061		【2,199】				令和2年度から新規にプラスチック資源循環推進事業を実施したことによる。
財 源 内 訳	繰入金（基金）		0		0		1,900						
	一般財源		1,228		532		161						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 地球温暖化対策事業</p> <p>プラスチック資源循環推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市プラスチック資源循環戦略検討会の設置、開催（令和2年11月、令和3年2月） 市民団体や関係事業者及び学識経験者等で構成する検討会において、プラスチックの発生抑制、プラスチック廃棄物の削減に関する取組や情報交換及び普及啓発等について協議、検討した。 市内プラスチックごみ等の現状や具体的な取組の方向性を調査し報告書を作成した。 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)中部設計 射水営業所 委託期間 令和2年6月4日～令和3年3月19日 委託料 1,499千円 <p>いみず環境チャレンジ10事業</p> <p>いみずWAOネットワークと協力し、小学4年生を対象とした環境チャレンジ教室を実施した。</p> <p>グリーンカーテン事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止のため講習会は中止し、苗と培養土の配布のみとした。</p>										<p>継続</p> <p>プラスチック資源循環の推進に向けて、市民、事業者、行政等が一体となって取り組む機運の醸成を図り、全市的なプラスチック・スマート運動を展開することを目指す。</p>			

事業名		資源再利用対策費				(4款 衛生費 2項 清掃費 1目 清掃総務費)				決算書	86 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
		9,437 【11,480】		8,339 【10,958】		6,815 【9,772】		【8,397】		新型コロナウイルス感染症の影響により地域の資源回収活動が縮小されたことに伴い、資源再生利用推進報奨金の執行が減少したことによる。			
財 源 内 訳	繰入金(基金)	4,320		7,000		6,800							
	一般財源	5,117		1,339		15							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 資源再利用促進事業</p> <p>自治会等による資源集団回収、資源ごみ回収用物品の提供等を通して、ごみの減量・資源化に努めた。</p> <p>資源集団回収事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源再生利用推進報奨金 1kg当たり3円 回収量 1,859 t 報奨金 5,578千円 (令和元年度 2,300 t、6,900千円) 資源回収収集運搬委託料 雑誌1kg当たり1.5円 委託料580千円 <p>生ごみ処理機補助金 ごみ自家処理機材購入費補助金 15件 交付金額 172千円 (令和元年度 5件、69千円)</p>										<p>継続</p> <p>資源回収団体への支援(報奨金)により、資源物の回収に効果があった。事業を継続しごみの減量・資源化に努める。</p>			

事業名		クリーンピア射水管理費（繰越明許）				（ 4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
						21,222 【21,224】													
財 源 内 訳	一般財源					21,222													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）							
<p>1 クリーンピア射水周辺地区振興事業</p> <p>クリーンピア射水周辺地区振興事業として、片口久々江地区及び七美地区において消雪施設設置工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 片口久々江地区消雪取水施設設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 業 者 名 (株)朴木工業 工 期 令和元年11月20日～令和2年4月17日 契 約 額 17,853千円（うち繰越分12,253千円） ・ 市道七美23号線道路改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 業 者 名 (有)曾根組 工 期 令和2年9月2日～12月28日 契 約 額 8,969千円 												継 続				地元振興事業であり、地元関係者と調整しながら令和3年度の完了に向け整備を進める。			

事業名		クリーンピア射水管理費				(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)				決算書	86 ページ	担当部課	市民生活部環境課																																		
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																					
		804,190 【812,902】		710,081 【734,744】		719,918 【780,174】		【676,965】																																							
財 源 内 訳	使用料	一般財源	545	667,358	574	570,014	527	560,323																																							
	手数料		134,411		138,854		136,609																																								
	県補助金		1,876		639		365																																								
	諸収入		0		0		1,994																																								
	市債		0		0		20,100																																								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																																				
<p>1 一般廃棄物の可燃ごみ焼却事業</p> <p>一般廃棄物の可燃ごみについて、公害防止基準を守り適正に焼却処理した。 また、焼却施設から発生する余熱を発電や冷暖房、給湯などに有効利用した。</p> <p>可燃ごみ搬入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃物</td> <td>27,259,940kg</td> <td>26,778,300kg</td> </tr> <tr> <td>破砕可燃物</td> <td>934,860kg</td> <td>1,121,400kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>発電量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発電量</td> <td>5,416,910kwh</td> <td>6,438,790kwh</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電量</td> <td>9,326kwh</td> <td>9,255kwh</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,426,236kwh</td> <td>6,448,045kwh</td> </tr> </tbody> </table> <p>温浴施設利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>7,149人</td> <td>5,706人</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>7,932人</td> <td>6,117人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,081人</td> <td>11,823人</td> </tr> </tbody> </table>											区分	令和元年度	令和2年度	可燃物	27,259,940kg	26,778,300kg	破砕可燃物	934,860kg	1,121,400kg	区分	令和元年度	令和2年度	発電量	5,416,910kwh	6,438,790kwh	太陽光発電量	9,326kwh	9,255kwh	計	5,426,236kwh	6,448,045kwh	区分	令和元年度	令和2年度	男	7,149人	5,706人	女	7,932人	6,117人	計	15,081人	11,823人	継続	<p>一般廃棄物のうち「可燃ごみ」については、施設の適切な稼働により効率的に処理した。また、令和元年度から3か年で実施中の「基幹的設備改良工事」において、ごみ処理の効率化と設備の省エネルギー化を進め、施設内で使用する電力以外の余剰分を売電できるようになった。これにより光熱水費の削減及び温暖化防止対策に効果があった。引き続き施設周辺の環境に配慮し、法令を遵守しながら事業を継続する。</p>		
区分	令和元年度	令和2年度																																													
可燃物	27,259,940kg	26,778,300kg																																													
破砕可燃物	934,860kg	1,121,400kg																																													
区分	令和元年度	令和2年度																																													
発電量	5,416,910kwh	6,438,790kwh																																													
太陽光発電量	9,326kwh	9,255kwh																																													
計	5,426,236kwh	6,448,045kwh																																													
区分	令和元年度	令和2年度																																													
男	7,149人	5,706人																																													
女	7,932人	6,117人																																													
計	15,081人	11,823人																																													
<p>2 長期包括運営事業</p> <p>ごみ焼却運転業務等を委託し、適正な維持管理を行った。</p> <p>委託先 ㈱射水環境サービス 委託期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 委託料 3,279,346千円（うち令和2年度分 656,882千円）</p>											継続	<p>令和元年度から令和5年度まで㈱射水環境サービスと長期包括運営業務委託を締結している。今後も引き続き、委託業務の指揮監督、重要事項の確認等連携を密に施設の適正な運転管理に努める。</p>																																			
<p>3 包括運営業務モニタリング事業</p> <p>業務委託発注者は民間事業者が実施する公共サービスの水準をモニタリングする必要があることから、「モニタリングに関するガイドライン」に基づき、ごみの処理状況、公害防止等、管理運営及び財務面からの確認を行った。</p> <p>委託先 (一財)日本環境衛生センター 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 2,173千円</p>												継続	<p>本施設の運営受託事業者の「公共サービス水準」をモニタリングすることで、適正な業務管理に努めている。</p>																																		

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>4 クリーンピア射水周辺地区振興事業 クリーンピア射水周辺地区振興事業として、片口久々江地区及び七美地区において消雪施設設置工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 片口久々江地区消雪施設電気機械設備設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (株)サンコー 工期 令和2年7月9日～令和3年2月26日 契約額 19,690千円 ・ 市道七美23号線道路改良（その2）工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 (有)曾根組 工期 令和3年1月29日～3月22日 契約額 1,503千円 	継続	<p>地元振興事業であり、地元関係者と調整しながら令和3年度の完了に向け整備を進める。</p>
<p>（繰越明許費 60,117 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 クリーンピア射水周辺地区環境整備事業（片口久々江消雪施設設置工事等） ・ 予算執行率 92.3% ・ 完了時期 令和3年12月 		

事業名		クリーンピア射水整備事業費（通次繰越）（ 4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費 ）				決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	市債			31,705 【31,705】					
	一般財源			16,800					
				14,905					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 クリーンピア射水基幹的設備改良事業（国間接補1/2） クリーンピア射水の施設長寿命化及び二酸化炭素排出削減を図るため、基幹的設備改良工事を施工中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンピア射水基幹的設備改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 受注者 (株)神鋼環境ソリューション 大阪支社 工期 令和元年6月27日～令和4年2月28日 契約額 3,608,000千円 （継続費：令和元年度 721,600千円、令和2年度 1,948,320千円、令和3年度 938,080千円） ・ クリーンピア射水基幹的設備改良工事設計施工監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)中部設計 委託期間 令和元年7月5日～令和4年3月15日 委託料 21,340千円 （継続費：令和元年度 3,628千円、令和2年度 12,164千円、令和3年度 5,548千円） 								継続 事業の進捗により、プラントの省電力化と安定した発電が可能となり、余剰電力の売電を開始した。引き続き令和4年2月28日の工事完了に向け進捗を図る。	

事業名	クリーンピア射水整備事業費 (4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)				決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)		
		1,609 【1,610】	725,228 【756,933】	1,928,779 【2,050,931】	【969,955】	令和元年度、2年度は、クリーンピア射水基幹的設備改良工事を執行したことによる。		
財 源 内 訳	国庫補助金	536	0	0				
	諸収入	0	359,786	852,327				
	市債	0	323,800	930,300				
	一般財源	1,073	41,642	146,152				
主な事業内容・成果						評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 クリーンピア射水基幹的設備改良事業(国間接補1/2)</p> <p>クリーンピア射水の施設長寿命化及び二酸化炭素排出削減を図るため、基幹的設備改良工事を施工中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンピア射水基幹的設備改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 受注者 (株)神鋼環境ソリューション 大阪支社 工期 令和元年6月27日～令和4年2月28日 契約額 3,608,000千円 (継続費:令和元年度 721,600千円、令和2年度 1,948,320千円、令和3年度 938,080千円) ・クリーンピア射水基幹的設備改良工事設計施工監理業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 (株)中部設計 委託期間 令和元年7月5日～令和4年3月15日 委託料 21,340千円 (継続費:令和元年度 3,628千円、令和2年度 12,164千円、令和3年度 5,548千円) 						継続	<p>事業の進捗により、プラントの省電力化と安定した発電が可能となり、余剰電力の売電を開始した。引き続き令和4年2月28日の工事完了に向け進捗を図る。</p>	
<p>(遞次繰越額 122,152 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算執行率 94.0% 								

事業名	粗大ごみ処理施設管理費				(4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課																														
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																		
		66,133 【66,285】		76,590 【77,072】		86,891 【97,544】		【88,552】		不燃・粗大ごみ処理業務(水銀使用廃製品の処理処分含む)搬入量が増加したことによる。																																		
財 源 内 訳	手数料	27,841		40,106		34,896																																						
	諸収入	15,278		13,138		12,357																																						
	一般財源	23,014		23,346		39,638																																						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																		
<p>1 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみ処理事業 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの処理を委託し、適正に処理した。 また、その中から、有価物を精選して再資源化を図った。 粗大・不燃物搬入量及び処理困難物搬入量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粗大・不燃物</td> <td>1,848,600kg</td> <td>2,087,270kg</td> </tr> <tr> <td>廃タイヤ(ホイールなし)</td> <td>72本</td> <td>87本</td> </tr> <tr> <td>廃タイヤ(ホイールあり)</td> <td>302本</td> <td>289本</td> </tr> <tr> <td>廃タイヤ(16インチ以上)</td> <td>27本</td> <td>47本</td> </tr> <tr> <td>バッテリー</td> <td>88個</td> <td>91個</td> </tr> <tr> <td>消火器</td> <td>175本</td> <td>168本</td> </tr> </tbody> </table> <p>有価物精選量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>破碎鉄分</td> <td>442,170kg</td> <td>528,850kg</td> </tr> <tr> <td>破碎非鉄</td> <td>70,860kg</td> <td>76,280kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成27年度から、粗大ごみ及び不燃ごみの処理を外部委託 ・業者名 ハリタ金属(株)</p>										区分	令和元年度	令和2年度	粗大・不燃物	1,848,600kg	2,087,270kg	廃タイヤ(ホイールなし)	72本	87本	廃タイヤ(ホイールあり)	302本	289本	廃タイヤ(16インチ以上)	27本	47本	バッテリー	88個	91個	消火器	175本	168本	区分	令和元年度	令和2年度	破碎鉄分	442,170kg	528,850kg	破碎非鉄	70,860kg	76,280kg	<p>継続</p> <p>一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの破碎等業務を委託し、適切に処理を行った。また、その中から有価物を精選して再資源化を図った。有価物の売却単価が市場動向により下落し諸収入が減となったが、適正処理及び再資源化を図るため引き続き事業を継続する。</p>				
区分	令和元年度	令和2年度																																										
粗大・不燃物	1,848,600kg	2,087,270kg																																										
廃タイヤ(ホイールなし)	72本	87本																																										
廃タイヤ(ホイールあり)	302本	289本																																										
廃タイヤ(16インチ以上)	27本	47本																																										
バッテリー	88個	91個																																										
消火器	175本	168本																																										
区分	令和元年度	令和2年度																																										
破碎鉄分	442,170kg	528,850kg																																										
破碎非鉄	70,860kg	76,280kg																																										

事業名		処理棟管理費		(4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費) 決算書		87 ページ		担当部課		市民生活部環境課																												
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																
				52,114 【52,750】		46,521 【47,611】		47,271 【48,466】		【50,434】																																		
財 源 内 訳	手数料			43,069		37,762		42,002																																				
	諸収入			9,045		8,759		5,269																																				
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																																
<p>1 資源化の精選事業</p> <p>射水市分別収集計画に基づき搬入された空き缶、ペットボトル、プラ製容器包装及び紙製容器包装を容器包装リサイクル法の分別基準に適合させるための精選や圧縮・梱包・保管を行った。</p> <p>資源ごみ精選量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スチール缶</td> <td>13,370kg</td> <td>12,310kg</td> </tr> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>25,450kg</td> <td>24,940kg</td> </tr> <tr> <td>空き瓶（無色）</td> <td>101,450kg</td> <td>98,790kg</td> </tr> <tr> <td>空き瓶（茶）</td> <td>116,900kg</td> <td>110,070kg</td> </tr> <tr> <td>空き瓶（その他）</td> <td>50,110kg</td> <td>45,920kg</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>74,080kg</td> <td>88,220kg</td> </tr> <tr> <td>プラ製容器包装</td> <td>354,800kg</td> <td>370,070kg</td> </tr> <tr> <td>紙製容器包装</td> <td>170,450kg</td> <td>156,290kg</td> </tr> </tbody> </table>												区分	令和元年度	令和2年度	スチール缶	13,370kg	12,310kg	アルミ缶	25,450kg	24,940kg	空き瓶（無色）	101,450kg	98,790kg	空き瓶（茶）	116,900kg	110,070kg	空き瓶（その他）	50,110kg	45,920kg	ペットボトル	74,080kg	88,220kg	プラ製容器包装	354,800kg	370,070kg	紙製容器包装	170,450kg	156,290kg	<p>継続</p> <p>容器包装リサイクル法で規定する資源物を分別基準に基づき選別と梱包処理を行い資源化に努めた。売却単価が市場動向により下落するなど、諸収入が減となったが、今後も、ごみの減量・資源化のため事業を継続する。</p>					
区分	令和元年度	令和2年度																																										
スチール缶	13,370kg	12,310kg																																										
アルミ缶	25,450kg	24,940kg																																										
空き瓶（無色）	101,450kg	98,790kg																																										
空き瓶（茶）	116,900kg	110,070kg																																										
空き瓶（その他）	50,110kg	45,920kg																																										
ペットボトル	74,080kg	88,220kg																																										
プラ製容器包装	354,800kg	370,070kg																																										
紙製容器包装	170,450kg	156,290kg																																										

事業名		野手埋立処分所管理費				(4款 衛生費 2項 清掃費 2目 塵芥処理費)		決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課																																						
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																																											
		80,264 【80,268】	123,376 【124,142】	99,196 【99,243】	【97,326】																																												
財 源 内 訳	使用料	43	43	43																																													
	手数料	408	686	534																																													
	財産売払収入	0	3,370	0																																													
	一般財源	79,813	119,277	98,619																																													
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																							
<p>1 埋立管理事業</p> <p>埋立物からの浸出水について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びその他の法令を遵守し、物理化学的、衛生的に処理することで、本市の生活環境及び公共水域の水質の保全に努めた。</p> <p>埋立地形式</p> <p>一般廃棄物の最終処分場（焼却残渣、ガレキ、土砂・汚泥等）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>埋立地面積</th> <th>埋立容量</th> <th>埋立残容量（令和3年3月末現在）</th> <th>埋立方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22,900㎡</td> <td>280,000㎥</td> <td>約37,702㎥</td> <td>セル埋立工法による準好気性埋立</td> </tr> </tbody> </table> <p>埋立物搬入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般搬入</td> <td>73 t</td> <td>54 t</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">射 水 市 搬 入</td> <td>側溝汚泥等</td> <td>849 t</td> <td>991 t</td> </tr> <tr> <td>衛生センター</td> <td>29 t</td> <td>24 t</td> </tr> <tr> <td>クリーンピア射水</td> <td>3,252 t</td> <td>3,216 t</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,130 t</td> <td>4,231 t</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,203 t</td> <td>4,285 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>浸出水処理施設形式</p> <p>雨水によって処分場から出た浸出水を逆浸透膜処理方式により、排水基準値内に処理し、放流及び場内用水として使用した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理能力</th> <th>処理水量</th> <th>浸出水調整槽容量</th> <th>処理方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100㎥/日</td> <td>約34,300㎥/年</td> <td>4,000㎥</td> <td>凝集沈殿処理及び逆浸透膜（RO）処理等複合方式</td> </tr> </tbody> </table>										埋立地面積	埋立容量	埋立残容量（令和3年3月末現在）	埋立方式	22,900㎡	280,000㎥	約37,702㎥	セル埋立工法による準好気性埋立	区分	令和元年度	令和2年度	一般搬入	73 t	54 t	射 水 市 搬 入	側溝汚泥等	849 t	991 t	衛生センター	29 t	24 t	クリーンピア射水	3,252 t	3,216 t	計	4,130 t	4,231 t	合計	4,203 t	4,285 t	処理能力	処理水量	浸出水調整槽容量	処理方式	100㎥/日	約34,300㎥/年	4,000㎥	凝集沈殿処理及び逆浸透膜（RO）処理等複合方式	<p>継続</p> <p>令和元年度から令和5年度まで(株)神鋼環境ソリューション大阪支社と長期包括運営業務委託を締結している。今後も引き続き、委託業務の指揮監督、重要事項の確認業務等連携を密に施設の適正な運転管理に努める。</p>	
埋立地面積	埋立容量	埋立残容量（令和3年3月末現在）	埋立方式																																														
22,900㎡	280,000㎥	約37,702㎥	セル埋立工法による準好気性埋立																																														
区分	令和元年度	令和2年度																																															
一般搬入	73 t	54 t																																															
射 水 市 搬 入	側溝汚泥等	849 t	991 t																																														
	衛生センター	29 t	24 t																																														
	クリーンピア射水	3,252 t	3,216 t																																														
	計	4,130 t	4,231 t																																														
合計	4,203 t	4,285 t																																															
処理能力	処理水量	浸出水調整槽容量	処理方式																																														
100㎥/日	約34,300㎥/年	4,000㎥	凝集沈殿処理及び逆浸透膜（RO）処理等複合方式																																														
<p>2 長期包括運営事業</p> <p>埋立処分所の浸出水処理業務等を長期的に委託し、適正な維持管理を行った。</p> <p>委託先 (株)神鋼環境ソリューション 大阪支社</p> <p>委託期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>委託料 493,304千円（うち令和2年度分 98,801千円）</p>										<p>継続</p> <p>委託業務の指揮監督、重要事項の確認業務等を適正に行い、引き続き生活環境及び公共水域の保全のため事業を継続する。</p>																																							

事業名		衛生センター管理費				(4款 衛生費 2項 清掃費 3目 し尿処理費)				決算書	87 ページ	担当部課	市民生活部環境課																										
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																													
		72,540 【73,180】		72,494 【75,046】		72,307 【73,843】		【102,484】																															
財 源 内 訳	使用料	1,141		1,097		1,070																																	
	一般財源	71,399		71,397		71,237																																	
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																													
<p>1 衛生センター維持管理 施設の設備機器の定期補修工事及び修繕等を行い適正に維持管理を実施した。 し尿・浄化槽汚泥搬入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">し尿</td> <td>1,258kℓ</td> <td>1,112kℓ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">浄化槽</td> <td>6,789kℓ</td> <td>6,555kℓ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内 訳</td> <td>単独</td> <td>3,266kℓ</td> <td>3,060kℓ</td> </tr> <tr> <td>合併</td> <td>2,107kℓ</td> <td>2,006kℓ</td> </tr> <tr> <td>農集</td> <td>1,416kℓ</td> <td>1,489kℓ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>8,047kℓ</td> <td>7,667kℓ</td> </tr> </tbody> </table>										区分		令和元年度	令和2年度	し尿		1,258kℓ	1,112kℓ	浄化槽		6,789kℓ	6,555kℓ	内 訳	単独	3,266kℓ	3,060kℓ	合併	2,107kℓ	2,006kℓ	農集	1,416kℓ	1,489kℓ	計		8,047kℓ	7,667kℓ	継続 施設を適正に維持管理することができた。施設の老朽化が進んでいるため、今後は、施設の延命化を目指し長寿命化総合計画の策定及び設備の更新に向け準備する。			
区分		令和元年度	令和2年度																																				
し尿		1,258kℓ	1,112kℓ																																				
浄化槽		6,789kℓ	6,555kℓ																																				
内 訳	単独	3,266kℓ	3,060kℓ																																				
	合併	2,107kℓ	2,006kℓ																																				
	農集	1,416kℓ	1,489kℓ																																				
計		8,047kℓ	7,667kℓ																																				

5 款 労 働 費

事業名		勤労者福祉推進費				(5款 労働費 1項 労働諸費 1目 労働諸費)				決算書	88 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課												
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）															
		83,497 【84,198】		83,818 【84,087】		83,847 【84,157】		【83,748】																	
財源内訳	諸収入	82,600		82,600		82,600																			
	一般財源	897		1,218		1,247																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）															
<p>1 射水市ゆとりライフ互助会事業 市内の中小零細企業の従業員及びその家族に共済給付、研修事業等を行い、福利厚生を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆとりライフ互助会加入者数</td> <td>929人</td> <td>833人</td> <td>900人</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	ゆとりライフ互助会加入者数	929人	833人	900人	継続	市内中小企業の福利厚生の向上に寄与することができた。今後も、事業内容の充実と会員拡大に努めていく。			
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																						
ゆとりライフ互助会加入者数	929人	833人	900人																						
<p>2 中小企業退職金共済契約掛金補助 中小企業退職金共済に新規加入した事業者に掛金の一部を助成し、従業員の福祉向上と雇用の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業退職金共済加入者数</td> <td>3,218人</td> <td>3,786人</td> <td>3,820人</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	中小企業退職金共済加入者数	3,218人	3,786人	3,820人	継続	市内中小企業の退職金制度加入を促進することで、従業員の福祉増進と雇用安定を図ることができた。今後も事業の周知に努めていく。			
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																						
中小企業退職金共済加入者数	3,218人	3,786人	3,820人																						
<p>3 勤労者福利対策貸付預託金 勤労者の生活支援に係る貸付けを円滑に供給するため、貸付原資の一部を市内金融機関に預託し、長期・低利の融資を図った。</p> <p>組織労働者福利対策貸付預託金 新規貸付 281件 1,509,710千円（令和元年度 245件 1,623,745千円） 未組織労働者福利対策貸付預託金 新規貸付 12件 121,470千円（令和元年度 16件 72,730千円） 勤労者小口資金預託金 新規貸付 10件 6,250千円（令和元年度 6件 3,450千円）</p>										継続	市内勤労者の生活支援に寄与できた。今後も事業周知に努めていく。														

事業名		雇用対策費		(5款 労働費		1項 労働諸費		1目 労働諸費) 決算書		88 ページ		担当部課		産業経済部商工企業立地課			
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				4,430 【5,481】		3,343 【4,753】		3,506 【5,063】		【4,895】		新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や開催方法を変更した事業があったことによる。							
財 源 内 訳	一般財源		4,430		3,343		3,506												
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 地域職業相談室事務補助員人件費 ワークセンター射水に臨時職員を雇用し、求職者の利便性の向上に努めた。 ・ 紹介件数 1,863件 （令和元年度 1,855件）												継続		引き続き、ワークセンター射水の適正な運営に努め、求職者の利便性向上に努めていく。					
2 学生企業訪問支援事業補助 学生等に市内企業の現場を直接見学してもらい、企業PRを行うことにより、市内企業への就職率の向上と離職率の抑制を目的としているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。 令和2年度 参加事業所 参加学生 （事業中止）														継続		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となったが、雇用環境が大きく変化していくことが想定されることから、状況を見極めながら、適切に事業を進めていく。			
指標項目				基準		実績		目標											
				平成27年度		令和2年度		令和5年度											
学生企業訪問支援事業の参加学生満足度				96.8%		中止		98.3%											

6 款 農 林 水 産 業 費

事業名		農業委員会費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		1目 農業委員会費		決算書		89 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				19,957 【20,199】		12,610 【13,812】		11,480 【14,833】		【13,832】					
財 源 内 訳	県補助金		11,321		4,450		4,370								
	諸収入		24		25		34								
	一般財源		8,612		8,135		7,076								
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 農業の発展と農業者の地位向上に向けた取組の推進【県】</p> <p>農業生産の基盤となる優良農地を守り、有効活用を推進するため、取組を進めた。</p> <p>農業委員25人（会長1人、委員24人）</p> <p>担い手確保と農地利用集積の支援</p> <p>地域農業の構造改革を推進するため、農業の担い手育成と農地の有効利用（農業経営基盤強化促進法）による農地の貸し借りの促進を通じ活力ある農業基盤の強化を図った。</p> <p>地域に根ざした農政活動の展開</p> <p>地域の世話役として、農業委員の一人ひとりが地域できめ細かな活動を行い、農業者や集落の声を行政や政策に反映した。</p> <p>農地行政の適正な執行</p> <p>農地の売買や転用など、農地法に基づく許認可について、農業者を代表する機関として公正な審査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地法第3条届出 60件（令和元年度 38件） ・ 農地法第4条届出 44件（令和元年度 7件） ・ 農地法第5条届出 48件（令和元年度 58件） ・ 農地法第18条通知 102件（令和元年度 99件） ・ 農地法施行規則第29条届出 0件（令和元年度 1件） ・ 買受適格証明の交付 0件（令和元年度 1件） ・ 農地法第3条許可申請 51件（令和元年度 37件） ・ 農地法第4条許可申請 3件（令和元年度 3件） ・ 農地法第5条許可申請 29件（令和元年度 28件） ・ 事業計画変更承認申請 0件（令和元年度 0件） ・ 農用地利用集積計画の決定 169件（令和元年度 269件） 												<p>継続</p> <p>農地に関する事務を執行する行政委員会として、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可、農地転用案件への意見具申を行うことができた。</p> <p>また、平成27年の農業委員会等に関する法律の改正により農業委員会の重要な事務に位置づけられた、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等を推進する。</p>			

事業名	農業総務費		(6款 農林水産業費 1項 農業費 2目 農業総務費)				決算書	90 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		745 【1,008】	436 【504】	4,083 【4,508】		【508】		令和2年度に市農業振興地域整備計画の見直し業務を行ったことによる。		
財 源 内 訳	繰入金（基金）	0	0	3,000						
	一般財源	745	436	1,083						
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 市農業振興地域整備計画基礎調査及び整備計画見直し業務 将来にわたって持続可能な農業を目指すために計画内容の見直しを行い、国・県の基本指針の変更や市の農業の現状を反映した計画に修正することができた。 委託先 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所 委託期間 令和2年5月19日～令和3年3月29日 委託料 3,630千円</p>								完了	策定時以降の変更内容を反映した計画は作成が完了した。今後も5年ごとに見直し行っていく。	

事業名		農業振興推進費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)				決算書	90 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課											
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)														
		32,153 【98,792】		58,532 【60,337】		36,899 【38,044】		【38,377】		令和元年度は、農業経営支援事業等国・県補助事業を活用し、経営体の事業拡大を図ったことによる。														
財 源 内 訳	県補助金	5,860		30,991		11,456																		
	一般財源	26,293		27,541		25,443																		
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 農業組織強化補助 市内の集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動を促進するための助成を行い、各組織において、情報交換や研修会等が行われ、経営者としての資質向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営農組織連絡協議会補助金 ・ 担い手連絡協議会補助金 										継続		集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動を促進するために本事業が必要である。												
<p>2 作物品質向上対策事業 安定的な農業生産と品質向上、均一化のために、土づくり資材や種子更新に対して助成を行い、品質及び単収の向上に効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地力増強推進対策事業補助金 ・ 大豆・大麦種子更新対策事業補助金 <table border="1" data-bbox="143 802 1249 906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高品質な米の出荷割合</td> <td>89.5%</td> <td>96.4%</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	高品質な米の出荷割合	89.5%	96.4%	95.0%	継続		品質及び単収の向上のために本事業が必要である。	
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
高品質な米の出荷割合	89.5%	96.4%	95.0%																					
<p>3 農業経営支援事業 35営農組織、5個人認定農業者に田植機、トラクター、コンバインなどの更新等導入補助を行い、経営の安定化に一定の効果があった。</p>										継続		高齢化・後継者問題等農業は担い手不足である。各経営体は高性能の農業機械の導入により、作業の効率化を図りながら、経営を進めている。経営体の負担を減らすためにも本事業が必要である。												
<p>4 経営体育成支援事業【県(国)10/10】 地域の中心となる2認定農業者に、乾燥施設などの取得に対し補助を行ったことにより、経営の発展・改善に一定の効果があった。</p>										継続		全額国の補助である。経営拡大を目指す農業者を支援するため、本事業は必要である。												
<p>5 JA共同施設における新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金(新型コロナ対策2-20)【交付金】 市の特産物である枝豆の洗浄工程は、密な作業環境で感染リスクが高いため、枝豆連続洗浄機(2台)を導入するために必要な経費の一部(1/2)を助成し、作業環境の改善を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 2,150千円 										完了		作業員同士の接触機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすことが可能になった。												

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		57,356 【63,032】	58,214 【62,932】	50,294 【52,625】	【53,539】	
財 源 内 訳	県補助金	11,654	12,285	11,799		
	一般財源	45,702	45,929	38,495		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

<p>1 水田農業推進事業 当該補助実施により、全市的計画による生産調整の実施と麦・大豆の作付け推進、品質向上及び園芸作物の生産振興に効果があった。</p> <p>とやま型水田フル活用促進事業費補助金 ア 園芸作物等特産振興事業【県10/10】 （基本6,340円/10a） 園芸振興作物助成（ねぎ・枝豆・いちご等）（対象面積64.148ha） イ 射水市農業再生協議会事務費【県10/10】 富山県経営所得安定対策推進指導費 富山県経営所得安定対策推進指導費補助金【県10/10】 市単独生産調整推進補助 産地づくり対策補助金【市（作目ごとに設定）/10a】 基幹的な転作作物である、麦・大豆の作付け推進 大麦：459.1ha、大豆：460.0ha（うち154.5haは二毛作）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>園芸作物の作付面積</td> <td>55.9ha</td> <td>60.3ha</td> <td>77.2ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>（白ねぎ、こまつな、キャベツ、ブロッコリー、枝豆） 令和2年度実績 生産量：581.4 t、販売額：174,222千円</p>	指標項目	基準	実績	目標	平成30年度	令和2年度	令和5年度	園芸作物の作付面積	55.9ha	60.3ha	77.2ha	<p>継続</p> <p>、については、全額県補助で実施しており、園芸作物の生産振興に効果があるため、引き続き事業を継続する。 については、主食用米の需給調整のための麦・大豆の作付け推進に効果があり、引き続き事業を継続する。</p>
指標項目		基準	実績	目標								
	平成30年度	令和2年度	令和5年度									
園芸作物の作付面積	55.9ha	60.3ha	77.2ha									

事業名		担い手育成対策費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)				決算書	90 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課												
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）															
		9,484	【9,831】	5,158	【7,287】	7,284	【7,803】	【5,061】		新規就農総合支援事業において、新規就農者が前年から1人増えたことによる。															
財 源 内 訳	県補助金	7,928		4,553		6,794																			
	一般財源	1,556		605		490																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>1 農業資金利子補給【県10/10】 農業生産法人や認定農業者が借り入れた制度資金に対し、利子助成したことにより、設備投資等費用が軽減され、経営改善に効果があった。 農業経営基盤強化資金利子助成 3件 2個人、1団体</p>											継 続	全額県補助で実施しており、融資開始当初から、認定農業者には全額補助と説明しているため、今後も同じ内容で事業を継続していく。													
<p>2 新規就農総合支援事業【農業次世代人材投資資金（経営開始型） 県（国）10/10】 国の制度を活用し、新規就農者への支援を行うことにより、設備等の初期投資が軽減され、新規就業者の育成に効果があった。（新規就農者4人） 独立自営就農者に対する支援（1,500千円/人/年）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者数（個人、法人）</td> <td>75経営体</td> <td>99経営体</td> <td>100経営体</td> </tr> </tbody> </table>												指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	認定農業者数（個人、法人）	75経営体	99経営体	100経営体	継 続	全額国庫補助である。新規就農者は、設備投資等初期費用が大きいいため本事業は必要であり、引き続き支援をしていく。	
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																						
認定農業者数（個人、法人）	75経営体	99経営体	100経営体																						

事業名		6次産業化推進費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		3目 農業振興費) 決算書		90 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		54,242 【58,822】		19,838 【21,905】		15,576 【17,025】		【10,544】							
財 源 内 訳	国庫補助金		22,004		0		0								
	繰入金（基金）		6,000		4,900		5,000								
	諸収入		0		3,462		0								
	一般財源		26,238		11,476		10,576								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）					
<p>1 6次産業化推進事業</p> <p>農林漁業者が、生産に加え加工や販売なども行うことにより、農林水産物等の高付加価値化等を図る6次産業化への取組を支援した。</p> <p>射水市6次産業掘り起こし事業として、射水発の新ブランドの創出、既存ブランドの掘り起こしを行い農業の振興と地域活性化につなげた。</p> <p>委託先 いみず野農業協同組合</p> <p>委託期間 令和2年6月11日～令和3年3月31日</p> <p>委託料 855千円</p> <p>完全養殖サクラマスによるローカルブランディング創出事業を実施し、サクラマスのブランド化を推進するとともに、販路拡大やイメージアップ戦略等を展開した。</p> <p>もみ殻灰の普通肥料登録化に向けて調査研究分析を行った。</p>										<p>継続</p> <p>については、既存6次産業化商品のPRやブラッシュアップを行うとともに、市内農業団体や経営体に新たな6次産業化を推進することにより、農業振興、地域の活性化を図ることができ、事業を継続していく。</p> <p>については、「バイオマス産業都市構想」の一つであり、もみ殻灰を肥料登録し、商品化するまで引き続き事業を継続していく。</p>					

事業名		ふるさと特産品推進費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)				決算書	90 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		79,273 【79,441】	89,968 【99,886】	95,091 【103,239】	【51,244】	寄附件数及び受入額の増加に伴う返礼品調達費の増加による。							
財源内訳	繰入金(基金)	3,780	0	0									
	一般財源	75,493	89,968	95,091									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 ふるさと射水応援寄附 ふるさと納税の返礼品として特産品を贈ることで、本市のイメージアップに取り組んできたが、更に多くの寄附者から応援していただくため、新規返礼品を追加した。 寄附件数 8,029件 (令和元年度 8,065件) 寄附額 205,030千円 (令和元年度 170,633千円)											拡充 更なる寄附の増額を目指し、返礼品目の増加、見直し、新規出品事業者の開拓を行う。		

事業名		土地改良事業推進対策費(繰越明許)				(6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費)				決算書	91 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
				17,438 【17,760】									
財源内訳	国庫補助金			4,700									
	市債			8,500									
	一般財源			4,238									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 土地改良事業推進対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営経営体育成基盤整備事業(水戸田地区)(事業費 880千円) ・ 棚田地域振興法に係る調査・測量業務委託(金山、櫛田、池多地区)(事業費 7,480千円) ・ 農地耕作条件改善事業(大江地区)(事業費 7,472千円) ・ 農地耕作条件改善事業(大島北野地区)(事業費 1,606千円) 											完了 施設の長寿命化や地元負担の軽減に効果が認められる。		

事業名		土地改良事業推進対策費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費)				決算書	91 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課											
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																		
		173,756 【205,109】	176,087 【196,708】	192,919 【212,105】	【215,288】	中山間地域等直接支払交付金の増による。 事業費：13,213千円																		
財 源 内 訳	分担金	366	136	748																				
	県補助金	97,827	93,399	109,997																				
	諸収入	161	231	18																				
	市債	17,900	33,700	29,400																				
	一般財源	57,502	48,621	52,756																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 農業農村整備事業の負担金及び補助金 県や土地改良区が行う、ほ場整備、ため池や老朽化した用排水路などの農業用施設の補修事業等に対して、負担金や補助金を交付することにより、農地の適切な保全及び維持管理に効果があった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ場整備率</td> <td>62.8%</td> <td>67.9%</td> <td>68.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(市内の耕作地のうち、30ha以上の耕作地の割合)</p>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	ほ場整備率	62.8%	67.9%	68.0%	継続	農地の適切な保全及び維持管理に効果があると認められる。	
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
ほ場整備率	62.8%	67.9%	68.0%																					
<p>2 農業用施設の補修 農道法面やため池など農業用施設の補修を行ったことにより、土地改良区の負担を軽減することに効果があった。 (宿屋地内法面補修工事、水戸田地内ため池補修工事、椎土地内排水路補修工事)</p>											農業用施設の適切な保全及び維持管理に効果が認められる。													
<p>3 土地改良事業債務償還負担金 土地改良区が実施した土地改良事業の一部債務を負担することにより土地改良区の負担を軽減することに効果があった。</p>											土地改良区の負担を軽減することに効果がある。													
<p>4 多面的機能支払交付金【県(国)1/2 県1/4】 農地維持支払及び資源向上支払(共同) 取組組織数 75組織 農用地、水路、農道等の地域資源や農村環境の良好な保全と質的向上に効果があった。 資源向上支払(長寿命化) 取組組織数 3組織 農業用排水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の取組に対し、農作業の円滑化に効果があった。</p>											<p>については、農地の地域資源や環境保全の向上が図られた。 については、農作業の円滑化に効果が認められる。</p>													
<p>5 中山間地域等直接支払交付金【県(国)1/2 県1/4】 中山間地域等直接支払交付金(旧金山村、旧櫛田村) 取組組織数 8組織 高齢化や人口減少が著しい中山間地域等において、農業生産活動の継続に向けた取組に支援し、効果があった。</p>											農地の地域資源や環境保全の向上が図られた。													

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（繰越明許費 17,489 千円） ・ 事業名 農村地域防災減災事業（ため池）（射水池多地区）（事業費 2,000千円） 県営農地整備（土地総）事業（中沖南部地区）（事業費 1,109千円） 農地耕作条件改善事業（浄土寺地区）（事業費 4,000千円） 県単独農業農村整備事業（西部7号排水路、本江、加茂地区）（事業費 10,380千円） ・ 予算執行率 91.7% ・ 完了時期 令和4年3月	

事業名	農地管理費				（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）				決算書	91 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）						
		107,631 【112,629】	104,724 【110,102】	110,858 【119,222】	【108,724】							
財源内訳	使用料	191	190	144								
	県補助金	1,447	838	0								
	市債	5,500	3,000	1,000								
	一般財源	100,493	100,696	109,714								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 土地改良事業等の負担金 県や土地改良区が行う用排水路等の農業用施設の維持管理事業費の一部を負担することにより、農業用施設の長寿命化や農地防災等に効果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県単独農業農村整備事業（防災福祉対策事業・用排水路等整備）負担金 ・ 射水平野土地改良区施設維持管理負担金 ・ 国営造成施設管理体制整備促進事業負担金 ・ 県営造成施設管理体制整備促進事業負担金 ・ 県営基幹水利施設管理事業負担金 ・ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金 											継続	農業用施設の長寿命化や災害の軽減に効果があると認められる。農業の持続的発展や農業生産基盤の安定化のため今後も推進が必要である。
2 農業用施設の修繕 用水路等の農業用施設の修繕を行い、施設の機能維持に効果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖塚原・布目地内警戒標識修繕 											継続	市が管理する施設の老朽化が懸念され、計画的な更新を検討する必要がある。
3 農道補修用砕石の提供 農道補修用砕石の提供により、農道の機能維持に効果があった。 15地区に配布											継続	農道の機能維持に効果が認められる。

事業名	林業振興推進費		(6款 農林水産業費 2項 林業費		1目 林業振興費)	決算書	91 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)				
			16,125 【22,189】	12,318 【13,535】	13,637 【17,241】	【24,054】					
財 源 内 訳	県補助金		9,261	7,293	10,295						
	一般財源		6,864	5,025	3,342						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 里山再生整備事業【県10/10】 竹林等の整備を行い森林の適正な維持管理に効果があった。 里山管理利用計画策定業務委託、里山林整備業務委託 委託先 富山県西部森林組合 委託期間 令和2年6月24日～令和3年3月15日 委託料 7,539千円</p>										継続	里山の下刈や除伐等を行い、明るく見通しのきく森林化が図られた。
<p>2 県単独農林整備事業【県1/2、1/3】 林木の健全な成長など森林の公益的機能の維持・向上を目的とし、より効率的な森林整備普及の向上を図るための保育・修景林整備及び林道開設・補修を行うもの。櫛田地区の森林整備の推進に効果があった。 事業主体：富山県西部森林組合</p>										継続	土砂災害の防止、保水、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能が発揮されるよう適切な整備・保全管理が進められた。

事業名	有害鳥獣捕獲対策費		(6款 農林水産業費 2項 林業費		1目 林業振興費)	決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)				
			4,511 【5,854】	4,730 【5,799】	4,269 【5,095】	【4,880】					
財 源 内 訳	県補助金		0	99	127						
	一般財源		4,511	4,631	4,142						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 有害鳥獣対策事業 有害鳥獣対策協議会に委託し、鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動等を実施することで、カワウ、カラス、イノシシ等の有害鳥獣による農水産物被害の抑制に効果があった。 委託先 射水市有害鳥獣対策協議会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 3,612千円</p>										継続	実施隊の高齢化、担い手不足の課題があり、ICTを活用したイノシシ罾や実施隊の負担の軽減等により活動を維持する必要がある。呉西圏連携での対策も検討する。

事業名		緑化推進費				(6款 農林水産業費 2項 林業費 2目 緑化推進費)				決算書	92 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		10,827 【10,827】	10,355 【10,371】	13,939 【16,971】	【10,023】	新型コロナウイルス感染症対策である射水市インドア花いっぱい応援事業の実施による。																			
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	2,959																					
	諸収入	4,271	4,001	3,885																					
	一般財源	6,556	6,354	7,095																					
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 花と緑の銀行射水支店への活動助成 花と緑の銀行射水支店の各地方銀行の活動に助成し、市内の緑化推進に効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校、保育園、各地花壇への緑化木・花苗の配布活動 ・ 花壇コンクールの開催(幼稚園・保育園、学校、花の道、一般花壇) <p>事業主体：花と緑の銀行射水支店 補助金額：9,456千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域花壇数</td> <td>256面</td> <td>249面</td> <td>262面</td> </tr> </tbody> </table> <p>(花と緑の銀行射水支店の花苗配布対象となる花壇数)</p>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	地域花壇数	256面	249面	262面	継続	<p>県コンクールで、各部門において入賞した。年間を通して業務はルーティーン化されているが、各団体との調整等に時間を費やすなど業務量は多い。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																						
地域花壇数	256面	249面	262面																						
<p>2 フラワーポット管理 小杉駅南北等に設置してあるフラワーポット69基を管理(植栽、水やり、施肥等)することにより、市街地における憩いの空間を創出し、市民への緑化意識の定着を図った。</p> <p>委託先 (公社)シルバー人材センター 委託期間 令和2年6月15日～11月30日 委託料 502千円</p>											継続	<p>小杉駅や地下道改修等の状況を注視しつつ、植栽のレイアウトを工夫する余地がある。</p>													
<p>3 射水市インドア花いっぱい応援事業(新型コロナ対策2- 21)【交付金】 市内公共施設等に花きを飾ることにより、自粛要請等によるストレスを緩和するとともに、経済的打撃を受けている市内フラワーショップ等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 2,959千円(市内小中学校、市内公共施設 97施設) 											完了	<p>冬期に花きを飾ることで、施設が明るい雰囲気となり、ストレスの緩和につながった。</p>													

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		10,614 【10,831】	9,607 【9,725】	35,234 【37,861】	【10,775】	
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	25,617		新型コロナウイルス感染症対策として、漁価低迷緊急支援事業及び漁船保険共済助成事業の実施による。
	県補助金	135	135	135		
	一般財源	10,479	9,472	9,482		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

1 海面漁業振興事業

漁業経営の安定化を図るため、漁場環境の整備及び漁業後継者育成などの事業並びに養殖漁業の研究・進展等を支援することで、海面漁業の振興と安定に寄与した。

- 種苗放流事業補助
- 漁獲共済掛金補助
- 漁船保険料補助
- 漁業近代化資金利子補給
- 水産多面的機能発揮対策事業【県】
- 魚食普及推進事業補助

指標項目	基準	実績	目標
	平成25年度	令和2年度	令和5年度
海面漁業年間漁獲量	5,895 t	4,030 t	6,500 t
海面漁業年間漁獲高	20.94億円	14.74億円	22.00億円

漁価低迷緊急支援事業（新型コロナ対策2- 22）【交付金】

魚価の低迷により影響を受けている漁業者に対し、売上が落ち込んだ4、5月分の販売手数料を助成することで、漁業者の負担軽減を図り、漁業事業の持続化支援につながった。

- ・ 交付対象者 34件
- ・ 支援金交付額 6,592千円

漁船保険共済助成事業（新型コロナ対策2- 23）【交付金】

魚価の低迷により影響を受けている漁業者に対し、漁船の保険料を全額助成（現行の15%助成から拡充）することで、漁業者の負担軽減を図り、漁業事業の持続化支援につながった。

- ・ 交付対象者 40件
- ・ 支援金交付額 22,382千円（うち拡充分 19,024千円）

継続

海面漁船漁業は、水産資源管理の影響等により、近年の水揚高は横ばいとなっており、引き続き、放流事業や、水産多面的事業で実施している、藻場保全等を実施し水産資源保護に努める。また、漁業者の経営安定や事業の持続化を図るための総合的な対策を実施していく。

事業名		新湊漁港建設費（繰越明許）				（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 4目 漁港建設費 ）				決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	市債					25,773	【25,773】						
	一般財源					21,900							
						3,873							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 漁港施設機能強化事業 西防波堤の改良等を行い、漁港機能の強化を図った。										完了	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。		
2 水産物供給基盤機能保全事業 岸壁エプロンの補修等を行い、漁港機能の強化を図った。										完了	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。		
3 県単独漁港施設整備事業 新湊漁港棧橋防暑施設清浄海水導水施設整備を行い、漁港機能の強化を図った。										完了	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。		

事業名		新湊漁港建設費		(6款 農林水産業費 3項 水産業費		4目 漁港建設費)		決算書	93 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		15,736 【21,450】	17,691 【43,464】	2,099 【25,600】	【27,300】						
財 源 内 訳	市債	11,800	14,000	100							
	一般財源	3,936	3,691	1,999							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 漁港施設機能強化事業 西防波堤の改良等を行い、漁港機能の強化を図った。										継続	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。
2 水産物供給基盤機能保全事業 岸壁エプロンの補修等を行い、漁港機能の強化を図った。										継続	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を国・県へ要望していく。
3 県単独漁港施設整備事業 新湊漁港棧橋防暑施設清浄海水導水施設整備を行い、漁港機能の強化を図った。										継続	富山県主体の事業であり、今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。
(繰越明許費 22,935 千円) ・事業名 漁港施設機能強化事業、水産物供給基盤機能保全事業 ・予算執行率 8.4% ・完了時期 令和4年3月											

7 款 商 工 費

事業名		商工業振興費（事故繰越し）				（ 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費 ）		決算書	94 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	国庫補助金					10,000	【10,000】				
	一般財源					5,000					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域経済循環創造事業（総務省 ローカル10,000プロジェクト）射水市土蔵群で実現する「射水アートの駅」構想事業 事業者 （同）イタリア食堂ユニコネルモンド 実施期間 令和元年9月1日～令和2年6月24日 補助金額 10,000千円										完了	産学官金の連携により、地域資源と資金を活用し、地域密着型のにぎわい創出事業を実施することができた。

事業名		商工業振興費		(7款 商工費		1項 商工費		2目 商工業振興費		決算書		94 ページ		担当部課		産業経済部商工企業立地課												
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																		
		47,767 【54,315】		45,029 【62,081】		208,716 【812,028】		【51,353】		新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の回復を図るため、中小企業等に対する各種支援策を実施したことによる。																		
財 源 内 訳	国庫補助金	0		0		117,382																						
	繰入金（基金）	0		0		10,000																						
	一般財源	47,767		45,029		81,334																						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																		
1 商店街新規出店支援事業 商店街等の空き店舗への出店を支援することにより、地域商店街の振興が図られた。 ・ 3件 3,300千円（令和元年度 2件 2,257千円） 平成30年度から補助上限額500千円から1,000千円に拡充 令和元年度から創業者加算（300千円）追加										継続		内川周辺を含め市内商店街での出店相談は継続的に続いており、引き続き、商店街等の活性化を図るため、事業を継続していく。																
2 販路拡大支援事業 市内中小企業者に対し、県外で行われる展示会・商談会への出展料等の一部を支援し、販路拡大及び新規顧客獲得を図った。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業販路拡大支援事業件数</td> <td>10件</td> <td>2件</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	中小企業販路拡大支援事業件数	10件	2件	16件	拡充		令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により出展催事が中止となるなど事業件数が大きく減少することとなった。 令和3年度からは、オンライン出展も補助対象とし、事業者の販路拡大を支援していく。					
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																									
中小企業販路拡大支援事業件数	10件	2件	16件																									
3 専門家活用支援事業 市内中小企業者や個人起業家に対し、商工団体等が実施する専門家活用支援事業を活用した場合に、事業に要した経費の一部を助成し、創業や経営改善を支援した。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門家活用支援事業利用件数</td> <td></td> <td>2件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成27年度	令和2年度	令和5年度	専門家活用支援事業利用件数		2件	10件	継続		事業承継等への関心の高まりから、専門家派遣の需要が増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により事業件数は減少となった。今後も引き続き、事業の周知に努めていく。					
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成27年度	令和2年度	令和5年度																									
専門家活用支援事業利用件数		2件	10件																									
4 創業支援事業 市内で新たに創業する個人又は創業して間もない中小企業者に対し、事業に要した経費の一部を助成した。 ・ 12件 4,873千円（令和元年度 13件 5,831千円）										継続		コロナ禍においても、事業件数は前年度並みとなった。今後も引き続き、市内での創業希望者、創業者を支援していく。																
5 富山県・市町村新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業（新型コロナ対策2- 24）【交付金】 富山県の休業の要請等に応じて、要請期間中、「休業」又は「営業時間の短縮」を行う中小企業及び個人事業主に対して協力金を支給した。 休業に対する協力金支給額 中小企業 50万円 個人事業主 20万円 営業時間の短縮に対する協力金支給額 中小企業 25万円 個人事業主 10万円 ・ 実績 343件（中小企業82件、個人事業主261件） ・ 事業費 22,067千円（市負担分 ） 協力金支給額を県2/3、市1/3ずつ負担										完了		協力金の支給により、休業要請等に対する協力事業者の増加に寄与した。																

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>6 中小企業等事業継続支援金事業（新型コロナ対策2- 25）【交付金】 国持続化給付金、県事業持続化・地域再生支援金の対象外であり、売上高が減少している中小企業者、個人事業者等に対し事業継続支援金を支給（中小企業者20万円、個人事業者10万円）した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 183件（中小企業者99件、個人事業主84件） ・事業費 28,251千円（支援金 28,200千円 その他事務費 51千円） 	完了	支援金の給付により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者の事業継続と地域経済の回復に寄与した。
<p>7 テイクアウト・宅配導入等支援事業（新型コロナ対策2- 26） 市内の飲食店がテイクアウトや宅配事業の導入等を行う際に必要な費用を支援（上限5万円）した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 103件 ・事業費 3,954千円（支援金 3,946千円 その他事務費 8千円） 	完了	補助金交付により、市内飲食店のテイクアウト導入促進に寄与した。
<p>8 テイクアウト・宅配利用促進事業（いみずうまいもん券 第1弾）（新型コロナ対策2- 27） 市内でテイクアウト・宅配を行っている飲食店にて、テイクアウト等を利用する場合に使用できるクーポン券（500円券を2枚）を、広報6月号に折込配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 換金173件、クーポン券使用数量21,077枚 ・事業費 10,808千円（換金額 10,538千円 その他事務費 270千円） 	完了	補助金交付により、テイクアウトの普及促進とともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店の経営改善に寄与した。
<p>9 飲食店利用促進事業（射水うまいもん券 第2弾）（新型コロナ対策2- 28）【交付金】 1回目のテイクアウト・宅配に加え、店内飲食まで対象を拡大したクーポン券（500円券を2枚）を、広報11月号に折込配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 換金243件、クーポン券使用数量33,356枚 ・事業費 17,101千円（換金額 16,678千円 その他事務費 423千円） 	完了	補助金交付により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店の経営改善に寄与した。
<p>10 中小企業等事業向上補助金事業（新型コロナ対策2- 29）【交付金】 市内中小企業等が、事業の見直し、新たな生活様式や多様な働き方に沿った事業展開等を行う場合の経費を幅広く支援（上限中小企業者30万円、個人事業主15万円）した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績 284件（中小企業者130件、個人事業主154件） ・事業費 44,769千円（補助金 44,769千円） 	完了	補助金の交付により、市内事業者の感染拡大対策や新たな事業展開の促進に寄与した。
<p>11 射水市商工協議会消費喚起事業（新型コロナ対策2- 30）【交付金】 射水市商工協議会が実施する消費喚起事業（いみずスクラッチくじ）に対し補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 3,630千円（補助金 3,630千円） 	完了	スクラッチくじの発行により、市内店舗への来客が増加するなど、消費喚起に寄与した。
<p>12 新生活様式チャレンジ商店街等支援事業（新型コロナ対策2- 31）【交付金】 商店街組織等の「新しい生活様式」構築のための取組を支援するため、商店街組織等が実施するにぎわい回復のための事業の経費を一部補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 1,565千円（射水商工会議所720千円、射水市商工会845千円） 	完了	本補助金により、にぎわい創出イベント等で活用可能な用品が整備された。今後、本用品を活用し、地域経済の活性化を図っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（繰越明許費 563,600 千円） ・ 事業名 キャッシュレス決済・消費喚起事業（新型コロナ対策2- 32） ・ 予算執行率 27.0% ・ 完了時期 令和3年9月	

事業名	企業誘致対策費				（ 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費 ）				決算書	94 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）						
		288,639 【306,059】	293,259 【313,146】	322,686 【336,421】	【204,710】							
財源内訳	使用料	1,496	1,499	1,498								
	県補助金	97,138	83,335	91,460								
	財産売払収入	1,485	0	0								
	繰入金（基金）	30,900	900	900								
	一般財源	157,620	207,525	228,828								

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 企業立地奨励事業等助成金事業 工場等の新設又は増設を行った企業者に対し助成することで、新たな雇用の創出及び税収の安定化等、産業振興に効果があった。 企業立地奨励事業助成金（県助成金対象事業）【県1/2】 ・ 継続 1企業 166,660千円（アイシン軽金属㈱） ・ 新規 1企業 16,260千円（㈱プレミアムアシスト） 企業立地奨励事業助成金 ・ 継続 4企業 46,090千円（救急薬品工業㈱、㈱中村機械、伊勢領製作所㈱、明興工業㈱） ・ 新規 2企業 19,300千円（有)大橋刺しゅう、㈱大江鐵工） 宿泊施設立地促進助成金 ・ 新規 1企業 33,340千円（㈱スーパーホテル） 情報通信関連助成金 ・ 1企業 14,630千円（㈱プレステージインターナショナル） 企業立地促進助成金 ・ 1企業 17,520千円（㈱プレステージインターナショナル）				拡充 助成金の交付によって市内での工場等の新増設を促し、新規雇用の創出と税収の安定化を図ることができた。今後も本市の特性や企業ニーズ等を踏まえ、助成金制度の拡充を検討し、未分譲地の早期分譲完了を図る。	
指標項目		基準	実績	目標	
		平成25年度	令和2年度	令和5年度	
市内工業団地分譲率		90.9%	97.6%	100.0%	

事業名		中小企業振興対策費				(7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費)				決算書	94 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		561,539 【564,850】		566,799 【571,061】		558,890 【590,415】		【494,343】					
財 源 内 訳	諸収入	543,666		551,712		543,443							
	一般財源	17,873		15,087		15,447							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 中小企業融資制度</p> <p>中小企業者に融資資金や運用資金の融資を図ることにより、経営基盤の強化と安定化を図った。</p> <p>小口事業資金等保証料助成 制度融資利用者に対し、要綱に基づき保証料の一部又は全部を助成した。 ・ 3,368千円（令和元年度 10,316千円）</p> <p>富山県信用保証協会補助 前年度の融資実績に応じて補助した。 ・ 2,289千円（令和元年度 2,315千円）</p> <p>小口事業資金貸付預託金 対象者：従業員20人（商業・サービス業5人）以下の中小企業者 ・ 新規貸付 18件 70,500千円（令和元年度 123件 561,100千円）</p> <p>中小企業振興資金貸付預託金 対象者：従業員21人（商業・サービス業5人）以上の中小企業者等 ・ 新規貸付 10件 95,900千円（令和元年度 30件 230,030千円）</p> <p>創業者支援資金貸付預託金 対象者：創業予定者又は創業2年未満の中小企業者 ・ 新規貸付 1件 2,500千円（令和元年度 3件 8,000千円）</p> <p>短期季節資金預託金 対象者：夏季又は年末等一時的に資金を必要とする中小企業者 ・ 新規貸付 0件 0円（令和元年度 2件 2,000千円）</p> <p>商工組合中央金庫預託金 中小企業育成融資資金に必要な資金を預託 ・ 新規貸付 121件 6,494,369千円（令和元年度 179件 8,312,840千円）</p> <p>中小企業振興資金損失補償料 市制度融資の代位弁済 ・ 1件 1,466千円（令和元年度 2件 1,189千円）</p> <p>小規模事業者経営改善資金利子助成 日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の利用者に対し、利子の2分の1を助成した。 ・ 41件 773千円（令和元年度 44件 1,213千円）</p>										<p>継続 各種制度融資の実施により、市内中小企業の経営基盤の強化を図った。今後も、経済状況を注視しながら、制度運用を行っていく。</p>			

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
富山県制度融資に係る保証料助成（新型コロナ対策2- 33） 富山県新型コロナウイルス感染症対応資金、経済変動対策緊急融資（新型コロナウイルス感染症対策枠）、緊急経営改善資金に係る保証料の一部又は全部を助成（上限50万円）した。 ・ 40件 14,826千円（令和2年度のみ助成）		継続	各種制度融資の実施により、市内中小企業の経営基盤の強化を図った。今後も、経済状況を注視しながら、制度運用を行っていく。
2 中小企業・小規模企業振興会議 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づいた第2次射水市中小企業振興計画の進捗状況と目標値の検証、また、中小企業振興策、労働環境、雇用の向上を図るため、中小企業・小規模企業振興会議を開催した。 ・ 委員：15人 ・ 開催回数：1回 ・ 市内企業500社を対象にアンケート調査の実施		継続	事業成果の検証を行うとともに、今後の中小企業振興の在り方について委員から意見を伺った。今後も、事業者や有識者の意見を伺う場として開催していく。また、その参考資料として、企業状況調査を毎年実施していく予定である。

事業名		連携中枢事業費（異業種交流促進事業）				（ 7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費 ）		決算書	94 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
		4,490	【6,392】	4,546	【6,241】	867	【6,178】				
財源内訳	諸収入	3,587		3,615		631		異業種交流展示会「メッセナゴヤ」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度はオンライン開催となったため、経費が縮減したことによる。			
	一般財源	903		931		236					
主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）									
1 異業種交流促進事業 圏域内企業の交流や県外企業との新たなビジネスマッチングの実現に向けた機会創出を目的に、異業種交流展示会「メッセナゴヤ2020オンライン」への共同出展を実施した。 ・ メッセナゴヤ2020オンライン 開催期間 令和2年11月16日～12月11日（26日間） 開催場所 メッセナゴヤ2020オンラインWEBページ 総来場者数 9,666人 出展者数 576社（団体） 共同出展事業者数 14社（うち射水市内事業者4社）		継続 令和2年度はオンライン開催となったが、圏域内企業の販路拡大に大きな効果があった。出展企業からもおむね好評を得ており、今後も事業実施に向けた取組を進めていく。									

事業名		[新] 中小企業等上下水道料金支援費 (7款 商工費 1項 商工費 2目 商工業振興費)				決算書	94 ページ	担当部課	上下水道部上下水道業務課																		
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																					
				28,877【32,300】																							
財 源 内 訳	国庫補助金			28,877																							
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)																				
<p>1 中小企業等上下水道料金支援事業(新型コロナ対策2- 34)【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた市内の中小企業等に対し、国の緊急事態宣言期間前後の上下水道料金の2分の1相当額を支援金として給付することにより、事業の継続と市内経済の正常化を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援金</td> <td>28,690千円</td> <td>給付事業者 763件(対象水栓 965栓)</td> </tr> <tr> <td>水道料金</td> <td>17,727千円</td> <td>給付事業者 752件(対象水栓 953栓)</td> </tr> <tr> <td>下水道使用料</td> <td>10,963千円</td> <td>給付事業者 604件(対象水栓 782栓)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>187千円</td> <td>制度周知用印刷費・配布委託料等</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28,877千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								決算額	備 考	支援金	28,690千円	給付事業者 763件(対象水栓 965栓)	水道料金	17,727千円	給付事業者 752件(対象水栓 953栓)	下水道使用料	10,963千円	給付事業者 604件(対象水栓 782栓)	その他	187千円	制度周知用印刷費・配布委託料等	合 計	28,877千円		<p>完了</p> <p>売上が減少した事業者へ1事業者当たり約37,600円の支援金を給付し、事業の継続を支援する一定の効果があった。</p> <p>現状においては、事業完了とするが、再び同様の状況となった場合には、上下水道料金を基礎としたより効果的な支援方法を検討する。</p>		
	決算額	備 考																									
支援金	28,690千円	給付事業者 763件(対象水栓 965栓)																									
水道料金	17,727千円	給付事業者 752件(対象水栓 953栓)																									
下水道使用料	10,963千円	給付事業者 604件(対象水栓 782栓)																									
その他	187千円	制度周知用印刷費・配布委託料等																									
合 計	28,877千円																										

事業名	消費生活安定対策費		(7款 商工費		1項 商工費		3目 消費者行政推進費		決算書	94 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		4,324	【4,528】	3,244	【3,435】	3,659		【4,133】																			
財 源 内 訳	県補助金	2,444		1,132		632																					
	一般財源	1,880		2,112		3,027																					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																	
<p>1 消費者行政推進事業【県】</p> <p>振り込め詐欺や悪質商法等による被害の拡大や防止のために、広く市民を対象とした消費生活相談や消費者講座による啓発活動を実施し、消費者の自立と意識向上を図った。</p> <p>また、通話録音装置の貸与事業を継続し、特殊詐欺等の被害防止を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談 441件 (令和元年度 380件) 消費者講座 14回 (令和元年度 32回) 通話録音装置貸与台数 23台 (令和元年度 22台) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費生活教室受講者数</td> <td>1,102人</td> <td>404人</td> <td>1,300人</td> </tr> <tr> <td>消費生活相談解決率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	消費生活教室受講者数	1,102人	404人	1,300人	消費生活相談解決率	100%	100%	100%	継 続	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、消費者講座を多く実施することができなかった。</p> <p>今後はできる限り消費者講座等で消費生活センターの知名度向上を図りながら、市民一人ひとりが知識と行動力を身に着けた自立した消費者となるよう支援していく。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																								
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																								
消費生活教室受講者数	1,102人	404人	1,300人																								
消費生活相談解決率	100%	100%	100%																								

事業名		観光事業費				(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)				決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部港湾・観光課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）								
		13,387 【13,435】	14,034 【14,131】	24,799 【27,843】	【11,899】	新型コロナウイルス感染症の影響により、越中だいもん凧まつり、富山新港花火大会が中止となった一方で、地方創生臨時交付金を活用し、アフターコロナを見据えた事業を実施したことによる。								
財 源 内 訳	国庫負担金	0	0	19,891										
	繰入金（基金）	5,130	6,500	0										
	一般財源	8,257	7,534	4,908										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 射水市観光ポスター新規作成 射水市のPR及び食の魅力をもつため立川志の輔氏を起用した観光ポスターを新規に作成し、県内外の主要施設に配布した。</p>											継 続	立川志の輔氏を起用した観光ポスターは第3弾となり好評を得ている。定期的にデザインを変更し継続実施する。		
<p>2 新型コロナウイルス感染症対策に関して実施した事業</p> <p>いみずブランド推進事業（新型コロナ対策2- 35）【交付金】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている水産等事業者支援と射水産食材の販路拡大を目的に「オリジナルメニュー開発・新規メニュー導入事業」を県内飲食店50店（市内35店含）の参加により実施した。 また、首都圏を中心に90店舗を展開している寿司チェーン(株)銚子丸において「いみず食の魅力発信事業」を展開し、射水産シロエビの販路拡大と射水市の広報を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> オリジナルメニュー開発・新規メニュー導入事業 2,623千円（食材購入費2,233千円、その他送料等） いみず食の魅力発信事業 16,168千円（食材購入費13,760千円 その他ポスター、のぼり等） <p>ベイエリアレンタサイクル事業（新型コロナ対策2- 36）【交付金】 クロスベイ新湊、川の駅新湊、海王丸パーク内のいみず観光情報館及び新湊観光船事務所の4か所をステーションとしてクロスバイクを整備し、射水ベイエリアでの観光客受入体制の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> クロスバイク12台購入（大人用8台、子ども用4台） 事業費 1,117千円 												完 了	<p>【いみずブランド推進事業】 参加店が射水産食材を活用したオリジナルメニューをSNS等で発信し、射水ブランドのPRが図られた。また、事業の実施に伴い、感染症の影響で売上が減少した水産等事業者の支援が図られた。</p> <p>【ベイエリアレンタサイクル事業】 ステーション増設とクロスバイク整備により利用者の利便性と満足度の向上が図られた。</p>	

事業名	観光推進費		(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)		決算書	95 ページ	担当部課	産業経済部港湾・観光課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)		
		75,102 【75,848】	57,605 【59,973】	72,352 【78,289】	【68,088】	新型コロナウイルス感染症の影響により、新湊カニかに海鮮白えびまつりは代替イベントへ変更、各曳山まつりは巡行を見合わせた。また、ウイズコロナ禍における観光需要喚起対策として「Welcome to Imizu事業」を実施したことによる。		
財 源 内 訳	国庫補助金	1,288	1,163	11,163				
	県補助金	5	0	0				
	繰入金(基金)	0	0	9,000				
	一般財源	73,809	56,442	52,189				
主な事業内容・成果						評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 Welcome to Imizu事業(新型コロナ対策2-37)【交付金】</p> <p>国の「GoToキャンペーン事業」や県の観光事業と連携し、観光業者が企画する旅行商品等に、射水市を組み入れてもらう「射水へ寄ってかれ支援事業」を行い、7,946人の集客を図った。【団体対象】</p> <p>また、県内宿泊予約サイトと連携し市内で利用できるクーポン付宿泊商品を販売した「射水寄ってかれクーポン事業」では、2,210人のクーポン利用があり、市内への集客と消費拡大を図った。【個人対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 10,097千円 						完了	<p>「射水寄ってかれ支援事業」、</p> <p>「射水寄ってかれクーポン事業」により、延べ10,156人の集客と消費拡大を図った。</p>	
<p>2 日本橋とやま館射水PR事業(きときいみず大漁まつり)</p> <p>富山県のアンテナショップである「日本橋とやま館」で、射水産食材を提供し、「射水の上質な食」をテーマに期間限定ランチやディナーを実施し、本市の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間 ランチ：令和3年3月22日～3月28日 ディナー：令和3年3月26日～3月28日 						継続	<p>都内にて射水市の食の魅力及び観光PRを実施し好評を得ていることから、県アンテナショップを有効に活用した首都圏での広報を継続する。</p>	
<p>3 観光推進補助事業((一社)射水市観光協会補助)</p> <p>(一社)射水市観光協会に対して運営支援を行い、観光案内、イベント開催、観光施設整備維持、観光客誘致宣伝、観光団体等育成など、市の観光振興の推進を図った。</p>						拡充	<p>観光拠点施設のクロスベイ新湊への事務所移転により、観光協会の活躍の期待はより高まっており、官民一体となった観光振興を推進していく。</p>	

8 款 土 木 費

事業名		(8款 土木費 1項 道路橋梁費 1目 道路橋梁総務費)				決算書	96 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	一般財源			1,177 【1,177】					
				1,177					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 道路台帳検索システムデータ更新等業務</p> <p>射水市が認定している道路の位置等を正確かつ効率的に把握するために、道路台帳属性データや道路網図の更新を行い、道路管理及び道路の整備計画等多目的な利用を推進した。</p> <p>委 託 先 北陸航測(株) 射水支店</p> <p>委 託 期 間 令和2年3月13日～5月25日</p> <p>委 託 料 1,177千円</p>							継 続	令和元年度の道路台帳の修正箇所について、道路台帳属性データ及び道路網図の更新を行った。今後も、引き続き正確なデータの更新に努める。	

事業名	道路橋梁総務費		(8款 土木費		1項 道路橋梁費		1目 道路橋梁総務費		決算書	96 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課											
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
			1,638	【1,948】	124,150	【129,175】	123,658	【132,407】	【125,363】														
財 源 内 訳	使用料		1,638		48,185		48,682		行政組織の改編に伴い、令和元年度から予算措置を変更したことによる。														
	繰入金（基金）		0		0		4,300																
	一般財源		0		75,965		70,676																
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）													
<p>1 防犯灯LED化事業 防犯灯をLED化にすることにより、維持管理（電気料金含）コストの削減及び環境に配慮した低炭素社会へ貢献した。 【令和2年度】 リース（継続） 6,714基、新設 36基、LED化 136基、修繕取替 101基</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯LED化率</td> <td>72.2%</td> <td>87.4%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>防犯灯LED化率 LED灯：10,346基 / 防犯灯全体：11,842基</p>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	防犯灯LED化率	72.2%	87.4%	100.0%	継 続	維持管理コスト削減及び低炭素社会貢献のため、今後も継続的に実施する。	
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																				
防犯灯LED化率	72.2%	87.4%	100.0%																				
<p>（繰越明許費 1,023 千円） ・ 事業名 道路台帳検索システムデータ更新等業務委託 ・ 予算執行率 99.2% ・ 完了時期 令和3年5月</p>																							

事業名		市道新設改良費（繰越明許）				（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 2目 道路新設改良費 ）		決算書	96 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
				2,222 【2,222】							
財 源 内 訳	市債			2,100							
	一般財源			122							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市道新設改良事業 市道朴木赤井線道路改良工事 外1路線 ・ 工事請負費 市道朴木赤井線 ・ 土地購入費 市道黒河579号線										継続	引き続き、安全で安心して利用できる道路の整備を計画的に進める。

事業名		市道新設改良費				（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 2目 道路新設改良費 ）		決算書	96 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
		96,483 【100,217】	130,450 【132,880】	94,147 【113,800】	【64,430】						
財 源 内 訳	市債	91,400	123,900	89,400		令和元年度は、新湊中学校跡地利活用推進のための「新湊うみいるこども園」開設に合わせ、周辺の市道整備を実施したことによる。					
	一般財源	5,083	6,550	4,747							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市道新設改良事業 生活に密着した市道の拡幅改良、舗装新設等を行い、快適で利便性の高いまちづくりの向上に成果があった。 市道作道55号線 外21路線 ・ 委託料 市道作道263号線 外4路線 ・ 工事請負費 市道作道55号線 外18路線 ・ 補償補填及び賠償金 市道黒河508号線 外1路線										継続	引き続き、安全で安心して利用できる道路の整備を計画的に進める。
（繰越明許費 15,527 千円） ・ 事業名 市道小島5号線外道路改良工事 ・ 予算執行率 85.8% ・ 完了時期 令和3年9月											

事業名		地方道路交付金事業費（繰越明許）				（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		2目 道路新設改良費		決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						1,320 【1,570】									
財 源 内 訳	国庫補助金					660									
	市債					600									
	一般財源					60									
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 ・ 工事請負費 市道三ヶ34号線道路改良工事														継続	引き続き、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進める。

事業名		地方道路交付金事業費				（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		2目 道路新設改良費		決算書	96 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		75,983 【135,919】		84,402 【86,138】		183,248 【198,896】		【226,801】							
財 源 内 訳	国庫補助金	39,003		43,537		91,417				社会資本整備総合交付金の増額配分により、工事の進捗を図ったことによる。					
	市債	34,300		37,800		84,100									
	一般財源	2,680		3,065		7,731									
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 活力ある地域づくりを目指し、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、市内道路網の体系的な整備を行った。 また、通学路における歩道の設置など、安全・安心な歩行空間を確保し、快適に暮らせるまちづくりに成果があった。 ・ 市道三ヶ34号線 ・ 市道池多615号線 ・ 市道大門針原線 ・ 市道今井北高木線														継続	引き続き、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進める。
（繰越明許費 15,256 千円） ・ 事業名 市道今井北高木線道路改良工事 ・ 予算執行率 92.3% ・ 完了時期 令和3年12月															

事業名		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費 ）				決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
				14,845 【14,845】					
財 源 内 訳	国庫補助金			3,035					
	市債			7,000					
	一般財源			4,810					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路舗装修繕事業【国50/100】 道路舗装の修繕を実施したことで、安全で快適な道路交通に成果があった。 ・ 市道戸破148号線 外5路線								継続	引き続き老化した道路舗装の補修を進める。

事業名		（ 8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費 ）				決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
		224,280 【274,242】	329,042 【345,265】	316,372 【359,163】	【302,574】				
財 源 内 訳	使用料	37	37	0		平成30年度から公共施設等適正管理事業債を活用した道路舗装補修事業を実施したことによる。			
	国庫補助金	0	1,965	0					
	諸収入	0	452	0					
	市債	47,600	141,500	133,200					
	一般財源	176,643	185,088	183,172					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 道路維持管理事業 道路パトロール、市民からの情報提供及び自治会等からの要望を基に、道路構造物の補修及び更新を実施し、道路の適正な維持管理を行うことにより、安全で快適な道路環境の保全に成果があった。 ・ 補修工事及び修繕件数 212件								継続	引き続き適正な補修、修繕を進める。
2 道路舗装補修事業 道路舗装の補修を実施したことで、安全で快適な道路交通の確保に成果があった。 ・ 市道八塚串田線 外4路線								継続	引き続き老朽化した道路舗装の補修を進める。
（ 繰越明許費 41,843 千円 ）									
・ 事業名 道路舗装補修事業等									
・ 予算執行率 88.3%									
・ 完了時期 令和3年12月									

事業名		交通安全施設整備費（繰越明許）				（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		3目 道路橋梁維持費		決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
財 源 内 訳	国庫補助金					4,510	【4,617】									
	一般財源					2,255										
						2,255										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 通学路交通安全プログラム対策事業【国1/2】 児童が安全に通学できる環境を整えるため、通学路を学校や警察などと合同で点検し、抽出した危険箇所の対策を実施した。 ・ 対策箇所 3か所												継続	引き続き、安全で安心して利用できる道路の整備を計画的に進める。			

事業名		交通安全施設整備費				（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		3目 道路橋梁維持費		決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
財 源 内 訳	繰入金（基金）		0		0	1,500										
	一般財源		143,334		16,616	16,610										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 交通安全施設整備事業 住民の安全・安心及び快適な道路交通環境を確保するため、地区要望の中から早急に整備が必要な安全施設（反射鏡、防護柵、区画線等）を設置整備した。 ・ 補修工事及び修繕件数 81件 ・ 道路反射鏡 6基（新設） ・ 防護柵 L = 83m（新設） ・ 区画線 L = 5.4km												継続	引き続き、安全で安心して利用できる道路の整備を計画的に進める。			

事業名		まちなみ環境整備事業費				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費)				決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
		3,732	【3,797】	4,308	【4,607】	3,437	【3,588】						
財 源 内 訳	一般財源	3,732		4,308		3,437		事業主体となる自治会等数が年度で変動することによる。					
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 まちなみ環境整備事業 自治会等が事業主体となって実施する施設整備工事や公共施設の除草管理機械購入等に対して補助を行い、協働で地域の環境を整備することにより、地域の生活環境の改善に成果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路改良舗装事業 2地区 ・ 雨水排水路整備事業 3地区 ・ 公共用地維持管理事業（草刈機・芝刈機購入） 6地区 											継 続	自治会等が事業主体となり、地域の生活環境改善を実施することで、地域の生活環境の改善につながるため、補助金を今後も継続的に交付する。	

事業名		橋梁長寿命化・耐震化対策事業費（繰越明許）				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費)				決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
				73,822	【73,830】								
財 源 内 訳	国庫補助金			40,629									
	市債			27,900									
	一般財源			5,293									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道二口1号線（米山橋）等の補修及び耐震補強工事を実施したことにより、通行者の安全確保と橋梁の長寿命化に成果があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料 橋梁詳細点検 橋長15m以上 12橋、橋長2m以上15m未満 16橋 ・ 工事請負費 補修、耐震補強工事 橋長15m以上 3橋 											継 続	引き続き、安全で安心して利用できる橋梁の整備を計画的に進める。	

事業名		橋梁長寿命化・耐震化対策事業費 (8款 土木費 1項 道路橋梁費 3目 道路橋梁維持費)				決算書	97 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		39,395 【73,600】	82,820 【156,650】	94,703 【196,550】	【94,350】	令和元年度から15m未満の橋梁を含めた橋梁長寿命化修繕計画に基づく事業を実施したことによる。			
財 源 内 訳	国庫補助金	21,667	45,551	52,017					
	市債	8,600	21,400	37,300					
	一般財源	9,128	15,869	5,386					
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道戸破101号線(新伝馬橋)等の補修設計及び耐震・補修工事を実施したことにより、通行者の安全確保と橋梁の長寿命化に成果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料 補修設計 4橋、橋梁詳細点検 橋長2m以上15m未満 68橋 <p>(繰越明許費 101,848 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 補修、耐震補強工事 橋長15m以上 4橋 15m未満 5橋 予算執行率 48.2% 完了時期 令和3年8月 							継 続	引き続き、安全で安心して利用できる橋梁の整備を計画的に進める。	

事業名	除雪対策費				(8款 土木費	1項 道路橋梁費	4目 雪害対策費)	決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課														
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		168,652【202,130】	156,698【200,825】	839,330【963,276】	【215,750】		令和2年度は大雪の影響に伴い、除雪対策経費が大きく増加したことによる。																			
財 源 内 訳	国庫補助金	6,372	7,948	140,830																						
	一般財源	162,280	148,750	698,500																						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																
<p>1 道路除雪事業【国2/3】</p> <p>冬期間の市民生活や社会活動の安定を図るため、除雪計画路線を機械除雪又は消雪装置により効率的に除排雪することで、安全で円滑な道路交通の確保に効果があった。</p> <p><除雪計画路線></p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>延長</th> </tr> <tr> <td>市道</td> <td>860.3km</td> </tr> <tr> <td> うち機械除雪</td> <td>526.8km</td> </tr> <tr> <td> うち消雪路線</td> <td>180.2km</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>707.0km</td> </tr> </table> <p><除雪機械台数及び協力業者数></p> <table border="1"> <tr> <td>除雪車</td> <td>323台</td> </tr> <tr> <td>協力業者</td> <td>123社</td> </tr> </table> <p><除雪車出動日数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内全域早朝除雪 8日 ・ 丘陵部のみ早朝除雪 1日 ・ 市内全域圧雪処理及び拡幅除雪 5日 ・ 排雪作業 30日 ・ 凍結防止剤散布 8日 										区分	延長	市道	860.3km	うち機械除雪	526.8km	うち消雪路線	180.2km	計	707.0km	除雪車	323台	協力業者	123社	<p>継続</p> <p>引き続き、冬期間においても安全で円滑な道路交通の確保に努める。</p>		
区分	延長																									
市道	860.3km																									
うち機械除雪	526.8km																									
うち消雪路線	180.2km																									
計	707.0km																									
除雪車	323台																									
協力業者	123社																									

事業名	地域ぐるみ除排雪促進費				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)				決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課										
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																
		8,276 【10,932】	9,259 【11,124】	8,634 【11,044】	【8,972】																	
財源内訳	県補助金	2,648	3,016	2,449																		
	一般財源	5,628	6,243	6,185																		
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)												
<p>1 地域ぐるみ除排雪事業【県1/3】</p> <p>冬期間における道路の円滑な交通確保のために、地域振興会や除排雪協議会等に小型除雪機械を貸与し、生活道路や歩道等の除排雪を地域ぐるみで行うことで、きめ細かですべての市民ニーズに対応した道路利用の確保が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型タイヤショベル等の購入 地域ぐるみ除排雪のため、新たに小型タイヤショベル2台、ハンドガイド1台を購入し、3地区の機械を更新した。 ・ 事業実施団体数 49地区 ・ 除雪機械台数 75台 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ぐるみ除排雪機械台数</td> <td>66台</td> <td>75台</td> <td>71台</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	地域ぐるみ除排雪機械台数	66台	75台	71台	継続	引き続き、機械の更新を進め、地域主体で道路の利便性確保を図る。
指標項目	基準	実績	目標																			
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																			
地域ぐるみ除排雪機械台数	66台	75台	71台																			

事業名	消雪施設維持管理費(繰越明許)				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)				決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
				1,103 【1,152】								
財源内訳	国庫補助金			548								
	一般財源			555								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 消雪施設維持管理費【国60/100】</p> <p>冬期間の円滑な交通確保のために消雪施設の修繕・更新を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大門6号消雪ノズル更新工事 等 										継続	計画的に更新を行い、施設の改善を重点的に進める。	

事業名		消雪施設維持管理費				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 4目 雪害対策費)				決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		169,865 【174,054】	129,756 【141,292】	195,541 【222,741】	【163,404】	大雪により電気料及び消雪用水の水道使用量が増えたことによる。							
財源内訳	国庫補助金	27,147	11,316	21,407									
	財産売却収入	0	396	0									
	諸収入	835	1,333	1,037									
	一般財源	141,883	116,711	173,097									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 消雪施設維持管理費【国60/100】 冬期間の円滑な交通確保のために消雪施設の修繕・更新を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備更新 3か所 ・ 電動弁室更新 1か所 ・ その他修繕 											継続	計画的に更新を行い、施設の改善を重点的に進める。	
(繰越明許費 27,142 千円) ・ 事業名 小杉11号消雪施設機械電気設備更新工事 ・ 予算執行率 87.8% ・ 完了時期 令和3年12月													

事業名		土砂災害対策費(繰越明許)				(8款 土木費 1項 道路橋梁費 5目 土砂災害対策費)				決算書	98 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
				16,726 【17,420】									
財源内訳	県補助金			13,753									
	市債			2,800									
	一般財源			173									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 富山県小規模急傾斜地崩壊対策事業【県1/2】 土砂災害から市民の安全・安心な暮らしを守るため、土砂災害警戒区域内の急傾斜地崩壊危険箇所に対し、急傾斜地崩壊対策施設整備を行うことにより、土砂災害を未然に防ぐ効果が期待できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 急傾斜地崩壊対策工事 日宮地内 全体計画 A=2,349㎡ 											継続	日宮地区については、令和3年度に施設整備箇所の用地測量及び敷地寄附を実施し事業完了の予定である。令和3年度以降は、東谷地区(浄土寺地内)で事前調査を実施する予定である。	

事業名		河川管理費（繰越明許）				（ 8款 土木費 2項 海岸河川費 1目 海岸河川総務費 ）				決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	一般財源					10,945	【10,945】						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 内川高潮対策施設修繕</p> <p>内川高潮対策施設において利用しているWindows7がサポート終了するため、Windows10に対応するための機器修繕を実施した。</p> <p>受注者 ㈱ミヤシゲテクノ</p> <p>工期 令和2年2月27日～6月22日</p> <p>修繕料 10,945千円</p>										完了	引続き、適切な維持管理に努め、 水害予防、快適環境の維持に努める。		

事業名		河川管理費				(8款 土木費 2項 海岸河川費 1目 海岸河川総務費)				決算書	99 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		18,299 【18,440】	42,327 【56,738】	28,996 【134,219】	【122,144】	準用河川前田川整備事業の工事費等を令和3年度へ繰り越したことによる。							
財 源 内 訳	国庫補助金	0	2,585	0									
	県委託金	72	80	71									
	市債	0	12,100	5,900									
	一般財源	18,227	27,562	23,025									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 内川等に設置されている水門、排水ポンプ等の維持管理・修繕、下条川散策路、水辺の楽校等の植栽管理・除草等を実施することにより、高潮、豪雨等による水害予防や河川利用者の快適環境の維持に効果があった。											継続	従来からの維持管理については引き続き適切な時期に実施し、水害予防、快適環境の維持に努める。	
2 準用河川前田川整備事業 準用河川前田川整備事業用地測量業務委託 委託先 (有)山順測量設計 委託期間 令和2年7月8日～12月15日 委託料 5,280千円											継続	前田川整備に着手し河川の防災対策を進める。	
3 和田川フラップゲート更新 和田川と庄川合流点付近に設置されている住宅地から和田川への流入部にあるフラップゲートを老朽化に伴い更新した。 ・フラップゲート 3か所											継続	フラップゲート9か所のうち、6か所の更新が完了しており、令和3年度は残り3か所について実施することにより、水害予防に努める。	
(繰越明許費 104,622 千円)													
・事業名 準用河川前田川整備事業													
・予算執行率 21.7%													
・完了時期 令和4年3月													

事業名		海岸総務費		(8款 土木費		2項 海岸河川費		1目 海岸河川総務費		決算書		99 ページ		担当部課		産業経済部港湾・観光課										
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)														
				7,003 【7,065】		7,238 【7,365】		7,862 【7,884】		【8,094】																
財 源 内 訳	県委託金		3,449		3,538		3,822																			
	一般財源		3,554		3,700		4,040																			
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 海老江海浜公園維持管理事業【県1/2】</p> <p>海老江海浜公園の管理業務を地元の海老江海浜公園美化委員会に委託し、また、樹木管理についても造園業者に業務を委託するなど、きめ細かで適切な管理を行い美観を維持した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海老江海浜公園管理業務委託 ・海老江海浜公園樹木管理業務委託 <p><海水浴場利用者数及びオープン期間></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用者数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>25,616人</td> <td>令和元年7月13日～8月31日</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の影響により海水浴場開設なし</td> </tr> </tbody> </table>												区分	利用者数	期間	令和元年度	25,616人	令和元年7月13日～8月31日	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により海水浴場開設なし		<p>継続</p> <p>地元の尽力のおかげで公園の美観を維持できており、年間を通じて、多くの人を訪れる公園となっている。今後も適切な施設維持管理に努め、利用者数や認知度の向上を図る。</p>					
区分	利用者数	期間																								
令和元年度	25,616人	令和元年7月13日～8月31日																								
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により海水浴場開設なし																									

事業名		みなとまちづくり事業費		(8款 土木費		3項 港湾費		1目 港湾総務費		決算書		100 ページ		担当部課		産業経済部港湾・観光課																																				
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																								
				12,746 【13,098】		3,965 【4,439】		1,639 【1,818】		【3,813】		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、クルーズ船が寄港中止、極東杯国際ヨットレースが開催中止となったことによる。																																								
財 源 内 訳	一般財源		12,746		3,965		1,639																																													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																																								
<p>1 観光集客施設立地促進助成金 令和2年度は、2事業者に固定資産税相当額（建物）を助成し、ベイエリアのにぎわい創出・観光振興を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業者名</th> <th>施設名</th> <th>助成期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新湊うまいもん(株)</td> <td>新湊きっときと市場</td> <td>平成24年度～28年度</td> </tr> <tr> <td>(株)カモンハウス海王</td> <td>フェリシーナ</td> <td>平成25年度～29年度</td> </tr> <tr> <td>棚辺水産(株)</td> <td>しろえび壺番屋</td> <td>平成27年度～令和元年度</td> </tr> <tr> <td>(同)新湊ベイブリッジ</td> <td>海の駅新湊Sazan</td> <td>平成28年度～令和2年度</td> </tr> <tr> <td>木谷泰子</td> <td>貴婦人館</td> <td>平成29年度～令和3年度</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊・観光集客施設立地促進助成金制度利用者数 港湾地区のみ</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table>																		事業者名	施設名	助成期間	新湊うまいもん(株)	新湊きっときと市場	平成24年度～28年度	(株)カモンハウス海王	フェリシーナ	平成25年度～29年度	棚辺水産(株)	しろえび壺番屋	平成27年度～令和元年度	(同)新湊ベイブリッジ	海の駅新湊Sazan	平成28年度～令和2年度	木谷泰子	貴婦人館	平成29年度～令和3年度	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	宿泊・観光集客施設立地促進助成金制度利用者数 港湾地区のみ	2件	5件	6件	<p>継続</p> <p>ここ数年は新規の事業者を呼び込めておらず、実績を伸ばし切れていない。今後は、実績を伸ばすことで、より一層のベイエリアのにぎわいを創出を図りたい。</p>					
事業者名	施設名	助成期間																																																		
新湊うまいもん(株)	新湊きっときと市場	平成24年度～28年度																																																		
(株)カモンハウス海王	フェリシーナ	平成25年度～29年度																																																		
棚辺水産(株)	しろえび壺番屋	平成27年度～令和元年度																																																		
(同)新湊ベイブリッジ	海の駅新湊Sazan	平成28年度～令和2年度																																																		
木谷泰子	貴婦人館	平成29年度～令和3年度																																																		
指標項目	基準	実績	目標																																																	
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																																	
宿泊・観光集客施設立地促進助成金制度利用者数 港湾地区のみ	2件	5件	6件																																																	

事業名		港湾建設促進費（繰越明許）				（ 8款 土木費		3項 港湾費		2目 港湾建設費		決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部港湾・観光課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						6,033 【7,687】									
財源内訳	一般財源					6,033									
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 県単独港湾改良整備事業地元負担金</p> <p>港湾の機能充実等を図るため、県が単独で実施する港湾改良整備事業に対し、市がその費用の一部を負担したことにより、環境整備が促進され利便性の向上が図られた。（県6/10、市4/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中野整理場護岸 護岸修繕 ・ 西埋立緑地 パークゴルフ設備 ・ 元気の森公園 安全対策施設 													<p>継続</p> <p>本事業により改良整備が行われることで、確実に港湾関連施設の利便性が向上している。今後も対象となる案件を追加し更なる利便性の向上を図る。</p>		

事業名		港湾建設促進費				（ 8款 土木費		3項 港湾費		2目 港湾建設費		決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部港湾・観光課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		9,746 【25,500】		28,313 【36,000】		24,000 【24,000】		【24,000】							
財源内訳	市債	0		0		24,000				令和元年度は、元気の森公園休憩施設新設工事に対する負担金があったことによる。 令和2年度は、中野整理場護岸修繕に対する負担金があったことによる。					
	一般財源	9,746		28,313		0									
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 県単独港湾改良整備事業地元負担金</p> <p>港湾の機能充実等を図るため、県が単独で実施する港湾改良整備事業に対し、市がその費用の一部を負担したことにより、環境整備が促進され利便性の向上が図られた。（県6/10、市4/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中野整理場護岸 護岸修繕 													<p>継続</p> <p>本事業により改良整備が行われることで、確実に港湾関連施設の利便性が向上している。今後も対象となる案件を追加し更なる利便性の向上を図る。</p>		

事業名		海王丸パーク活用推進費		(8款 土木費		3項 港湾費		3目 海王丸パーク活用推進費)		決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部港湾・観光課											
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																		
		72,292 【74,363】	68,094 【73,471】	70,612 【75,142】	【75,531】	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業に要する総支出額が減となったが、補助金以外の収入も大きく減となり、補助対象経費が大きくなったことによる。																		
財源内訳	国庫補助金	0	0	350																				
	繰入金(基金)	0	0	500																				
	一般財源	72,292	68,094	69,762																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 (公財)伏木富山港・海王丸財団等への補助金及び負担金 海王丸パークのにぎわいを創出し、地域の活性化を図るため、(公財)伏木富山港・海王丸財団及び富山県に対して、帆船海王丸及び海王丸パークの維持管理やパークでの各種イベント等の実施に係る下記補助金等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帆船海王丸保存活用等事業補助金 ・海王丸パーク等管理運営費補助金 ・海王丸パークイベント開催事業補助金 ・(公財)伏木富山港・海王丸財団への県派遣職員の給与等に対する負担金 ・海王丸パーク管理業務経費に関する負担金 <table border="1" data-bbox="143 699 1249 802"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海王丸パーク周辺入込数 (海王丸パークの入込数調べ(伏木富山港海王丸財団)調査結果)</td> <td>1,003,400人</td> <td>563,500人</td> <td>1,030,000人</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	海王丸パーク周辺入込数 (海王丸パークの入込数調べ(伏木富山港海王丸財団)調査結果)	1,003,400人	563,500人	1,030,000人	<p>拡充</p> <p>昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、総帆展帆等のイベントが開催できなかったことから、大きく入込数が減少した。コロナの収束が近づくにつれ、以前のようなにぎわいを回復できると見込んでいるが、ウイズコロナの観点からも、より魅力的な観光名所となるよう、帆船海王丸を活用した人々の交流拠点として、にぎわい創出を図りたい。</p>		
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
海王丸パーク周辺入込数 (海王丸パークの入込数調べ(伏木富山港海王丸財団)調査結果)	1,003,400人	563,500人	1,030,000人																					

事業名	都市計画総務費（繰越明許）		（ 8款 土木費		4項 都市計画費		1目 都市計画総務費		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財源内訳	一般財源						11,804	【11,804】				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 都市計画マスタープラン改定支援業務委託 地域振興会との意見交換会、パブリックコメントを行い都市計画マスタープランを策定した。 委託先 (株)新日本コンサルタント 射水営業所 委託期間 令和元年6月17日～令和2年6月30日 委託料 12,045千円（うち繰越額 8,545千円）</p>											完了	都市計画マスタープランの実現に向け、社会資本整備や適正な維持管理及び更新に努める。
<p>2 土地開発事業補助金 平成28年度に市街化編入を行った中村地区において、良好な市街地形成を行う開発に対し補助金を交付した。 交付先 山徳不動産開発(株) 事業期間 令和2年1月20日～7月17日 交付額 3,259千円（うち繰越額 3,259千円）</p>											完了	市外への転出を抑え、転入を促進する受け皿として良好な市街地形成が図られた。

事業名	都市計画総務費		（ 8款 土木費		4項 都市計画費		1目 都市計画総務費		決算書	100 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財源内訳	手数料	諸収入	1,119	382	1,036	52	1,337	61			都市計画マスタープランの改定作業の終了と中村地区の開発が完成し開発補助事業が終了したことによる。	
	県補助金	一般財源	125	77,486	119	19,624	138	4,227				
	県委託金		2,376		0		0					
	財産運用収入		864		864		864					
	繰入金（基金）		0		2,100		0					
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 太閤山リノベーション計画策定支援業務委託 計画策定委員会で協議した内容を基に、3地域振興会、学生との意見交換会を行い策定した。 委託先 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所 委託期間 令和2年8月6日～令和3年3月26日 委託料 5,140千円</p>											完了	太閤山リノベーション計画の実現に向け、社会資本整備や適正な維持管理及び更新等を推進する。

事業名		地籍調査費（繰越明許）				（ 8款 土木費		4項 都市計画費		1目 都市計画総務費		決算書	100 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						5,000 【5,050】									
財 源 内 訳	県補助金					3,750									
	一般財源					1,250									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
<p>1 地籍調査事業【県（国）1/2 県1/4】</p> <p>土地の位置や境界、面積等を明確にすることにより、今後の土地取引や公共事業の円滑な実施等に効果が期待できる地籍調査事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広上地区 対象面積 A = 0.37km² 委託先 (株)上智 射水支店 委託期間 令和2年7月8日～令和3年3月1日 委託料 4,959千円 											継 続	<p>地籍図根三角測量及び調査図素図等の作成を行った。令和3年度は、現地調査を実施する。</p> <p>今後も土地取引や公共事業の円滑な実施を図るべく、地籍調査を着実に進める。</p>			

事業名	地籍調査費		(8款 土木費 4項 都市計画費 1目 都市計画総務費)		決算書	100 ページ	担当部課	都市整備部用地・河川管理課											
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)													
		10,704 【10,895】	12,450 【17,641】	4,035 【4,125】	【16,041】														
財 源 内 訳	県補助金	4,707	8,678	2,520															
	諸収入	0	367	0															
	一般財源	5,997	3,405	1,515															
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)												
<p>1 地籍調査事業【県(国)1/2 県1/4】</p> <p>土地の位置や境界、面積等を明確にすることにより、今後の土地取引や公共事業の円滑な実施等に効果が期待できる地籍調査事業を実施した。</p> <p>黒河2期地区 対象面積A = 0.13km²</p> <p>委託先 株上智 射水支店</p> <p>委託期間 令和2年7月22日～令和3年3月1日</p> <p>委託料 1,122千円</p> <p>港町地区 対象面積A = 0.06km²</p> <p>委託先 朝日コンサルタンツ(株) 射水支店</p> <p>委託期間 令和2年7月22日～令和3年3月1日</p> <p>委託料 2,585千円</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地籍調査整備率</td> <td>20.8%</td> <td>21.8%</td> <td>25.0%</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	地籍調査整備率	20.8%	21.8%	25.0%	<p>継続</p> <p>黒河2期地区については、閲覧工程まで完了した。令和3年度は、認証請求及び法務局へ成果の提出を行う。港町地区については、一筆地測量を完了した。令和3年度は、地籍簿案・地籍図案の作成及び閲覧を実施する。</p> <p>今後も土地取引や公共事業の円滑な実施を図るべく、地籍調査を着実に進める。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																
地籍調査整備率	20.8%	21.8%	25.0%																

事業名	街路事業費		(8款 土木費 4項 都市計画費 2目 街路事業費)		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)		
		15,751 【15,753】	33,038 【35,289】	21,415 【21,415】	【49,113】			
財 源 内 訳	市債	14,100	29,700	17,600		(都)二口北野線における用地買収及び物件移転補償に伴う負担減による。		
	一般財源	1,651	3,338	3,815				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 都市計画道路整備事業(県事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> (都)二口北野線整備負担金 <p>大島北野地内の慢性的な交通渋滞の解消と、歩行者や自転車の安全確保を図るため、事業用地の買収・物件移転補償及び工事を実施した。</p>							<p>継続</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消と、安全で円滑な交通の確保を図るため、今後も、(都)二口北野線の未整備区間の整備促進が図られる。</p>	

事業名		まちづくり交付金事業費(繰越明許)		(8款 土木費		4項 都市計画費		3目 市街地整備費		決算書		101 ページ		担当部課		都市整備部都市計画課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)							
						151,117【225,204】											
財 源 内 訳	国庫補助金					41,537											
	市債					95,200											
	一般財源					14,380											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)							
<p>1 街路事業【国55/100】</p> <p>越中大門駅と市街地のアクセス向上を図るため、都市計画道路駅前線の道路整備を実施した。</p> <p>都市計画道路駅前線整備計画(延長L=311m、幅員W=20m、駅前広場面積A=2,100㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収N=5件、物件移転補償N=14件 ・(都)駅前線道路改良工事L=70m ・越中大門駅前広場整備工事A=1,100㎡ 										継 続		<p>用地買収と物件移転補償の契約がおおむね完了した。今後は、駅前広場と道路改良工事を推進し、早期完成を目指す。</p>					
<p>2 都市再生整備計画事業【国4/10】</p> <p>市街地の道路改良・公園整備等、安全で快適なまちづくりを進めた。</p> <p>小杉地区都市再生整備計画〔事業期間 平成28年度～令和2年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌の森運動公園北側駐車場整備N=1式 <p>新湊地区都市再生整備計画〔事業期間 平成30年度～令和3年度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道新湊270号線歩道整備実施設計業務委託 <p>委託先 北電技術コンサルタント(株) 射水営業所</p> <p>委託期間 令和元年12月5日～令和2年8月28日</p> <p>委託料 8,470千円</p>										継 続		<p>小杉地区は、歌の森運動公園への「スターバックスコーヒー」の出店など、新たな「まちなか空間」の創出を図ることができた。新湊地区は、市街地と観光資源である内川をつなぐ「市道新湊270号線」の歩道整備に着手する。</p>					

事業名	まちづくり交付金事業費		(8款 土木費		4項 都市計画費		3目 市街地整備費		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課																													
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																	
		290,108【411,857】	168,084【393,768】	120,945【246,079】		【193,553】		小杉地区(都市再生整備計画事業)が完了したことによる。																																	
財 源 内 訳	国庫補助金	97,176	75,029	50,442																																					
	市債	182,800	88,100	64,300																																					
	一般財源	10,132	4,955	6,203																																					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																															
<p>1 街路事業【国55/100】 越中大門駅と市街地のアクセス向上を図るため、都市計画道路駅前線の道路整備を実施した。 都市計画道路駅前線整備計画(延長L=311m、幅員W=20m、駅前広場面積A=2,100m²)</p> <ul style="list-style-type: none"> 物件移転補償N=1件 (都)駅前線道路改良工事L=180m 										継 続	<p>用地買収と物件移転補償の契約がおおむね完了した。今後は、駅前広場と道路改良工事を推進し、早期完成を目指す。</p>																														
<p>2 都市再生整備計画事業【国4/10】 市街地の道路改良・公園整備等、安全で快適なまちづくりを進めた。 小杉地区都市再生整備計画〔事業期間 平成28年度～令和2年度〕 小杉駅の周辺道路や下条川千本桜ポケットパークなどの整備を実施し、利便性と地区の魅力が向上した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">基準</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共公益施設の利用者数</td> <td>61,541人/年(平成26年度)</td> <td>43,849人/年</td> <td></td> <td>73,000人/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地区内人口</td> <td>8,380人(平成27年度)</td> <td>8,836人</td> <td></td> <td>8,380人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歴史文化施設利用者数</td> <td>6,638人/年(平成26年度)</td> <td>3,309人/年</td> <td></td> <td>6,640人/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者数の減少は新型コロナウイルス感染症対策の影響によるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道戸破188号線歩道整備工事L=166m 小杉地区都市再生整備計画事業効果分析調査業務委託 委託先 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所 委託期間 令和2年9月17日～令和3年3月19日 委託料 2,530千円 新湊地区都市再生整備計画〔事業期間 平成30年度～令和3年度〕 市道新湊270号線歩道整備工事L=205m 											項目	基準	実績		目標		令和2年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度	公共公益施設の利用者数	61,541人/年(平成26年度)	43,849人/年		73,000人/年		地区内人口	8,380人(平成27年度)	8,836人		8,380人		歴史文化施設利用者数	6,638人/年(平成26年度)	3,309人/年		6,640人/年		継 続	<p>小杉地区は、市道戸破188号線歩道整備が完工し、小杉地区の事業が完了した。新湊地区は、市街地と観光資源である内川をつなぐ「市道新湊270号線」の歩道整備の工事を推進し、早期完成を目指す。</p>	
項目	基準	実績		目標																																					
		令和2年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度																																				
公共公益施設の利用者数	61,541人/年(平成26年度)	43,849人/年		73,000人/年																																					
地区内人口	8,380人(平成27年度)	8,836人		8,380人																																					
歴史文化施設利用者数	6,638人/年(平成26年度)	3,309人/年		6,640人/年																																					
<p>(繰越明許費 125,093 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業名 街路事業、都市再生整備計画事業 予算執行率 49.2% 完了時期 令和4年3月 																																									

事業名		公園維持管理費（繰越明許）				（ 8款 土木費 4項 都市計画費 4目 公園費 ）				決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	国庫補助金					15,232							
	市債					14,400							
	一般財源					832							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 公園施設長寿命化対策事業【国5/10】 市が管理する都市公園のうち大規模な5公園（25.2ha）について、平成23年度に策定した射水市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園遊具の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌の森運動公園迷路遊具更新工事 N = 1基 ・ 足洗潟公園遊具更新工事 N = 1基 										継続	公園施設長寿命化計画に基づき都市公園の施設の更新を実施した。		

事業名	公園維持管理費		(8款 土木費		4項 都市計画費		4目 公園費		決算書	101 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課		
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
			152,962【163,029】		132,155【163,430】		178,520【258,616】		【135,569】		公園施設長寿命化対策事業の財源である社会資本整備総合交付金の直近3か年の内示額による。 令和元年度：36,000千円 令和2年度：77,000千円(補正含む) 令和3年度：10,000千円			
財 源 内 訳	使用料	諸収入	4,074	78	8,651	120	6,636	2,977						
	国庫補助金	市債	15,796	16,900	2,768	2,600	16,833	21,100						
	県補助金	一般財源	0	113,214	0	118,016	1,841	125,133						
	寄附金		2,000		0		0							
	繰入金(基金)		900		0		4,000							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 公園維持管理及び遊具点検業務</p> <p>都市公園(147か所)及びその他公園(149か所)の除草、剪定、防除等の維持管理や遊具の点検を実施した。遊具については点検結果を受け損傷部の修繕を実施し安全を確保した。</p>											継 続	<p>樹木や遊具等の公園施設の維持管理を図ったことで、公園の安全を確保することができた。</p> <p>今後も地域型市民協働事業等を活用しながら、公園・緑地の適切な管理に努める。</p>		
<p>2 公園施設長寿命化対策事業【国5/10】</p> <p>市が管理する都市公園のうち大規模な5公園(25.2ha)について、平成23年度に策定した射水市公園施設長寿命化計画に基づき老朽化した公園遊具の更新を行った。また、前記5公園に、公園施設が設置されている都市公園を加えた合計133公園の施設の調査を行い、その結果を踏まえて計画の見直しを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足洗瀉公園遊具更新工事N=1基 ・歌の森運動公園すごろく広場遊具更新工事N=3基 ・グリーンパーク大門遊具更新工事N=1基 ・射水市公園施設長寿命化計画策定業務委託 <p>委託先 (株)日本海コンサルタント 富山支店射水営業所 委託期間 令和2年9月17日～令和3年3月19日 委託料 25,740千円</p>											拡 充	<p>公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の更新を実施するとともに、計画の見直しを行った。</p>		
<p>(繰越明許費 79,668 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名 公園施設長寿命化対策事業 ・予算執行率 69.1% ・完了時期 令和4年3月 														

事業名		建築指導費				(8款 土木費 6項 住宅費 1目 住宅管理費)				決算書	102 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課																
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		2,136	【2,153】	3,722	【3,763】	16,888	【17,908】		【8,723】	令和2年度から、耐震改修工事支援事業、射水市住生活基本計画策定委託等を住まい・まちづくり費から振り替えたことによる。																			
財 源 内 訳	国庫補助金	900		900		6,540																							
	県補助金	0		0		2,000																							
	一般財源	1,236		2,822		8,348																							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																		
<p>1 耐震改修工事支援事業</p> <p>地震による住宅の倒壊や人的被害の軽減を図るため、木造住宅の耐震改修工事等に対する支援を行ったことにより、耐震化が進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造住宅耐震診断費助成事業(上限6千円) 令和2年度で終了 ・ 木造住宅耐震改修補助(上限1,000千円)【国1/4 県1/2】 ・ 木造住宅耐震改修に伴うリフォーム補助(上限300千円)【国1/2】 <p><補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>耐震改修</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>リフォーム</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>											年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	耐震診断	5件	5件	8件	耐震改修	3件	1件	4件	リフォーム	3件	1件	3件	継続	令和2年度から固定資産税の納付書の発送に併せて、チラシを配布し普及啓発に努めた。 引き続き市耐震改修促進計画に沿って、一層の住宅耐震化を進める。	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																										
耐震診断	5件	5件	8件																										
耐震改修	3件	1件	4件																										
リフォーム	3件	1件	3件																										
<p>2 射水市住生活基本計画(計画編)の策定【国45/100】</p> <p>令和元年度に策定した計画の目的や本市の住宅・住環境の現状と課題を取りまとめた「現況編」に引き続き、令和2年度は計画全体の後段部分となる、理念や施策の目標、基本方針、各施策の展開について取りまとめた「計画編」を策定した。</p> <p>委託先 (株)創計画研究所 委託期間 令和2年4月20日～令和3年3月19日 委託料 3,960千円</p>											完了	計画の実現に向けて、各基本目標の成果指標により評価を行うこととし、計画の推進に当たっては、市民や関係団体、民間事業者、行政等の各主体が連携して取り組む。																	

事業名		市営住宅維持管理費		(8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費) 決算書		102 ページ		担当部課		都市整備部建築住宅課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)							
		46,203 【46,702】		50,097 【50,659】		79,356 【81,074】		【64,436】		立町特定公共賃貸住宅を市営住宅へ用途変更したことに伴う 入居修繕の増加及び射水市公営住宅等長寿命化計画を策定した ことによる。							
財 源 内 訳	使用料	46,203		50,097		78,086											
	国庫補助金	0		0		1,270											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)							
<p>1 射水市公営住宅等長寿命化計画の策定【国45/100】</p> <p>本市の公営住宅については、令和2年度策定した「住生活基本計画」の中で計画期間内に16戸を用途廃止することとしている。維持管理を継続する住棟については、本市の財政状況等も踏まえた上で、効果的な改善事業を実施することにより、建築物のライフサイクルコストの縮減に向けて、計画的に事業を推進することとして策定した。</p> <p>委託先 (株)創計画研究所 委託期間 令和2年6月18日～令和3年3月19日 委託料 4,895千円</p>										完了 計画に基づき、令和3年度は庄西市営住宅について改善事業(屋上防水工事)を実施することとし、以降も計画に沿って事業を推進する。							

事業名		住まい・まちづくり費 (8款 土木費 6項 住宅費 1目 住宅管理費)				決算書	102 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)															
		66,815 【70,157】	75,661 【85,165】	57,608 【73,229】	【78,480】	耐震改修支援事業及び射水市住生活基本計画策定委託を建築指導費へ振り替えたことによる。															
財 源 内 訳	国庫補助金	4,989	10,409	2,250																	
	県補助金	1,213	670	880																	
	繰入金(基金)	3,000	0	0																	
	諸収入	29,568	24,819	21,520																	
一般財源		28,045	39,763	32,958																	
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 空き家対策支援</p> <p>昭和56年5月以前に建築された老朽危険空き家の所有者に対し解体及び解体後の新築に対する支援を行い、住環境の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽危険空き家解体補助(上限500千円)【国1/2】 ・解体後の住宅の新築補助(上限600千円) ・解体後の跡地購入費補助(上限300千円) <p><補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険空き家解体</td> <td>21件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>解体後の新築</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>解体後跡地購入</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	令和元年度	令和2年度	危険空き家解体	21件	9件	解体後の新築	2件	0件	解体後跡地購入	2件	1件	継続	増加傾向にある空き家数に対応するため、所有者が実施する解体工事への支援を継続することにより、住環境の維持及び向上を図る。	
年度	令和元年度	令和2年度																			
危険空き家解体	21件	9件																			
解体後の新築	2件	0件																			
解体後跡地購入	2件	1件																			
<p>2 若者世帯への定住促進家賃補助</p> <p>新婚世帯・子育て世帯・転入世帯に対し、賃貸住宅の家賃に対する支援を行ったことにより、若者世帯の定住促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者世帯定住促進家賃補助(上限20千円/月) <p><補助実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入世帯</td> <td>23件</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>新婚世帯</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>子育て世帯</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>							年度	令和元年度	令和2年度	転入世帯	23件	27件	新婚世帯	1件	1件	子育て世帯	4件	2件	継続	移住制度を利用し市外から移住した94人のうち、当該事業により55人が移住するなど、成果につながっており、今後も事業を継続実施することにより、若者世帯の定住促進を図る。また、窓口での案内チラシの設置やホームページで更なる周知に努める。	
年度	令和元年度	令和2年度																			
転入世帯	23件	27件																			
新婚世帯	1件	1件																			
子育て世帯	4件	2件																			
指標項目		基準	実績	目標																	
		平成30年度	令和2年度	令和5年度																	
移住制度を活用して、移住した人数		88人	94人	100人																	

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）																		
<p>3 親・祖父母と暮らす住宅リフォーム等支援 親や祖父母と同居するための住宅の増改築、リフォーム工事費の一部を助成するにより、空き家の発生防止、定住人口の増加及び地域の活力維持を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 増改築及びリフォーム工事費補助（上限300千円） <p><補助実績></p> <table border="1" data-bbox="143 319 546 389"> <tr> <td>年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>2件</td> </tr> </table>	年度	令和2年度	交付件数	2件	継続	<p>親や祖父母との同居を促し、地域の活力維持を図るため、引き続き制度の周知に努める。</p>														
年度	令和2年度																			
交付件数	2件																			
<p>4 指定宅地取得支援 市が指定する未利用地を購入した者に対し、土地取得費の一部を助成することで、子育て世帯をはじめとする定住人口の増加と良好な住宅環境の形成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取得した土地面積×2,600円/㎡を3か年に分けて助成（上限600千円） <p><補助実績></p> <table border="1" data-bbox="143 592 748 662"> <tr> <td>年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>84件</td> <td>82件</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="143 694 1249 798"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定宅地における住宅建築率</td> <td>41.9%</td> <td>45.3%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和元年度	令和2年度	交付件数	84件	82件	指標項目	基準	実績	目標	平成30年度	令和2年度	令和5年度	指定宅地における住宅建築率	41.9%	45.3%	50.0%	継続	<p>宅建協会等への働き掛けにより当該事業の周知が図られたこともあり、補助実績は80件台を維持している。当該事業により定住人口の増加、未活用の土地の利用が図れることから、引き続き実施していく。</p>	
年度	令和元年度	令和2年度																		
交付件数	84件	82件																		
指標項目	基準	実績	目標																	
	平成30年度	令和2年度	令和5年度																	
指定宅地における住宅建築率	41.9%	45.3%	50.0%																	

事業名		重点密集市街地整備費				(8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課																
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																					
		89,662 【90,048】		153,967 【154,122】		295,903 【296,709】		【199,920】		令和2年度は、四十物町地区(八幡町一丁目)で道路改良工事や土地区画整理事業に本格的に着手したことによる。																					
財 源 内 訳	国庫補助金	42,088		74,675		143,459																									
	市債	33,600		61,700		17,200																									
	一般財源	13,974		17,592		135,244																									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性(担当課意見)																			
<p>1 放生津地区住宅市街地総合整備事業【国1/2】</p> <p>安全で安心して暮らせるまちづくり推進のため、地元住民、自治会及び権利者等に対して合意形成を図り、説明会及び個別面談を実施し、老朽建築物等の買収を行うことにより、環境整備を図った。</p> <p>検討会の開催 土地利用計画を策定するため、検討会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世話人会(中町東部) 1回 <p>個別面談の実施 土地利用の検討をするため、権利者に対して個別面談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四十物町 <p>老朽建築物等買収 地区整備のために、権利者から老朽建築物等を買収した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽建築物買収 7棟 ・ 物件移転補償(引越費用) 12件 												<p>令和2年度から、社会資本総合整備計画(第三期計画)に取り組んでいる。</p> <p>四十物町地区(八幡町一丁目)は、令和3年度に完成する見込みであり、引き続き中町東部地区(放生津町)で地区測量等を進め、事業の進捗を図る。</p>																			
																継 続															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th colspan="2">基準</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重点密集市街地等の整備率(面整備)</td> <td colspan="2">10.1%</td> <td colspan="2">59.2%</td> <td colspan="2">100.0%</td> </tr> </tbody> </table>																	指標項目	基準		実績		目標		平成25年度		令和2年度		令和5年度		重点密集市街地等の整備率(面整備)	10.1%
指標項目	基準		実績		目標																										
	平成25年度		令和2年度		令和5年度																										
重点密集市街地等の整備率(面整備)	10.1%		59.2%		100.0%																										

9 款 消 防 費

事業名		常備消防費				(9款 消防費 1項 消防費 1目 常備消防費)				決算書	103 ページ	担当部課	消防本部総務課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																			
		56,666 【58,337】	55,772 【58,123】	55,555 【58,152】	【59,932】																				
財 源 内 訳	使用料	227	222	224																					
	手数料	6,652	3,465	3,251																					
	財産売払収入	734	429	242																					
	諸収入	19,958	19,192	19,654																					
	一般財源	29,095	32,464	32,184																					
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）														
1 消防学校等への派遣 消防に必要な知識・技能を習得するために、県消防学校へ職員を派遣し、専門知識・技術を習得した。また、現場活動に必要な資格も取得した。 <職員研修派遣状況> <table border="1" data-bbox="143 644 848 780"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防大学校</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>県消防学校</td> <td>16人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>研修・講習会</td> <td>8人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>											区分	令和元年度	令和2年度	消防大学校	0人	0人	県消防学校	16人	17人	研修・講習会	8人	4人	継 続	複雑多様化する消防業務において、迅速かつ的確に対応するため各種研修等を通し、職員個々における能力の向上が図られた。今後も安全かつ確実な災害現場活動を実施するため、現場活動に必要な知識、技術を習得し、より一層の災害現場活動の向上を図る。	
区分	令和元年度	令和2年度																							
消防大学校	0人	0人																							
県消防学校	16人	17人																							
研修・講習会	8人	4人																							

事業名		救急業務高度化事業費				(9款 消防費 1項 消防費 1目 常備消防費)		決算書	103 ページ	担当部課	消防本部総務課																															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																				
		6,120	【8,742】	14,282	【15,035】	12,881	【13,595】	【10,699】																																		
財 源 内 訳	国庫補助金	0		0		2,795		令和2年度は新規救急救命士1人の養成を行った。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大により病院実習及び研修会の中止が多かったことによる。																																		
	諸収入	88		110		8																																				
	一般財源	6,032		14,172		10,078																																				
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																
<p>1 救急講習会の実施 事業所・学校等の団体に対して講習会を開催することでAEDの使用方法など応急手当に関する知識の普及啓発を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命講習受講者数</td> <td>3,544人</td> <td>297人</td> <td>5,000人</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	救命講習受講者数	3,544人	297人	5,000人	継続	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、講習会の中止や人数制限により受講者数が減った。今後は新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を考慮し、応急手当の普及啓発活動を継続する。</p>																				
指標項目	基準	実績	目標																																							
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																							
救命講習受講者数	3,544人	297人	5,000人																																							
<p>2 救急隊員・救急救命士の養成 高度な救急サービスを可能にするため、消防学校や厚生連高岡病院等へ職員を派遣し、より高度な救命技術・知識を習得した救急隊員・救急救命士を養成した。 <研修派遣状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>区分</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士研修所</td> <td>1人</td> <td>気管挿管再教育病院実習</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>県消防学校(2処置、救急科)</td> <td>1人</td> <td>薬剤投与病院実習(中止)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>実務病院実習(中止)</td> <td>0人</td> <td>救急救命士就業前実習</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習(中止)</td> <td>0人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>										区分	人数	区分	人数	救急救命士研修所	1人	気管挿管再教育病院実習	4人	県消防学校(2処置、救急科)	1人	薬剤投与病院実習(中止)	0人	実務病院実習(中止)	0人	救急救命士就業前実習	2人	気管挿管病院実習(中止)	0人			指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数	13人	12人	25人	継続	<p>救命率向上を目的とした救急救命士養成や、救急の高度化に伴う資機材の整備による救急体制の充実が図られた。今後も救急救命士等の資質向上に必要な研修、病院実習に積極的に参加させ、救命率向上を図る。</p>
区分	人数	区分	人数																																							
救急救命士研修所	1人	気管挿管再教育病院実習	4人																																							
県消防学校(2処置、救急科)	1人	薬剤投与病院実習(中止)	0人																																							
実務病院実習(中止)	0人	救急救命士就業前実習	2人																																							
気管挿管病院実習(中止)	0人																																									
指標項目	基準	実績	目標																																							
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																							
気管挿管及び薬剤投与が実施可能な救急救命士数	13人	12人	25人																																							
<p>3 感染症対策救急備品整備(新型コロナ対策3-22)【交付金】 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、救急隊の感染防止のために個人防護服等の整備及び救急車内の消毒資機材を整備した。 ・ 事業費 2,795千円</p>										継続	<p>感染防止のため、個人防護服や救急車内の消毒資機材を整備することができた。血中抗体検査やワクチン接種を計画的に実施し、救急隊が感染せず救急活動の継続を図る。</p>																															

事業名	消防団運営費		(9款 消防費		1項 消防費		2目 非常備消防費)	決算書	104 ページ	担当部課	消防本部総務課											
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
		82,379 【88,279】	84,009 【85,784】	60,434 【83,406】		【82,354】																		
財 源 内 訳	県補助金	357	217	106																				
	諸収入	0	359	0																				
	一般財源	82,022	83,433	60,328																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）													
<p>1 消防団の運営費 消防団員確保と運営の維持を図るとともに、団員の意識と資質の向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防団員数</td> <td>728人</td> <td>670人</td> <td>757人</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	消防団員数	728人	670人	757人	継続 消防団が地域に密着した活動を行うことにより、市民の防災意識の高揚、危機管理体制の充実が図られた。今後も大規模災害の発生が予想されることから、消防本部と消防団との組織相互の連携体制を強化していく。		
指標項目	基準	実績	目標																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																					
消防団員数	728人	670人	757人																					
<p>2 消防団員報償 消防団員の士気を高めるとともに家族の理解を深めるために、勤続5年以上、15年以上の団員と勤続30年以上の団員の家族を表彰した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優良団員表彰 44人（令和元年度 42人） ・ 家族表彰 7人（令和元年度 8人） 											継続 地域における消防団活動を推進するとともに、消防団員の士気の高揚が図られた。今後も地域防災力充実強化のため、地域や事業所等に消防団活動への理解と協力を求めていく。													
<p>3 機能別学生消防団員の活動服等の整備【県1/2】 機能別学生消防団員の活動服等を整備し、消防団活動PRすることにより、防火意識の向上を図った。 <貸与状況> 2人（学生消防団員 活動服一式）</p>											継続 学生消防団員が訓練やイベント等で着用する被服を整備し、「射水市消防団学生消防団員」とネームを入れることで団員の統一感を図り、市民等に対し学生消防団員活動のPRにつながった。今後も県の補助金等を積極的に活用し、消防団の装備の充実強化を図る。													

事業名	消火栓整備事業費		(9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費)			決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)															
		15,738 【15,740】	14,999 【15,550】	15,697 【15,750】	【18,016】																
財源内訳	市債	13,900	11,900	15,400																	
	一般財源	1,838	3,099	297																	
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 消火栓整備事業</p> <p>火災時に水利が不足する箇所に消火栓を整備し、消防水利の充実・強化を図った。</p> <p><消火栓整備状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火栓新設</td> <td>2基</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>消火栓移設</td> <td>10基</td> <td>5基</td> </tr> <tr> <td>消火栓修理</td> <td>10基</td> <td>8基</td> </tr> </tbody> </table>								区分	令和元年度	令和2年度	消火栓新設	2基	2基	消火栓移設	10基	5基	消火栓修理	10基	8基	<p>継続</p> <p>消防水利である消火栓を拡充することにより、円滑な消火活動に寄与することができた。今後も消防水利の設置が少ない地域を考慮して消火栓の新設を進めるとともに、損傷している消火栓については適宜修繕を行う。</p>	
区分	令和元年度	令和2年度																			
消火栓新設	2基	2基																			
消火栓移設	10基	5基																			
消火栓修理	10基	8基																			

事業名	防火水槽整備事業費		(9款 消防費 1項 消防費 3目 消防施設費)			決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		12,228 【12,600】	2,035 【12,600】	12,408 【18,300】		令和元年度は実施設計のみ行ったことによる。			
財源内訳	市債	12,200	2,000	12,400					
	一般財源	28	35	8					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 防火水槽整備事業</p> <p>火災時に水利が不足している箇所に防火水槽を整備し、消防水利の充実・強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火水槽整備箇所 市井地区 1か所 市井地内防火水槽設置工事 <ul style="list-style-type: none"> 受注者 (有)土合興業 工期 令和2年8月24日～12月14日 委託料 12,408千円 								<p>縮小</p> <p>今後は真に設置が必要な箇所を見極め、防火水槽の整備を図る。</p>	

事業名	通信施設整備事業費		(9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費) 決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
			13,276 【14,288】	16,622 【17,063】	19,795 【20,428】	【41,406】	令和2年度は、NET119システム導入による。					
財 源 内 訳	繰入金(基金)		0	0	2,000							
	一般財源		13,276	16,622	17,795							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 消防通信設備の維持管理 災害出動の受信・指令を行う、高機能消防指令システム等の適切な維持管理により、迅速な出動指令及び災害現場との情報伝達を確実に実施した。										継続	多種多様な災害通報(119番通報)等を受信し、消防隊等への出動指令に至る業務を的確に行うことができた。今後も消防通信設備を維持管理、運用し、迅速・効率的・確実性をモットーに適正かつ厳正に維持管理する。	
2 通信関係保守点検業務委託 発信地表示システム情報提供に関する契約を締結し、正確な災害発生場所を瞬時に表示することができた。										継続	保守業者及び指令員によって厳正に保守管理することにより、重大な障害を受けることなく、高機能消防指令システムを停止させずに稼働させることができた。今後も重大な障害を受けることなく稼働させるため、適正に維持管理する。	
3 多言語通訳サービス及びNET119導入業務委託 外国人からの緊急通報に円滑に対応できるよう、20か国語対応の通訳サービスと契約を締結した。 また、音声による119番通報が困難な聴覚・言語障害者からの緊急通報に円滑に対応できるよう、令和3年3月からNET119システムの試験運用を行った。										継続	多言語通訳サービスは5月から運用開始し、NET119は令和3年3月から試験運用後、4月から本格運用を開始した。今後は利用の増加が見込まれるため、適正に維持管理する。	
4 高機能消防指令システム情報系部分更新 高機能消防指令システム情報系部分更新を実施し、既存指令システムの再構築を行い、119番通報等の情報の円滑な管理、出動指令の迅速化が図れた。										継続	部分更新により119番通報等の情報管理の円滑化や直近の救急車を出動させることが出来るようになり、救急車現場到着時間の短縮が図られた。今後も取扱方法を習熟し、安定したシステム環境を保持するため、適正に維持管理する。	

事業名	消防車両整備事業費				(9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費)	決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課								
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)													
		88,240 【92,205】	111,873 【116,041】	165,503 【167,278】	【56,367】															
財源内訳	国庫補助金	13,618	0	0																
	県補助金	8,939	8,829	8,367																
	市債	63,500	99,100	149,800																
	一般財源	2,183	3,944	7,336																
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)									
<p>1 消防車両の更新</p> <p>老朽化していた消防車両3台の更新を行い、更なる消防力の強化を図った。</p> <p><更新車両></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型化学高所放水車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>高規格救急車(射水救急2)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>消防団ポンプ自動車(中・南太閤山)</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table>											区分	台数	大型化学高所放水車	1台	高規格救急車(射水救急2)	1台	消防団ポンプ自動車(中・南太閤山)	1台	<p>継続</p> <p>災害に対応した最新の消防車両を導入することにより、消防力の維持が図られた。今後も車両更新計画に基づき、消防車両の整備に取り組む。</p>	
区分	台数																			
大型化学高所放水車	1台																			
高規格救急車(射水救急2)	1台																			
消防団ポンプ自動車(中・南太閤山)	1台																			

事業名	消防団拠点施設整備事業費				(9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費)	決算書	105 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)					
		53,928 【55,530】	21,481 【22,649】	52,485 【53,752】	【28,600】							
財源内訳	市債	53,900	21,000	52,100			片口分団屯所大規模改修工事实施設計、作道分団屯所新築工事を実施したことによる。					
	一般財源	28	481	385								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 消防団拠点施設整備事業</p> <p>老朽化が著しい片口分団屯所の大規模改修工事を行うために、大規模改修工事实施設計を行った。また、作道分団屯所の移転新築工事を行い、地域の安全安心の確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団片口分団屯所大規模改修工事实施設計業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 委託先 一級建築士事務所 林博アトリエ 委託期間 令和2年7月22日～令和3年1月12日 契約額 891千円 作道分団屯所移転新築工事 <ul style="list-style-type: none"> 業者名 原建設(株) 工期 令和2年7月10日～令和3年1月15日 契約額 50,050千円 											<p>継続</p> <p>消防分団屯所を適正に維持管理することにより、地域に密着した消防機関として災害防御の拠点となり、初動段階から各種災害に大きな役割を果たすことができた。今後も地域防災力の強化を目的として施設等の整備を図る。</p>	

10 款 教 育 費

事業名		教育委員会事務局費 (10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費)				決算書	106 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		74,909 【83,957】	76,258 【84,336】	101,112 【110,888】	【110,140】	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴う学習サポーターを5人追加配置した。			
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	8,925					
	寄附金	1,000	1,000	0					
	繰入金(基金)	10,370	0	0					
	一般財源	63,539	75,258	92,187					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 学習サポーター(47人)の配置(新型コロナ対策1- 14)</p> <p>学習の理解に時間を要する児童生徒や集中して授業に取り組むことのできない児童生徒の学習支援を行った。 新型コロナウイルス感染症対策による学校休業明けに児童生徒が安定した学校生活を送れるよう、学習サポーター等の配置率が低い学校に7月から令和3年3月までの間、5人を追加配置した。 ・ 事業費 3,438千円</p>								継続	全小学校に学習サポーターを配置し、きめ細かな指導に努めた。今後とも、小中学校の実態に応じた配置に努め、学校内の支援体制の充実を図る。
<p>2 チームティーチング指導員(8人)の配置</p> <p>生徒一人ひとりの理解度に応じた学習指導を行い、「わかる」「できる」と実感させ、生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図った。</p>								継続	全中学校にチーム・ティーチング指導員を配置し、きめ細かな指導に努めた。今後とも、一人ひとりに寄り沿ったきめ細かな学習指導・生活指導を推進していく。
<p>3 特別支援教育指導員(1人)の配置</p> <p>保護者や学校との相談、保育園・幼稚園への訪問など、増加及び多様化する就学に関する支援体制の充実を図った。</p>								継続	専任職員を配置し、保護者の就学相談や教員への指導助言などを行えた。幼児期から小学校の児童期への円滑な接続のための指導や環境づくりを推進する。
<p>4 いみず鳳雛きらめき塾</p> <p>グローバルな人材育成のため、意欲のある中学生(鳳雛)に貴重な体験や刺激を得る機会をつくり、将来の射水市を担うたくましい人材の育成を図る事業であるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施することができなかった。</p>								継続	意欲ある中学生を対象に、貴重な体験と刺激を得る機会であり、生徒にとって貴重な体験となる事業であることから、今後も継続して実施していく。
<p>5 中学校修学旅行中止に伴う支援補助金(新型コロナ対策1- 15)【交付金】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、修学旅行を中止した場合の経費を市が負担することで、保護者の負担の軽減を図った。 ・ 事業費 4,148千円 中学校6校分(新湊、新湊南部、射北、小杉、小杉南、大門)</p>								完了	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった修学旅行のキャンセル料(企画料相当)を市が負担することにより、保護者の負担を軽減できた。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>6 中学校修学旅行中止に伴う代替事業補助金（新型コロナ対策1- 16）【交付金】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、修学旅行を中止した場合の代替事業を実施するに当たり、中学校校長会に補助し、中学生が将来に生かすことができる体験学習の機会の確保を図った。 ・ 事業費 4,777千円 中学校6校分（新湊、新湊南部、射北、小杉、小杉南、大門）</p>	<p>完了 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった修学旅行の代替事業として、中学生が将来に生かすことができる体験学習の機会を確保できた。</p>

事業名		（ 10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費 ）				決算書	106 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）			
		6,880 【9,720】	6,120 【7,980】	6,500 【7,020】	【8,280】				
財源内訳	諸収入	4,863	5,082	5,689					
	一般財源	2,017	1,038	811					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 奨学資金事業 経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学資金の貸与を行った。 ・ 貸与実績 大学生15人</p>								<p>継続 奨学資金を貸与することで、有用な人材の育成につながった。今後も審査会を実施の上、人材の育成及び定住人口の増加を図るため、適切な人材に奨学資金を貸与する。</p>	

事業名		学校図書館活動推進費				(10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費)				決算書	106 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)								
		26,796 【27,682】	27,280 【28,738】	31,873 【32,296】	【31,164】									
財源内訳	寄附金	350	650	300										
	一般財源	26,446	26,630	31,573										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 学校司書の配置 全小中学校へ学校司書を各1人配置した。(小学校 15人、中学校 6人) 学校司書の研修会を年2回開催し、専門家による講義・指導や、学校間の意見・情報交換により他校の取組を参考にするなど、学校司書の資質向上と学校図書館の利用促進を図った。</p>											継続	教員と学校司書が協力し、読書活動や調べ学習等で学校図書館を活用している。今後とも、学校図書館の有効活用に向け、学校司書の資質向上を図る。		
<p>2 児童生徒用図書の購入 学校図書館の蔵書の充実を図るため、小学校で4,069冊、中学校で2,297冊を購入した。 (小学校廃棄冊数4,415冊、中学校廃棄冊数1,001冊)</p>											継続	小学校、中学校ともに国が示す蔵書冊数に達している。児童生徒に有益であり、関心を持ってもらいたい図書の選書に努めるとともに、図書の展示や紹介を工夫するなど、児童生徒の読書意欲の向上を図る。		

事業名		[新] 学生緊急生活支援事業費				(10款 教育費 1項 教育総務費 2目 事務局費)				決算書	106 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)								
				600 【6,000】										
財源内訳	一般財源			600										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 学生緊急生活支援事業(新型コロナ対策1- 17) 新型コロナウイルス感染症にかかる影響を受けて家計が急変した学生等へ貸付(上限30万円)を行った。 ・ 貸与実績 大学生2人</p>											完了	貸付金を貸与することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変した学生を支援できた。		

事業名		教育相談費				(10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育センター費)				決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		7,010	【7,464】	6,356	【7,465】	6,597	【7,939】	【11,359】					
財源内訳	一般財源	7,010		6,356		6,597							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 教育相談事業</p> <p>認定カウンセラーによる相談業務 教育センター内相談室で週2回の教育相談を行い児童生徒、保護者の精神的な負担軽減を図った。また、要請のあった学校において相談活動を展開し、生徒、教師のカウンセリングを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 来所相談等 261件 (令和元年度 284件) <p>スクールソーシャルワーカーによる支援 家庭、学校、関係機関をつなぎ、児童生徒、保護者の精神的な負担軽減、生活改善に貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問活動回数 1,411回 (令和元年度 1,324回) <p>外国人相談員による支援 日本語指導が必要な外国人児童生徒への日本語指導及びその保護者を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問活動回数 195回 (令和元年度 185回) 											<p>継続</p> <p>児童生徒、保護者や教職員の悩み不安等の心の問題を改善、解決するため、相談体制を整えたことにより、相談者の生活改善等につながった。今後も、適切にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外国人相談員を配置し、相談支援を図っていく。</p>		

事業名		適応指導教室運営費				(10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育センター費)				決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		6,546	【6,704】	7,364	【7,597】	8,094	【8,419】	【8,880】					
財源内訳	一般財源	6,546		7,364		8,094							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 適応指導教室運営事業(指導員3人雇用)</p> <p>不登校児童生徒の再登校を支援するため、適応指導教室を設置し、生活の指導や学校復帰、高等学校進学に向けて基礎的・基本的学習内容を身に付けるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通級児童生徒数 13人 (令和元年度 17人) 体験通級児童生徒数 20人 (令和元年度 22人) その他相談者数 2人 (令和元年度 6人) 											<p>継続</p> <p>不登校児童生徒が通いやすい環境を整えるとともに、抱えている心理的な問題等の軽減を図りながら、自立する力やより良い人間関係づくりができるための支援を行った。今後も相談体制を強化し支援を継続していく。</p>		

事業名	学力向上対策事業費		(10款 教育費		1項 教育総務費		3目 教育センター費)	決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)					
			7,207	【8,159】	6,358	【7,083】	6,241	【6,938】	【7,179】					
財 源 内 訳	県補助金		1,662		1,159		1,351							
	一般財源		5,545		5,199		4,890							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 小学生学び応援塾【県(国)1/3 県1/3】 小学3年生を対象に、放課後に算数の補充学習を実施した。参加児童の理解度に合わせながら個別指導を行い、算数の基礎の定着と学力向上を図った。 ・参加児童数 各校20人(実施校:片口、小杉、歌の森、大門、大島) ・実施回数 約25回/年</p>											継 続	<p>一人ひとりのつまづき箇所を発見し、丁寧に指導することで、全ての参加児童の理解が深まり、学習意欲が高まった。年度の実施校数を維持しながら、事業を継続する。</p>		
<p>2 学び合う集団づくり推進事業 全小中学校で学級診断尺度調査(Q-U調査)を実施し、結果分析を行った。また、「学び合う集団づくり推進事業」の推進校へ、授業における学び合いと学級集団づくりを推進するため、教育アドバイザーを派遣した。 ・学び合う集団づくり推進事業・・・推進校はQ-U調査を年2回実施(その他の学校は1回実施)。 令和2年度モデル校・・・新湊中学校区(新湊中、放生津小、新湊小) 大門中学校区(大門中、大門小、大島小)</p>												継 続	<p>学級診断尺度調査(Q-U調査)で、個々の児童生徒の学級生活への意欲や満足感及び学級集団の状態等を把握し、授業や指導等に役立てた。引き続き、教育アドバイザーを積極的に活用しながら、事業を継続する。</p>	

事業名		学校給食センター管理費				(10款 教育費 1項 教育総務費 4目 学校給食センター費)		決算書	107 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		129,276 【129,835】	118,282 【121,540】	129,245 【131,705】	【127,971】	大門中学校長寿命化改良第 期工事に伴い、給食センターから給食を調理し、搬送したことによる。					
財 源 内 訳	一般財源	129,276	118,282	129,245							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 学校給食調理等・搬送事業</p> <p>受配校への安全安心な給食の配給に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間給食日数 185日(令和元年度 184日) ・ 年間給食数 延べ562,368食(令和元年度 延べ443,834食) <p>年間給食数には、大門中学校長寿命化改良第 期工事期間に伴う調理・搬送業務の受託分を含む。 (大門中学校給食提供期間令和2年8月3日～令和3年3月31日 延べ111,464食分)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として学校臨時休業に伴い通常の年とは違う学校給食の提供となった。 (4月小学校3回、中学校4回、幼稚園2回提供)(5月 給食提供なし)(8月 12回提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大門中学校長寿命化改良第 期工事期間に伴う、単独校分への調理・搬送事業 <p>委託先 (調理)日本海給食株 (搬送)日本通運株 富山支店</p> <p>委託期間 令和2年8月1日～令和3年3月31日</p> <p>契約額 (調理)2,200千円 (搬送)3,080千円</p>										継続 新型コロナウイルス感染症感染防止のための学校臨時休業に伴う学校給食休止による諸問題について、迅速な対応を行った。今後とも新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた適切な衛生管理に努め、安全で安心な学校給食実施に努める。	

事業名	学校管理費(小)		(10款 教育費		2項 小学校費		1目 小学校管理費)	決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)						
		482,338	【1,283,030】	273,200	【281,054】	276,923	【295,874】	【303,732】						
財 源 内 訳	使用料	繰入金(基金)	391	0	338	0	338	1,500						
	国庫補助金	一般財源	54,258	268,899	0	272,306	0	274,525						
	県補助金		584		556		560							
	諸収入		2,106		0		0							
	市債		156,100		0		0							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 小中学校等オンライン会議システム導入(新型コロナ対策3- 23) 感染防止対策として、市教育委員会と小中学校21校を結ぶWEB会議システムを導入した。 ・ 事業費 219千円(小学校15校分)</p>											完了	WEB会議システムを導入したことで、感染防止を図り会議を行うことが可能となった。		
<p>2 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、児童生徒への指導や、保護者と連絡をするため、言語翻訳機を導入した。</p>											完了	日本語指導が必要な児童生徒及び日本語が理解できない保護者との意思疎通を図れるようになった。		
<p>3 統合型校務支援システム導入事業 学校における働き方改革に関する取組としてシステムを導入し、成績処理をはじめとした学校業務をデジタル化することで、事務の効率化及び長時間勤務を軽減でき、教員が児童生徒に接したり教材研究に時間を使えたりなど、教育の質の維持向上を持続的に行うことが可能となった。</p>											完了	今後、教職員にアンケートを実施しシステムの有効性や改善点を検証する。		

事業名	学校給食費(小)		(10款 教育費		2項 小学校費		1目 小学校管理費)	決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)						
		114,917	【120,701】	127,020	【129,695】	122,197	【125,955】	【131,039】						
財 源 内 訳	諸収入		0		0		2,110							
	一般財源		114,917		127,020		120,087							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 学校臨時休業対策事業(新型コロナ対策2- 38) 令和2年3月の一斉学校臨時休業期間について学校給食のパン、米飯等の委託加工業者(給食基本物資業者)に対し富山県学校給食会を通じ支援を行った。 ・ 事業費 2,814千円(給食基本物資業者支援金(小学校分))</p>											完了	全国一律の対応であり、市内小中学校の給食基本物資業者への支援を図ることで学校再開時の学校給食の円滑な実施につなげた。		

事業名		健康管理費(小)				(10款 教育費 2項 小学校費 1目 小学校管理費)				決算書	108 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		31,501	31,620	52,023	【34,437】	学校保健特別対策事業費補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を実施したことによる。							
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	20,826									
	負担金	2,099	0	0									
	諸収入	2,855	5,107	3,994									
	一般財源	26,547	26,513	27,203									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 学校保健特別対策事業費補助金 感染対策の徹底を図るため、衛生用品等を購入するほか、子どもたちの学びを保障するため、学校教育活動や家庭学習に必要な教材を購入等行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策のためのマスク等購入支援事業(新型コロナ対策3- 24)【国1/2】 事業費 1,604千円(小学校15校分) ・ 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業(新型コロナ対策3- 25)【国1/2、交付金】 事業費 20,321千円(小学校15校分) 											継続 学校規模に応じた感染症対策を講じながら学校活動を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症感染防止のための支援によって、学校は事態が収束しない間は継続して支援を行う必要がある。		

事業名		教育振興運営費(小)(繰越明許)				(10款 教育費 2項 小学校費 2目 教育振興費)				決算書	109 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
				134,121	【187,500】								
財 源 内 訳	国庫補助金			62,997									
	市債			60,200									
	一般財源			10,924									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 学校情報通信ネットワーク環境の整備【国1/2】 GIGAスクール構想実現のため、児童生徒に1人1台端末の整備に併せ、校内通信ネットワークの高速大容量化を図った。 委 託 先 西日本電信電話(株) 富山支店 委 託 期 間 令和2年5月25日～令和3年3月26日 委 託 料 193,678千円 内訳:(小)134,121千円 (中)59,557千円											完了 ネットワークの高速大容量化及びWi-Fiアクセスポイントの増強により、タブレット端末を活用したICT教育を円滑に行うことができたようになった。		

事業名		教育振興運営費(小)		(10款 教育費		2項 小学校費		2目 教育振興費		決算書	109 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)							
		117,847 【120,582】		88,702 【278,462】		334,586 【343,334】		【187,325】		児童生徒1人1台端末の整備を実施したことによる。							
財 源 内 訳	国庫補助金	一般財源	12,480	85,045	0	83,112	142,059	187,454									
	県補助金		2,122		2,146		1,923										
	県委託金		200		144		150										
	寄附金		0		300		0										
	繰入金(基金)		18,000		3,000		3,000										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)						
1 教育環境の整備【国1/2】 小学校12校に理科・算数教育備品を整備し、教育環境の充実を図った。											継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き環境整備を図る。					
2 A L Tの配置 新学習指導要領の全面実施に伴い、小学校5、6年生において英語が教科となり、引き続き全小学校にA L T(4人のA L Tが分担)を配置し、児童の英語への関心を高めるとともに、教員の授業力向上を図った。											継続	令和2年度から英語が教科となり、A L Tを積極的に活用しながら英語学習の充実を図る。					
3 射水っ子体力アップ応援事業【県1/3】 小学校体育の授業に体づくりや陸上競技の専門的指導者を派遣し、児童に指導を行うことで、児童の体力向上と運動への興味・関心を高めた。											継続	各学校が児童が自主的に運動を楽しめる活動と時間の確保に努めており、事業を継続する。					
4 家庭学習貸出用セキュリティソフトウェア・モバイルルーター購入事業(新型コロナ対策1- 18)【国 交付金】 臨時休業時における児童の家庭学習支援のため、インターネット等を利用できない家庭に対し、モバイルルーターやセキュリティ対策を施したタブレット端末を貸し出した。 ・ 事業費 2,856千円(小学校分)											完了	学校の臨時休業及び分散登校期間中も、市教委が作成した授業動画を視聴できるなど、切れ目ない学習環境を提供できた。					
5 児童生徒1人1台端末整備事業(新型コロナ対策3- 26)【交付金】 GIGAスクール構想実現のため、児童生徒に1人1台端末の整備に併せ、授業支援システム、AIドリル及び大型モニターの導入やICT支援員を増員配置し、ICT教育環境の充実を図った。 ・ 事業費 23,077千円(小学校分)											完了	整備したICT機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や児童生徒の発達段階に応じた体系的な指導を取り組んでいく。					
6 学校からの遠隔学習機能の強化事業(新型コロナ対策3- 27)【国1/2 交付金】 子供たちの学びを保障できるよう、今回の新型コロナウイルス感染症のみならず、自然災害の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、教師と児童生徒が、同時双方向でやりとりを円滑に行うために、学校側で教師が使うウェブカメラやマイクなど遠隔学習に対応した機器を導入した。 ・ 事業費 1,479千円(小学校分)											完了	長期休業期間等において、オンライン会議により、オンラインホームルームや同時双方向授業を実施できるよう準備を進める。					

事業名		就学援助費(小)				(10款 教育費 2項 小学校費 2目 教育振興費)				決算書	109 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		31,670 【35,516】	28,685 【33,025】	35,613 【40,027】	【44,453】								
財 源 内 訳	国庫補助金	1,282	1,148	1,394									
	一般財源	30,388	27,537	34,219									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 就学支援事業【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】</p> <p>経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、給食費、学用品費等を援助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就学援助受給児童数 457人 (令和元年度 474人) ・ 特別支援教育就学奨励費受給生徒数 97人 (令和元年度 74人) 											拡 充	<p>経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助をしなければならない。教育の機会均等からも重要である。</p> <p>年々、国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、射水市の就学援助制度の拡充を図る。</p>	

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
				324,231 【338,323】		
財 源 内 訳	国庫補助金			29,998		
	市債			214,900		
	一般財源			79,333		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

1 大規模改造第 期工事（管理・特別教室棟）【国1/3】
 老朽化した管理・特別教室棟の大規模改造工事を実施し、経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新等を行うことで、安全性の確保や教育環境の改善を図った。

工事請負業者		工 期	契約額	
			(うち令和元年度支出額)	(うち令和2年度支出額)
建築主体	高田建設・佳栄建設JV	令和元年12月20日～令和3年3月5日	359,700千円	
			(143,800千円)	(215,900千円)
電気設備	北日本電設工業(株)	令和元年12月26日～令和3年3月5日	43,560千円	
			(17,420千円)	(26,140千円)
機械設備	ばんどー工業・伸和設備工業JV	令和2年1月23日～令和3年3月5日	79,530千円	
			(31,800千円)	(47,730千円)

委託請負業者		履行期間	契約額	
			(うち令和元年度支出額)	(うち令和2年度支出額)
監理	(株)三四五建築研究所	令和元年12月10日～令和3年3月22日	10,780千円	
			(0千円)	(10,780千円)

完了 老朽化が著しい建物の環境改善を図ることができた。

事業名		歌の森小学校整備費			(10款 教育費 2項 小学校費 3目 学校建設費)			決算書	109 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
			421,377【759,700】	81,477【85,200】	【183,521】	令和元年度は、大規模改造第一期工事(一部令和2年度に繰越)を実施したことによる。					
財 源 内 訳	国庫補助金		56,284	20,200							
	市債		280,100	57,800							
	一般財源		84,993	3,477							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 グラウンド改修工事【国1/3】 暗渠排水等の機能低下が著しいグラウンドの改修工事を実施し、屋外教育環境の改善を図った。										完了	暗渠排水等の機能低下が著しかったグラウンドの環境改善を図ることができた。
		工事請負業者	工 期	契約額							
		高田建設(株)	令和2年8月20日～令和3年3月23日	77,242千円							
2 プール改築工事実施設計業務委託 老朽化が著しい学校水泳プールの改築工事の実施設計を行った。										完了	プール改築工事の実施設計を行うことで、令和3年度の工事実施につなげることができた。
		委託請負業者	履行期間	契約額							
		一級建築士事務所 林博アトリエ	令和2年7月22日～令和3年2月1日	3,960千円							

事業名	学校管理費(中)		(10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費)		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)		
		130,067 【142,272】	126,903 【143,538】	128,369 【141,343】	【150,089】			
財源内訳	使用料	16	16	16				
	諸収入	2,403	0	0				
	繰入金(基金)	0	0	500				
	一般財源	127,648	126,887	127,853				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 小中学校等オンライン会議システム導入(新型コロナ対策3- 23) 感染防止対策として、市教育委員会と小中学校21校を結ぶWEB会議システムを導入した。 ・ 事業費 88千円(中学校6校分)							完了	WEB会議システムを導入したことで、感染防止を図り会議を行うことが可能となった。
2 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、児童生徒への指導や、保護者と連絡をするため、言語翻訳機を導入した。							完了	日本語指導が必要な児童生徒及び日本語が理解できない保護者との意思疎通を図れるようになった。
3 統合型校務支援システム導入事業 学校における働き方改革に関する取組としてシステムを導入し、成績処理をはじめとした学校業務をデジタル化することで、事務の効率化及び長時間勤務を解消でき、教員が児童生徒に接したり教材研究に時間を使えたりなど、教育の質の維持向上を持続的に行うことが可能となった。							完了	今後、教職員にアンケートを実施しシステムの有効性や改善点を検証する。

事業名	学校給食費(中)		(10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費)		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)		
		47,822 【54,662】	54,196 【55,150】	49,341 【56,699】	【54,488】			
財源内訳	諸収入	0	0	1,136				
	一般財源	47,822	54,196	48,205				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 学校臨時休業対策事業(新型コロナ対策2- 38) 令和2年3月の一斉学校臨時休業期間について学校給食のパン、米飯等の委託加工業者(給食基本物資業者)に対し富山県学校給食会を通じ支援を行った。 ・ 事業費 1,515千円(給食基本物資業者支援金(中学校分))							完了	全国一律の対応であり、市内小中学校の給食基本物資業者への支援を図ることで学校再開時の学校給食の円滑な実施につなげた。

事業名		健康管理費(中)		(10款 教育費 3項 中学校費 1目 中学校管理費)		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		16,842 【19,754】	17,106 【19,456】	27,137 【37,720】	【20,243】	学校保健特別対策事業費補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を実施したことによる。			
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	9,416					
	諸収入	4,367	4,444	3,983					
	一般財源	12,475	12,662	13,738					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 学校保健特別対策事業費補助金</p> <p>感染対策の徹底を図るため、衛生用品等を購入するほか、子どもたちの学びを保障するため、学校教育活動や家庭学習に必要な教材を購入等行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策のためのマスク等購入支援事業(新型コロナ対策3- 24)【国1/2】 事業費 893千円(中学校6校分) ・ 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業(新型コロナ対策3- 25)【国1/2、交付金】 事業費 9,067千円(中学校6校分) 								<p>継続</p> <p>学校規模に応じた感染症対策を講じながら学校活動を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症感染防止のための支援によって、学校は事態が収束しない間は継続して支援を行う必要がある。</p>	

事業名		教育振興運営費(中)(繰越明許)		(10款 教育費 3項 中学校費 2目 教育振興費)		決算書	111 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
				59,557 【74,900】					
財 源 内 訳	国庫補助金			25,236					
	市債			27,000					
	一般財源			7,321					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 学校情報通信ネットワーク環境の整備【国1/2】</p> <p>GIGAスクール構想実現のため、児童生徒に1人1台端末の整備に併せ、校内通信ネットワークの高速大容量化を図った。</p> <p>委託先 西日本電信電話(株) 富山支店 委託期間 令和2年5月25日～令和3年3月26日 委託料 193,678千円 内訳:(小)134,121千円 (中)59,557千円</p>								<p>完了</p> <p>ネットワークの高速大容量化及びWi-Fiアクセスポイントの増強により、タブレット端末を活用したICT教育を円滑に行うことができたようになった。</p>	

事業名		教育振興運営費(中)		(10款 教育費		3項 中学校費		2目 教育振興費		決算書	110 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		45,609 【48,197】		97,812 【177,834】		170,049 【181,729】		【113,645】						
財 源 内 訳	国庫補助金	市債	0	0	0	9,700	78,447	0						
	県補助金	一般財源	3,827	26,592	4,314	80,362	3,380	87,070						
	県委託金		190		186		152							
	寄附金		0		1,350		0							
	繰入金(基金)		15,000		1,900		1,000							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 A L T の配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手(A L T)を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全中学校に4人配置											継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続する。		
2 スポーツエキスパート派遣事業【県1/3】 運動部活動支援のため、生徒に専門的な技術指導を行うスポーツエキスパートを配置し、運動能力の向上を図った。 ・ 全中学校に34人配置											継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続する。		
3 部活動指導員配置促進事業【国1/3 県1/3】 部活動の技術指導や大会への引率等を単独で行うことができる部活動指導員を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、部活動の質の向上を図った。 ・ 中学校5校に13人配置											拡充	国の計画では、1校当たり3人程度の部活動指導員を4年間で配置する予定である。平成30年度から事業を開始し、4年目の令和3年度で18人の配置を目指す。		
4 文化部等講師派遣事業 文化部活動等支援のため、吹奏楽、箏等の指導員を配置し、技術の向上を図った。 ・ 中学校5校に7人配置											継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員配置促進事業も活用しながら、適宜配置を継続する。		
5 社会に学ぶ14歳の挑戦事業【県1/2】 社会に学ぶ14歳の挑戦事業については新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、実施することができなかった。											継続	実際に働く経験は、児童の将来的な社会人としての自覚の基礎作りの一助となっていることに加え、生徒自身の成長や新たな発見につながっていることから、事業を継続する。		
6 教育設備の整備【国1/2】 全中学校に理科・数学教育備品を整備し、教育設備の充実を図った。											継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き環境整備を図る。		

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>7 射水っ子音楽活動推進事業 音楽活動を通じて、地域を元気付けるとともに、地域に貢献する心豊かな射水っ子の育成を目的に、全中学校の吹奏楽部等の楽器整備に対し、助成した。</p>	継続	大会への出場のほか、ハートフルコンサート・地域行事への参加等、様々な成果発表の場があった。地域と触れ合う経験にもなるため、事業を継続する。
<p>8 中学生夢づくり授業事業 中学生が将来の夢や自分の生き方を考える機会づくりとして、射水市ゆかりネット会員を講師に招き実施する、夢づくり授業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施することができなかった。</p>	継続	中学生に対し夢づくり授業を実施し、今後の生き方や将来の夢や仕事を考える機会となるものであり、リモート等での実施を検討する。
<p>9 家庭学習貸出用セキュリティソフトウェア・モバイルルーターの購入（新型コロナ対策1- 18）【国 交付金】 臨時休業時における児童の家庭学習支援のため、インターネット等を利用できない家庭に対し、モバイルルーターやセキュリティ対策を施したタブレット端末を貸し出した。 ・ 事業費 1,280千円（中学校分）</p>	完了	学校の臨時休業及び分散登校期間中も、市教委が作成した授業動画を視聴できるなど、切れ目ない学習環境を提供できた。
<p>10 児童生徒1人1台端末整備事業（新型コロナ対策3- 26）【交付金】 GIGAスクール構想実現のため、児童生徒に1人1台端末の整備に併せ、授業支援システム、AIドリル及び大型モニターの導入やICT支援員を増員配置し、ICT教育環境の充実を図った。 ・ 事業費 16,795千円（中学校分）</p>	完了	整備したICT機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や児童生徒の発達段階に応じた体系的な指導を取り組んでいく。
<p>11 学校からの遠隔学習機能の強化事業（新型コロナ対策3- 27）【国1/2 交付金】 子供たちの学びを保障できるよう、今回の新型コロナウイルス感染症のみならず、自然災害の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、教師と児童生徒が、同時双方向でやりとりを円滑に行うために、学校側で教師が使うウェブカメラやマイクなど遠隔学習に対応した機器を導入した。 ・ 事業費 642千円（中学校分）</p>	完了	長期休業期間等において、オンライン会議により、オンラインホームルームや同時双方向授業を実施できるよう準備を進める。

事業名	就学援助費(中)		(10款 教育費 3項 中学校費 2目 教育振興費)		決算書	111 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)		
		21,095 【26,060】	16,976 【21,565】	17,067 【22,187】	【31,822】			
財 源 内 訳	国庫補助金	514	539	656				
	一般財源	20,581	16,437	16,411				
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 就学支援事業【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、給食費、学用品費等を援助した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就学援助受給生徒数 254人 (令和元年度 236人) ・ 特別支援教育就学奨励費受給生徒数 28人 (令和元年度 22人) 							拡 充 経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、市町村は必要な援助をしなければならない。教育の機会均等からも重要である。年々、国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、射水市の就学援助制度の拡充を図る。	

事業名	小杉南中学校整備費		(10款 教育費 3項 中学校費 3目 学校建設費)		決算書	111 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課						
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)								
		749,479 【803,000】	528,236 【533,121】	75,244 【129,000】										
財 源 内 訳	国庫補助金	101,000	75,401	11,771		令和元年度は、大規模改造第 期工事を実施したことによる。								
	繰入金(基金)	34,100	0	0										
	市債	592,600	356,000	40,300										
	一般財源	21,779	96,835	23,173										
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)							
1 グラウンド改修工事【国1/3】 暗渠排水等の機能低下が著しいグラウンドの改修工事を実施し、屋外教育環境の改善を図った。 <table border="1" data-bbox="145 1114 1451 1252"> <thead> <tr> <th>工事請負業者</th> <th>工 期</th> <th>契約額 (うち令和2年度支出額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>射水工業・川原工業JV</td> <td>令和2年9月4日～令和3年5月10日</td> <td>128,700千円 (75,000千円)</td> </tr> </tbody> </table>							工事請負業者	工 期	契約額 (うち令和2年度支出額)	射水工業・川原工業JV	令和2年9月4日～令和3年5月10日	128,700千円 (75,000千円)	継 続 令和3年度に繰り越しし、事業を実施した(令和3年5月完成)。暗渠排水等の機能低下が著しかったグラウンドの環境改善を図ることができた。	
工事請負業者	工 期	契約額 (うち令和2年度支出額)												
射水工業・川原工業JV	令和2年9月4日～令和3年5月10日	128,700千円 (75,000千円)												
(繰越明許費 53,756 千円) ・ 事業名 グラウンド改修工事【国1/3】 ・ 予算執行率 58.3% ・ 完了時期 令和3年5月														

事業名		大門中学校整備費（繰越明許）		（ 10款 教育費		3項 中学校費		3目 学校建設費		決算書		111 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課	
決算額【予算額】				平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
財 源 内 訳	国庫補助金							309,196 【309,217】									
	市債							33,916									
	一般財源							208,500									
								66,780									
主な事業内容・成果																評価と今後の方向性（担当課意見）	
<p>1 長寿命化改良第 期工事【国1/3】 老朽化した普通教室棟、管理・普通教室棟及び渡り廊下棟の長寿命化改良工事を実施し、経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新等を行い教育環境の改善を図った。 また、構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高め、施設の長寿命化を図ったことで、今後の維持管理等に係るトータルコストの縮減及び財政負担の平準化につなげた。 加えて、普通教室棟については、耐震補強工事も併せて実施し、建物の安全性を確保した。</p>																	
工事請負業者				工 期				契約額				完了 老朽化が著しい建物の環境改善を図ることができた。					
								(うち令和元年度支出額) (うち令和2年度支出額)									
建築主体		高田建設・佳栄建設JV		令和元年6月27日～令和2年5月29日				374,000千円									
								(221,600千円) (152,400千円)									
電気設備		赤尾電設・フジノ電設工業JV		令和元年6月3日～令和2年5月29日				82,280千円									
								(32,310千円) (49,970千円)									
機械設備		伸和設備工業・ばんどー工業JV		令和元年6月3日～令和2年5月29日				51,920千円									
								(20,300千円) (31,620千円)									
委託請負業者				履行期間				契約額									
								(うち令和元年度支出額) (うち令和2年度支出額)									
監理		(株)創建建築事務所		令和元年6月10日～令和2年6月10日				13,750千円									
								(0千円) (13,750千円)									

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)
		368,468 【796,500】	301,083 【610,300】	391,430 【744,021】	【817,647】	
財源内訳	国庫補助金	44,390	48,920	94,649		
	繰入金(基金)	13,878	0	0		
	市債	297,000	192,700	261,400		
	一般財源	13,200	59,463	35,381		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性(担当課意見)

1 長寿命化改良第 期工事【国1/3】

老朽化した普通・特別教室棟及び渡り廊下棟の長寿命化改良工事を実施し、経年による劣化や損傷・故障等が生じた部分の改修・更新等を行い教育環境の改善を図った。

また、構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高め、施設の長寿命化を図ったことで、今後の維持管理等に係るトータルコストの縮減及び財政負担の平準化につなげた。

工事請負業者		工期	契約額 (うち令和2年度支出額)
建築主体	高田建設・佳栄建設JV	令和2年6月24日～令和3年5月21日	519,200千円 (303,800千円)
電気設備	赤尾電設・萬葉電気工事JV	令和2年6月1日～令和3年5月21日	75,350千円 (30,140千円)
機械設備	伸和設備工業・ばんどー工業JV	令和2年6月3日～令和3年5月21日	128,150千円 (51,200千円)

委託請負業者		委託期間	契約額 (うち令和2年度支出額)
監理	(株)創建築事務所	令和2年5月28日～令和3年5月31日	14,850千円 (0千円)

継続
令和3年度に繰り越しし、事業を実施した(令和3年5月完成)。老朽化が著しい建物の環境改善を図ることができた。

(繰越明許費 352,441 千円)

- ・ 事業名 長寿命化改良第 期工事(普通・特別教室棟及び渡り廊下棟)【国1/3】
- ・ 予算執行率 52.6%
- ・ 完了時期 令和3年5月

事業名		幼稚園管理費				(10款 教育費 4項 幼稚園費 1目 幼稚園費)				決算書	111 ページ	担当部課	福祉保健部子育て支援課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		55,739 【84,872】		36,604 【42,892】		8,555 【13,319】		【11,951】		大門わかば幼稚園が認定こども園に移行し、当該幼稚園に係る予算が幼稚園管理費から保育園等管理運営費に振り替えたことによる。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止のため、幼稚園に保健衛生備品を整備したことによる。				
財 源 内 訳	負担金	財産売払収入	7,636	0	2,903	60	77	0						
	国庫補助金	一般財源	2,700	44,594	0	31,824	0	7,115						
	県補助金		366		165		751							
	諸収入		43		1,652		612							
	寄附金		400		0		0							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 市立幼稚園管理運営 ・ 施設数 1園 (令和元年度 2園) ・ 定員 50人 (令和元年度 205人) ・ 園児数 延べ187人 (令和元年度 延べ883人)											継 続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズ量に合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上、効率化を図る。		
2 幼稚園備品整備(新型コロナ対策3- 28)【県(国)10/10】 幼稚園1施設に空気清浄機等の保健衛生備品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染防止及び拡大防止に努めた。 ・ 事業費 751千円												継 続	引き続き、安全な教育環境を提供できるよう、施設の衛生環境の整備に努める。	

事業名		生涯学習推進事業費				(10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費)				決算書	112 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																						
		11,659 【11,704】	11,837 【11,995】	8,275 【9,596】	【9,479】																							
財 源 内 訳	一般財源	11,659	11,837	8,275																								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																	
<p>1 地域ごとの生涯学習講座の開催 新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛しながらも、徐々に活動を再開させ、コロナ禍に合わせた柔軟な生涯学習活動を展開した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯学習講座の年間延べ開催回数 (コミュニティセンター27館)</td> <td>796回</td> <td>751回</td> <td>1,000回</td> </tr> <tr> <td>生涯学習講座の年間延べ受講者数 (コミュニティセンター27館)</td> <td>36,833人</td> <td>15,233人</td> <td>43,000人</td> </tr> </tbody> </table>											指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	生涯学習講座の年間延べ開催回数 (コミュニティセンター27館)	796回	751回	1,000回	生涯学習講座の年間延べ受講者数 (コミュニティセンター27館)	36,833人	15,233人	43,000人	継 続	活動制限の中でも、感染症対策をした上で、様々な工夫をしながら生涯学習活動を展開した。今後も柔軟な発想で内容を充実させ、事業を継続する。	
指標項目	基準	実績	目標																									
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																									
生涯学習講座の年間延べ開催回数 (コミュニティセンター27館)	796回	751回	1,000回																									
生涯学習講座の年間延べ受講者数 (コミュニティセンター27館)	36,833人	15,233人	43,000人																									
<p>2 生涯学習フェスティバル・生涯学習作品展 新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。</p>											継 続	日頃の練習の成果を発表でき、幅広い分野の生涯学習に触れることができる場である。生涯学習活動の楽しさや必要性をより市民の方々に伝えられるよう、コロナ禍に沿った開催方法を検討し、事業を継続する。																

事業名		成人式式典費				(10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費)				決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
		2,163	【2,199】	2,297	【2,346】	3,560	【4,921】	【5,196】		大雪のため急遽延期となったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、新しい生活様式に対応した成人式を行う予定で様々な準備を進めていたことによる。							
財 源 内 訳	一般財源	2,163		2,297		3,560								大雪のため急遽延期となったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、新しい生活様式に対応した成人式を行う予定で様々な準備を進めていたことによる。			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 感染防止対策の徹底と新しい生活様式に対応した成人式運営業務（開催に向けた準備）（新型コロナ対策3- 29） 感染防止対策に係る費用 ・ 消耗品 160千円 ・ 追加会場使用料 155千円 A Rの活用、ライブ動画配信に係る費用 ・ 委託料 2,185千円											継続	アフターコロナを見据えた成人式の運営体制を整えることができた。延期年も含め、感染症対策の徹底とともに新しい形の成人式を開催していく。					

事業名		すこやかいみずっ子育成事業費 (10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費)				決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																		
		7,250	【7,631】	7,314	【8,285】	7,058	【8,883】	【9,114】																																
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	147																																				
	県補助金	2,678	2,994	2,542																																				
	一般財源	4,572	4,320	4,369																																				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																																
<p>1 放課後子ども教室【県(国)1/3 県1/3】</p> <p>市内の15小学校区で放課後に安全安心な子どもたちの活動の場を設け、地域の方々を指導者としてスポーツ、伝承遊び等の体験活動や交流活動を推進した。人数、回数とともに新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。</p> <p>また、研修会を実施して推進員等の資質の向上を図るとともに、放課後対策事業運営委員会を開催し、学校、放課後子ども教室及び放課後児童クラブとの意見交換を行うなど連携を図った。</p> <p><放課後子ども教室開催状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">教室数</th> <th rowspan="2">サークル数</th> <th colspan="2">参加者人数(延べ)</th> <th rowspan="2">年間開催回数</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>推進員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>15教室</td> <td>39サークル</td> <td>8,624人</td> <td>1,869人</td> <td>495回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>15教室</td> <td>35サークル</td> <td>4,309人</td> <td>1,172人</td> <td>332回</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後子ども教室等参加率</td> <td>18.0%</td> <td>11.7%</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>放課後子ども教室感染症対策保健衛生用品購入事業(新型コロナ対策3-30)【交付金】</p> <p>感染拡大防止のため、マスク、アルコールスプレー等保健衛生用品を購入した。感染対策を行いつつ放課後子ども教室を開催することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 128千円 								年度	教室数	サークル数	参加者人数(延べ)		年間開催回数	子ども	推進員	令和元年度	15教室	39サークル	8,624人	1,869人	495回	令和2年度	15教室	35サークル	4,309人	1,172人	332回	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	放課後子ども教室等参加率	18.0%	11.7%	20.0%	<p>継続</p> <p>地域の方々や異学年との交流の場となっており、学校や家庭では体験できないような機会を設けた。多くの子供が有意義な時間を過ごせるよう、サークル活動の内容や対象学年の見直しを行い、放課後の活動等の充実に努める。また、より多くの地域住民の参画を得ることができるよう研修会を実施する。</p>	
年度	教室数	サークル数	参加者人数(延べ)		年間開催回数																																			
			子ども	推進員																																				
令和元年度	15教室	39サークル	8,624人	1,869人	495回																																			
令和2年度	15教室	35サークル	4,309人	1,172人	332回																																			
指標項目	基準	実績	目標																																					
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																					
放課後子ども教室等参加率	18.0%	11.7%	20.0%																																					
<p>2 土曜学習推進事業【県(国)1/3 県1/3】</p> <p>土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保するため、地域の方々を指導者として管楽器や茶道などの体験活動や交流活動を推進した。人数、回数とともに新型コロナウイルス感染症の影響で減少した。</p> <p><土曜学習推進事業開催状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">教室数</th> <th rowspan="2">サークル数</th> <th colspan="2">参加者人数(延べ)</th> <th rowspan="2">年間開催回数</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>推進員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>5教室</td> <td>6サークル</td> <td>832人</td> <td>267人</td> <td>66回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5教室</td> <td>6サークル</td> <td>381人</td> <td>119人</td> <td>44回</td> </tr> </tbody> </table> <p>土曜学習感染症対策保健衛生用品購入事業(新型コロナ対策3-30)【交付金】</p> <p>感染拡大防止のため、マスク、アルコールスプレー等保健衛生用品を購入した。感染対策を行いつつ土曜学習推進事業を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 19千円 								年度	教室数	サークル数	参加者人数(延べ)		年間開催回数	子ども	推進員	令和元年度	5教室	6サークル	832人	267人	66回	令和2年度	5教室	6サークル	381人	119人	44回	<p>継続</p> <p>土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保した。サークル活動の内容等の見直しを行い、地域の方々との体験活動や交流活動の推進を図る。</p>												
年度	教室数	サークル数	参加者人数(延べ)		年間開催回数																																			
			子ども	推進員																																				
令和元年度	5教室	6サークル	832人	267人	66回																																			
令和2年度	5教室	6サークル	381人	119人	44回																																			

事業名		家庭教育力向上支援事業費				(10款 教育費		5項 社会教育費		1目 社会教育総務費) 決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課						
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）											
		1,185 【1,280】		1,463 【2,135】		1,073 【1,895】		【1,382】		新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭教育力向上支援事業の中止及び参加者数が減少したことによる。											
財 源 内 訳	寄附金	0		300		300															
	一般財源	1,185		1,163		773															
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）									
<p>1 いみず親学びスクール</p> <p>家庭教育力の向上のために、小中学生の児童を持つ保護者や家庭教育支援者等を対象として、講師を招いた講座を実施することで、家庭教育の重要性や家族のコミュニケーション力の向上を育む効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義型 2回（54人） ・ 親子体験型 2回（75人） <p>合計 129人参加（令和元年度 137人参加）</p>												<p>継続</p> <p>スクール参加者の9割から満足を得ることができた。今後も最新の専門的な情報や子育てのヒントを分かりやすく伝え、家族のコミュニケーション力の向上につながるよう、事業を継続していく。</p>									

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		19,528 【21,154】	19,121 【21,149】	13,829 【14,485】	【18,052】	
財 源 内 訳	使用料	6	5	5		
	県補助金	1,725	2,719	0		
	県委託金	3,726	4,083	3,990		
	繰入金（基金）	0	1,200	2,000		
	一般財源	14,071	11,114	7,834		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

<p>1 文化財保護意識の普及啓発事業 市民の文化財保護意識の高揚のため資料の保存と活用を図ることにより、地域の文化財保護の普及啓発に成果を上げた。 ・市指定（光専寺鐘楼門）文化財所在地1か所の解説板を更新した。</p> <table border="1" data-bbox="145 531 1249 635"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定文化財及び登録有形文化財の件数</td> <td>140件</td> <td>146件</td> <td>146件</td> </tr> </tbody> </table>	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	指定文化財及び登録有形文化財の件数	140件	146件	146件	<p>拡充 文化財等の普及啓発と公開活用の一助とするために必要な事業である。 今後は、文化財指定調査等の進捗と並行して、主要な文化財等を中心に、保存活用意識の醸成と外部への情報発信を推進する。</p>
指標項目		基準	実績	目標								
	平成25年度	令和2年度	令和5年度									
指定文化財及び登録有形文化財の件数	140件	146件	146件									
<p>2 文化財の保存・継承に関する補助 文化財の所有者等に、保存事業に要する経費の一部を補助することにより、適切な保護措置及び継承に成果を上げた。 また、令和元年度に刊行した『放生津八幡宮祭曳山行事・築山行事総合調査報告書』の一般頒布（300部）により、行事の価値や魅力を広く市民へ周知し、文化財保護意識の高揚を図った。 令和3年3月11日、「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」が国重要無形民俗文化財の指定を受け、文化財の恒久的な保存継承に向けて大きく前進した。 ・指定文化財の保存・継承に関する補助 6件（令和元年度 6件）</p>	<p>拡充 国・県・市指定文化財の保存継承のために必要な事業である。 今後は、文化財保護行政の方向性を定めるための文化財保存活用計画策定に取り組む。 また、国指定となった放生津曳山・築山行事の保存活用計画策定に着手し、保存継承・普及活用の計画的な取組を推進する。</p>											
<p>3 史跡公園の活用 市が管理する史跡公園の保護と市民への公開活用機会の充実のため、良好な環境・景観の維持管理に努めることで利用者の利便を図った。 ・飛鳥工人の館（国指定：小杉丸山遺跡） 入館者数 2,593人</p>	<p>継続 史跡公園等として利用されている国・県・市指定史跡の保存活用のために必要な事業である。 引き続き、史跡公園等を中心とする史跡の保存と良好な公開環境を維持するとともに、活用と情報発信に取り組む。</p>											

事業名	埋蔵文化財管理費		(10款 教育費		5項 社会教育費		3目 埋蔵文化財調査費		決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		644	【754】	650	【675】	5,375	【5,597】	【2,955】				
財 源 内 訳	使用料	1		1		1						
	一般財源	643		649		5,374						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 埋蔵文化財整理室・埋蔵文化財収蔵庫の維持管理 発掘調査に伴って出土した遺物の整理や収蔵遺物・調査機材等の維持管理に努めることができた。										継 続	施設及び発掘調査記録・出土遺物を適正に維持管理できた。今後は、埋蔵文化財だけでなく、文化財資料等も網羅した一体的な保管・管理も視野に入れた収蔵庫の移転計画を検討する。	
2 埋蔵文化財整理室の移転整備事業 旧中伏木小学校の埋蔵文化財整理室と埋蔵文化財収蔵庫(旧大江公民館)の遺物約900箱を移転し、埋蔵文化財の保存活用・公開展示の拠点として埋蔵文化財センター(旧生涯学習センター)を整備した。											完 了	埋蔵文化財整理室を移転し、新たに埋蔵文化財センターの改修・整備を行った。

事業名	図書館管理運営費		(10款 教育費		5項 社会教育費		4目 図書館費		決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		59,882	【60,426】	64,378	【66,472】	72,032	【74,874】	【75,518】				
財 源 内 訳	使用料	67		72		27				新型コロナウイルス感染症対策事業を実施したことによる。		
	国庫補助金	0		0		5,327						
	諸収入	97		120		72						
	一般財源	59,718		64,186		66,606						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 図書館管理運営費 市内4図書館の適切な維持管理のもと、施設の管理運営に努めた。 ・ 図書環境改善整備事業(新型コロナ対策3-31)【交付金】 感染予防対策として、不特定多数の方が利用する図書の除菌機や除菌機用の保健衛生用品等を購入した。 (図書除菌機を中央、新湊、正力、下村の各図書館に1台ずつ配置) 事業費 5,327千円(図書除菌機 4,356千円 図書消毒に係る消耗機材 971千円)										継 続	4図書館の適切な維持管理のもと、施設の管理運営に努めるとともに、衛生環境を守るため、感染予防対策を継続する。	

事業名		図書館活動推進費				(10款 教育費 5項 社会教育費 4目 図書館費)				決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																																			
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																										
		14,640 【14,701】	14,083 【14,140】	13,560 【13,616】	【12,642】	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月16日から5月19日までの間、図書館を臨時休館したことによる。																																										
財源内訳	一般財源	14,640	14,083	13,560																																												
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																																					
<p>1 図書館活動推進事業</p> <p>市内4図書館の連携を図り、図書館活動の推進に努めた。</p> <p>子ども会・読書会等</p> <p>図書館を利用して読書の楽しみを広げてもらうための読み聞かせや子ども会行事、読書会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">講座・講演</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> </tr> <tr> <th>開催数</th> <th>延べ人数</th> <th>開催数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども会(絵本・紙芝居の読み聞かせ)</td> <td>126回</td> <td>1,327人</td> <td>69回</td> <td>585人</td> </tr> <tr> <td>児童集会季節行事</td> <td>12回</td> <td>1,003人</td> <td>4回</td> <td>367人</td> </tr> <tr> <td>読書会</td> <td>59回</td> <td>503人</td> <td>49回</td> <td>400人</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連図書展示</p> <p>季節や話題に応じた図書を集めて紹介するテーマ展示を28回開催した。</p> <p>貸出数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書貸出者数(延べ) 96,361人 (令和元年度 116,165人) ・ 図書貸出者数(実) 9,687人 (令和元年度 11,596人) ・ 貸出冊数 421,272冊 (令和元年度 495,090冊) ・ 貸出用図書購入冊数 6,846冊 (令和元年度 7,159冊) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民1人当たりの図書貸出冊数(4館)</td> <td>5.7冊</td> <td>4.6冊</td> <td>6.3冊</td> </tr> </tbody> </table>											講座・講演	令和元年度		令和2年度		開催数	延べ人数	開催数	延べ人数	子ども会(絵本・紙芝居の読み聞かせ)	126回	1,327人	69回	585人	児童集会季節行事	12回	1,003人	4回	367人	読書会	59回	503人	49回	400人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	市民1人当たりの図書貸出冊数(4館)	5.7冊	4.6冊	6.3冊	<p>拡充</p> <p>4館の特色とバランスに配慮しながら、市として保存すべき資料及び市民ニーズに応じた資料の受け入れに努めた。</p> <p>雑誌スポンサー制度の拡充(市内図書館4館を対象)に努めており、更なる企業等との連携を推進し、図書館資料の充実を図る。</p>		
講座・講演	令和元年度		令和2年度																																													
	開催数	延べ人数	開催数	延べ人数																																												
子ども会(絵本・紙芝居の読み聞かせ)	126回	1,327人	69回	585人																																												
児童集会季節行事	12回	1,003人	4回	367人																																												
読書会	59回	503人	49回	400人																																												
指標項目	基準	実績	目標																																													
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																													
市民1人当たりの図書貸出冊数(4館)	5.7冊	4.6冊	6.3冊																																													

事業名	芸術文化振興費				(10款 教育費 5項 社会教育費 6目 文化振興費)				決算書	115 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																					
		18,487【22,902】	13,966【16,944】	15,084【20,771】	【15,592】	諸収入については、一般コミュニティ助成事業数の増加による。一般財源については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、イベントや展覧会等の開催が中止となりそれに伴う開催補助金の申請がなかったことや補助金の一部返還があったことによる。																					
財源内訳	諸収入	5,700	2,500	4,400																							
	一般財源	12,787	11,466	10,684																							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																	
1 美術展等の開催 本市を代表する美術展の開催又はそれに対する補助により、市民が芸術に触れる機会を確保し、芸術活動への意欲を高めることを目的としていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、開催を中止せざるを得なかった。 射水市展 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実行委員会で協議の結果、展覧会の開催を中止とした。 いみず野美術作家展 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実行委員会で協議の結果、展覧会の開催を中止とした。										継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大により文化施設を臨時休館とした時期があったことや、イベントの自粛によりほとんど活動ができなかった。 今後は感染症対策を十分に行いながら、市民の美術活動の成果を発表する場を引き続き設け、本市の芸術文化振興を図る。																
2 市民の芸術文化活動支援 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、展覧会の開催を中止せざるを得なかったが、一部の展覧会については、十分な感染予防対策を講じた上で実施した。 <市民参加の主な芸術文化事業> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催期間</th> <th rowspan="2">企画展名</th> <th colspan="2">参加者数</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年10月30日～11月2日</td> <td>射水市芸術文化協会美術展</td> <td>508人</td> <td>433人</td> </tr> <tr> <td>令和2年10月17日～11月18日</td> <td>射水市いけばな展</td> <td>2,025人</td> <td>1,450人</td> </tr> </tbody> </table> 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、参加者数が減少した。											開催期間	企画展名	参加者数		令和元年度	令和2年度	令和2年10月30日～11月2日	射水市芸術文化協会美術展	508人	433人	令和2年10月17日～11月18日	射水市いけばな展	2,025人	1,450人	継続	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、各種イベントの開催を中止とした事業が多かった。 今後は、感染症対策を十分に行いながら、市民の芸術文化活動の支援を通して、本市の芸術文化振興を図る。	
開催期間	企画展名	参加者数																									
		令和元年度	令和2年度																								
令和2年10月30日～11月2日	射水市芸術文化協会美術展	508人	433人																								
令和2年10月17日～11月18日	射水市いけばな展	2,025人	1,450人																								

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		28,861 【29,311】	26,386 【27,007】	26,150 【27,134】	【29,714】	
財 源 内 訳	使用料	778	685	575		
	繰入金（基金）	1,230	0	0		
	諸収入	1,555	192	777		
	一般財源	25,298	25,509	24,798		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

1 博物館事業（展示事業）
市民に、本市に関わる歴史、芸術及び民俗について理解を深めてもらうため、企画展・館蔵品展を実施したところ、幅広い年代の来館があった。

開催期間	企画展名	入館者数	備考
令和2年4月1日～4月15日	いにしへの器	62人	会期：令和2年2月28日～4月19日
令和2年4月16日～5月18日	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため臨時休館		臨時休館日数：25日（本来の休館日を除く）
令和2年5月20日～7月5日	射水の城 神保の城	641人	会期：令和2年4月24日～7月5日
令和2年7月10日～9月22日	いみず美術の群星 - 6人の俊英たち -	1,206人	
令和2年9月26日～12月6日	神仏に祈る武将たち	1,366人	
令和2年12月11日～令和3年2月14日	重要文化財追加指定記念 石黒4代の軌跡	407人	1月10、11日記録的大雪のため臨時休館
令和3年2月19日～3月31日	郷倉和子 - 梅樹の空に輝く明星 -	805人	会期：令和3年2月19日～4月18日

3月31日までの入館者数

継続
新型コロナウイルス感染症のまん延による臨時休館期間があった。再開に当たっては感染予防・拡散防止に細心の注意を払って運営した。クイズコーナーの人気の高いことから、2か所増設した。クイズの設問は、随時更新を図る。

2 博物館事業（講演会等）
例年、子どもを対象とした体験教室をはじめ、歴史資料・美術品についての市民向け講演・講座等を開催し、博物館に親しむ機会と学習の場を提供しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況に鑑み、中止とした。

継続
来館者のアンケートを参考に、展示に関連する魅力ある講演・解説会を行い入館者層の拡大を図る。

3 博物館資料整備事業（未データ化資料整理・取得資料の撮影等）
資料の恒久的保存と利用の簡便化を図るため、これまで収集してきた古写真等のデジタル化を進め、小杉地区分を終了した。

継続
順次古写真や収蔵資料のデジタル化を進め、更なる博物館資料の充実を図る。

4 博物館資料整備事業（博物館年報等の発行等）
放生津八幡宮祭の曳山・築山行事が国指定重要無形民俗文化財の指定を受けたことを記念し、行事を広く紹介するため、簡易解説書を添付した栞を作成した。印刷部数300部。ミュージアムショップにおいて1点350円で販売。

継続
これまで、冊子により館蔵資料等を継続的に紹介してきた。本年は、新たな試みとして形態を変え、文化財の浸透を図る。

事業名		小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費 (10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)				決算書	116 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課																																																																									
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																																																												
		12,156 【12,186】	11,304 【11,305】	12,938 【12,944】	【12,732】	指定管理期間の更新による指定管理料の見直しと、設備の修繕及び施設駐車場の土地賃借料の見直しによる。																																																																												
財 源 内 訳	使用料	2	3	2																																																																														
	諸収入	0	0	88																																																																														
	一般財源	12,154	11,301	12,848																																																																														
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)																																																																										
<p>1 小杉展示館の指定管理 / 小杉まちづくり協議会 国登録有形文化財である歴史的建造物を公開するとともに、その屋内で芸術作品の展示や地域住民の作品発表等を行い、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら市民が芸術文化に親しむ機会を可能な限り設けた。 入館者数 4,547人 (令和元年度 5,425人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>企画事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年4月8日～4月12日</td> <td>小杉采芳会美術展</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和2年4月15日～5月12日</td> <td>土井哲雄絵画展(休館のため延長するも中止)</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月13日～6月23日</td> <td>「石と遊ぶ」植木寿仙</td> <td>12月10日～に延期</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月10日～6月26日</td> <td>幼稚園型認定こども園あおい幼稚園児作品展</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日～7月12日</td> <td>緑天鳳窯会員作品展</td> <td>131人</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月18日～7月26日</td> <td>戸破地域防犯標語展</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>令和2年8月1日～8月9日</td> <td>堀井三郎自選展</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和2年8月19日～8月30日</td> <td>2020 第51回世界の児童画フェスティバル展</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月10日～9月17日</td> <td>杉友会水墨画展</td> <td>162人</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月19日～10月4日</td> <td>小杉焼の歴史と現代陶芸展</td> <td>477人</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月25日～10月25日</td> <td>郷倉千靱特別展(2階展示室)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年10月7日～10月18日</td> <td>表具in小杉</td> <td>578人</td> </tr> <tr> <td>令和2年10月22日～11月1日</td> <td>小杉東部保育園園児作品展</td> <td>541人</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月5日～11月13日</td> <td>ひばり・さんが文化祭作品展</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月18日～11月29日</td> <td>小杉町育ちの二人展</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月5日</td> <td>ふれあいコンサート</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月10日～12月20日</td> <td>小石と遊ぶ</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月26日</td> <td>バロック音楽</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月19日～2月9日</td> <td>第16回児童書初め展</td> <td>657人</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月13日</td> <td>長澤みゆきコンサート</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月18日～3月11日</td> <td>第9回児童版画展</td> <td>567人</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月18日～3月28日</td> <td>花の立体折り紙展</td> <td>308人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">企画事業入館者合計</td> <td colspan="2">3,990人</td> </tr> </tbody> </table>								開催期間	企画事業名	入館者数	令和2年4月8日～4月12日	小杉采芳会美術展	中止	令和2年4月15日～5月12日	土井哲雄絵画展(休館のため延長するも中止)	11人	令和2年6月13日～6月23日	「石と遊ぶ」植木寿仙	12月10日～に延期	令和2年6月10日～6月26日	幼稚園型認定こども園あおい幼稚園児作品展	101人	令和2年7月1日～7月12日	緑天鳳窯会員作品展	131人	令和2年7月18日～7月26日	戸破地域防犯標語展	79人	令和2年8月1日～8月9日	堀井三郎自選展	中止	令和2年8月19日～8月30日	2020 第51回世界の児童画フェスティバル展	33人	令和2年9月10日～9月17日	杉友会水墨画展	162人	令和2年9月19日～10月4日	小杉焼の歴史と現代陶芸展	477人	令和2年9月25日～10月25日	郷倉千靱特別展(2階展示室)		令和2年10月7日～10月18日	表具in小杉	578人	令和2年10月22日～11月1日	小杉東部保育園園児作品展	541人	令和2年11月5日～11月13日	ひばり・さんが文化祭作品展	70人	令和2年11月18日～11月29日	小杉町育ちの二人展	116人	令和2年12月5日	ふれあいコンサート	58人	令和2年12月10日～12月20日	小石と遊ぶ	53人	令和2年12月26日	バロック音楽	6人	令和3年1月19日～2月9日	第16回児童書初め展	657人	令和3年2月13日	長澤みゆきコンサート	42人	令和3年2月18日～3月11日	第9回児童版画展	567人	令和3年3月18日～3月28日	花の立体折り紙展	308人	企画事業入館者合計		3,990人		<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、登録有形文化財である施設での芸術作品の展示や地域住民の作品発表等を通して、市民へ芸術文化に触れる機会を可能な限り提供した。 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、指定管理者による施設の適切な管理運営を行い、地区の歴史や文化の継承を図る。</p>	
開催期間	企画事業名	入館者数																																																																																
令和2年4月8日～4月12日	小杉采芳会美術展	中止																																																																																
令和2年4月15日～5月12日	土井哲雄絵画展(休館のため延長するも中止)	11人																																																																																
令和2年6月13日～6月23日	「石と遊ぶ」植木寿仙	12月10日～に延期																																																																																
令和2年6月10日～6月26日	幼稚園型認定こども園あおい幼稚園児作品展	101人																																																																																
令和2年7月1日～7月12日	緑天鳳窯会員作品展	131人																																																																																
令和2年7月18日～7月26日	戸破地域防犯標語展	79人																																																																																
令和2年8月1日～8月9日	堀井三郎自選展	中止																																																																																
令和2年8月19日～8月30日	2020 第51回世界の児童画フェスティバル展	33人																																																																																
令和2年9月10日～9月17日	杉友会水墨画展	162人																																																																																
令和2年9月19日～10月4日	小杉焼の歴史と現代陶芸展	477人																																																																																
令和2年9月25日～10月25日	郷倉千靱特別展(2階展示室)																																																																																	
令和2年10月7日～10月18日	表具in小杉	578人																																																																																
令和2年10月22日～11月1日	小杉東部保育園園児作品展	541人																																																																																
令和2年11月5日～11月13日	ひばり・さんが文化祭作品展	70人																																																																																
令和2年11月18日～11月29日	小杉町育ちの二人展	116人																																																																																
令和2年12月5日	ふれあいコンサート	58人																																																																																
令和2年12月10日～12月20日	小石と遊ぶ	53人																																																																																
令和2年12月26日	バロック音楽	6人																																																																																
令和3年1月19日～2月9日	第16回児童書初め展	657人																																																																																
令和3年2月13日	長澤みゆきコンサート	42人																																																																																
令和3年2月18日～3月11日	第9回児童版画展	567人																																																																																
令和3年3月18日～3月28日	花の立体折り紙展	308人																																																																																
企画事業入館者合計		3,990人																																																																																

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>2 竹内源造記念館の指定管理 / 小杉まちづくり協議会</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、小杉左官の名工・竹内源造の鍔絵鑑賞や鍔絵制作体験の機会を提供し、可能な限り鍔絵文化の普及と保存継承に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入館者数 3,309人（令和元年度 6,007人） <p>鍔絵体験教室運営事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、幅広い年齢層が手軽に取り組むことのできる制作体験教室等を開催し、広く市民に地域の鍔絵文化に触れる機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鍔絵体験室使用者 421人（令和元年度 1,192人） <p>「鍔絵のまち小杉」情報発信促進事業</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した中での旧北陸道アートin小杉等の各種イベントの開催に取り組み「鍔絵のまち小杉」の魅力を発信した。</p>	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、登録有形文化財である施設での鍔絵作品の展示や鍔絵制作体験等の活動を通じて、市内外の方々が地区の歴史や鍔絵文化に触れる機会を可能な限り設けた。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、指定管理者による施設の適切な管理運営を行い、地区の歴史や文化の継承を図る。</p>

事業名		（ 10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費 ）				決算書	116 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課																																																														
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																																																																	
		10,260 【10,280】	10,469 【12,051】	9,517 【9,517】	【9,517】	令和2年度は、電気窯等の備品購入がなかったことによる。																																																																	
財源内訳	一般財源	10,260	10,469	9,517																																																																			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）																																																															
<p>1 陶房「匠の里」の指定管理 / （公財）射水市文化振興財団</p> <p>伝統文化の継承と手作り文化活動の振興のため、様々な陶芸教室を開催することにより、市民に体験学習の機会と芸術活動の場の提供に努めたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により陶芸教室受講者が大幅に減った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度陶芸教室受講者数 								<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によるコース利用者の減少がみられるが、多彩な陶芸教室の開催により、市民に体験学習と芸術活動の場を提供することができた。今後は、アフターコロナを見据えた管理運営及び事業実施が必要である。</p>																																																															
<p><コース利用者></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース名</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>体験コース</td><td>2,347人</td></tr> <tr><td>金・土コース</td><td>76人</td></tr> <tr><td>匠コース</td><td>2,360人</td></tr> <tr><td>木コース</td><td>665人</td></tr> <tr><td>夜間コース</td><td>415人</td></tr> <tr><td>水コース</td><td>743人</td></tr> <tr><td>絵付けコース</td><td>55人</td></tr> <tr><td>継続コース</td><td>1,590人</td></tr> <tr><td>計</td><td>8,251人</td></tr> </tbody> </table> <p>（令和元年度 12,684人）</p>				コース名	利用者数	体験コース	2,347人			金・土コース	76人	匠コース	2,360人	木コース	665人	夜間コース	415人	水コース	743人	絵付けコース	55人	継続コース	1,590人	計	8,251人	<p><企画教室利用者></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>企画作品</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5月</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6月</td><td>カップ&ソーサー</td><td>14人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>貯金箱</td><td>5人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>シーサー</td><td>19人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>シーサー</td><td>19人</td></tr> <tr><td>10月</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11月</td><td>お鏡餅、お地蔵さま、ふくろう、大島絵本館</td><td>198人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>干支の絵馬</td><td>23人</td></tr> <tr><td>1月</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2月</td><td>陶のお雛さま</td><td>20人</td></tr> <tr><td>3月</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>298人</td></tr> </tbody> </table> <p>（令和元年度 509人）</p>				月	企画作品	利用者数	4月			5月			6月	カップ&ソーサー	14人	7月	貯金箱	5人	8月	シーサー	19人	9月	シーサー	19人	10月			11月	お鏡餅、お地蔵さま、ふくろう、大島絵本館	198人	12月	干支の絵馬	23人	1月			2月	陶のお雛さま	20人	3月			計		298人
コース名	利用者数																																																																						
体験コース	2,347人																																																																						
金・土コース	76人																																																																						
匠コース	2,360人																																																																						
木コース	665人																																																																						
夜間コース	415人																																																																						
水コース	743人																																																																						
絵付けコース	55人																																																																						
継続コース	1,590人																																																																						
計	8,251人																																																																						
月	企画作品	利用者数																																																																					
4月																																																																							
5月																																																																							
6月	カップ&ソーサー	14人																																																																					
7月	貯金箱	5人																																																																					
8月	シーサー	19人																																																																					
9月	シーサー	19人																																																																					
10月																																																																							
11月	お鏡餅、お地蔵さま、ふくろう、大島絵本館	198人																																																																					
12月	干支の絵馬	23人																																																																					
1月																																																																							
2月	陶のお雛さま	20人																																																																					
3月																																																																							
計		298人																																																																					

事業名		新湊中央文化会館管理運営費				(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		決算書		116 ページ		担当部課		市民生活部地域振興・文化課																									
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																	
		90,200 【90,481】		70,794 【71,273】		92,484 【92,495】		【78,073】																																			
財 源 内 訳	使用料	40		47		38				指定管理期間の更新による指定管理料の見直しと、設備等の修繕及び備品購入によるもの。																																	
	繰入金（基金）	20,000		0		0																																					
	諸収入	2,160		2,160		2,200																																					
	一般財源	68,000		68,587		90,246																																					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																	
<p>1 新湊中央文化会館の指定管理 / （公財）射水市文化振興財団</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止とした事業もあるが、芸術文化の振興及び福祉の増進のため、入場者数の制限等を行い各種事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度施設利用者総数 32,782人（令和元年度 98,379人） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月17日から5月19日まで臨時休館 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年9月5日</td> <td>しまじろうコンサート</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月13日</td> <td>立川志の輔独演会</td> <td>585人</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月20日</td> <td>オペラ「おしち」</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月30日</td> <td>Pia-no-jaC ライブ</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月28日</td> <td>北前船が伝えた心の民謡・うた</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月28日</td> <td>アフターコロナ支援事業「ロビーコンサートの集い」</td> <td>255人</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月14日</td> <td>清水ミチコトーク&ライブ</td> <td>524人</td> </tr> </tbody> </table>										開催日	開催事業名	入館者数	令和2年9月5日	しまじろうコンサート	中止	令和2年11月13日	立川志の輔独演会	585人	令和3年1月20日	オペラ「おしち」	中止	令和3年1月30日	Pia-no-jaC ライブ	129人	令和3年2月28日	北前船が伝えた心の民謡・うた	中止	令和3年2月28日	アフターコロナ支援事業「ロビーコンサートの集い」	255人	令和3年3月14日	清水ミチコトーク&ライブ	524人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がある中で、感染予防対策を徹底しながら各種事業や文化活動の場の提供を行った。</p> <p>今後も、市民が芸術に親しむ環境づくりを進めるため、感染防止対策を徹底しながら、引き続き、指定管理者による適切な管理運営及び事業を開催し、本市の芸術文化の振興を図る。</p>									
開催日	開催事業名	入館者数																																									
令和2年9月5日	しまじろうコンサート	中止																																									
令和2年11月13日	立川志の輔独演会	585人																																									
令和3年1月20日	オペラ「おしち」	中止																																									
令和3年1月30日	Pia-no-jaC ライブ	129人																																									
令和3年2月28日	北前船が伝えた心の民謡・うた	中止																																									
令和3年2月28日	アフターコロナ支援事業「ロビーコンサートの集い」	255人																																									
令和3年3月14日	清水ミチコトーク&ライブ	524人																																									

事業名		小杉文化ホール管理運営費				(10款 教育費 5項 社会教育費 7目 芸術文化施設費)				決算書	116 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課																														
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																	
		82,037 【82,067】		197,871 【200,643】		82,540 【82,628】		【75,328】		令和元年度は、空調用熱源等工事を実施したことによる。																																	
財 源 内 訳	使用料	291		106		121																																					
	諸収入	2,160		2,160		2,200																																					
	一般財源	79,586		195,605		80,219																																					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																	
<p>1 小杉文化ホールの指定管理 / (公財)射水市文化振興財団</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止とした事業もあるが、芸術文化の振興及び福祉の増進のため、入場者数の制限等を行い各種事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度施設利用者総数 24,766人 (令和元年度 61,462人) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月16日から5月19日まで臨時休館 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年9月13日</td> <td>射水市合唱祭</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月21日</td> <td>スギテツwith溝口肇～クラシックで遊ぼう～</td> <td>164人</td> </tr> <tr> <td>令和2年10月10日</td> <td>半崎美子 明日を拓くコンサート2020</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>令和2年10月24日</td> <td>オペラ「おしち」射水公演 プレトーク&コンサート</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>令和2年10月24日</td> <td>こすぎ童謡フェスティバル</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月23日</td> <td>オスマン・サンコン スペシャルトーク&アフリカンミュージック</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月20日</td> <td>富山の音楽家とともに創る ベートーヴェン・セレブレーション</td> <td>178人</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月10日</td> <td>ラポールニューイヤーコンサート2021</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月14日</td> <td>アフターコロナ支援事業「ラポールミュージックフェスティバル」</td> <td>150人</td> </tr> </tbody> </table>										開催日	開催事業名	入館者数	令和2年9月13日	射水市合唱祭	中止	令和2年9月21日	スギテツwith溝口肇～クラシックで遊ぼう～	164人	令和2年10月10日	半崎美子 明日を拓くコンサート2020	226人	令和2年10月24日	オペラ「おしち」射水公演 プレトーク&コンサート	48人	令和2年10月24日	こすぎ童謡フェスティバル	中止	令和2年11月23日	オスマン・サンコン スペシャルトーク&アフリカンミュージック	143人	令和2年12月20日	富山の音楽家とともに創る ベートーヴェン・セレブレーション	178人	令和3年1月10日	ラポールニューイヤーコンサート2021	中止	令和3年2月14日	アフターコロナ支援事業「ラポールミュージックフェスティバル」	150人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がある中で、感染予防対策を徹底しながら各種事業や文化活動の場の提供を行った。</p> <p>今後も、市民が芸術に親しむ環境づくりを進めるため、感染防止対策を徹底しながら、引き続き、指定管理者による適切な管理運営及び事業を開催し、本市の芸術文化の振興を図る。</p>			
開催日	開催事業名	入館者数																																									
令和2年9月13日	射水市合唱祭	中止																																									
令和2年9月21日	スギテツwith溝口肇～クラシックで遊ぼう～	164人																																									
令和2年10月10日	半崎美子 明日を拓くコンサート2020	226人																																									
令和2年10月24日	オペラ「おしち」射水公演 プレトーク&コンサート	48人																																									
令和2年10月24日	こすぎ童謡フェスティバル	中止																																									
令和2年11月23日	オスマン・サンコン スペシャルトーク&アフリカンミュージック	143人																																									
令和2年12月20日	富山の音楽家とともに創る ベートーヴェン・セレブレーション	178人																																									
令和3年1月10日	ラポールニューイヤーコンサート2021	中止																																									
令和3年2月14日	アフターコロナ支援事業「ラポールミュージックフェスティバル」	150人																																									

事業名	大門総合会館管理運営費				(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		決算書	116 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課									
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																	
		35,211 【35,234】	35,128 【36,029】	38,956 【40,194】	【35,507】	受電設備の改修や駐車場補修工事、また、大雪被害により倒壊した駐輪場の撤去費用等による。																	
財 源 内 訳	負担金	437	399	758																			
	使用料	4,483	4,128	2,986																			
	一般財源	30,291	30,601	35,212																			
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）											
<p>1 大門総合会館及び正力・小林記念館の指定管理 / （公財）射水市文化振興財団 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により入場者数の制限等を行いながら、芸術文化の振興及び福祉の増進のため、芸術に親しめる場の提供を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度施設利用者総数 27,880人（令和元年度 55,485人） <ul style="list-style-type: none"> 大門総合会館 27,283人（令和元年度 54,934人） 正力・小林記念館 597人（令和元年度 551人） <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月16日から5月19日まで臨時休館</p> <p><企画事業></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>開催事業名</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年12月13日</td> <td>影と光とうた物語vol.2 「松吹く風」</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月21日</td> <td>アフターコロナ支援事業「大門寄席」</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table>												開催日	開催事業名	入館者数	令和2年12月13日	影と光とうた物語vol.2 「松吹く風」	117人	令和3年2月21日	アフターコロナ支援事業「大門寄席」	60人	継続 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がある中で、感染予防対策を徹底しながら各種事業や文化活動の場の提供を行った。 今後も、市民が芸術に親しむ環境づくりを進めるため、感染防止対策を徹底しながら、引き続き、指定管理者による適切な管理運営及び事業を開催し、本市の芸術文化の振興を図る。		
開催日	開催事業名	入館者数																					
令和2年12月13日	影と光とうた物語vol.2 「松吹く風」	117人																					
令和3年2月21日	アフターコロナ支援事業「大門寄席」	60人																					

事業名	大島絵本館管理運営費				(10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費)	決算書	116 ページ	担当部課	市民生活部地域振興・文化課																															
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																																					
		78,456 【78,481】	78,429 【78,430】	81,175 【81,184】	【80,784】	指定管理期間の更新による指定管理料の見直しと備品購入による。																																					
財源内訳	使用料	14	14	14																																							
	一般財源	78,442	78,415	81,161																																							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																	
<p>1 大島絵本館の指定管理 / (公財)射水市絵本文化振興財団 絵本を通じた芸術文化の振興を図るため、施設の良い管理運営及び市内外に情報を発信する企画事業を実施したが、一部の事業については新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止せざるを得なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度施設利用者総数 16,813人 (令和元年度 30,522人) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月16日から5月19日まで臨時休館 <p>主なイベント事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>開催事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(中止)令和2年5月24日</td> <td>ばらの香りコンサート</td> </tr> <tr> <td>令和2年4月～8月</td> <td>おおしま国際手づくり絵本コンクール2020(197点)</td> </tr> <tr> <td>令和2年8月～12月</td> <td>おおしま国際手づくり絵本コンクール2020 ジュニアの部(481点)</td> </tr> <tr> <td>令和2年8月23日</td> <td>開館26周年記念感謝デー ジャック・ランダル影絵パフォーマンス</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月8日</td> <td>いのちの絵本</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月12日</td> <td>絵本館のクリスマスコンサート</td> </tr> <tr> <td>通年</td> <td>絵本原画企画展示等</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月21日</td> <td>公募絵本ライブ</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月20日</td> <td>はらぺこめがねワークショップ</td> </tr> </tbody> </table> <p>創作活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作教室 年7回 (令和元年度 年9回)参加人数の上限を30人として開催 令和2年度登録家族 77組 (令和元年度 146組) ワークショップ、CGワークショップ等 <p>広報・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> マグちゃん通信発刊(年6回 90,000部) <p>出前講座、出店事業</p> <p>可能な限り新型コロナウイルス感染症対策を講じながら公演や絵本の読み聞かせ、絵本づくり等を実施し絵本文化の情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度実施回数 25回、963人参加 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要文化施設入館者数</td> <td>285,051人</td> <td>125,594人</td> <td>317,000人</td> </tr> </tbody> </table>										開催期間	開催事業名	(中止)令和2年5月24日	ばらの香りコンサート	令和2年4月～8月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2020(197点)	令和2年8月～12月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2020 ジュニアの部(481点)	令和2年8月23日	開館26周年記念感謝デー ジャック・ランダル影絵パフォーマンス	令和2年11月8日	いのちの絵本	令和2年12月12日	絵本館のクリスマスコンサート	通年	絵本原画企画展示等	令和3年2月21日	公募絵本ライブ	令和3年3月20日	はらぺこめがねワークショップ	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	主要文化施設入館者数	285,051人	125,594人	317,000人	<p>継続</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響がある中で、感染予防対策を徹底しながら各種イベントを開催し、市内外の方々に絵本に親しむ場や絵本文化の情報発信を行った。引き続き、指定管理者による適切な管理運営を行うとともに、アフターコロナを見据えた市民が絵本に親しむ場の提供、絵本文化を中心とした芸術文化の振興を図る。</p>		
開催期間	開催事業名																																										
(中止)令和2年5月24日	ばらの香りコンサート																																										
令和2年4月～8月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2020(197点)																																										
令和2年8月～12月	おおしま国際手づくり絵本コンクール2020 ジュニアの部(481点)																																										
令和2年8月23日	開館26周年記念感謝デー ジャック・ランダル影絵パフォーマンス																																										
令和2年11月8日	いのちの絵本																																										
令和2年12月12日	絵本館のクリスマスコンサート																																										
通年	絵本原画企画展示等																																										
令和3年2月21日	公募絵本ライブ																																										
令和3年3月20日	はらぺこめがねワークショップ																																										
指標項目	基準	実績	目標																																								
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																																								
主要文化施設入館者数	285,051人	125,594人	317,000人																																								

事業名		スポーツ推進事務管理費				(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)				決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)			
		43,094 【44,456】		40,932 【42,291】		40,417 【43,694】		【43,143】					
財 源 内 訳	県補助金	50		42		42							
	一般財源	43,044		40,890		40,375							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 射水市体育協会事務局費補助金 射水市体育協会事務局の人件費及び事務費として補助金を交付することで、市民へのスポーツ活動の普及振興を通じた活力あるまちづくりの推進を図った。 ・ 交付額 26,840千円</p>										継続		<p>スポーツイベント及び競技大会の実施やスポーツ情報の発信、各体協加盟団体の育成を図るための事業を展開し、市スポーツ振興の推進に努めており、今後も継続して補助を行う。</p>	
<p>2 幼児の体力向上支援事業 幼児に多様な運動遊びを経験させることで、運動する楽しさや喜びを実感させるとともに、様々な体の動かし方の習得や体力向上を図り、たくましい子どもの成長につなげた。 ・ 実施施設 延べ実施日数47日 (令和元年度 延べ実施日数53日、19施設) 放生津保育園、八幡保育園、片口保育園、塚原保育園、七美幼稚園、金山保育園、大江保育園、千成保育園、池多保育園、大門きらら保育園、大門わかば幼稚園、大島南部保育園、下村保育園、新湊中部保育園、海老江こども園、新湊うみいるこども園、あいあい保育園(計17施設)</p>										継続		<p>多様な運動遊びを経験する機会を提供できた。今後も継続して支援を行う。</p>	

事業名		スポーツ団体活動費				(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)				決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課										
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)													
		8,110 【8,110】		8,050 【8,100】		7,508 【7,735】		【7,454】															
財 源 内 訳	一般財源	8,110		8,050		7,508																	
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)													
<p>1 スポーツ団体の育成、活動補助</p> <p>スポーツ少年団、各競技団体及び地区体育協会等に補助し、市民のスポーツ活動を積極的に支援することで、スポーツの普及振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会加盟団体 60団体 (競技団体30、地区団体27、その他3) ・ スポーツ少年団 登録52単位団 907人 <table border="1" data-bbox="183 598 1290 702"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ少年団の登録者率</td> <td>31.0%</td> <td>27.7%</td> <td>35.0%</td> </tr> </tbody> </table>										指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和2年度	令和5年度	スポーツ少年団の登録者率	31.0%	27.7%	35.0%	継 続	スポーツを通じた市民の健康増進及び健全な心身の育成を支えることができた。今後も継続して補助を行う。	
指標項目	基準	実績	目標																				
	平成24年度	令和2年度	令和5年度																				
スポーツ少年団の登録者率	31.0%	27.7%	35.0%																				

事業名		スポーツ行事推進費				(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)				決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)								
		12,364 【12,364】	16,768 【17,167】	7,501 【11,289】	【17,807】	新型コロナウイルス感染症の影響で各種大会、イベントを縮小開催又は中止したことによる。								
財 源 内 訳	寄附金	0	500	0										
	一般財源	12,364	16,268	7,501										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
<p>1 スポーツ大会等の開催 市民体育大会を開催し、市民の健康・体力増進と競技力向上を図った。 市民体育大会 参加者1,190人 ・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため縮小開催 ・ 夏季・冬季大会12競技 (令和2年7月4日～11月22日：市内一円) 元旦マラソン大会 ・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p>											継 続	<p>スポーツ大会、スポーツイベントの開催補助により市民の健康・体力増進を図ることができた。今後も感染症対策を徹底の上、継続して開催する。</p>		
<p>2 スポーツ推進コーディネーター(地域おこし協力隊)の活動支援 平成30年度から採用した「スポーツ推進コーディネーター」が中心となり、市内の小・中学生を対象としたトレーニング動画配信やプロスポーツチーム応援企画を実施し、スポーツ活動の推進に努めた。 トレーニング動画配信 新型コロナウイルス感染症の影響で市内公立中学校が4月から5月まで臨時休業になったことから、小中学生の運動不足解消を目的に自宅でできるトレーニング動画「おうちでトレーニング」を市公式YouTubeで配信した。 プロスポーツチーム応援企画 市内を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「アランマーレ」を応援する企画を地域と連携し実施した。 ・ 黒河地区の住民と連携し、地元産の竹を使用した応援グッズ「竹ちゃん」の制作 ・ 富山県立大学と連携し特別展示等を行う「オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性をみんなで応援～」の実施 障がい者スポーツ体験教室、市政出前講座「脳トレ教室」の開催 市民にスポーツをする機会の創出や障がい者スポーツの理解促進に努めた。</p>												完 了	<p>各種企画により、市内でスポーツに親しむ機運醸成を図ることができた。スポーツ推進コーディネーターは、任期満了後、市内で起業しており、スポーツ推進等で連携していく。</p>	

事業名		スポーツ強化育成費				(10款 教育費 6項 保健体育費 1目 体育総務費)				決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																			
		4,037	【4,128】	3,189	【3,856】	1,013	【2,445】	【3,626】																	
財 源 内 訳	一般財源	4,037		3,189		1,013		新型コロナウイルス感染症の影響により、全国大会等が中止となり、激励金の交付が減少したことによる。																	
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）														
<p>1 全国大会等の出場激励金等交付事業 全国大会等に出場する選手又は監督に激励金を交付することにより、市の代表選手としての意識の高揚や競技力の向上に成果を上げた。 ・ 出場激励金 団体 2団体、個人 60人</p>											継 続	<p>激励金を交付することにより、出場選手が郷土の代表として誇りを持って活躍できるよう支援することができた。今後も継続して交付を行う。</p>													
<p>2 スポーツ選手強化育成事業 選手強化事業 競技協会が行う強化練習会や強化合宿の実施に対し補助することにより、選手の技術力の向上を図った。 ・ ヨット協会、ソフトテニス協会、卓球協会、バスケットボール協会（計4競技団体） 未来を担う中学生の競技力推進事業 競技協会が中学生のスポーツ活動をサポートする事業の実施に対し補助することにより、未来を担う中学生の競技力の向上及び推進を図った。 ・ ソフトテニス協会、ハンドボール協会、剣道連盟（計3団体）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国大会の出場者率</td> <td>6.3%</td> <td>14.7%</td> <td>9.0%</td> </tr> </tbody> </table>												指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和2年度	令和5年度	全国大会の出場者率	6.3%	14.7%	9.0%	継 続	<p>スポーツ選手を育成強化する事業に対する補助により、競技力の向上を図ることができた。また、「未来を担う中学生の競技力推進事業」を行い、競技団体と一体となって中学生の競技力向上及び推進を図った。今後も継続して補助を行う。</p>	
指標項目	基準	実績	目標																						
	平成24年度	令和2年度	令和5年度																						
全国大会の出場者率	6.3%	14.7%	9.0%																						

事業名		スポーツ施設維持管理費（繰越明許）				（ 10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						21,450 【21,450】									
財 源 内 訳	一般財源					21,450									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 フットボールセンターの整備 本市の認知度・ブランド力の向上、県外からの長期滞在型の合宿誘致、全国大会開催等による交流人口の拡大を図るため、新たにフットボールセンターの基本設計を行った。</p>												継続	基本設計完了後、令和2年度予算において国の地方創生拠点整備交付金を活用し実施設計を行った。令和4年度の開業に向け、着実に整備を進める。		
<p>2 スポーツ施設の維持管理 利用者が安全・安心に利用できるようグリーンパークだいもん相撲場外構整備工事を行い、市民のスポーツ活動の推進を図った。</p>												継続	長期的な視点に立った施設修繕を行い、利便性の向上につなげた。引き続き、安全・安心に利用できるよう、適正な維持管理及び修繕に努める。		

事業名		スポーツ施設維持管理費				(10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費)				決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		147,815 【148,359】	165,880 【194,135】	140,647 【174,877】	【136,520】	令和元年度は、フットボールセンター基本計画等策定及び新湊総合体育館移動式バスケットゴール整備を実施したことによる。							
財源内訳	使用料	4,409	3,906	3,184									
	国庫補助金	0	0	6,475									
	繰入金(基金)	10,000	10,000	0									
	諸収入	3,823	10,861	5,097									
一般財源		129,583	141,113	125,891									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 スポーツ施設の維持管理</p> <p>新湊総合体育館外壁西面防水修繕、浅井グラウンドバックネット設置工事、歌の森運動公園テニスコートの照明設備の修繕を行い、利用者が安全・安心に利用できるよう、適正な維持管理に努め、市民のスポーツ活動の推進並びに健康の維持増進を図った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図るため、新湊総合体育館換気設備及び大門総合体育館空調設備の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大門総合体育館研修室エアコン等整備工事(新型コロナ対策3- 32)【交付金】 998千円 ・ 新湊総合体育館換気設備改修工事(新型コロナ対策3- 33)【交付金】 5,478千円 <p>(繰越明許費 33,044 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業名 公共施設予約管理システム導入(新型コロナ対策3- 34) ・ 予算執行率 81.0% ・ 完了時期 令和4年3月 											継続	<p>長期的な視点に立った施設修繕を行い、利便性の向上につなげた。引き続き、安全・安心に利用できるよう、適正な維持管理及び修繕に努める。</p>	

事業名		パークゴルフ場維持管理費				(10款 教育費 6項 保健体育費 2目 体育施設費)				決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		18,757 【18,788】	17,713 【18,098】	17,501 【17,594】	【18,683】								
財源内訳	使用料	626	247	177									
	一般財源	18,131	17,466	17,324									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
<p>1 パークゴルフ場の管理運営</p> <p>パークゴルフを通して市民の健康体づくりの促進及びレクリエーションの普及を図るため、パークゴルフ場の管理運営を行い、パークゴルフの普及、振興及び市民の健康増進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入場者数 下村パークゴルフ場 29,903人 (令和元年度 40,458人) パークゴルフ南郷 25,856人 (令和元年度 29,809人) 											継続	<p>市民の健康体づくり及びレクリエーションの普及に大きく貢献しており、引き続き、安全・安心に利用できるよう、適正な維持管理及び修繕に努める。</p>	

事業名		海竜スポーツランド維持管理費（繰越明許）				（ 10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課		
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
						344,300【348,430】											
財 源 内 訳	市債					305,700											
	一般財源					38,600											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 海竜スポーツランドの熱源機械等の更新 施設完成後20年が経過し、熱源機械設備や配管等の老朽化が著しく、施設を運営していく上で支障を来すことから熱源機械等の更新を行った。 ・ 入館者数 48,875人（令和元年度 88,727人）												継続		機械更新に当たり、イニシャルコスト及びランニングコスト等を考慮し、更新工事を行った。利用者の安全及び利便性を確保しながら運営していく。			

事業名		【新】フットボールセンター整備事業費				（ 10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課		
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
						63,113【1,700,631】		【51,317】									
財 源 内 訳	国庫補助金					31,500											
	寄附金					16,000											
	市債					13,900											
	一般財源					1,713											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 フットボールセンターの整備 本市の認知度・ブランド力の向上、県外からの長期滞在型の合宿誘致、全国大会開催等による交流人口の拡大を図るため、新たにフットボールセンター整備の実施設計を行った。 （繰越明許費 1,635,323 千円） ・ 事業名 フットボールセンター整備事業費 ・ 予算執行率 3.7% ・ 完了時期 令和4年3月												継続		国の地方創生拠点整備交付金を活用し実施設計を行った。令和4年度の開業に向け、着実に整備を進める。			

12 款 公 債 費

事業名		公債費元金償還費				(12款 公債費 1項 公債費 1目 元金)				決算書	118 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
		5,197,702 【5,197,703】	5,463,913 【5,463,915】	4,813,788 【4,813,788】	【5,101,617】								
財源内訳	使用料	54,295	47,225	39,641									
	一般財源	5,143,407	5,416,688	4,774,147									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
<ul style="list-style-type: none"> 政府資金 1,717,867千円 地方公共団体金融機構資金 2,245,979千円 市中銀行 397,396千円 その他の金融機関 380,649千円 共済組合等 71,897千円 											継続	普通建設事業の実施に当たっては、必要性や重要性を十分に精査の上、新たな借入れを抑制していく。	

事業名		公債費利子償還費				(12款 公債費 1項 公債費 2目 利子)				決算書	118 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
		423,962 【425,396】	361,942 【367,134】	320,573 【322,692】	【388,810】								
財源内訳	一般財源	423,962	361,942	320,573									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
<ul style="list-style-type: none"> 長期借入金利子 319,675千円 一時借入金利子 63千円 基金繰替運用利子 835千円 											継続	普通建設事業の実施に当たっては、必要性や重要性を十分に精査の上、新たな借入れを抑制していく。	

13 款 予 備 費

事業名	予備費		(13款 予備費		1項 予備費		1目 予備費) 決算書	119 ページ	担当部課	財務管理部財政課		
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）							
			0 【64,547】	0 【53,339】	0 【76,844】	【100,000】								
財 源 内 訳														
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画推進費 ・ 農村環境改善センター管理費 ・ 道の駅維持管理費 ・ 学校管理費（小） ・ 新湊中央文化会館管理運営費 			<ul style="list-style-type: none"> （新型コロナウイルス感染症対応） （大雪被害復旧対応） （空調設備臨時設置対応） （小学校施設修繕） （大黒幕取替工事） 			<ul style="list-style-type: none"> 5,396千円 2,265千円 1,811千円 1,650千円 1,608千円 			等					

参 考：人件費の状況

令和2年度職員人件費決算額の前年度比較

(単位:人、千円)

		職員数	給 料	職員手当等	児童手当除く手当		共済費	人件費合計	給与費(児童手当除)
					児童手当除く手当	児童			
一般会計	R2年度	649	2,334,783	1,283,551	1,241,876	41,675	1,145,065	4,763,399	3,576,659
	R1年度	642	2,293,190	1,307,020	1,266,295	40,725	1,229,647	4,829,857	3,559,485
	対前年度差	7	41,593	23,469	24,419	950	84,582	66,458	17,174
うち特別職	R2年度	3	28,200	9,639	9,519	120	16,219	54,058	37,719
	R1年度	3	28,200	11,424	11,304	120	16,345	55,969	39,504
	対前年度差	0	0	1,785	1,785	0	126	1,911	1,785
うち一般職	R2年度	646	2,306,583	1,273,912	1,232,357	41,555	1,128,846	4,709,341	3,538,940
	R1年度	639	2,264,990	1,295,596	1,254,991	40,605	1,213,302	4,773,888	3,519,981
	対前年度差	7	41,593	21,684	22,634	950	84,456	64,547	18,959

決算額を四捨五入して千円単位としているため、合計額を一致させるために一部項目において調整を実施している。

(2) 国民健康保険事業特別会計決算の状況

歳入の状況

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 国民健康保険税	1,457,396	1,476,845	19,449	101.3
2 使用料及び手数料	600	590	10	98.3
3 国庫支出金	18,740	18,473	267	98.6
4 県支出金	5,950,819	5,739,165	211,654	96.4
5 財産収入	401	399	2	99.5
6 繰入金	655,287	594,698	60,589	90.8
7 繰越金	22,534	22,534	0	100.0
8 諸収入	19,932	16,560	3,372	83.1
合 計	8,125,709	7,869,263	256,446	96.8

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
1,492,078	15,233
628	38
2,386	16,087
5,960,101	220,936
734	335
796,402	201,704
53,372	30,838
14,525	2,035
8,320,225	450,961

歳出の状況

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
1 総務費	119,453	110,387	9,066	92.4
2 保険給付費	5,806,739	5,557,641	249,098	95.7
3 国民健康保険事業費 納付金	2,038,301	2,038,300	1	100.0
4 財政安定化基金拠出金	1	0	1	0.0
5 保健事業費	96,080	86,224	9,856	89.7
6 基金積立金	22,934	22,933	1	100.0
7 公債費	50	0	50	0.0
8 諸支出金	32,151	30,911	1,240	96.1
9 予備費	10,000	0	10,000	0.0
合 計	8,125,709	7,846,395	279,314	96.6

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
112,415	2,028
5,792,859	235,219
2,212,295	173,995
0	0
86,115	109
54,104	31,171
0	0
39,902	8,992
0	0
8,297,691	451,296

歳入総額7,869,263千円 - 歳出総額7,846,395千円 - 翌年度へ繰越すべき財源0千円 = 実質収支22,868千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	国民健康保険税	1,457,396	1,476,845	19,449	101.3	5款	財 産 収 入	401	399	2	99.5
1項	国民健康保険税	1,457,396	1,476,845	19,449	101.3	1項	財 産 運 用 収 入	401	399	2	99.5
1目	一般被保険者国民健康保険税	1,456,467	1,475,633	19,166	101.3	1目	利 子 及 び 配 当 金	401	399	2	99.5
	医療給付費分現年課税分	1,066,052	1,077,497	11,445	101.1	6款	繰 入 金	655,287	594,698	60,589	90.8
	後期高齢者支援金分現年課税分	267,142	270,024	2,882	101.1	1項	他 会 計 繰 入 金	502,785	494,698	8,087	98.4
	介護納付金分現年課税分	72,446	73,497	1,051	101.5	1目	一 般 会 計 繰 入 金	502,785	494,698	8,087	98.4
	医療給付費分滞納繰越分	38,288	41,371	3,083	108.1		保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)	220,676	220,677	1	100.0
	後期高齢者支援金分滞納繰越分	8,731	8,946	215	102.5		保険基盤安定繰入金(保険者支援分)	127,083	127,084	1	100.0
	介護納付金分滞納繰越分	3,808	4,299	491	112.9		職 員 給 与 費 等 繰 入 金	97,155	93,933	3,222	96.7
2目	退職被保険者等国民健康保険税	929	1,212	283	130.5		出 産 育 児 一 時 金 等 繰 入 金	16,800	11,934	4,866	71.0
	医療給付費分現年課税分	1	0	1	0.0		財 政 安 定 化 支 援 事 業 繰 入 金	30,779	30,779	0	100.0
	後期高齢者支援金分現年課税分	1	0	1	0.0		そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金	10,292	10,291	1	100.0
	介護納付金分現年課税分	1	0	1	0.0	2項	基 金 繰 入 金	152,502	100,000	52,502	65.6
	医療給付費分滞納繰越分	785	1,070	285	136.3	1目	国民健康保険財政調整基金繰入金	152,502	100,000	52,502	65.6
	後期高齢者支援金分滞納繰越分	71	64	7	89.8	7款	繰 越 金	22,534	22,534	0	100.0
	介護納付金分滞納繰越分	70	78	8	111.7	1項	繰 越 金	22,534	22,534	0	100.0
2款	使用料及び手数料	600	590	10	98.3	1目	そ の 他 繰 越 金	22,534	22,534	0	100.0
1項	手 数 料	600	590	10	98.3	8款	諸 収 入	19,932	16,560	3,372	83.1
1目	督促手数料	600	590	10	98.3	1項	延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料	10,000	10,029	29	100.3
3款	国 庫 支 出 金	18,740	18,473	267	98.6	1目	延 滞 金	10,000	10,029	29	100.3
1項	国 庫 補 助 金	18,740	18,473	267	98.6		一般被保険者延滞金	9,966	10,001	35	100.4
1目	災害臨時特例補助金	14,795	14,528	267	98.2		退職被保険者等延滞金	34	27	7	79.9
2目	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	3,945	3,945	0	100.0	2項	預 金 利 子	1	0	1	0.0
4款	県 支 出 金	5,950,819	5,739,165	211,654	96.4	1目	預 金 利 子	1	0	1	0.0
1項	県 負 担 金	5,940,604	5,728,951	211,653	96.4	3項	貸 付 金 元 利 収 入	378	0	378	0.0
1目	保険給付費等交付金	5,940,604	5,728,951	211,653	96.4	1目	貸 付 金 元 利 収 入	378	0	378	0.0
	保険給付費等交付金(普通交付金)	5,761,496	5,549,018	212,478	96.3	4項	雑 入	9,553	6,532	3,021	68.4
	保険給付費等交付金(特別交付金)	179,108	179,933	825	100.5	1目	滞 納 処 分 費	1	0	1	0.0
2項	県 補 助 金	10,214	10,214	0	100.0	2目	一般被保険者第三者納付金	7,500	3,714	3,786	49.5
1目	国保強化助成費補助金	10,214	10,214	0	100.0	3目	退職被保険者等第三者納付金	1	0	1	0.0
3項	財政安定化基金交付金	1	0	1	0.0	4目	一般被保険者返納金	1	771	770	77,075.0
1目	財政安定化基金交付金	1	0	1	0.0	5目	退職被保険者等返納金	1	0	1	0.0
						6目	雑 入	2,049	2,047	2	99.9
							合 計	8,125,709	7,869,263	256,446	96.8

事業名	国民健康保険運営協議会費				(1款 総務費		3項 運営協議会費		1目 運営協議会費)	決算書	134 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		161	【240】	147	【240】	257	【266】	【240】							
財 源 内 訳	県負担金	64		63		65									
	繰入金	97		84		192									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 国民健康保険運営協議会</p> <p>県から示された納付金及び標準保険料率を基に、本市の国民健康保険税率や財政調整基金の活用など国民健康保険事業の運営に関する審議を行うため、国民健康保険運営協議会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員 12人 ・ 開催回数 4回 												<p>継続</p> <p>本市の国保事業の現状や課題等について、運営協議会委員に説明し情報共有するとともに、諮問事項に対する審議を行った。</p>			

事業名	趣旨普及費				(1款 総務費		4項 趣旨普及費		1目 趣旨普及費)	決算書	134 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		899	【900】	889	【890】	903	【903】	【897】							
財 源 内 訳	県負担金	899		889		903									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
<p>1 趣旨普及事業</p> <p>国民健康保険制度や事業内容等について周知を図るため、被保険者に対して、被保険者証の更新時や加入時に分かりやすいパンフレットを配布し、制度に対する理解を図った。</p>												<p>継続</p> <p>被保険者に対し、被保険者証更新時や加入時にパンフレットを配布した。今後も引き続き国保制度の周知を図っていく。</p>			

事業名		医療費適正化特別対策事業費				(1款 総務費 5項 医療費適正化特別対策事業費 1目 医療費適正化特別対策事業費)		決算書	134 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		10,331 【10,961】	10,424 【11,082】	8,287 【9,183】	【7,708】	医療費通知は、2か月ごとに偶数月に通知していたが、確定申告時期を見据えて、令和3年1月から奇数月に通知することに見直したため、前年度より1回分多く通知したことに伴い発送件数が増えたことによる。					
財源内訳	県負担金	5,218	7,484	7,928							
	諸収入	5,113	2,940	359							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 レセプト点検等委託事業 診療報酬等の適正な給付を確保するために、レセプトの資格・内容を点検し、疑義があるものについては、再審査の申出を行った。 ・ 点検、再審査件数 2,245件 (令和元年度 3,409件)</p>										継続	被保険者数の減少及び新型コロナウイルス感染症の感染防止による受診控え等により、レセプト件数は減少したが、継続し疑義該当レセプトの効率的な抽出により効果的に実施していく。
<p>2 医療費通知事業 日頃の健康保持や医療の適正受診に対する認識を深めるため、被保険者に対して、2か月ごとに医療費通知を送付した。 ・ 発送件数 60,984件 (令和元年度 54,959件)</p>										継続	2か月ごとに医療費通知を送付した。今後も継続し、医療の適正受診に対する意識啓発を図る。
<p>3 後発医薬品差額通知事業 被保険者の自己負担額の軽減や、後発医薬品の利用促進を図るため、後発医薬品差額通知を発送した。 ・ 発送件数 648件 (令和元年度 754件) また、被保険者証の更新時に後発医薬品希望表示付き保険証ケースを同封した。</p>										継続	年2回、後発医薬品差額通知を送付した。今後も継続し、被保険者の自己負担の軽減や後発医薬品の利用促進を図る。

事業名	一般被保険者療養給付費				(2款 保険給付費 1項 療養諸費		1目 一般被保険者療養給付費)		決算書	134 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
		4,893,204【4,905,567】	4,973,158【4,996,633】	4,753,862【4,978,998】	【5,018,667】	療養給付費については、新型コロナウイルス感染症による受診控えなどの影響で、前年度比約2億2千万円減少したことによる。						
財源内訳	国庫補助金	0	0	21								
	県負担金	4,893,204	4,973,158	4,753,841								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 一般被保険者療養給付費 一般被保険者に係る現物給付(診療、投薬、注射、手術、処置、病院への入院など)										継続	被保険者数が減少する一方で、1人当たり療養給付費は増加傾向にあり、総額は横ばいとなる見込みである。	
年度		療養給付費	1人当たり療養給付費	平均被保険者数								
令和元年度		4,973,158千円	289,575円	17,174人								
令和2年度		4,753,862千円	281,660円	16,878人								

事業名	一般被保険者療養費				(2款 保険給付費 1項 療養諸費		3目 一般被保険者療養費)		決算書	134 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)						
		76,811【76,811】	69,395【74,048】	64,900【69,542】	【66,213】							
財源内訳	県負担金	76,811	69,395	64,900								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 一般被保険者療養費 一般被保険者に係る現金給付(療養に要した費用を一旦支払い、事後に保険者が現金で支給するもの)										継続	被保険者数の減少とともに、総額も減少する見込みである。	
年度		療養費	1人当たり療養費	平均被保険者数								
令和元年度		69,395千円	4,041円	17,174人								
令和2年度		64,900千円	3,854円	16,878人								

事業名	審査支払手数料				(2款 保険給付費 1項 療養諸費 5目 審査支払手数料)				決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課									
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）															
		15,337 【15,900】	15,036 【15,036】	13,685 【15,264】	【15,264】	レセプト審査件数については、新型コロナウイルス感染症による受診控えなどの影響で、前年度比約2万4千件減少したことによる。															
財 源 内 訳	県負担金	15,337	14,726	13,685																	
	一般財源	0	310	0																	
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）										
1 レセプト審査支払手数料 1件当たり53円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>レセプト審査件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>282,519件</td> <td>15,036千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>258,204件</td> <td>13,685千円</td> </tr> </tbody> </table>											年度	レセプト審査件数	金額	令和元年度	282,519件	15,036千円	令和2年度	258,204件	13,685千円	継続	被保険者数の減少により、レセプト審査件数は減少する見込みである。
年度	レセプト審査件数	金額																			
令和元年度	282,519件	15,036千円																			
令和2年度	258,204件	13,685千円																			

事業名	一般被保険者高額療養費				(2款 保険給付費 2項 高額療養費 1目 一般被保険者高額療養費)				決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																		
		685,092 【745,495】	714,922 【714,932】	703,360 【711,866】	【737,025】	高額療養費については、新型コロナウイルス感染症による受診控えなどの影響で、前年度比約1千万円減少したことによる。																		
財 源 内 訳	県負担金	685,092	714,922	703,360																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）													
1 一般被保険者高額療養費 一般被保険者に係る高額療養費 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>高額療養費</th> <th>1人当たり高額療養費</th> <th>平均被保険者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>714,922千円</td> <td>41,628円</td> <td>17,174人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>703,360千円</td> <td>41,673円</td> <td>16,878人</td> </tr> </tbody> </table>											年度	高額療養費	1人当たり高額療養費	平均被保険者数	令和元年度	714,922千円	41,628円	17,174人	令和2年度	703,360千円	41,673円	16,878人	継続	被保険者数が年々減少する一方で、医療技術の高度化等の影響により1人当たり高額療養費は増加傾向にあり、総額は横ばいとなる見込みである。
年度	高額療養費	1人当たり高額療養費	平均被保険者数																					
令和元年度	714,922千円	41,628円	17,174人																					
令和2年度	703,360千円	41,673円	16,878人																					

事業名	一般被保険者高額介護合算療養費 (2款 保険給付費 2項 高額療養費 3目 一般被保険者高額介護合算療養費)				決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課						
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)								
		27 【500】	465 【500】	426 【660】	【600】	高額外来年間合算制度の新設により、平成30年度から高額介護合算療養費の支給決定・予算執行が翌年度となったことによる。								
財源内訳	県負担金	27	465	426										
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)							
1 一般被保険者高額介護合算療養費 一般被保険者に係る高額介護合算療養費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>高額介護合算療養費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>465千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>426千円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	高額介護合算療養費	令和元年度	465千円	令和2年度	426千円	継続	1人当たり高額療養費とともに介護給付費の増加に伴って、高額介護合算療養費は増加する見込みである。
年度	高額介護合算療養費													
令和元年度	465千円													
令和2年度	426千円													

事業名	出産育児一時金 (2款 保険給付費 4項 出産育児諸費 1目 出産育児一時金)				決算書	135 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課									
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)											
		20,526 【23,520】	12,075 【21,000】	17,901 【25,200】	【25,200】												
財源内訳	県負担金	6,842	4,025	5,967													
	繰入金	13,684	8,050	11,934													
主な事業内容・成果							評価と今後の方向性(担当課意見)										
1 出産育児一時金 被保険者が出産した場合に、その世帯主に対して支給するもの。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>29件</td> <td>12,075千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>44件</td> <td>17,901千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産育児一時金 <ul style="list-style-type: none"> 平成27年1月1日以降 1件404千円 + 加算額16千円 () 平成26年12月31日以前 1件390千円 + 加算額30千円 () () 産科医療補償制度加入医療機関で出産した場合に加算 							年度	件数	金額	令和元年度	29件	12,075千円	令和2年度	44件	17,901千円	継続	少子化により、出産件数が減少傾向にある。
年度	件数	金額															
令和元年度	29件	12,075千円															
令和2年度	44件	17,901千円															

事業名	葬祭費				(2款 保険給付費 5項 葬祭諸費 1目 葬祭費)				決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		3,930 【4,500】	3,120 【3,900】	3,480 【3,900】	【3,900】								
財 源 内 訳	県負担金	3,930	3,120	3,480									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 葬祭費 被保険者が死亡した場合、その葬祭を行うものに対して、葬祭費を支給するもの。 1件 30千円											継 続	平均寿命の延伸により、75歳未満での死亡件数は減少傾向にある。(75歳から後期高齢者医療へ移行)	
		年度	件数	金額									
		令和元年度	104件	3,120千円									
		令和2年度	116件	3,480千円									

事業名	一般被保険者医療給付費分				(3款 国民健康保険事業費納付金 1項 医療給付費分 1目 一般被保険者医療給付費分)				決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)							
		1,403,658 【1,403,659】	1,552,350 【1,552,350】	1,378,528 【1,378,528】	【1,359,699】	前期高齢者納付金は、当年度に概算で算定し、2年後に精算を行う仕組みとなっているため、経過措置を設け、令和元年度までは、市町村ごとの概算額と確定額を都道府県単位で合算して精算額を計算し、当年度の概算額から控除することとされている。							
財 源 内 訳	国庫補助金	281	238	13,740									
	県負担金	4,405	16,273	6,156									
	県補助金	11,610	11,649	2,960									
	繰入金	225,768	276,294	219,610									
	一般財源	1,161,594	1,247,896	1,136,062									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 一般被保険者医療給付費分 国民健康保険事業に要する費用に充てるため、県に納入する納付金											継 続	本市の一般被保険者医療給付費分は、1人当たり納付金が前年度比0.8%減、被保険者数が前年比4.4%減となり、納付金総額で5.2%の減となった。	
		1人当たり納付金	被保険者数(推計)	納付金計									
令和元年度	射水市	89,175円 (83,532円)	17,408人	1,552,350千円 (1,454,117千円)									
	県	90,933円 (86,062円)											
令和2年度	射水市	82,864円	16,636人	1,378,528千円									
	県	84,809円											
令和元年度の()書きは平成29年度前期高齢者交付金精算金の加算前の額													

事業名		一般被保険者後期高齢者支援金等分 (3款 国民健康保険事業費納付金 2項 後期高齢者支援金等分 1目 一般被保険者後期高齢者支援金等分)				決算書	136 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		481,444 【481,444】	503,486 【503,487】	492,784 【492,785】	【493,175】				
財 源 内 訳	県負担金	82,164	86,002	102,676					
	繰入金	108,578	72,845	100,924					
	一般財源	290,702	344,639	289,184					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 一般被保険者後期高齢者支援金等分 県において負担する後期高齢者支援金等納付金に充てるため、県に納入する納付金								継続 本市の一般被保険者後期高齢者支援金等分は、1人当たり納付金が前年度比2.4%増、被保険者数が前年比4.4%減となり、納付金総額で2.1%の減となった。	
		1人当たり納付金	被保険者数(推計)	納付金計					
令和元年度	射水市	28,923円	17,408人	503,486千円					
	県	29,623円							
令和2年度	射水市	29,622円	16,636人	492,784千円					
	県	30,226円							

事業名		介護納付金分 (3款 国民健康保険事業費納付金 3項 介護納付金分 1目 介護納付金分)				決算書	137 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		143,576 【143,576】	151,688 【151,688】	166,130 【166,130】	【155,849】				
財 源 内 訳	国庫補助金	0	0	767					
	県負担金	0	0	10,055					
	県補助金	0	4,691	7,254					
	繰入金	62,585	47,470	68,220					
	一般財源	80,991	99,527	79,834					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 介護納付金分 県において負担する介護納付金に充てるため、県に納入する納付金								継続 本市の介護納付金分は、1人当たり納付金が前年度比6.5%増、被保険者数が前年比2.5%増となり、納付金総額で9.2%の増となった。	
		1人当たり納付金	被保険者数(推計)	納付金計(一般+退職)					
令和元年度	射水市	33,953円	4,481人	152,144千円					
	県	35,899円		退職分減算後 151,688千円					
令和2年度	射水市	36,154円	4,595人	166,130千円					
	県	36,543円							

事業名		保健衛生普及費				(5款 保健事業費 1項 保健事業費 1目 保健衛生普及費)				決算書	137 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課												
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																			
		7,124	【8,422】	6,453	【8,229】	8,326	【9,232】																		
財 源 内 訳	県負担金	7,124		6,453		8,326																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)														
<p>1 特定健診未受診者への受診勧奨事業 特定健診未受診者にハガキや電話で受診勧奨することで、受診率の向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電話+ハガキ</th> <th>ハガキのみ</th> <th>勧奨者計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2,900人</td> <td>5,100人</td> <td>8,000人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,900人</td> <td>5,100人</td> <td>8,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>電話勧奨における有効対話に占める「受診する」と回答した者の割合 48.5% (令和元年度 48.3%)</p>											年度	電話+ハガキ	ハガキのみ	勧奨者計	令和元年度	2,900人	5,100人	8,000人	令和2年度	2,900人	5,100人	8,000人	<p>継続</p> <p>有効対話に占める「受診する」と回答した者の割合は、増加傾向にある。一方で、働き盛りの世代は日中電話がつながりにくい現状があることから、若年層には書面による勧奨を進めていく。</p>		
年度	電話+ハガキ	ハガキのみ	勧奨者計																						
令和元年度	2,900人	5,100人	8,000人																						
令和2年度	2,900人	5,100人	8,000人																						
<p>2 健診結果説明会及び健康相談会の開催 特定健診の受診率の向上及び継続的な受診を勧めることで、生活習慣病の予防、医療費適正化を図るため、市内2会場で健診結果説明会及び健康相談会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小杉会場参加者</th> <th>大島会場参加者</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>()58人</td> <td>50人</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>23人</td> <td>38人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> <p>()小杉会場は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止となり、資料提供のみ実施した。</p>											年度	小杉会場参加者	大島会場参加者	合計	令和元年度	()58人	50人	108人	令和2年度	23人	38人	61人	<p>継続</p> <p>参加者から好評であり、継続参加者も増えている一方で、参加者人数が伸び悩んでいるため、開催日近くに再度周知し、参加を呼び掛けていく。</p>		
年度	小杉会場参加者	大島会場参加者	合計																						
令和元年度	()58人	50人	108人																						
令和2年度	23人	38人	61人																						
<p>3 若年健診の実施 若いうちから、自分の健康状態を認識し、生活習慣を見直す機会とするため、35歳から39歳までの被保険者を対象とした若年健診を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>540人</td> <td>95人</td> <td>17.6%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>516人</td> <td>106人</td> <td>20.5%</td> </tr> </tbody> </table>											年度	対象者数	受診者数	受診率	令和元年度	540人	95人	17.6%	令和2年度	516人	106人	20.5%	<p>継続</p> <p>受診率が低迷していたが、39歳の被保険者を重点的に勧奨したところ効果があった。40歳からの特定健診受診につなげるための重要な事業であるので、健診期間中の受診勧奨を続けていく。</p>		
年度	対象者数	受診者数	受診率																						
令和元年度	540人	95人	17.6%																						
令和2年度	516人	106人	20.5%																						
<p>4 スマホdeドック事業 若年健診未受診者に対し、自身の健康に対する意識を変容させ、翌年度以降の受診につなげるため、自宅で気軽に健康チェックできるスマホdeドックを提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table>											年度	実施者数	令和元年度	20人	令和2年度	17人	<p>廃止</p> <p>若いうちに健診受診につなげるための事業であったが、実施者数が低調であったため、令和2年度末で事業を廃止とした。</p>								
年度	実施者数																								
令和元年度	20人																								
令和2年度	17人																								

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）																							
<p>5 生活習慣病の一次予防の取組 日常生活運動の積み重ねによる運動習慣の定着化を図るため、市内5体育館で「身体すっきり教室」を開催し、生活習慣病の予防に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催数</th> <th>参加者数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>9回</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>10回</td> <td>149人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ポイントラリー達成者（5回以上参加）15人（令和元年度 4回以上参加 26人）</p>					年度	開催数	参加者数（延べ）	令和元年度	9回	249人	令和2年度	10回	149人	継続	<p>運動習慣の定着を図ることで生活習慣病の予防に努めるための重要な事業である。新型コロナウイルス感染症の影響で、参加者は前年度より減少したが、感染症予防に十分留意しながら、継続参加を勧奨していく。</p>													
年度	開催数	参加者数（延べ）																										
令和元年度	9回	249人																										
令和2年度	10回	149人																										
<p>6 血圧・血糖コントロール不良者の保健指導 特定健診受診者のうち、医療機関を受診しているが、血圧や血糖の数値が改善されていない被保険者宅を訪問し、保健指導を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>実施者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,025人</td> <td>225人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>3,136人</td> <td>361人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	対象者数	実施者数	令和元年度	3,025人	225人	令和2年度	3,136人	361人	継続	<p>保健師等の専門職の確保が課題である中、県の国保ヘルスアップ支援事業（県栄養士会からの派遣）を活用したことで、実施者数を伸ばすことができた。引き続き、県の事業を有効に活用していく。</p>													
年度	対象者数	実施者数																										
令和元年度	3,025人	225人																										
令和2年度	3,136人	361人																										
<p>7 多受診者等への受診指導 重複受診、頻回受診、重複服薬者に対し、訪問により受診指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重複受診 1か月間に同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している者 ・ 頻回受診 1か月間に8回以上受診している者 ・ 重複服薬 1か月間に同系の医薬品が複数の医療機関（薬局）で処方され、その日数合計が60日を超える者 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">指導実施者</th> <th rowspan="2">指導後の行動変容率</th> </tr> <tr> <th>重複受診</th> <th>頻回受診</th> <th>重複服薬</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>0人</td> <td>21人</td> <td>11人</td> <td>30人</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>25人</td> <td>5人</td> <td>30人</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	指導実施者				指導後の行動変容率	重複受診	頻回受診	重複服薬	計	令和元年度	0人	21人	11人	30人	83.3%	令和2年度	0人	25人	5人	30人	100.0%	継続	<p>多受診者等への受診指導は、専門業者に委託しており、指導実施者数を30人に限定していることから、効果的な対象者の選定に努めていく。</p>
年度	指導実施者					指導後の行動変容率																						
	重複受診	頻回受診	重複服薬	計																								
令和元年度	0人	21人	11人	30人	83.3%																							
令和2年度	0人	25人	5人	30人	100.0%																							
<p>8 多剤通知事業 多剤併用による薬物有害事象を防ぐことを目的に、多くの薬剤を服用している者に対し、適切な服薬を促す通知書を送付し、薬剤使用の適正化につなげた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>通知件数</th> <th>医薬品数改善割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>580件</td> <td>28.8%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	通知件数	医薬品数改善割合	令和2年度	580件	28.8%	継続	<p>医師会及び薬剤師会の協力のもと、令和2年度から新規事業として多剤通知事業を実施した。通知による改善がみられたことから、今後も継続して実施していく。</p>																
年度	通知件数	医薬品数改善割合																										
令和2年度	580件	28.8%																										
<p>9 糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病未治療者に対する医療機関受診勧奨） 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、特定健診の結果、受診勧奨判定値以上の者に通知書を送付し、医療機関への受診を促した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13人</td> <td>5人</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>11人</td> <td>4人</td> <td>36.4%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実施者数	受診者数	受診率	令和元年度	13人	5人	38.5%	令和2年度	11人	4人	36.4%	継続	<p>再勧奨訪問は、4人を医療機関の受診につなげることができた。引き続き、医療機関との連携ツール（様式）を通知書に同封し、早期の受診を促していく。</p>										
年度	実施者数	受診者数	受診率																									
令和元年度	13人	5人	38.5%																									
令和2年度	11人	4人	36.4%																									

事業名		疾病予防費				(5款 保健事業費 1項 保健事業費 2目 疾病予防費)				決算書	137 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																		
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)																									
		14,977 【15,686】	15,350 【16,759】	13,770 【16,534】	【16,349】	新型コロナウイルス感染症の影響で、人間ドックを利用した者が前年度と比べて大幅に減少したことによる。																									
財 源 内 訳	療養給付費等交付金	1,869	0	0																											
	県負担金	13,108	4,458	5,809																											
	一般財源	0	10,892	7,961																											
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																				
<p>1 人間ドック受検費用の助成 疾病の早期発見、早期治療及び健康管理の促進を目的に、被保険者を対象に人間ドック受検費用の助成を行った。 (助成率 6割)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受検者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>622人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>515人</td> </tr> </tbody> </table>											年度	受検者数	令和元年度	622人	令和2年度	515人	継 続	<p>人間ドック受検は疾病予防に重要であり、また、特定健診の受診率にもつながるため、一定の効果はあった。受検者を増やすため、周知方法を検討していく。</p>													
年度	受検者数																														
令和元年度	622人																														
令和2年度	515人																														
<p>2 糖尿病性腎症重症化予防事業 糖尿病治療中断者に対する医療機関受診勧奨 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、糖尿病治療中断者に通知書を送付し、医療機関受診の再開を促した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>11人</td> <td>3人</td> <td>27.3%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13人</td> <td>9人</td> <td>69.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>糖尿病性腎症患者等に対する保健指導 人工透析への移行を防止するため、治療中の糖尿病性腎症患者や糖尿病性腎症の可能性の高い者に対し、進行予防に向けて、医療と連携した保健指導を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>											年度	対象者数	受診者数	受診率	令和元年度	11人	3人	27.3%	令和2年度	13人	9人	69.2%	年度	実施者数	令和元年度	3人	令和2年度	5人	継 続	<p>医療機関との連携強化を図り、引き続き、糖尿病治療中断者に対する医療機関受診勧奨及び糖尿病性腎症患者等に対する保健指導を実施していく。</p>	
年度	対象者数	受診者数	受診率																												
令和元年度	11人	3人	27.3%																												
令和2年度	13人	9人	69.2%																												
年度	実施者数																														
令和元年度	3人																														
令和2年度	5人																														

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		62,064 【62,616】	62,147 【66,169】	62,078 【65,484】	【62,184】	
財 源 内 訳	療養給付費等交付金	25,259	0	0		
	県負担金	36,746	26,420	37,121		
	繰入金	59	61	77		
	一般財源	0	35,666	24,880		

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性（担当課意見）

1 特定健康診査費事業

糖尿病等の生活習慣病予防に取り組むため、40歳から74歳までの被保険者を対象として、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。

令和2年度は未受診者159人に対し、集団健診を3回（平日1回、休日2回）実施した。

指標項目	基準	実績	目標
	平成24年度	令和元年度	令和5年度
特定健康診査受診率	39.9%	46.2%	60.0%

特定健康診査受診率

年度	対象者数	受診者数	受診率
平成30年度	12,973人	6,038人	46.5%
令和元年度	12,517人	5,781人	46.2%

最新の数値は令和元年度

継続

受診率は、少しずつではあるが上昇傾向にある。引き続き、受診率の向上を目指し、医療機関と連携を図りながら、平日夕方や休日の集団健診の回数を増やすなど、未受診者の受診機会を増やす取組を進めていく。

事業名		特定保健指導費事業費				(5款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費 2目 特定保健指導費事業費)		決算書	138 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																							
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）																												
		1,791	【2,493】	2,164	【4,402】	2,050	【4,452】																											
財 源 内 訳	療養給付費等交付金	904	0	0																														
	県負担金	887	2,164	2,050																														
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																								
<p>1 特定保健指導費事業 特定健康診査の結果を基に、リスクの高い該当者を階層化し、生活習慣病予防のための「特定保健指導」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>20.3%</td> <td>44.5%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特定保健指導実施率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>実施者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>640人</td> <td>226人</td> <td>35.3%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>649人</td> <td>289人</td> <td>44.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>最新の数値は令和元年度</p>												指標項目	基準	実績	目標	平成24年度	令和元年度	令和5年度	特定保健指導実施率	20.3%	44.5%	60.0%	年度	対象者数	実施者数	実施率	平成30年度	640人	226人	35.3%	令和元年度	649人	289人	44.5%
指標項目	基準	実績	目標																															
	平成24年度	令和元年度	令和5年度																															
特定保健指導実施率	20.3%	44.5%	60.0%																															
年度	対象者数	実施者数	実施率																															
平成30年度	640人	226人	35.3%																															
令和元年度	649人	289人	44.5%																															
										継 続	<p>実施率は年々上昇している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、訪問できなかった方には、再勧奨通知を送付し、数名ではあるが、指導に結び付けることができた。</p> <p>更なる実施率の向上を図るため、委託医療機関における健診の流れから指導に結び付ける方策について検討していく。</p>																							

(3) 後期高齢者医療事業特別会計決算の状況

歳入の状況

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 後期高齢者医療保険料	942,826	947,764	4,938	100.5
2 使用料及び手数料	100	69	31	69.0
3 繰入金	1,329,383	1,326,038	3,345	99.7
4 諸収入	78,601	72,932	5,669	92.8
5 繰越金	1,993	1,993	0	100.0
6 国庫支出金	316	316	0	100.0
合 計	2,353,219	2,349,113	4,106	99.8

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
881,723	66,041
91	21
1,239,471	86,567
61,974	10,958
1,612	381
0	316
2,184,871	164,242

歳出の状況

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
1 総務費	107,058	100,431	6,627	93.8
2 後期高齢者医療広域連合 納付金	2,243,861	2,242,672	1,189	99.9
3 諸支出金	2,300	963	1,338	41.9
合 計	2,353,219	2,344,066	9,153	99.6

(単位：千円、%)

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
86,020	14,411
2,096,292	146,380
565	397
2,182,878	161,188

歳入総額2,349,113千円 - 歳出総額2,344,066千円 - 翌年度へ繰越すべき財源0千円 = 実質収支5,047千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額(B - A)	収入率(B / A)
1款	後 期 高 齡 者 医 療 保 険 料	942,826	947,764	4,938	100.5
1項	後 期 高 齡 者 医 療 保 険 料	942,826	947,764	4,938	100.5
1目	特 別 徴 収 保 険 料	654,920	656,547	1,627	100.2
	現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料	654,920	656,547	1,627	100.2
2目	普 通 徴 収 保 険 料	287,906	291,217	3,311	101.1
	現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	282,520	285,936	3,416	101.2
	滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料	2,840	2,480	360	87.3
	過 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	2,546	2,801	255	110.0
2款	使 用 料 及 び 手 数 料	100	69	31	69.0
1項	手 数 料	100	69	31	69.0
1目	督 促 手 数 料	100	69	31	69.0
3款	繰 入 金	1,329,383	1,326,038	3,345	99.7
1項	一 般 会 計 繰 入 金	1,329,383	1,326,038	3,345	99.7
1目	事 務 費 繰 入 金	84,165	82,187	1,978	97.6
2目	保 険 基 盤 安 定 繰 入 金	214,691	214,690	1	100.0
3目	療 養 給 付 費 繰 入 金	1,016,865	1,016,865	0	100.0
4目	健 康 診 査 費 繰 入 金	13,662	12,296	1,366	90.0
4款	諸 収 入	78,601	72,932	5,669	92.8
1項	延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料	50	73	23	146.6
2項	償 還 金 及 び 還 付 加 算 金	2,300	962	1,338	41.8
3項	受 託 事 業 収 入	62,915	58,444	4,471	92.9
4項	雑 収 入	13,336	13,453	117	100.9
5款	繰 越 金	1,993	1,993	0	100.0
1項	繰 越 金	1,993	1,993	0	100.0
6款	国 庫 支 出 金	316	316	0	100.0
1項	国 庫 補 助 金	316	316	0	100.0
1目	高 齡 者 医 療 制 度 円 滑 運 営 事 業 費 補 助 金	316	316	0	100.0
	合 計	2,353,219	2,349,113	4,106	99.8

事業名	保健事業費		(1款 総務費		1項 総務管理費		1目 一般管理費		決算書	148 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																																				
決算額【予算額】			平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																							
			46,137 【47,217】	48,881 【50,375】	54,521 【59,955】		【8,298】																																									
財 源 内 訳	繰入金		2,493	2,482	2,580																																											
	諸収入		43,644	46,399	51,941																																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																						
<p>1 健康診査 後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施し、被保険者の健康維持に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13,435人</td> <td>5,081人</td> <td>37.8%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13,510人</td> <td>5,159人</td> <td>38.2%</td> </tr> </tbody> </table>										年度	対象者数	受診者数	受診率	令和元年度	13,435人	5,081人	37.8%	令和2年度	13,510人	5,159人	38.2%	<p>継続 後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病予防のための健康診査を実施している。体の異変に早い段階で気付き、早期に対処することは大変重要であり、今後も継続していく。</p>																										
年度	対象者数	受診者数	受診率																																													
令和元年度	13,435人	5,081人	37.8%																																													
令和2年度	13,510人	5,159人	38.2%																																													
<p>2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 高齢者の心身の多様な課題に対し、きめ細かな支援を実施するため、関係課と連携し一体的に保健事業に取り組んだ。 個別的支援（ハイリスクアプローチ）</p> <p>ア 低栄養防止事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>21人</td> <td>59件</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 糖尿病性腎症重症化予防事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>7人</td> <td>29件</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 生活習慣病（循環器系）予防事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>35人</td> <td>63件</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 健康状態不明者への支援事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施者数</th> <th>支援件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>58人</td> <td>64件</td> </tr> </tbody> </table> <p>通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ）</p> <p>ア 100歳体操3年目支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>関与した箇所数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>75か所</td> <td>980人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ みんな元気教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>関与した箇所数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4か所</td> <td>366人</td> </tr> </tbody> </table>										年度	実施者数	支援件数	令和2年度	21人	59件	年度	実施者数	支援件数	令和2年度	7人	29件	年度	実施者数	支援件数	令和2年度	35人	63件	年度	実施者数	支援件数	令和2年度	58人	64件	年度	関与した箇所数	延べ参加者数	令和2年度	75か所	980人	年度	関与した箇所数	延べ参加者数	令和2年度	4か所	366人	<p>継続 後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病の重症化予防やフレイル予防のために保健事業を実施している。庁内関係課だけでなく、市医師会や地域包括支援センター等の関係機関とも連携することで、高齢者の健康状態に応じた対応を行う。</p>		
年度	実施者数	支援件数																																														
令和2年度	21人	59件																																														
年度	実施者数	支援件数																																														
令和2年度	7人	29件																																														
年度	実施者数	支援件数																																														
令和2年度	35人	63件																																														
年度	実施者数	支援件数																																														
令和2年度	58人	64件																																														
年度	関与した箇所数	延べ参加者数																																														
令和2年度	75か所	980人																																														
年度	関与した箇所数	延べ参加者数																																														
令和2年度	4か所	366人																																														

事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	(2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 1目 後期高齢者医療広域連合納付金)	決算書	148 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
-----	----------------	---	-----	---------	------	------------

決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		2,001,145	【2,001,157】	2,086,149	【2,086,156】	2,232,956	【2,233,039】	【2,234,729】		
財 源 内 訳	繰入金	1,099,152		1,189,738		1,279,997				
	諸収入	73,810		15,010		4,378				
	一般財源	828,183		881,401		948,581				

主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------------------

1 後期高齢者医療広域連合納付金

後期高齢者医療広域連合が実施する後期高齢者医療に要する費用に充てるため、保険料収入及び一般会計からの繰入金を後期高齢者医療広域連合に納付した。

事務費負担金

後期高齢者医療広域連合の事務にかかる費用を高齢者や人口の割合等に応じて市町村に按分したもの

年度	金額
令和元年度	55,932千円
令和2年度	56,615千円

保険料負担金

射水市の被保険者の保険料収入を納付するもの

年度	金額
令和元年度	881,539千円
令和2年度	944,786千円

保険基盤安定制度負担金

射水市の低所得世帯に属する被保険者及び被扶養者の保険料の軽減分。負担金の3/4を、県から一般会計に収入している。

年度	金額
令和元年度	205,435千円
令和2年度	214,690千円

療養給付費負担金

療養給付費の市町村の定率公費負担分（1/12）を市町村の医療給付実績に応じて按分したもの

年度	金額
令和元年度	943,243千円
令和2年度	1,016,865千円

継続

被保険者数や医療費、1人当たり医療費が年々増加しており、今後もその傾向は、続いていくと考えられる。
保健事業等を実施し、医療費の抑制に努めていく。

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）																																																
<p><参考> 後期高齢者医療の状況</p> <p>平均被保険者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>173,610人</td> <td>176,723人</td> <td>180,507人</td> <td>181,541人</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>13,697人</td> <td>13,949人</td> <td>14,342人</td> <td>14,495人</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>158,297,312千円</td> <td>163,132,171千円</td> <td>168,626,570千円</td> <td>163,881,555千円</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>11,699,983千円</td> <td>12,460,911千円</td> <td>13,083,910千円</td> <td>12,654,981千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一人当たり医療費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県</td> <td>911,798円/人</td> <td>923,095円/人</td> <td>934,183円/人</td> <td>902,725円/人</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>854,200円/人</td> <td>893,319円/人</td> <td>912,279円/人</td> <td>873,058円/人</td> </tr> </tbody> </table>								平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	県	173,610人	176,723人	180,507人	181,541人	市	13,697人	13,949人	14,342人	14,495人		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	県	158,297,312千円	163,132,171千円	168,626,570千円	163,881,555千円	市	11,699,983千円	12,460,911千円	13,083,910千円	12,654,981千円		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	県	911,798円/人	923,095円/人	934,183円/人	902,725円/人	市	854,200円/人	893,319円/人	912,279円/人	873,058円/人		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																	
県	173,610人	176,723人	180,507人	181,541人																																																	
市	13,697人	13,949人	14,342人	14,495人																																																	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																	
県	158,297,312千円	163,132,171千円	168,626,570千円	163,881,555千円																																																	
市	11,699,983千円	12,460,911千円	13,083,910千円	12,654,981千円																																																	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																	
県	911,798円/人	923,095円/人	934,183円/人	902,725円/人																																																	
市	854,200円/人	893,319円/人	912,279円/人	873,058円/人																																																	

事業名		後期高齢者医療広域連合補助金				（ 2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 2目 後期高齢者医療広域連合補助金 ）		決算書	149 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課							
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）												
財源内訳	繰入金	9,974	10,144	9,717														
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）							
<p>1 後期高齢者医療広域連合補助金</p> <p>後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者を対象とする健康診査に要する費用に充てるため、基準額の3分の1を後期高齢者医療広域連合に補助した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>10,144千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>9,717千円</td> </tr> </tbody> </table>											年度	金額	令和元年度	10,144千円	令和2年度	9,717千円	継続	<p>後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査に要する費用の補助であり、継続して実施していく。</p>
年度	金額																	
令和元年度	10,144千円																	
令和2年度	9,717千円																	

(4) 介護保険事業特別会計決算の状況

歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 保険料	2,104,177	2,106,008	1,831	100.1
2 使用料及び手数料	100	111	11	111.0
3 国庫支出金	1,927,339	1,932,865	5,526	100.3
4 支払基金交付金	2,328,716	2,328,716	0	100.0
5 県支出金	1,281,406	1,281,139	267	100.0
6 財産収入	381	363	18	95.3
7 繰入金	1,543,445	1,436,468	106,977	93.1
8 繰越金	53,496	53,496	0	100.0
9 諸収入	2,514	2,863	349	113.9
合 計	9,241,574	9,142,028	99,546	98.9

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
2,139,839	33,831
134	23
1,971,454	38,589
2,312,625	16,091
1,261,638	19,501
354	9
1,394,150	42,318
112,252	58,756
7,692	4,829
9,200,138	58,109

歳出の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)
1 総務費	250,557	243,480	7,077	97.2
2 保険給付費	8,546,003	8,438,180	107,823	98.7
3 地域支援事業費	369,219	353,265	15,954	95.7
4 保健福祉事業費	2,058	1,401	657	68.1
5 基金積立金	382	363	19	95.0
6 公債費	50	0	50	0.0
7 諸支出金	62,567	62,293	274	99.6
8 予備費	10,738	0	10,738	0.0
合 計	9,241,574	9,098,982	142,592	98.5

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
244,478	998
8,342,143	96,037
367,740	14,474
0	1,401
16,280	15,917
0	0
176,000	113,708
0	0
9,146,641	47,659

歳入総額9,142,028千円 - 歳出総額9,098,982千円 - 翌年度へ繰越すべき財源0千円 = 実質収支43,046千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	保 険 料	2,104,177	2,106,008	1,831	100.1	5款	県 支 出 金	1,281,406	1,281,139	267	100.0
1項	介 護 保 険 料	2,104,177	2,106,008	1,831	100.1	1項	県 負 担 金	1,222,545	1,222,193	352	100.0
1目	第 1 号 被 保 険 者 保 険 料	2,104,177	2,106,008	1,831	100.1	1目	介 護 給 付 費 負 担 金	1,222,545	1,222,193	352	100.0
	現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料	1,977,167	1,979,284	2,117	100.1		現 年 度 分 介 護 給 付 費 負 担 金	1,222,545	1,222,193	352	100.0
	現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	123,010	122,642	368	99.7	2項	県 補 助 金	58,861	58,946	85	100.1
	滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料	4,000	4,082	82	102.0	1目	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	22,215	22,216	1	100.0
2款	使 用 料 及 び 手 数 料	100	111	11	111.0		現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	22,214	22,216	2	100.0
1項	手 数 料	100	111	11	111.0		過 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	1	0	1	0.0
1目	督 促 手 数 料	100	111	11	111.0	2目	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	36,646	36,729	83	100.2
3款	国 庫 支 出 金	1,927,339	1,932,865	5,526	100.3		現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	36,645	36,729	84	100.2
1項	国 庫 負 担 金	1,473,913	1,473,914	1	100.0		過 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	1	0	1	0.0
1目	介 護 給 付 費 負 担 金	1,473,913	1,473,914	1	100.0	6款	財 産 収 入	381	363	18	95.3
	現 年 度 分 介 護 給 付 費 負 担 金	1,473,913	1,473,914	1	100.0	1項	財 産 運 用 収 入	381	363	18	95.3
2項	国 庫 補 助 金	453,426	458,951	5,525	101.2	1目	利 子 及 び 配 当 金	381	363	18	95.3
1目	調 整 交 付 金	288,477	293,832	5,355	101.9	7款	繰 入 金	1,543,445	1,436,468	106,977	93.1
	現 年 度 分 調 整 交 付 金	288,477	293,832	5,355	101.9	1項	一 般 会 計 繰 入 金	1,457,584	1,436,468	21,116	98.6
2目	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	35,545	35,546	1	100.0	1目	介 護 給 付 費 繰 入 金	1,067,907	1,054,465	13,442	98.7
	現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	35,544	35,546	2	100.0	2目	地 域 支 援 事 業 繰 入 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	22,222	20,951	1,271	94.3
	過 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	1	0	1	0.0	3目	地 域 支 援 事 業 繰 入 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	37,729	36,732	997	97.4
3目	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	73,290	73,459	169	100.2	4目	低 所 得 者 保 険 料 軽 減 繰 入 金	84,946	84,223	723	99.1
	現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	73,289	73,459	170	100.2	5目	そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金 (介 護 保 険 事 業)	244,605	240,030	4,575	98.1
	過 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)	1	0	1	0.0	6目	そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金 (地 域 支 援 事 業)	175	67	108	38.2
4目	介 護 保 険 事 務 処 理 シ ス テ ム 改 修 事 業 補 助 金	3,085	3,085	0	100.0	2項	基 金 繰 入 金	85,861	0	85,861	0.0
	介 護 保 険 事 務 処 理 シ ス テ ム 改 修 事 業 補 助 金	3,085	3,085	0	100.0	1目	介 護 保 険 事 業 財 政 調 整 基 金 繰 入 金	85,861	0	85,861	0.0
5目	保 険 者 機 能 強 化 推 進 交 付 金	19,908	19,908	0	100.0	8款	繰 越 金	53,496	53,496	0	100.0
	保 険 者 機 能 強 化 推 進 交 付 金	19,908	19,908	0	100.0	1項	繰 越 金	53,496	53,496	0	100.0
7目	介 護 保 険 災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金	13,480	13,480	0	100.0	9款	諸 収 入	2,514	2,863	349	113.9
	介 護 保 険 災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金	13,480	13,480	0	100.0	1項	延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料	1	190	189	18,970.0
8目	介 護 保 険 保 険 者 努 力 支 援 交 付 金	19,641	19,641	0	100.0	1目	第 1 号 被 保 険 者 延 滞 金	1	190	189	18,970.0
	介 護 保 険 保 険 者 努 力 支 援 交 付 金	19,641	19,641	0	100.0	2項	雑 入	2,513	2,674	161	106.4
4款	支 払 基 金 交 付 金	2,328,716	2,328,716	0	100.0	1目	弁 償 金	1	0	1	0.0
1項	支 払 基 金 交 付 金	2,328,716	2,328,716	0	100.0	2目	第 三 者 納 付 金	2,457	2,456	1	100.0
1目	介 護 給 付 費 交 付 金	2,280,730	2,280,730	0	100.0	3目	返 納 金	1	0	1	0.0
	現 年 度 分 介 護 給 付 費 交 付 金	2,280,730	2,280,730	0	100.0	4目	雑 入	54	217	163	402.3
2目	地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	47,986	47,986	0	100.0		合 計	9,241,574	9,142,028	99,546	98.9
	現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	47,985	47,986	1	100.0						
	過 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)	1	0	1	0.0						

事業名		介護認定審査会事業費				(1款 総務費 3項 介護認定審査会費 1目 介護認定審査会費)		決算書	164 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		10,306 【11,302】	9,646 【10,702】	8,023 【8,701】	【10,761】	令和元年10月以降、審査会1回当たりの出席委員数が4人から3人になり、報酬支払額が減少したことによる。 令和2年に新型コロナウイルス感染症に係る認定有効期間を合算する取扱いにより審査会開催数が減少し、報酬支払額が減少したことによる。					
財 源 内 訳	繰入金	10,306	9,646	8,023							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 介護認定審査会事業</p> <p>保健、医療、福祉の専門家から構成された介護認定審査会を開催し、要介護・要支援申請者の審査判定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員数 41人(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日) ・ 合議体数 8 <p>認定審査会の開催</p> <p>要介護・要支援申請者の審査判定を行うために、毎週月・水曜日に、それぞれ2合議体が隔週で審査会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催回数年間 148回 (令和元年度 163回) ・ 審査件数年間 3,845件 (令和元年度 4,646件) <p>全体会</p> <p>委員改選年に開催するため、令和2年度は開催されなかった。</p> <p>正副委員長会議</p> <p>令和3年度の審査会運営体制に関する協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催日 令和3年2月26日 ・ 出席者 13人 										<p>継続</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る観点から認定調査が困難な場合においては、申出により当該被保険者の要介護・要支援認定の有効期間に12か月を合算する臨時的な取扱いが496件あったことから、審査件数及び審査会開催数が減少した。</p> <p>高齢化率の増加に伴い、今後も要介護等認定者数の増加が見込まれるため、適正かつ迅速な審査会の実施を図る。</p>	

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)
		30,639【36,530】	28,522【32,078】	22,291【24,736】	【32,391】	
財 源 内 訳	繰入金	30,639	28,522	22,291		平成30年度に認定調査委託事業所とのモバイル通信機器の整備が終了したことによる。 また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に係る認定有効期間の合算申請により、調査件数が減少したことによる。

主な事業内容・成果 評価と今後の方向性(担当課意見)

<p>1 認定調査事務費 要介護等認定申請の際に認定調査及び認定調査員の資質向上を図るために研修会を実施した。</p> <p>認定調査 要介護等認定申請の際に市の職員等が被保険者の自宅を訪問し、心身の状態を調べるために、本人と家族などに対し聞き取り調査を行った。会計年度任用職員が行う調査(直営)と、居宅介護支援事業所や介護保険老人施設等に委託する調査がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査件数 3,850件(委託 1,169件、直営 2,681件)(令和元年度 4,664件(委託 1,700件、直営 2,964件)) <p>認定調査員研修の実施 認定調査に従事する者及び従事する予定の者が、要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適正な認定調査を実施するために必要な知識、技能を修得することを目的に研修を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新任認定調査員研修(eラーニング受講等)</td> <td>令和2年5月1日～5月15日</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現任認定調査員研修(eラーニング受講等)</td> <td>令和2年4月23日～5月8日</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>令和2年10月15日～10月22日</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>新任認定調査員研修(記載指導及び演習)</td> <td>令和2年11月2日</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>新任認定調査員研修(記載指導及び演習)</td> <td>令和2年11月18日</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>主治医意見書作成料 要介護認定審査会の審査判定の資料となる主治医意見書作成に関する費用を主治医の医療機関へ支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支払件数 3,862件 (令和元年度 4,662件) 支払金額 17,416,264円 (令和元年度 20,723,420円) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th>基準</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康な高齢者の割合</td> <td>82.1%</td> <td>81.6%</td> <td>78.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催日	参加者	新任認定調査員研修(eラーニング受講等)	令和2年5月1日～5月15日	10人	現任認定調査員研修(eラーニング受講等)	令和2年4月23日～5月8日	7人	令和2年10月15日～10月22日	12人	新任認定調査員研修(記載指導及び演習)	令和2年11月2日	5人	新任認定調査員研修(記載指導及び演習)	令和2年11月18日	4人	指標項目	基準	実績	目標	平成25年度	令和2年度	令和5年度	健康な高齢者の割合	82.1%	81.6%	78.0%	<p>継続</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る観点から認定調査が困難な場合においては、申出により当該被保険者の要介護・要支援認定の有効期間に12か月を合算する臨時的な取扱いが496件あったことから、更新申請及び調査件数が減少した。 高齢化率の増加に伴い、今後も要介護等認定者数の増加が見込まれるため、認定調査員の更なる資質向上を図る。</p>
区分	開催日	参加者																											
新任認定調査員研修(eラーニング受講等)	令和2年5月1日～5月15日	10人																											
現任認定調査員研修(eラーニング受講等)	令和2年4月23日～5月8日	7人																											
	令和2年10月15日～10月22日	12人																											
新任認定調査員研修(記載指導及び演習)	令和2年11月2日	5人																											
新任認定調査員研修(記載指導及び演習)	令和2年11月18日	4人																											
指標項目	基準	実績	目標																										
	平成25年度	令和2年度	令和5年度																										
健康な高齢者の割合	82.1%	81.6%	78.0%																										

事業名		事業計画策定・推進費（繰越明許）				（ 1款 総務費 4項 事業計画推進委員会費 1目 事業計画推進委員会費 ）		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
				2,574 【2,574】							
財 源 内 訳	一般財源			2,574							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 事業計画策定・推進費 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定に向けた基礎調査を委託した。 基礎調査 日常生活圏域ニーズ調査（2,000人）、在宅介護実態調査（600人） 委託先 ㈱ぎょうせい 東海支社 委託期間 令和元年12月13日～令和2年5月31日 委託料 2,574千円										完了	計画策定に向け、分析・課題の抽出等を的確に行うことができた。

事業名		事業計画策定・推進費				（ 1款 総務費 4項 事業計画推進委員会費 1目 事業計画推進委員会費 ）		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）					
		81 【216】	1,125 【3,768】	3,453 【3,782】	【200】	令和3年度から令和5年度までを計画期間とする、高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定による。					
財 源 内 訳	繰入金	81	1,125	3,453							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 事業計画策定・推進費 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画を策定した。 委託先 ㈱ぎょうせい 東海支社 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 3,190千円										完了	豊富な実績から専門的・客観的なアドバイスを得ることができ、計画策定業務を円滑に進めることができた。

事業名		居宅介護サービス費				(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 1目 居宅介護サービス費)				決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																			
		2,906,771 【2,932,482】		3,010,311 【3,020,020】		3,063,634 【3,107,304】		【3,126,574】																																					
財 源 内 訳	国庫負担金	諸収入	581,844	2,894	601,989	7,367	591,001	2,456			要介護認定者数の増加に伴い、サービス利用者が増加したことによる。																																		
	国庫補助金	一般財源	97,170	664,755	99,780	735,005	103,265	738,778																																					
	支払基金交付金		830,165		812,066		828,060																																						
	県負担金		362,843		374,264		386,653																																						
	繰入金		367,100		379,840		413,421																																						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																																		
<p>1 居宅介護サービス費</p> <p>要介護認定者が生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延べ利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">訪問介護</td> <td>令和元年度</td> <td>6,998人</td> <td>72,589円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>7,377人</td> <td>76,812円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通所介護</td> <td>令和元年度</td> <td>14,489人</td> <td>67,989円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>14,431人</td> <td>67,215円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">短期入所生活介護</td> <td>令和元年度</td> <td>5,396人</td> <td>82,570円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4,785人</td> <td>83,520円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居宅介護支援</td> <td>令和元年度</td> <td>27,218人</td> <td>14,118円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>28,070人</td> <td>14,272円</td> </tr> </tbody> </table>											サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月	訪問介護	令和元年度	6,998人	72,589円	令和2年度	7,377人	76,812円	通所介護	令和元年度	14,489人	67,989円	令和2年度	14,431人	67,215円	短期入所生活介護	令和元年度	5,396人	82,570円	令和2年度	4,785人	83,520円	居宅介護支援	令和元年度	27,218人	14,118円	令和2年度	28,070人	14,272円	継続	引き続き自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。	
サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月																																										
訪問介護	令和元年度	6,998人	72,589円																																										
	令和2年度	7,377人	76,812円																																										
通所介護	令和元年度	14,489人	67,989円																																										
	令和2年度	14,431人	67,215円																																										
短期入所生活介護	令和元年度	5,396人	82,570円																																										
	令和2年度	4,785人	83,520円																																										
居宅介護支援	令和元年度	27,218人	14,118円																																										
	令和2年度	28,070人	14,272円																																										

事業名		介護予防サービス費						(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 2目 介護予防サービス費)		決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課		
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)					
		121,183 【121,388】		127,336 【128,984】		119,233 【120,974】		【126,598】		要支援認定者数の減少に伴い、サービス利用者が減少したことによる。 また、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、サービスの利用控えがあったと考えられることによる。					
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	24,255	27,838	25,464	27,983	23,002	25,499							
	国庫補助金		4,051		4,221		4,019								
	支払基金交付金		34,610		34,350		32,227								
	県負担金		15,126		19,251		18,396								
	繰入金		15,303		16,067		16,090								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)				
1 介護予防サービス費 要支援認定者が、生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行った。															
サービス区分			年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月		継続 引き続き自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。								
介護予防通所リハビリテーション			令和元年度	1,171人	32,190円										
			令和2年度	1,004人	32,618円										
介護予防短期入所生活介護			令和元年度	127人	28,970円										
			令和2年度	85人	33,834円										
介護予防支援			令和元年度	6,218人	4,401円										
			令和2年度	6,096人	4,394円										

事業名		施設介護サービス費				(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 3目 施設介護サービス費)				決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																			
		2,771,490 【2,791,296】		2,847,558 【2,847,559】		2,811,331 【2,843,898】		【2,888,677】		<p>平成31年2月に市内の介護療養型医療施設の49床(全99床)が医療病床に転換したことから、給付費が減少したことによる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、新規入所が控えられたことから、給付費が減少したことによる。</p>																																			
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	416,193	636,575	427,064	702,236	401,763	680,187																																					
	国庫補助金		92,647		94,384		94,762																																						
	支払基金交付金		791,528		768,162		759,866																																						
	県負担金		484,532		496,408		495,378																																						
	繰入金		350,015		359,304		379,375																																						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																																		
<p>1 施設介護サービス費</p> <p>在宅での生活が困難な要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護及びその他の日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話や看護・医学管理下での介護などを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延べ利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">介護老人福祉施設</td> <td>令和元年度</td> <td>6,726人</td> <td>257,373円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>6,644人</td> <td>261,828円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護老人保健施設</td> <td>令和元年度</td> <td>2,566人</td> <td>279,075円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,431人</td> <td>282,442円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護療養型医療施設</td> <td>令和元年度</td> <td>245人</td> <td>366,587円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>74人</td> <td>374,801円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護医療院</td> <td>令和元年度</td> <td>792人</td> <td>392,104円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>936人</td> <td>381,830円</td> </tr> </tbody> </table>														サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月	介護老人福祉施設	令和元年度	6,726人	257,373円	令和2年度	6,644人	261,828円	介護老人保健施設	令和元年度	2,566人	279,075円	令和2年度	2,431人	282,442円	介護療養型医療施設	令和元年度	245人	366,587円	令和2年度	74人	374,801円	介護医療院	令和元年度	792人	392,104円	令和2年度	936人	381,830円
サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月																																										
介護老人福祉施設	令和元年度	6,726人	257,373円																																										
	令和2年度	6,644人	261,828円																																										
介護老人保健施設	令和元年度	2,566人	279,075円																																										
	令和2年度	2,431人	282,442円																																										
介護療養型医療施設	令和元年度	245人	366,587円																																										
	令和2年度	74人	374,801円																																										
介護医療院	令和元年度	792人	392,104円																																										
	令和2年度	936人	381,830円																																										
											<p>令和5年度末をもって介護療養型医療施設が廃止となることに伴い、順次、介護医療院への転換が図られていることから、前年度比が増減している。</p> <p>引き続き、介護や治療の必要性に応じた施設利用を支援していく。</p>																																		

事業名		地域密着型介護サービス費				(2款 保険給付費 1項 介護サービス等諸費 4目 地域密着型介護サービス費)				決算書	165 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																																																																			
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																																																						
		1,761,025 【1,761,025】		1,890,666 【1,917,466】		1,970,559 【1,993,982】		【2,166,657】		令和2年4月に認知症対応型共同生活介護施設（18床）が開設し、実績が大幅に増加したことによる。																																																																																						
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	352,502	404,486	378,087	466,257	380,137	476,768																																																																																								
	国庫補助金		58,868		62,667		66,422																																																																																									
	支払基金交付金		502,943		510,029		532,616																																																																																									
	県負担金		219,823		235,062		248,700																																																																																									
	繰入金		222,403		238,564		265,916																																																																																									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																																																																																					
<p>1 地域密着型介護サービス費</p> <p>市内に住民登録がある要介護認定を受けた高齢者等が、住み慣れた地域での生活を続けることができるよう、地域の特性を生かしたサービスの提供を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延べ利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td> <td>令和元年度</td> <td>364人</td> <td>141,289円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>394人</td> <td>151,962円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">夜間対応型訪問介護</td> <td>令和元年度</td> <td>41人</td> <td>18,457円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>23人</td> <td>16,925円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地域密着型通所介護</td> <td>令和元年度</td> <td>4,123人</td> <td>70,893円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4,298人</td> <td>70,648円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認知症対応型通所介護</td> <td>令和元年度</td> <td>1,356人</td> <td>95,875円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>1,388人</td> <td>98,839円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小規模多機能型居宅介護</td> <td>令和元年度</td> <td>2,979人</td> <td>186,268円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,943人</td> <td>190,460円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">認知症対応型共同生活介護</td> <td>令和元年度</td> <td>2,719人</td> <td>246,575円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,902人</td> <td>246,932円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防認知症対応型通所介護</td> <td>令和元年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防小規模多機能型居宅介護</td> <td>令和元年度</td> <td>246人</td> <td>70,805円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>212人</td> <td>66,298円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">介護予防認知症対応型共同生活介護</td> <td>令和元年度</td> <td>4人</td> <td>181,181円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小規模特別養護老人ホーム</td> <td>令和元年度</td> <td>356人</td> <td>288,990円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>352人</td> <td>284,406円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合型サービス （看護小規模多機能）</td> <td>令和元年度</td> <td>304人</td> <td>229,709円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>322人</td> <td>242,780円</td> </tr> </tbody> </table>														サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	令和元年度	364人	141,289円	令和2年度	394人	151,962円	夜間対応型訪問介護	令和元年度	41人	18,457円	令和2年度	23人	16,925円	地域密着型通所介護	令和元年度	4,123人	70,893円	令和2年度	4,298人	70,648円	認知症対応型通所介護	令和元年度	1,356人	95,875円	令和2年度	1,388人	98,839円	小規模多機能型居宅介護	令和元年度	2,979人	186,268円	令和2年度	2,943人	190,460円	認知症対応型共同生活介護	令和元年度	2,719人	246,575円	令和2年度	2,902人	246,932円	介護予防認知症対応型通所介護	令和元年度	0人	0円	令和2年度	0人	0円	介護予防小規模多機能型居宅介護	令和元年度	246人	70,805円	令和2年度	212人	66,298円	介護予防認知症対応型共同生活介護	令和元年度	4人	181,181円	令和2年度	0人	0円	小規模特別養護老人ホーム	令和元年度	356人	288,990円	令和2年度	352人	284,406円	複合型サービス （看護小規模多機能）	令和元年度	304人	229,709円	令和2年度	322人	242,780円	継続	今後も引き続き地域のニーズを反映させた地域密着型サービスの提供を進めていく。
サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月																																																																																													
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	令和元年度	364人	141,289円																																																																																													
	令和2年度	394人	151,962円																																																																																													
夜間対応型訪問介護	令和元年度	41人	18,457円																																																																																													
	令和2年度	23人	16,925円																																																																																													
地域密着型通所介護	令和元年度	4,123人	70,893円																																																																																													
	令和2年度	4,298人	70,648円																																																																																													
認知症対応型通所介護	令和元年度	1,356人	95,875円																																																																																													
	令和2年度	1,388人	98,839円																																																																																													
小規模多機能型居宅介護	令和元年度	2,979人	186,268円																																																																																													
	令和2年度	2,943人	190,460円																																																																																													
認知症対応型共同生活介護	令和元年度	2,719人	246,575円																																																																																													
	令和2年度	2,902人	246,932円																																																																																													
介護予防認知症対応型通所介護	令和元年度	0人	0円																																																																																													
	令和2年度	0人	0円																																																																																													
介護予防小規模多機能型居宅介護	令和元年度	246人	70,805円																																																																																													
	令和2年度	212人	66,298円																																																																																													
介護予防認知症対応型共同生活介護	令和元年度	4人	181,181円																																																																																													
	令和2年度	0人	0円																																																																																													
小規模特別養護老人ホーム	令和元年度	356人	288,990円																																																																																													
	令和2年度	352人	284,406円																																																																																													
複合型サービス （看護小規模多機能）	令和元年度	304人	229,709円																																																																																													
	令和2年度	322人	242,780円																																																																																													

事業名		特定入所者介護サービス費		(2款 保険給付費 2項 特定入所者介護サービス等費 1目 特定入所者介護サービス費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																	
		272,528 【273,921】		270,811 【273,969】		267,691 【269,951】		【245,749】																																			
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	41,055	62,599	40,707	66,785	38,324	64,767		新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、施設入所者数及び短期入所者数が減少したことによる。																																	
	国庫補助金		9,110		8,976		9,023																																				
	支払基金交付金		77,832		73,054		72,353																																				
	県負担金		47,515		47,118		47,101																																				
	繰入金		34,417		34,171		36,123																																				
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)																																	
<p>1 特定入所者介護サービス費 市町村民税非課税世帯の要介護認定者が一定の条件を満たした場合、申請により介護保険施設等の入所やショートステイを利用した際の食費や居住費の軽減を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延べ利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定入所者介護サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>8,429人</td> <td>31,910円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>8,255人</td> <td>32,261円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特例特定入所者介護サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>94人</td> <td>16,693円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>90人</td> <td>13,898円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特定入所者介護予防サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>40人</td> <td>6,783円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>26人</td> <td>4,991円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特例特定入所者介護予防サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> </tbody> </table>											サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月	特定入所者介護サービス	令和元年度	8,429人	31,910円	令和2年度	8,255人	32,261円	特例特定入所者介護サービス	令和元年度	94人	16,693円	令和2年度	90人	13,898円	特定入所者介護予防サービス	令和元年度	40人	6,783円	令和2年度	26人	4,991円	特例特定入所者介護予防サービス	令和元年度	0人	0円	令和2年度	0人	0円	継続 今後も低所得者の支援として事業を継続する。
サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月																																								
特定入所者介護サービス	令和元年度	8,429人	31,910円																																								
	令和2年度	8,255人	32,261円																																								
特例特定入所者介護サービス	令和元年度	94人	16,693円																																								
	令和2年度	90人	13,898円																																								
特定入所者介護予防サービス	令和元年度	40人	6,783円																																								
	令和2年度	26人	4,991円																																								
特例特定入所者介護予防サービス	令和元年度	0人	0円																																								
	令和2年度	0人	0円																																								

事業名		高額介護サービス費				(2款 保険給付費 3項 高額介護サービス等費 1目 高額介護サービス費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																													
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)																																
		171,838 【176,209】		186,823 【189,272】		196,922 【200,771】		【202,667】																																		
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	34,397	39,469	37,360	46,072	37,988	47,643																																		
	国庫補助金		5,744		6,192		6,638																																			
	支払基金交付金		49,076		50,398		53,226																																			
	県負担金		21,450		23,228		24,853																																			
	繰入金		21,702		23,573		26,574																																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)																															
<p>1 高額介護サービス費</p> <p>高額介護・高額介護予防サービス費</p> <p>同じ月に利用した介護保険の利用者負担の合計(同じ世帯内に複数の利用者がある場合には、世帯合計)が、上限額を超える場合は申請により超えた分を後から支給する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延べ利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高額介護サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>14,318人</td> <td>11,416円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>14,458人</td> <td>11,696円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高額介護予防サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>96人</td> <td>1,084円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>63人</td> <td>864円</td> </tr> </tbody> </table> <p>高額医療合算介護(予防)サービス費</p> <p>介護保険と医療保険の両方の負担額が高額になったとき、年間の負担額を合算して限度額を超える場合は申請により超えた分を後から支給する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス区分</th> <th>年度</th> <th>年間延べ利用者数</th> <th>1人当たり給付費/月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高額医療合算介護(予防)サービス</td> <td>令和元年度</td> <td>810人</td> <td>25,987円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>890人</td> <td>27,822円</td> </tr> </tbody> </table>											サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月	高額介護サービス	令和元年度	14,318人	11,416円	令和2年度	14,458人	11,696円	高額介護予防サービス	令和元年度	96人	1,084円	令和2年度	63人	864円	サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月	高額医療合算介護(予防)サービス	令和元年度	810人	25,987円	令和2年度	890人	27,822円	継続	<p>前年度と比較すると介護サービス費の利用者及び給付費が増加している。また、高額医療合算介護(予防)サービス費も利用者及び給付費が増加している。</p> <p>今後も利用者の負担軽減のため、適切な支給を図る。</p>	
サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月																																							
高額介護サービス	令和元年度	14,318人	11,416円																																							
	令和2年度	14,458人	11,696円																																							
高額介護予防サービス	令和元年度	96人	1,084円																																							
	令和2年度	63人	864円																																							
サービス区分	年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月																																							
高額医療合算介護(予防)サービス	令和元年度	810人	25,987円																																							
	令和2年度	890人	27,822円																																							

事業名	審査支払手数料		(2款 保険給付費 4項 その他諸費		1目 審査支払手数料)		決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			8,264 【8,975】		8,639 【8,639】		8,809 【9,123】		【8,921】		
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	1,654	1,896	1,728	2,131	1,700	2,130			介護給付の適正化事業の強化により過誤調整件数が増加したため、審査件数が増加したことによる。
	国庫補助金		278		286		297				
	支払基金交付金		2,360		2,330		2,381				
	県負担金		1,032		1,074		1,112				
	繰入金		1,044		1,090		1,189				
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護報酬請求明細書審査支払手数料											
富山県国民健康保険団体連合会が介護給付費に係る審査支払を行う手数料（1件当たり70円）											
サービス区分		年間延べ利用件数								継続	
		令和元年度	令和2年度								
審査支払手数料		123,413件	125,848件							富山県国民健康保険団体連合会は、保険給付を行うための必要な業務（介護給付の資格審査、支給限度額の管理等）を担っており、引き続き事業を継続していく。	

事業名		一般介護予防事業費				(3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 一般介護予防事業費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課																				
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																							
		32,403 【35,767】		33,442 【36,480】		38,196 【41,039】		【45,187】																									
財 源 内 訳	国庫補助金	8,341		8,490		17,269																											
	支払基金交付金	9,657		9,399		11,140																											
	県補助金	4,471		4,593		5,157																											
	繰入金	4,050		4,180		4,630																											
	一般財源	5,884		6,780		0																											
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																						
<p>高齢者等を対象に、要介護状態となっても、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを図るため、介護予防の普及・啓発と介護予防活動の支援を行った。</p> <p>1 介護予防普及啓発事業</p> <p>介護予防きときと倶楽部 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等に関する教室を開催し、介護予防に関する正しい知識の普及・啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 15回、延べ参加者数 194人（令和元年度 開催回数 57回、延べ参加者数 907人） <p>脳いきいき健康講座 軽度認知障害の疑いのある人、認知症について不安のある人及び家族が相談や受診等、早期に適切な対応ができるよう講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 14回、延べ参加者数 232人（令和元年度 開催回数 46回、延べ参加者数 865人） <p>いみずお茶の間介護予防講座 外出自粛中の高齢者の「生活不活発病」を予防するために、介護予防講座をケーブルテレビでの放送やYouTubeでの動画配信を行った。 放送期間：令和2年12月14日～令和3年3月7日</p>											<p>継続</p> <p>引き続き出前講座を開催し、高齢者の介護予防、認知症予防を推進する。</p> <p>脳いきいき健康講座の中で、認知機能検診を周知し、軽度認知障害の早期発見、早期対応を行うことで認知症の重症化を予防する。</p>																						
<p>2 地域介護予防活動支援事業</p> <p>きららか射水100歳体操普及事業 住民が、身近な場所で主体的に取り組むことができ、介護予防に効果のあるおもりを使用した体操の普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施グループ数 139グループ、参加者数 2,561人（令和元年度 130グループ、2,493人） 「きららか射水100歳体操ダイジェスト版」を作成し、ケーブルテレビでの放送やYouTubeでの動画配信を行った。 <p>地域ふれあいサロン事業 高齢者等が、健康で生きがいをもって安心して暮らせる地域づくりを実現するため、地域の活動拠点として設置し、その活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催箇所数 157か所（令和元年度 166か所） <p>地域支え合いネットワーク事業 地域包括ケアシステム構築に向け、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができる地域の支え合い体制の整備及び多様な生活支援サービスの創出を行う団体に対し支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施地域数 26地域（令和元年度 20地域） <table border="1" data-bbox="163 1361 1272 1465"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標項目</th> <th colspan="2">基準</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民型サービス提供団体数</td> <td colspan="2">団体</td> <td colspan="2">26団体</td> <td colspan="2">27団体</td> </tr> </tbody> </table>														指標項目	基準		実績		目標		平成27年度	令和2年度	令和2年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	住民型サービス提供団体数	団体		26団体		27団体	
指標項目	基準		実績		目標																												
	平成27年度	令和2年度	令和2年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度																											
住民型サービス提供団体数	団体		26団体		27団体																												

事業名		健康づくり推進員育成事業費 (3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 一般介護予防事業費)						決算書		166 ページ		担当部課		福祉保健部保健センター		
決算額【予算額】			平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)					
			843	【920】	661	【769】	530	【848】								
財 源 内 訳	国庫補助金	一般財源	193	182	174	88	138	93								
	支払基金交付金		236		188		159									
	県補助金		109		92		74									
	繰入金		103		82		66									
	諸収入		20		37		0									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)					
<p>1 地域の健康づくりの原動力となる食生活改善推進員及びヘルスボランティアの養成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルスボランティア養成講座修了者 7人 ヘルスボランティアの再教育 4回 174人 栄養教室修了者 9人 食生活改善推進員の再教育 9回 381人 											継 続	ヘルスボランティア養成講座、栄養教室にて健康づくりボランティアの養成、また、再教育により資質の向上を図った。 第2次射水市健康増進プランに基づき、各ボランティアと共に地域のつながりを生かした健康づくり活動の推進を目指していく。				

事業名		介護予防・生活支援サービス事業費 (3款 地域支援事業費 1項 介護予防・日常生活支援総合事業費 2目 介護予防・生活支援サービス事業費)				決算書	166 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		145,663 【152,150】	147,479 【152,201】	130,034 【135,886】	【147,343】	新型コロナウイルス感染症の感染予防に伴うサービスの利用控えの影響により、利用者数が減少したことによる。			
財 源 内 訳	国庫補助金	35,068	35,278	52,680					
	支払基金交付金	41,080	38,604	36,687					
	県補助金	19,019	18,864	16,985					
	繰入金	18,208	18,435	16,255					
	一般財源	32,288	36,298	7,427					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 介護予防・生活支援サービス事業費									
サービス区分		年度	年間延べ利用者数	1人当たり給付費/月		継 続 今後とも要支援相当者の介護予防・ 重度化防止の事業として継続して実 施する。			
訪問介護相当サービス費		令和元年度	347人	17,243円					
		令和2年度	281人	17,670円					
訪問型Aサービス費		令和元年度	1,171人	12,016円					
		令和2年度	908人	12,155円					
通所介護相当サービス費		令和元年度	4,658人	21,555円					
		令和2年度	4,055人	22,160円					
通所型Aサービス費		令和元年度	838人	10,115円					
		令和2年度	801人	10,565円					
通所型Cサービス費		令和元年度	33人	25,691円					
		令和2年度	13人	26,308円					
介護予防ケアマネジメント費		令和元年度	3,743人	4,436円					
		令和2年度	3,245人	4,430円					
高額総合事業サービス費		令和元年度	129人	2,002円					
		令和2年度	101人	2,829円					

事業名		地域包括支援センター運営費 (3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業費)						決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)	
		99,968 【100,768】		99,527 【100,883】		102,677 【103,552】		【106,073】		令和2年度から小杉南地域包括支援センター圏域の体制強化職員を配置したことに伴い、委託料が増額したことによる。	
財 源 内 訳	国庫補助金	38,796		38,840		39,868					
	県補助金	19,398		19,420		19,934					
	繰入金	19,244		19,159		19,765					
	一般財源	22,530		22,108		23,110					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性(担当課意見)	
<p>1 保健師(看護師)・主任ケアマネジャー・社会福祉士・認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター等を配置する地域包括支援センターを市内5か所に設置し、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントや介護予防事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合相談実施件数 実人員 3,280人 (令和元年度 3,032人) <li style="padding-left: 20px;">相談延べ件数 11,281件 (令和元年度 8,979件) 委託先 (福)射水万葉会、(福)喜寿会、(福)小杉福祉会、(福)大門福祉会 委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 委託料 90,000千円 										継続	増加する高齢者の相談や、多様化するニーズに対応できるよう、地域包括支援センターの体制強化を図るとともに今後の在り方を検討する。

事業名		地域ケア推進事業費				(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業費)				決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		53,228 【56,820】		56,349 【58,442】		53,269 【57,292】		【57,400】					
財 源 内 訳	国庫補助金		21,876		21,963		31,621						
	県補助金		10,938		10,981		10,940						
	繰入金		10,246		10,676		10,608						
	諸収入		0		0		100						
	一般財源		10,168		12,729		0						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
<p>1 在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けるため、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、医療機関と介護事業者関係者の連携を図った。</p> <p>在宅医療・介護連携推進協議会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回（令和元年度 年間3回） <p>在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 177件（令和元年度 133件） <p>市民講座の開催</p> <p>ケーブルテレビ放送や市ホームページYou Tubeでの配信を行った。</p> <p>一部事業を（公）射水市医師会に委託している。</p> <p>委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>委託料 1,600千円</p>											継 続	<p>在宅療養者が安心して生活を送ることを支援する多職種連携支援システム（ICTツール）の活用を推進し、更なる在宅医療・介護連携を図る。また、在宅療養者の看取りや食支援に関する取組を実施する。</p>	
<p>2 生活支援体制整備事業</p> <p>高齢者の日常生活を支える多様な支援体制の充実や強化を図るとともに、地域における支え合い体制づくりの推進を図った。</p> <p>射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回（令和元年度 年間2回） <p>生活支援コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1層（市） 1人 ・第2層（地域包括支援センター圏域） 6人 <p>委託先 （福）射水万葉会、（福）喜寿会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会</p> <p>委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>委託料 25,000千円</p>												継 続	<p>支え合い体制の構築は、おおむね計画どおり進捗している。</p> <p>地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、現体制で地域の支え合い体制の拡充を推進し、さらには、共生社会の構築を目指す。</p>

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）
<p>3 認知症施策推進事業</p> <p>認知症の知識の普及・啓発、早期発見・早期対応に向けた体制整備及び認知症高齢者と家族への支援体制の充実を図った。</p> <p>認知症初期集中支援チーム設置 訪問・面談延べ件数 46件（令和元年度 42件）</p> <p>委託先 （公）射水市医師会</p> <p>委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>委託料 1,200千円</p> <p>認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに1人配置し、相談会や認知症カフェを開催した。認知症ケアパスを使用し、認知症の進行に合った介護サービスや支援について普及啓発を図った。</p> <p>委託先 （福）射水万葉会、（福）喜寿会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会</p> <p>委託期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>委託料 25,000千円</p>	<p>拡充</p> <p>地域での認知症の理解を促進し、認知症の人本人の考えや視点を取り入れながら、認知症の人と家族への支援の充実を図っていく。</p>	
<p>4 地域ケア会議推進事業</p> <p>多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討する地域ケア個別会議を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議実施回数 26回（令和元年度 33回） 	<p>継続</p> <p>高齢者の自立支援・重度化防止に向け、多職種連携を強化し、引き続き地域ケア会議を開催する。</p>	

事業名 介護給付等費用適正化事業費（介護保険）（3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費） 決算書 167 ページ 担当部課 福祉保健部介護保険課

決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項（決算規模の変動要因等）
		3,113 【3,579】	3,271 【3,739】	3,802 【3,991】	【5,684】	
財源内訳	国庫補助金	1,378	1,439	1,537		
	県補助金	689	720	768		
	繰入金	607	637	747		
	一般財源	439	475	750		

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）																							
<p>1 介護サービス利用者に対して、サービス費合計額等の明細を作成し、年4回通知した。</p> <p>介護給付費通知書送付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和元年6月</th> <th>令和元年9月</th> <th>令和元年12月</th> <th>令和2年3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4,646件</td> <td>4,692件</td> <td>4,715件</td> <td>4,738件</td> <td>18,791件</td> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和2年6月</th> <th>令和2年9月</th> <th>令和2年12月</th> <th>令和3年3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td></td> <td>4,691件</td> <td>4,686件</td> <td>4,694件</td> <td>4,775件</td> <td>18,846件</td> </tr> </tbody> </table>	令和元年度	令和元年6月	令和元年9月	令和元年12月	令和2年3月	合計		4,646件	4,692件	4,715件	4,738件	18,791件	令和2年度	令和2年6月	令和2年9月	令和2年12月	令和3年3月	合計		4,691件	4,686件	4,694件	4,775件	18,846件	<p>継続</p> <p>年4回の通知を発送することにより、問合せが増えている。自ら受けているサービスを改めて確認することで、適正な請求に向けた抑制効果が期待できる。</p>
令和元年度	令和元年6月	令和元年9月	令和元年12月	令和2年3月	合計																				
	4,646件	4,692件	4,715件	4,738件	18,791件																				
令和2年度	令和2年6月	令和2年9月	令和2年12月	令和3年3月	合計																				
	4,691件	4,686件	4,694件	4,775件	18,846件																				

事業名		介護給付等費用適正化事業費（地域支援）				（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）				決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		751	【781】	118	【127】	99	【100】	【90】					
財 源 内 訳	国庫補助金	301		49		38				令和元年度から、パンフレット（「よくわかる介護保険」「みんな笑顔で介護保険」）作成に係る予算を地域包括支援センター運営費に移行したことによる。			
	県補助金	150		24		19							
	繰入金	145		23		12							
	一般財源	155		22		30							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 居宅・施設ケアプランの点検やサービス事業者を対象とした研修会を開催し、介護給付の適正化を図った。 ・ 開催回数 5回 （令和元年度 5回）											継続	利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなっているか点検を行った。今後、理学療法士によるケアプラン点検や主任介護支援専門員の研修会を実施し、更に自立支援に資する質の高いケアマネジメントを目指し、介護給付の適正化を図る。	

事業名		権利擁護等自立支援事業費				（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）				決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		782	【970】	853	【918】	512	【918】	【918】					
財 源 内 訳	国庫補助金	373		353		191							
	県補助金	187		177		95							
	繰入金	118		163		85							
	諸収入	0		0		68							
	一般財源	104		160		73							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 成年後見制度の普及啓発及び利用支援のための相談会の開催、経済的理由や親族不在等の理由で家庭裁判所への申立てができない場合の申立てに係る支援や経済的支援を行った。 ・ 相談会開催回数 12回、相談者数 15人 （令和元年度 開催回数 12回、相談者数 13人） ・ 市長申立て 3件 （令和元年度 2件）											継続	高齢者が安心して自立した生活を送ることができるよう、成年後見制度の普及啓発及び利用に必要な支援を継続する。	

事業名	家族介護支援事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	167 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		18,442 【19,131】	19,716 【19,853】	19,270 【19,981】	【17,836】						
財 源 内 訳	国庫補助金	7,365	7,624	8,307							
	県補助金	3,683	3,812	4,153							
	繰入金	3,550	3,795	3,710							
	一般財源	3,844	4,485	3,100							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 介護用品の支給や家族介護教室の開催等を通じ、在宅で介護する家族のネットワークの形成や身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。 ・ おむつ支給事業実人数 554人 (令和元年度 507人)								見直し	おむつ支給対象者や支給限度額など、受益者負担の適正化について検討する。		

事業名	地域自立生活支援事業費		(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	168 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)					
		1,528 【1,534】	1,441 【1,573】	394 【651】	【1,866】						
財 源 内 訳	国庫補助金	591	555	170		新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、あったか介護保険相談員活動の実施回数が減少したことによる。					
	県補助金	295	277	85							
	繰入金	294	277	76							
	一般財源	348	332	63							
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 介護保険相談員を介護保険施設等に派遣し、利用者や家族からの相談を受け、事業所との橋渡しをすることにより、質の高い介護サービスの提供に努めた。 あったか介護保険相談員活動状況								継続	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、12月と令和3年3月のみ訪問を行った。令和3年度は、リモートでの訪問活動を実施し、新型コロナウイルスワクチンの接種状況により施設訪問を再開する。		
区分		相談員数	相談施設数	延べ相談者数							
令和元年度		12人	28施設	482人							
令和2年度		12人	15施設	44人							

事業名		住宅改修支援事業費				(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	168 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		200	【215】	206	【251】	138	【230】	【200】						
財 源 内 訳	国庫補助金	83		97		59								
	県補助金	41		48		30								
	繰入金	39		40		27								
	一般財源	37		21		22								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 居宅介護支援又は介護予防支援を受けていない被保険者が住宅改修費の支給を受けるため、介護支援専門員等が「住宅改修が必要な理由書」を作成した場合において支援を行った。											継続	適正な住宅改修が行えるよう、引き続き介護支援専門員による理由書作成を行う。		
項目		令和元年度		令和2年度										
作成者人数		103人		69人										

事業名		その他事業費				(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)				決算書	168 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		特記事項(決算規模の変動要因等)				
		5,581	【6,042】	4,677	【5,162】	4,344	【4,731】	【2,130】						
財 源 内 訳	国庫補助金	1,162		1,210		1,410								
	県補助金	581		604		705								
	繰入金	3,400		2,863		1,702								
	一般財源	438		0		527								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性(担当課意見)			
1 認知症サポーター養成講座 認知症に関する正しい知識の普及のため、サポーター養成講座を開催した。 ・ 実施回数 21回、延べ参加者数 400人、参加者累計 13,754人 (令和元年度 42回、1,438人)											継続	新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数は減少したが、引き続き、事業所などに講座開催を呼び掛け、認知症に関する知識の普及啓発を更に推進する。		
2 「食」の自立支援 食の自立支援事業(～令和2年9月末) 定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を行い、高齢者の自立及び生活の質の確保を図った。 ・ 登録者数 147人 (令和元年度 206人) ・ 年間配食数 3,094食 (令和元年度 6,981食) 配食みまもりサービス事業(令和2年10月～) 民間活力を導入し、栄養バランスのとれた食事を提供(利用者の希望する食数を配送。弁当実費は利用者負担)するとともに、ひとり暮らし高齢者等の見守り体制の充実を図った。 ・ 利用者数 84人														

事業名		[新] 保険者機能強化推進事業費 (4款 保健福祉事業費 1項 保健福祉事業費 1目 保険者機能強化推進事業費)				決算書	168 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
				1,401 【2,058】	【11,208】				
財 源 内 訳	国庫補助金			1,401					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 認知機能検診事業 軽度認知障害(MCI)の疑いのある者を早期に発見し、適切な対応を行うことで、認知症の重症化を予防した。 ・ 受診者数 認知機能テストのみ 136件 認知機能テスト・MCIスクリーニング検査 38件								継続	検診を促進することにより、軽度認知障害の早期発見、早期治療につなげる。

事業名		介護保険事業財政調整等基金積立金 (5款 基金積立金 1項 基金積立金 1目 介護保険事業財政調整等基金積立金)				決算書	168 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	特記事項(決算規模の変動要因等)			
		150,000 【150,000】	16,280 【16,280】	363 【382】	【9】				
財 源 内 訳	一般財源	150,000	16,280	363		第7期介護保険事業計画期間(3か年計画)の最終年であり、介護サービス基盤の整備の進捗及び被保険者数の増加から、介護給付費が増大したため、積立金は減となったことによる。			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性(担当課意見)	
1 介護保険事業財政調整等基金積立金 ・ 介護保険事業財政調整基金 363千円								継続	引き続き、保険給付の適正化に努めるとともに、基金の適切な管理運営に努めていく。

3 財産の状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

3 財産に関する調書

(1) 公有財産

令和3年3月31日現在(単位:m²、千円)

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高	増減高の内訳
土 地	3,273,124.08	10,397.97	3,283,522.05	
行政財産	2,649,460.29	11,185.02	2,660,645.31	消防施設1,222.39、公園30,257.00 その他の施設 20,294.37
普通財産	623,663.79	787.05	622,876.74	宅地 5,645.91、その他4,858.86
建 物	388,575.56	7,480.67	396,056.23	
行政財産	379,559.03	7,938.67	387,497.70	消防施設139.94、公園530.61、その他の施設7,268.12
普通財産	9,016.53	458.00	8,558.53	非木造 458.00
有 価 証 券	415,358	0	415,358	
株券等	415,358	0	415,358	
出資による権利	398,932	0	398,932	
出資及び出捐金	398,932	0	398,932	

(2) 重要物品(80万円以上)

令和3年3月31日現在

区 分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高	増減高の内訳
自 動 車 ほか	654点	21点	675点	受入26点(消防自動車、救急自動車 等) 払出 5点(消防自動車、救急自動車 等)

(3) 債権

(単位:千円)

区 分	令和元年度末 現在高 A	令和2年度中増減額		令和2年度末 現在高 A+B-C
		貸 付 額 B	償 還 額 等 C	
鉄道軌道資産取得資金貸付金	53,334	0	0	53,334
母子家庭等小口資金貸付金	410	240	240	410
奨学金貸付金	42,495	6,500	5,689	43,306
学生緊急生活支援貸付金	0	600	0	600
合 計	96,239	7,340	5,929	97,650

(出納整理期間含む)

(4) 基金

(単位：千円)

区 分	令和元年度末 現 在 高 A	令和2年度中増減額		令和2年度末 現 在 高 A+B-C
		積 立 額 B	取 崩 額 C	
財政調整基金	3,954,123	788,352	190,000	4,552,475
減債基金	788,050	428	0	788,478
公共施設建設等基金	1,879,227	21,327	0	1,900,555
小林與三次基金	45,881	46	0	45,926
福祉振興基金	6,990	7	0	6,997
小杉インターパーク管理基金	100,338	100	900	99,538
合併地域振興基金	3,093,600	2,150	448,000	2,647,751
ふるさと射水応援基金	181,699	200,181	180,000	201,880
漁業振興基金	66	0	0	66
森林環境保全基金	4,000	8,524	0	12,524
新型コロナウイルス感染症対策基金	0	25,652	0	25,652
小 計	10,053,974	1,046,767	818,900	10,281,841
国民健康保険事業財政調整基金	534,488	22,933	100,000	457,421
介護保険事業財政調整基金	546,524	363	0	546,887
小 計	1,081,012	23,296	100,000	1,004,308
合 計	11,134,986	1,070,063	918,900	11,286,149

(出納整理期間含む)

4 市債の状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

4 市債の現況

一般会計

(ア) 目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和元年度末 現在高 A	令和2年度 発行額 B	令和2年度元利償還額		令和2年度末 現在高 (A + B - C)
			元金 C	利子	
1 普通債	12,825,978	2,349,100	1,482,704	99,236	13,692,374
(1) 総務債	1,130,241	92,200	147,919	808	1,074,522
(2) 民生債	180,720	47,000	6,736	470	220,984
(3) 衛生債	753,015	947,100	37,395	7,665	1,662,720
(4) 農林水産業債	431,469	16,400	95,562	3,647	352,307
(5) 土木債	2,571,993	179,100	338,875	28,084	2,412,219
(6) 公営住宅債	602,692	0	79,419	6,665	523,273
(7) 消防債	732,287	95,700	104,949	859	723,037
(8) 教育債	6,423,560	971,600	671,848	51,037	6,723,312
2 災害復旧債	22,852	0	1,552	3	21,300
(1) 土木債	22,852	0	1,552	3	21,300
3 その他	47,382,324	6,056,300	3,329,531	220,436	50,109,093
(1) 減収補てん債	0	73,900	0	0	73,900
(2) 減税補てん債	240,109	0	61,088	567	179,021
(3) 臨時財政対策債	19,446,465	1,074,300	1,455,597	64,363	19,065,168
(4) 合併特例事業債	27,695,750	4,908,100	1,812,847	155,506	30,791,003
合 計	60,231,155	8,405,400	4,813,788	319,675	63,822,767

(出納整理期間含む)

(イ) 借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和元年度末 現在高 A	令和2年度 発行額 B	令和2年度 元金償還額 C	令和2年度末 現在高 (A + B - C)
1 政府資金	19,003,818	1,151,000	1,717,867	18,436,951
財政融資資金	18,341,223	1,151,000	1,613,602	17,878,620
旧郵貯資金	188,651	0	34,474	154,176
旧簡保資金	473,945	0	69,790	404,155
2 地方公共団体金融機構資金	23,602,210	285,800	2,245,979	21,642,031
3 市中銀行	7,546,460	5,537,700	397,396	12,686,764
4 その他の金融機関	9,247,985	1,387,300	380,649	10,254,636
5 共済組合	830,681	43,600	71,897	802,384
合 計	60,231,155	8,405,400	4,813,788	63,822,767

(出納整理期間含む)

参考 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策に関する市の取組一覧（一般会計）

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

参考 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策に関する市の取組一覧（一般会計【単位：千円】）

予算額	決算額	うち交付金
12,168,164	10,522,465	754,064

1 予算額は予備費充用額等を含む

2 ()は交付金繰越額

1 市民生活支援事業

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
1	企画推進費	ふるさと射水学生支援事業	市内高等教育機関の学生や市出身で市外に在住している学生に対し支援物資を送付するもの。	14,673	14,673	14,673		政策推進課	28
2	企画推進費	いみず高校生世代応援事業	射水市民及び市内高等学校に在学する市外在住の生徒に図書カード5千円分を贈呈するもの。	19,246	19,246	19,246		政策推進課	28
3	特別定額給付金給付費	特別定額給付金給付事業	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づく特別定額給付金を迅速、的確に給付。市民の家計への支援を行うもの。	9,356,305	9,298,871			市民課	55
4	子ども・子育て支援推進費	新生児育児支援給付金支給事業	特別定額給付金の支給対象とならなかった子を対象に支援金を給付するもの（令和2年4月28日～令和3年3月31日生まれの子 10万円/人）。	60,730	53,630	53,630		子育て支援課	75
5	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブ利用料減免事業	新型コロナウイルス感染症の影響から、利用を自粛した日割りの学級費について、学級が保護者へ返還等した場合の経費を支援するもの。	8,300	6,714			生涯学習・スポーツ課	78
6	ひとり親家庭等福祉費	ひとり親家庭応援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的負担の影響を大きく受けるひとり親家庭を支援するため、お米券を送付するもの。	5,300	4,932	930		子育て支援課	83
7	ひとり親家庭等福祉費	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯（児童扶養手当受給世帯等）に臨時特別給付金を支給するもの。	102,486	86,815			子育て支援課	83
8	ひとり親家庭等福祉費	ひとり親世帯生活支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯（ひとり親世帯臨時特別給付金受給世帯）に生活支援給付金を支給するもの。	18,861	16,887			子育て支援課	83
9	子育て世帯への臨時特別給付金等給付費	子育て世帯への臨時特別給付金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援として、児童手当受給世帯に給付金を支給するもの。	124,217	121,906			子育て支援課	90
10	子育て世帯への臨時特別給付金等給付費	子育て世帯応援臨時給付金（児童手当受給者分）	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援として、市単独で、児童手当受給世帯に給付金を支給するもの。	120,572	119,380	58,924		子育て支援課	90
11	子育て世帯への臨時特別給付金等給付費	子育て世帯応援臨時給付金（児童扶養手当受給者等分）	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援として、市単独で、児童扶養手当受給世帯等に給付金を支給するもの。	38,192	38,150			子育て支援課	90
12	セーフティネット支援対策費	生活困窮者住居確保給付金（支給対象拡大）	離職や廃業等で住居を喪失するおそれがあり、賃貸住宅家賃相当分を受給する対象者に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方を追加するもの。	4,000	1,071			社会福祉課	91

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度 繰越額	担当課	報告書 ページ
13	予防接種費	インフルエンザ予防接種助成事業	新型コロナとインフル同時流行の際、医療機関の負担が大きくなる懸念があるため、中高校生、妊婦、高齢者等に対し、インフルエンザ予防接種費を助成するもの。	46,660	42,585	42,585		保健センター	102
14	教育委員会事務局費	学習サポーター配置事業	学校臨時休業に伴い、学びや生活の面で不安や悩みを抱える児童生徒に対応するため、学習サポーターを追加配置するもの。	5,523	3,438			学校教育課	183
15	教育委員会事務局費	中学校修学旅行中止に伴う支援補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行を中止した場合の経費を旅行事業者に支払うにあたり、市が負担するもの。	4,149	4,148	4,148		学校教育課	183
16	教育委員会事務局費	中学校修学旅行中止に伴う代替事業補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行を中止した場合の代替事業を実施するにあたり、市が補助するもの。	5,309	4,777	4,777		学校教育課	184
17	学生緊急生活支援事業費	学生緊急生活支援事業	経済的に困窮している学生の緊急的支援のため、最大30万円貸付けるもの（市内居住かつ市内中小企業に3年継続就業の場合返還免除）。	6,000	600			学校教育課	185
18	教育振興運営費（小） 教育振興運営費（中）	家庭学習貸出用セキュリティソフトウェア・モバイルルーター購入事業	臨時休業時における児童の家庭学習支援のため、インターネット等を利用できない家庭に対し、Wi-Fiルーター、タブレット端末を貸し出すもの。	5,356	4,136	2,136		学校教育課	191 198
市民生活支援事業 合計				9,945,879	9,841,958	201,049			

2 事業者支援、地域活性化事業

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
1	企画推進費	指定管理者制度導入施設アフターコロナ対策支援補助金事業	指定管理者制度を導入している施設が行う、利用者の安全確保・利用促進に向けた新たな自主事業に対して補助するもの。	10,000	10,000	10,000		資産経営課	28
2	企画推進費	指定管理者支援金	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用料金収入が減少し、運営に支障をきたす恐れがある指定管理者を支援するもの。	36,183	25,208	25,208		資産経営課	29
3	移住・定住促進事業費	きららか射水移住・活性化支援事業	地方移住や在宅勤務などの機運の高まりに対応して市内未利用地や空き家の解消を図り、定住人口・関係人口の増加につなげるもの（土地家屋購入費、修繕費補助）。	22,000	14,000	14,000	8,000 (8,000)	未来創造課	31
4	地域交通対策費	公共交通感染防止運行協力支援事業（地域交通対策費）	市内を運行する路線バス事業者に対し、3密回避のための運行支援として、補助するもの。	1,585	1,313	1,313		生活安全課	48
5	地域交通対策費	タクシー事業者支援事業	市内を運行するタクシー事業者の事業継続のため、車両の維持に係る経費を補助するもの。	2,100	2,050	2,050		生活安全課	49
6	地域交通対策費	地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業（地域交通対策費）	市内を運行する路線バス事業者に対し、感染症対策等に要する経費を補助するもの。	1,218	1,218	1,218		生活安全課	49
7	コミュニティバス運行費	公共交通感染防止運行協力支援事業（コミュニティバス運行費）	市内を運行するコミュニティバス運行事業者に対し、3密回避のための運行支援として補助するもの。	3,012	2,960	2,960		生活安全課	50
8	コミュニティバス運行費	地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業（コミュニティバス運行費）	市内を運行するコミュニティバス運行事業者に対し、抗菌効果のある光触媒の車内コーティングに要する経費等を補助するもの。	1,650	1,068	1,068		生活安全課	50
9	万葉線対策費	万葉線新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業	市民等の移動手段の確保及び3密回避のため、通常の運行本数の維持等に対応する経費を万葉線(株)に補助するもの。	9,000	8,774	8,774		生活安全課	52
10	万葉線対策費	地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業（万葉線対策費）	万葉線(株)に対し、抗菌・抗ウイルス効果のある光触媒の車内コーティングに要する経費等を補助するもの。	750	603	603		生活安全課	52
11	高齢者福祉施設費	介護保険入所施設感染症対策備蓄品購入事業	市内介護事業所における介護サービス従事者の新型コロナウイルス感染症対策に係る衛生用品を市が備蓄し、事業所で発生した場合に配布するもの。	3,470	3,230	3,230		介護保険課	68
12	高齢者福祉施設費	訪問介護・看護事業所等感染症対策備蓄品購入事業	市内介護事業所における介護サービス従事者感染症対策に係る衛生用品を市が備蓄し、事業所で発生した場合に無償で配布するもの。	1,350	1,333	1,333		介護保険課	68
13	高齢者福祉施設費	介護保険入所施設遠隔面会用タブレット等設置費補助金	感染防止のため面会制限を行っている介護事業所に対し、入所者と家族の遠隔面会用タブレット等の設置費用を助成するもの。	8,200	5,662	5,662		介護保険課	69
14	高齢者福祉施設費	介護サービス事業所支援金交付事業	新型コロナウイルス感染症対策を継続的に行い、サービス提供体制を確保するため、事業所に対し、感染症対策の支援金を交付するもの。	10,608	10,200	10,200		介護保険課	69

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
15	障害者福祉施設支援費	障がい福祉事業所支援金交付事業	新型コロナウイルス感染症対策を継続的にを行い、サービス提供体制を確保するため、事業所に対し、感染症対策の支援金を交付するもの。	5,200	5,150	5,150		社会福祉課	72
16	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブ支援員処遇改善事業	小学校の臨時休業期間中に開級し、子ども達の居場所作りに尽力する支援員に対し処遇改善するもの。	1,584	1,207			生涯学習・スポーツ課	78
17	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブ臨時休業時特別開所支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響から、小学校臨時休業期間中に、平日の午前中から開設するための経費を支援するもの。	110	110			生涯学習・スポーツ課	78
18	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブ臨時休業時特別開所人材確保支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響から、小学校臨時休業期間中に、平日の午前中から開設するため人材確保に要する経費を支援するもの。	210	210			生涯学習・スポーツ課	78
19	感染症予防費	医療機関支援事業補助金	院内での感染拡大を防止し、地域で求められる医療や各種検診の体制が確保できるよう、医療用感染資機材に係る経費等を交付するもの。	7,911	7,910	7,910		保健センター	102
20	農業振興推進費	JA共同施設における新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	農業協同組合及び農協生産部会の農業施設において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための施設改良や設備等の導入の際に必要な経費の一部を助成するもの。	2,150	2,150	2,150		農林水産課	126
21	緑化推進費	射水市インドア花いっぱい応援事業	市内公共施設等に花きを飾ることにより、自粛要請等によるストレスを緩和するとともに、経済的打撃を受けている市内フラワーショップ等を支援するもの。	3,000	2,959	2,959		農林水産課	134
22	海面漁業振興費	魚価低迷緊急支援事業	感染症の影響を受けて魚価が低迷し、売上が落ち込んだ4～5月分の販売手数料の全額を助成するもの。	6,823	6,592	6,592		農林水産課	135
23	海面漁業振興費	漁船保険共済助成事業	感染症の影響で売上げが大きく減少している現状を踏まえ、事業継続性の観点から、漁業者に対し漁船保険を全額助成に拡充するもの（現行は保険料の15%を助成）。	19,700	19,024	19,024		農林水産課	135
24	商工業振興費	富山県・市町村新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	感染症拡大防止のため、県の休業の要請等に応じて、要請期間中、「休業」又は「営業時間の短縮」を行う中小企業及び個人事業主に対して協力金を支給するもの。	22,067	22,067	22,067		商工企業立地課	139
25	商工業振興費	中小企業等事業継続支援金事業	国持続化給付金、県事業持続化・地域再生支援金の対象外であり、売上高が減少している中小企業者、個人事業者等を支援するもの。	34,389	28,251	28,251		商工企業立地課	140
26	商工業振興費	テイクアウト・宅配導入等支援事業	市内の飲食店がテイクアウトや宅配事業の導入等を行う際に必要な費用の支援を行うもの。	3,954	3,954			商工企業立地課	140
27	商工業振興費	テイクアウト・宅配利用促進事業（いみずうまいもん券 第1弾）	市内でテイクアウト・宅配を行っている飲食店にて、テイクアウト等を利用する場合に使用できるクーポン券（500円券を2枚）を、広報6月号に折込配布するもの。	11,125	10,808			商工企業立地課	140
28	商工業振興費	飲食店利用促進事業（いみずうまいもん券 第2弾）	1回目のテイクアウト・宅配に加え、店内飲食まで対象を拡大したクーポン券（500円券を2枚）を、広報11月号に折込配布するもの。	20,320	17,101	17,101		商工企業立地課	140
29	商工業振興費	中小企業等事業向上補助金事業	市内中小企業が、事業の見直しや新たな生活様式や多様な働き方に沿った事業展開等を行う場合の経費を幅広く支援するもの。	50,000	44,769	44,769		商工企業立地課	140

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度 繰越額	担当課	報告書 ページ
30	商工業振興費	射水市商工協議会消費喚起事業	射水市商工協議会が実施する消費喚起事業に対し補助するもの。	10,000	3,630	3,630		商工企業立地課	140
31	商工業振興費	新生活様式チャレンジ商店街等支援事業	商店街組織等の「新しい生活様式」構築のための取組を支援するため、商店街組織等が実施するにぎわい回復のための事業の経費を一部補助するもの。	2,000	1,565	1,565		商工企業立地課	140
32	商工業振興費	キャッシュレス決済・消費喚起事業	市内店舗でキャッシュレス決済を行った際にポイント還元を実施することで、市内店舗における消費喚起を行い、キャッシュレス決済の普及促進を図るもの。	563,600	0		563,600 (563,600)	商工企業立地課	141
33	中小企業振興対策費	富山県制度融資に係る保証料助成	県制度融資を活用した事業者が支払う保証料に対し助成を行うもの。	29,700	14,826			商工企業立地課	143
34	中小企業等上下水道料金支援費	中小企業等上下水道料金支援事業	国の持続化給付金又は本市中小企業等事業継続支援金受給者を対象に、令和2年4月～7月の上下水道料金の1/2相当額を支援金として給付するもの。	32,300	28,877	28,877		上下水道業務課	144
35	観光事業費	いみずブランド推進事業	県内飲食店による射水の特産物などを活用したオリジナルメニュー開発のほか、県外への販路拡大に係る取組を支援し、食のブランド化を推進するもの。	20,000	18,791	18,791		港湾・観光課	146
36	観光事業費	ベイエリアレンタサイクル事業	これまでの川の駅新湊等3か所に加え、クロスベイ新湊に新たにレンタサイクルの拠点を設け、ベイエリアにおけるアフターコロナに即した観光を創出するもの。	1,118	1,117	1,100		港湾・観光課	146
37	観光推進費	Welcome to Imizu 事業	国の「GoToキャンペーン事業」や、県の観光事業と連携し、観光業者が企画する旅行商品等に、射水市を組み入れてもらうことに対して助成を行うもの。	10,098	10,097	10,000		港湾・観光課	147
38	学校給食費（小） 学校給食費（中）	学校臨時休業対策事業	3月の臨時休業により影響を受ける、米飯、パン等の委託加工業者などの学校給食用食材納入事業者を支援金で応援するもの。	4,329	4,329			学校教育課	189 195
39	海面漁業振興費	水産物地産地消推進事業補助金	地産地消、地域経済の好循環を目的として、新湊漁協荷捌き所の一部を、一般消費者が魚介類を購入できるスペースとして整備する事業に対し支援するもの。（感染拡大により事業中止）	1,000	0			農林水産課	-
事業者支援、地域活性化事業 合計				973,814	343,111	307,554			

3 感染拡大防止対策事業

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
1	広報広聴費	感染症対策広報事業業務委託	市民が「新しい生活様式」の理解を深めるとともに、実践の促進・定着を図るため、Vチューバーを活用した広報を実施するもの。	1,104	1,104	1,104		未来創造課	17
2	広報広聴費	市LINE公式アカウントによる新型コロナウイルス感染症等に関する情報発信事業	感染症情報、災害・防災情報、市政情報等、市民に必要な情報を迅速かつ的確に発信するため、LINEを活用した情報発信システムを導入する。	15,352	3,795	3,795	11,381 (11,381)	未来創造課	17
3	財産管理費	市公共施設衛生環境向上化事業（自動給水栓化）	市公共施設における新型コロナウイルス感染症対策の一環として、不特定多数が利用する給水栓からの接触感染の防止を図るため、自動給水栓化工事を行うもの。	163,000	55,610	55,610	107,390 (44,441)	資産経営課	25
4	庁舎管理費	共用飛沫感染防止用アクリル製衝立整備事業	市庁舎等の窓口や、事業実施の際の飛沫感染対策用物品として、アクリル製衝立を購入するもの。	3,455	3,449	2,647		資産経営課	25
5	電算管理費	テレワーク、テレビ会議システム等導入	職員における3密を避けたワーキングスペースを確保するため、市庁舎及び市出先施設にWi-Fi環境、テレワーク環境、テレビ会議システム等を整備するもの。	34,551	33,973	33,973		総務課	38
6	防災対策費	災害用備蓄品等整備事業	災害発生の際に避難所で用いる間仕切りや段ボールベット等を購入するもの。	11,107	10,931	10,931		総務課	54
7	防災対策費	災害用備蓄品等整備事業	災害発生の際に避難所で用いるAIサーマルカメラ等を整備するもの。	5,127	5,126	5,126		総務課	54
8	防災対策費	避難所環境改善事業	避難所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止と電力の供給を図るため、感染症予防に資する物資の搬送や電力の供給が可能な車両を整備するもの。	7,203	6,784	6,784		総務課	54
9	賦課事務費	確定申告書入力業務委託事業	申告業務における職員の3密を回避するため、申告書入力業務を外部委託するもの。	4,176	3,304	3,304		課税課	57
10	賦課事務費	申告相談会予約システム構築業務	申告相談会での3密を避けるため、事前予約システムを構築し、市ホームページで運用するもの。	3,500	3,432	3,432		課税課	57
11	地域生活支援費	意思疎通支援体制強化事業	手話奉仕員を派遣する際の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に必要な保健衛生用品（フェイスガード）を購入するもの。	39	35	9		社会福祉課	73
12	地域生活支援費	地域活動支援センター等感染症対策事業	地域活動支援センター、日中一時支援事業所の施設の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る保健衛生用品等の購入費を助成するもの。	247	246	63		社会福祉課	73
13	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブ感染症対策保健衛生用品購入事業	感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品・備品を整備するもの。	21,370	18,189			生涯学習・スポーツ課	78
14	放課後児童健全育成事業費	とやまっ子さんさん広場感染症対策保健衛生用品購入事業	感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品・備品を整備するもの。	1,600	1,550	775		生涯学習・スポーツ課	79

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
15	子育て支援センター運営費	子育て支援センター備品整備	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、空気清浄機等保健衛生備品を整備するもの。	6,470	5,269			子育て支援課	79
16	保育園等管理運営費 保育園等運営委託等事業費	保育園・認定こども園備品整備	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、空気清浄機等保健衛生備品を整備するもの。	46,767	41,390			子育て支援課	86 88
17	母子保健推進費	産後ケア施設感染拡大防止対策事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、産後ケア事業を行う施設において、消毒液等保健衛生用品を市が購入し、施設に配布するもの。	127	126			保健センター	96
18	母子保健推進費	母子総合相談室、乳幼児家庭全戸訪問事業における感染症対策事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、保健衛生用品・備品等を購入するもの。	1,000	998			保健センター	96
19	感染症予防費	公共施設における安全・安心確保事業	公共施設における新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒液等保健衛生用品を整備するもの。	6,250	6,202	6,202		保健センター	102
20	感染症予防費	高齢者PCR検査助成事業	新型コロナウイルス感染症の流行下において、高齢者や基礎疾患を有する者が本人の希望により検査を受ける場合に、1万円を助成するもの。	1,200	0			保健センター	102
21	新型コロナウイルスワクチン接種費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	全市民に対し、新型コロナウイルスワクチン接種を実施するもの。	626,523	2,866		623,657	保健センター	103
22	救急業務高度化事業費	感染症対策救急備品整備	新型ウイルス等感染拡大防止対策として、救急活動用備品を整備するもの。	2,945	2,795	2,795		消防本部総務課	178
23	学校管理費(小) 学校管理費(中)	小中学校等オンライン会議システム導入	感染防止対策として、市教育委員会と小中学校21校を結ぶWEB会議システムを導入するもの。	352	307			学校教育課	189 195
24	健康管理費(小) 健康管理費(中)	感染症対策のためのマスク等購入支援事業	感染拡大防止のため、マスク、消毒液、非接触体温計等保健衛生用品を整備するもの。	3,894	2,497			学校教育課	190 196
25	健康管理費(小) 健康管理費(中)	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業	感染対策の徹底を図るため、衛生用品等を購入するほか、子どもたちの学びを保障するため、学校教育活動や家庭学習に必要な教材を購入等行うもの。	52,589	29,388	14,500	23,200 (11,600)	学校教育課	190 196
26	教育振興運営費(小) 教育振興運営費(中)	児童生徒1人1台端末整備事業	臨時休業等の緊急時においても、ICTを活用し学びを保証できる環境を実現するため、児童生徒1人1台端末等を整備するもの。	58,813	39,872	39,872		学校教育課	191 198
27	教育振興運営費(小) 教育振興運営費(中)	学校からの遠隔学習機能の強化事業	学校の臨時休業等の緊急時に、教師と生徒が同時双方向でやりとりを円滑に行うため、教師が使用するウェブカメラやマイク等の設備を整備するもの。	2,142	2,121	1,754		学校教育課	191 198
28	幼稚園管理費	幼稚園備品整備	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、空気清浄機等保健衛生備品を整備するもの。	1,000	751			子育て支援課	202
29	成人式式典費	新しい生活様式に対応した成人式運営業務	感染防止対策の徹底とともにARの活用やライブ動画配信等、来場者以外の新成人も楽しめる成人式を開催するもの。	3,560	2,500			生涯学習・スポーツ課	204

No.	事業名	細事業名	概要	予算額	決算額	うち交付金	翌年度繰越額	担当課	報告書ページ
30	すこやかいみずっ子育成事業費	放課後子ども教室、土曜学習感染症対策保健衛生用品購入事業	感染拡大防止のため、マスク等保健衛生用品を購入するもの。	148	147	147		生涯学習・スポーツ課	205
31	図書館管理運営費	図書環境改善整備事業	感染予防対策として、不特定多数の方が利用する図書の殺菌消毒機や保健衛生用品を購入するもの。	5,327	5,327	5,327		生涯学習・スポーツ課	208
32	スポーツ施設維持管理費	スポーツ施設の維持管理（大門総合体育館研修室エアコン等整備工事）	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、大門総合体育館研修室の空調及び換気設備を更新するもの。	998	998	998		生涯学習・スポーツ課	224
33	スポーツ施設維持管理費	スポーツ施設の維持管理（新湊総合体育館換気設備改修工事）	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、新湊アイシン軽金属スポーツセンターの換気設備を更新するもの。	5,879	5,478	5,478		生涯学習・スポーツ課	224
34	スポーツ施設維持管理費	公共施設予約管理システム導入	利用者が直接窓口に向くことなく予約が行えるよう、体育施設や文化施設に予約管理システムを導入するもの。	33,704	0		33,044 (33,044)	生涯学習・スポーツ課	224
35	介護保険事業特別会計繰出金	CATVを活用した健康支援事業【介護特会繰出金】	ケーブルテレビを活用した介護予防に関する健康支援事業実施にあたり、一般会計から繰り出すもの。	177	177	177		地域福祉課 (財政課)	-
36	病院事業会計繰出金	市民病院感染対策事業【病院事業会計繰出金】	新型コロナウイルス感染症拡大防止対として、新たな動線の確保や感染対策の徹底のための物品の整備や設備改修工事の実施にあたり、一般会計から繰り出すもの。	25,949	25,949	25,949		市民病院経営管理課 (財政課)	-
37	病院事業会計繰出金	市民病院感染対策事業【病院事業会計繰出金】	院内での研修会や会議の開催、入院患者との面会に利用するテレビ会議システムを導入するに当たり、一般会計から繰り出すもの。	14,710	14,710	14,710		市民病院経営管理課 (財政課)	-
38	道の駅維持管理費	道の駅新湊空調入替工事	観光客をはじめ、県内外の多くの人を訪れる道の駅新湊の空調を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、換気能力や冷暖房能力の高い空調に入替えるもの。	45,063	0		45,063 (40,295)	港湾・観光課	-
39	スクールバス運行費	新型コロナウイルス感染症対策スクールバス購入	年式が古く換気機能が十分でない小杉小学校のスクールバスを更新するもの。	31,053	0		31,053 (31,053)	学校教育課	-
感染拡大防止対策事業 合計				1,248,471	337,396	245,461			

